

ADOBE® ELEMENTS ORGANIZER

ヘルプとチュートリアル

新機能

Elements Organizer 14 の新機能



この記事の内容

パワフルで使いやすい人物認識

強化され、さらに直感的になった場所機能

イベント情報の管理がさらに柔軟に

使い始めと読み込みの新しい体験

その他の機能強化

Elements Organizer 14 の数々の新たな機能強化が、パワフルな機能と直感的なインターフェイスと相まって、メディアの管理や編集の体験を新たなレベルに引き上げます。

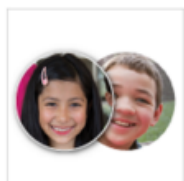
Elements Organizer では似た顔がグループ化できるようになりました。これにより、ますます簡単に写真の人物にタグ付けしたり、写っている人物に基づいて写真を整理して表示したりできます。

Elements Organizer 14 では日付と時刻の情報が分析され、イベントごとの思い出の並べ替えや表示の手間が省かれます。これにより、誕生パーティー、母の日や父の日、家族旅行などのイベントに基づいてメディアファイルにマークを付けたり探したりするのが、これまでになく簡単になりました。

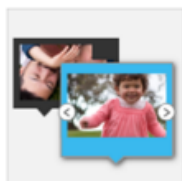
機能強化された場所ビューでは、場所と時間に基づいてさらにすばやくメディアファイルを参照できます。新しい「ピン留めあり」タブでは、メディアファイルがマップ上のまさにタグの場所に表示されます。

また、新しい使い始め体験と、ファイルの読み込み用の新しい直感的なビジュアルインターフェイスにより、Elements Organizer は初めて使うのがいっそう簡単になっています。

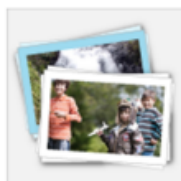
つまり、Elements Organizer 14 ではこれまでより多くの作業をこれまでより簡単にできるのです。



パワフルで使いやすい人物認識



場所のマークが機能強化



イベント情報の管理がさらに柔軟に



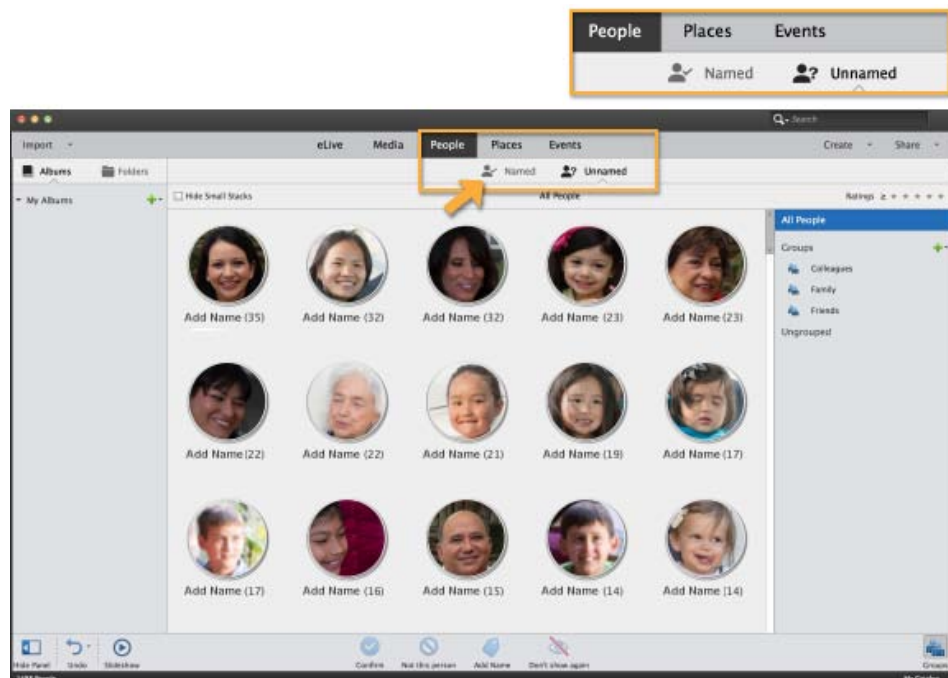
使い始めと読み込みの新しい体験

[ページの先頭へ](#)

パワフルで使いやすい人物認識

写真に写っている人物のタグ付けがさらに簡単迅速になりました。メディアビューで顔を個別に選択してタグ付けする必要はもうありません。

Elements Organizer では、読み込み中に似た顔を自動的にグループ化します。読み込みが完了すると、まだ名前の付いていない人物の顔はすべて、人物ビューの新しい「名前なし」タブに表示されます。一度クリックするだけで、写真のバッチ全体に友達や家族のタグを付けることができます。



人物ビューの「名前付き」タブには、名前が指定済みの全員のプロフィールが表示されます。また、「名前付き」タブでは、タグ名の変更、タグ名の確定、各人が写っているすべての写真と顔の表示もできます。

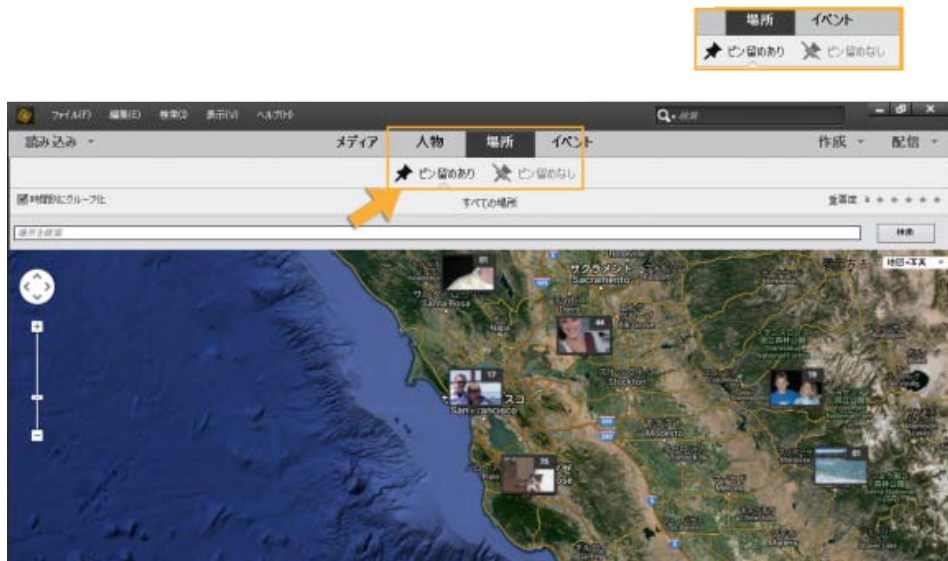
詳しくは、[写真内の顔のマークと人物スタックの整理](#)を参照してください。

[ページの先頭へ](#)

強化され、さらに直感的になった場所機能

GPS 情報のあるメディアファイルはすべて、自動的にタグ付けされて場所ビューの「ピン留めあり」タブに表示されるようになりました。これにより、カメラが GPS トラッキングをサポートしている場合、読み込まれたメディアファイルは自動ですぐに「ピン留めあり」タブに表示されます。

GPS データのないメディアファイルは「ピン留めなし」タブに表示され、そこでファイルの場所情報を追加できます。情報を追加されたファイルは、「ピン留めあり」タブに表示されます。



「ピン留めあり」タブでは、ファイルをクリックすると詳細情報が表示されます。

メディアファイルにタグを付けると、位置を微調整できるようになります。また、場所タグをカスタム名に置き換えることで、場所をわかりやすくしたり、自分だけの場所タグを作ったりできます（場所タグを「自宅」に変える、など）。

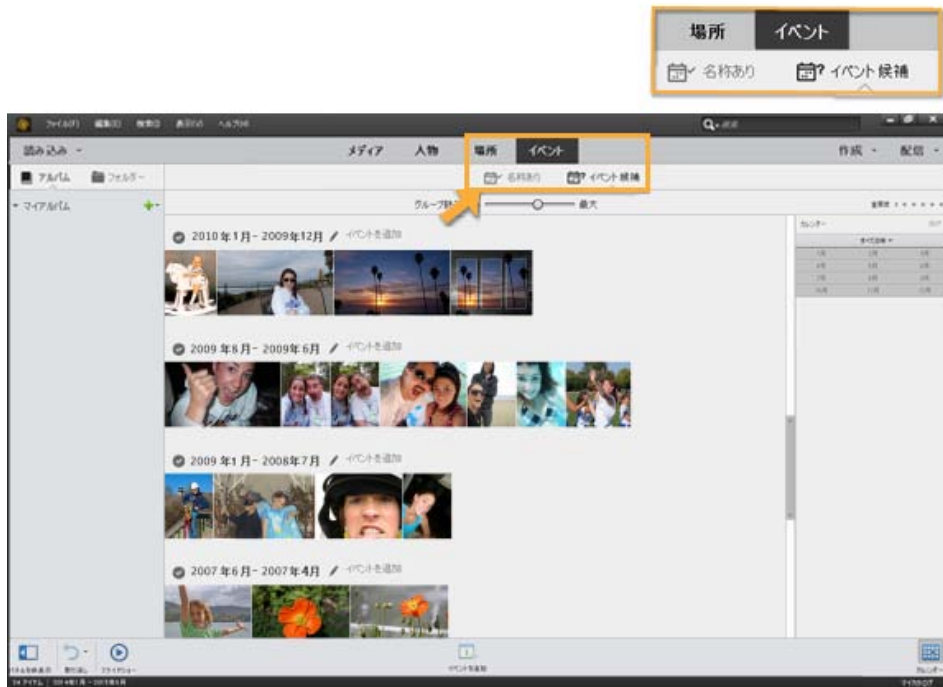
詳しくは、[場所（位置）データの追加と管理](#)を参照してください。

[ページの先頭へ](#)

イベント情報の管理がさらに柔軟に

イベントビューで、イベントをメディアファイルにタグ付けする方法の表示がさらに詳しくなり、イベントへのタグ付けがもっと簡単になりました。

イベントビューには、「イベントあり」と「イベント候補」という2つのタブがあります。



メディアファイルは日時の順に整理されます。スライダーを動かすと、タブに表示されるトラック数を増やしたり減らしたりできます。

「イベント候補」タブは、以前のリリースのスマートイベントビューに似ていますが、メディアファイルをさらに細かく調整できるほか、以前より見やすくなっています。

「イベントあり」タブでは、ファイルがイベントごとに整理されて表示され、思い出を人生の出来事別に整理した状態で表示できます。

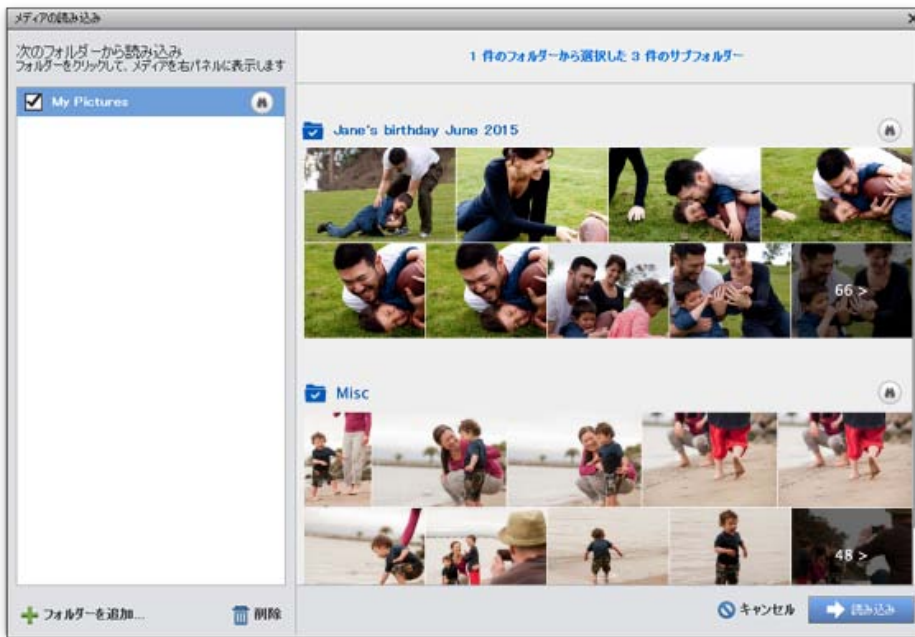
詳しくは、[イベントデータの追加と管理](#)を参照してください。

[ページの先頭へ](#)

使い始めと読み込みの新しい体験

Elements Organizer 14 の新しい一括読み込み機能には、直感的なビジュアルインターフェイスが用意されており、簡単に大量のメディアファイルを一度に読み込むことができます。

この機能は、Elements Organizer 14 を初めて開いたとき、または新しいカタログを作成するときに自動で起動されます。



[ページの先頭へ](#)

その他の機能強化

Elements Organizer 14 には、パフォーマンスの向上、ヨーロッパ式の日付形式のサポート、Elements Organizer 内でのビデオストーリーの作成、各種不具合修正など、他にも多くの機能強化が盛り込まれています。

Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

Photoshop Elements 14 の新機能

- ぶれの軽減
- かすみの除去
- 自動スマート仕上げ
- 角度補正ツール
- 選択ブラシの調整
- ガイド付き編集
 - サイズ変更
 - スピード効果
 - パノラマ
 - 編集された結果の使用

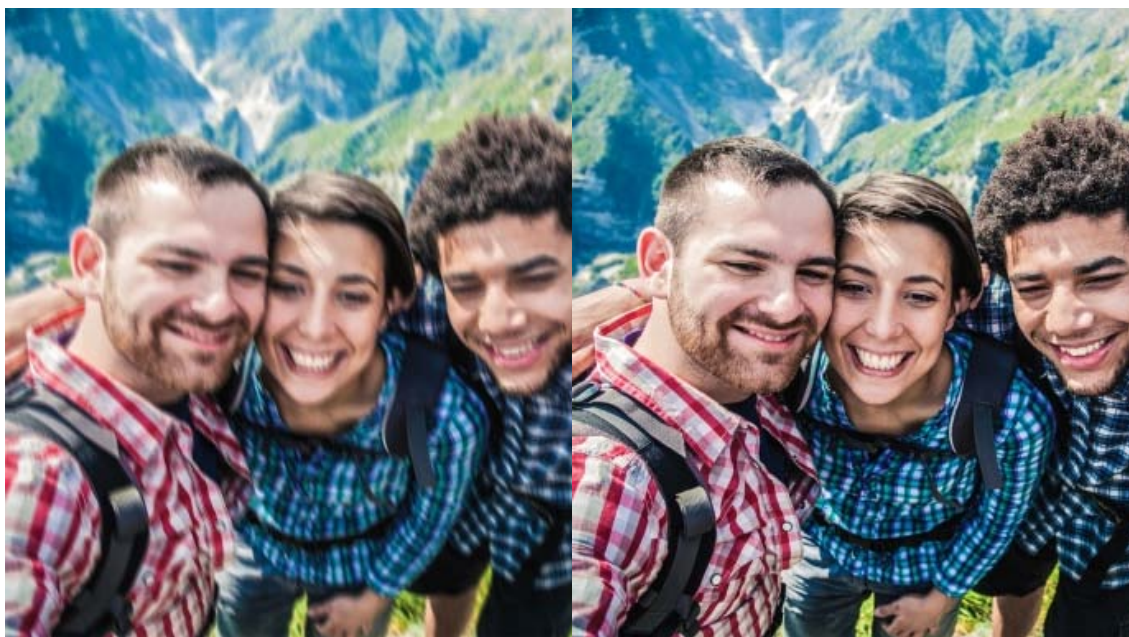
[ページの先頭へ](#)

ぶれの軽減

ゴーストを除去します。

Photoshop Elements 14 の新しい自動ぶれ軽減機能（エキスパートモード／画質調整メニュー／自動ぶれ軽減）を使って、ぼけた写真のぶれを解消します。自撮り写真や移動中に撮影した写真を修正し、焦点が写真の各エレメントにはっきりと合っていることを確認します。

写真のぶれ軽減をさらに調整する必要がある場合は、手動（エキスパートモード／画質調整メニュー／ぶれの軽減）を実行します。写真上の他の修正するエリアを選択して、写真が最善の状態になるように感度スライダーを調整します。



カメラのぶれにより容認できないぼけが発生する場合、ぶれの軽減機能でぼけを解消できます。
があります

詳しくは、[ぶれの軽減](#)に関するセクションを参照してください。

[↑](#)

かすみの除去

風景写真の背景をより鮮明に!

Photoshop Elements 14 のかすみ除去機能を使用すると、写真のかすみまたは霧を解消できます。晴天の日でもかすみを気にすることなく風景写真を撮影できるようになります。写真を選び、自動かすみ除去機能で処理するだけです（エキスパートモード／画質調整メニュー／自動かすみ除去）。

かすみの感度を変更するなど、さらに品質を高めるには、手動（エキスパートモード／画質調整メニュー／かすみ除去）をお試しください。



ラージャスタン、ディーグパレスの冬の日の霧に包まれた朝
霧、スモッグ、煙、かすみをかすみ除去機能で処理

この機能について詳しくは、[かすみを自動的に除去](#)に関するトピックを参照してください。

自動スマート仕上げ

写真の見栄えをさらに良くする 5 つの新たな提案。

Photoshop Elements が写真を解析し、適用できる 5 つの優れた新しい効果を自動的に提案します。カラーやライティングを検証し、5 つのバリエーションを推奨します。



元の写真

Auto1

Auto2



Auto3

Auto4

Auto5

この機能について詳しくは、[効果](#)に関するトピックを参照してください。

[ページの先頭へ](#)

角度補正ツール

クイックモードでは、水平または垂直と考えられる線をエッジに沿って描画することで写真の角度を補正できます。Photoshop Elements 14 の角度補正ツール (P) を使うと、適切な軸に沿って写真を簡単に整列できます。

詳しくは、[画像の角度補正](#)に関するトピックを参照してください。

[ページの先頭へ](#)

選択ブラシの調整

超微細な調整が必要な場合、Photoshop Elements の既存ツールで細かく選択できますが、さらに詳細かつ正

確な選択を必要とするときがあります。例えば、肖像画の髪の毛や風景の草を選択する場合などです。

機能強化された選択ブラシの調整ツールでは、超微細な選択を行うためのコントロールが追加されました。ブラシの感度を変えるオプションにより、非常に詳細な選択を行うことができます。



白い単色の背景とライオンのたてがみを切り分けるのは大変な作業です。選択ブラシの調整機能を使用すれば、極めて詳細な部分までマークして抽出することができます。

微小なレベルで選択する方法については、[選択の編集と調整](#)に関するトピックを参照してください。

[ページの先頭へ](#)

ガイド付き編集

視覚的な再設計

新しいインターフェイスにより、使用するガイド付き編集の選択がより簡単になりました。ガイドモードで、写真に適用する変形の種類（基本、カラー、白黒、写真効果、特殊効果、Photomerge）を選択できます。いずれかの種類の編集を選択し、そのカテゴリーで利用できるガイド付き編集のグラフィカルな一覧を表示します。



「写真効果」カテゴリで使用できるガイド付き編集を表示する新しいガイド付きインターフェイス。

ガイドモードの各カテゴリが個別のページで利用できるようになりました。

- [基本編集](#)
- [写真効果](#)
- [カラー編集](#)
- [Photomerge 編集](#)
- [特殊編集](#)

スピード効果

スタイルでのズームインまたはズームアウト

写真は一連の動きの一瞬を捉えたものに過ぎないかもしれませんが、ガイド付き編集（スピード効果）を使えば、写真に動きを加えることが可能です。手順に従ったワークフローを使って、スピードまたは動きの錯覚を造り出す画像の領域を指定し、静的な写真にどのように動きが加わるかを確認してください。



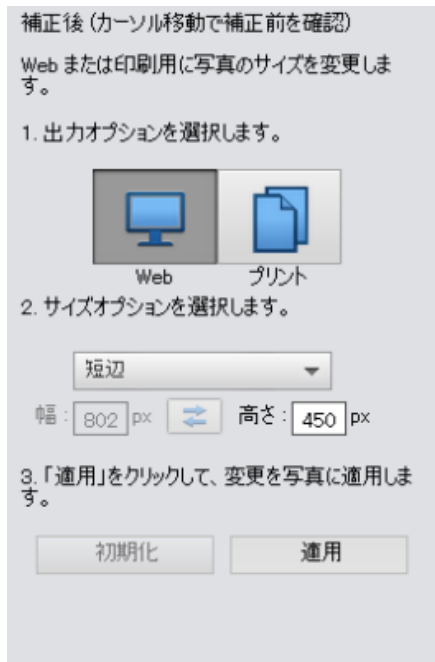
カメラのぶれにより容認できないぼけが発生する場合 ぶれの軽減機能でぼけを解消

ガイド付き編集（スピード効果）について詳しくは、[ガイドモード - 写真効果](#)に関するトピックを参照してください。

サイズ変更

迅速かつ簡単な手順で写真のサイズを変更。

迅速かつ簡単な手順で、正確な寸法の画像を取得します。Photoshop Elements 14 では、プリントサイズ（インチ、センチメートル）、Web サイズ（ピクセル）、またはストレージ要件（キロバイト）に応じたサイズでの写真作成が簡易化されました。ステップバイステップのガイド付き編集で、特定の要件を満たすように写真を簡単にサイズ変更できます。



写真を使用する場所 - インターネットまたは印刷物を選択して開始します。

ガイド付き編集（サイズ変更）について詳しくは、[ガイドモード - 基本編集](#)に関するトピックを参照してください。

パノラマ

順を追ったワークフローで、つなぎ合わせる。

新しいガイド付き編集（Photomerge パノラマ）により、パノラマ写真を作成するために複数の写真を簡単につなぎ合わせられるようになりました。手順を追ったワークフローで一連の操作を実行するだけでパノラマを作成でき、最終的に、パノラマを共有または印刷できるようにすることができます。



ガイド付き編集（パノラマ）について詳しくは、[ガイド付き編集（Photomerge パノラマ）](#)に関するトピックを参照してください。

編集された結果の使用

ガイド付き編集での編集が終わったら、どのような操作が必要でしょうか。


ガイド付き編集が完了すると、作品を使用できるようになります。Photoshop Elements 14 での最後の追加の手順では、次に作品をどうするかを選択できます。ファイルの保存、続行して別のモードで編集、またはオンラインで共有などから選択できます。

一部のガイド付き編集には、作品を印刷するだけの追加のオプションも用意されています。



ガイド付き編集で処理した後、写真をどのように操作するかを選択します。

詳しくは、[配信パネル](#)を参照してください。

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

Adobe Premiere Elements 14 の新機能

Adobe Premiere Elements 14 では新機能の搭載と機能強化が図られ、魅力的なムービーを簡単に作成できるようになりました。新機能、変更された機能、廃止された機能についての簡単な説明と、詳細情報が記載されているリソースのリンクをご確認ください。

Premiere Elements、Photoshop Elements および Elements Organizer の起動ポイントの一元化

モーションタイトルによる楽しいビデオタイトルの作成

ビデオの書き出しと共有

オーディオ表示での作業

タイムリマップおよび特定色域の選択のためのガイド付き編集

Elements Organizer のビデオストーリー

ハードウェアアクセラレーション

その他の機能強化

削除された機能

Adobe Premiere Elements には、アセットを整理できる Elements Organizer が含まれています。Elements Organizer の新機能について詳しくは、「Elements Organizer 14 の新機能」を参照してください。

[ページの先頭へ](#)

Premiere Elements、Photoshop Elements および Elements Organizer の起動ポイントの一元化

+ Adobe Premiere Elements 14 の新機能

お気に入りのアプリケーションを同じ画面から起動できるようになりました。製品のようにこそ画面に、Premiere Elements、Photoshop Elements および Elements Organizer の 3 製品それぞれを起動できるオプションが追加されました。コンピューターにインストールしていない製品については、体験版へのリンクが表示されます。



起動画面および Premiere Elements ワークスペースについて詳しくは、「ワークスペース」を参照してください。

[ページの先頭へ](#)

モーションタイトルによる楽しいビデオタイトルの作成

+ Adobe Premiere Elements 14 の新機能

すぐに使用できる、便利でカスタマイズ可能なモーショントイトルを活用して、ビデオを強化できます。モーショントイトルテンプレートは、アニメーションのグラフィック、スタイル化したテキストおよび背景スタイルと共に事前に読み込まれます。モーショントイトルは、人気のある定義済みのレイアウトやコンポーネントを含む、カスタマイズ可能なテンプレートとして使用できます。豊富なテンプレートを使用するだけで、タイトル用に複雑なアニメーションおよびグラフィックを作成する時間を節約できます。



分かりやすい簡単な手順でモーショントイトルを追加してカスタマイズします。



詳しくは、「[モーショントイトル](#)」を参照してください。

[ページの先頭へ](#)

ビデオの書き出しと共有

Adobe Premiere Elements 14 の新機能

新しい書き出しと共有パネルを使用して、ビデオを簡単に共有できます。完成したプロジェクトがどのような形式であっても、すべて同じパネルからアクセスできます。そして、最適な形式が不明な場合は、「クイック書き出し」オプションを使用すると、Premiere Elements に最適な形式を決定させることができます。

Premiere Elements には、入力形式に従って、推奨される設定のセットも表示されます。書き出しの前にプレビューを確認することもできます。

プロジェクトは、Web、携帯電話およびコンピューターで表示したり、特に DVD や Blu-ray ディスクに書き込む形式で保存したりすることができます。



ビデオを共有するために必要なすべてが単一のパネルに揃っています。

詳しくは、「[ビデオの書き出しと共有](#)」を参照してください。

[ページの先頭へ](#)

オーディオ表示での作業

+ Adobe Premiere Elements 14 の新機能

ビデオの編集時に、プロジェクトのオーディオクリップに集中したい場合があります。オーディオ表示を使用すると、クリップのオーディオトラックの編集がより簡単でアクセスしやすいものになります。タイムラインを操作せずに、プロジェクトのオーディオ部分の強化に集中できます。



オーディオ編集に集中できます

詳しくは、「[オーディオ表示](#)」を参照してください。

[ページの先頭へ](#)

タイムリマップおよび特定色域の選択のためのガイド付き編集

+ Adobe Premiere Elements 14 の新機能

2つの新しいガイド付き編集によって、簡単な操作でビデオの効果を高めることができます。

- スロー / 高速モーションエフェクトを作成
タイムリマップツールのガイド付き編集を使用して、ビデオにドラマチックなエフェクトを追加します。
- 色がポップする白黒ビデオの作成
ビデオを白黒表示にして、1つ以上の選択した色だけを残すことで、ビデオの効果を高めます。このガイド付き編集では、白黒のクリップで、選択した色の要素だけがポップアウトされるビデオを作成できます。



タイムリマップおよび特定色域の選択

詳しくは、「[タイムリマップ](#)」および「[特定色域の選択](#)」を参照してください。

[ページの先頭へ](#)

Elements Organizer のビデオストーリー

+ Adobe Premiere Elements 14 の新機能

ビデオストーリーの作成に使用できる便利なオプションがさらに1つ追加されました。この製品リリースでは、Elements Organizer ユーザーインターフェイスから直接ビデオストーリーワークフローを開始することができます。

Elements Organizer からビデオストーリーの作成を開始するには：

1. ビデオストーリーで使用するアセットを選択します。
2. 作成 / ビデオストーリーをクリックします。

この操作により、Premiere Elements が起動します。この後、ビデオストーリーの編集や改良を行い、共有することができます。

[ページの先頭へ](#)

ハードウェアアクセラレーション







+ Adobe Premiere Elements 14 の新機能

Intel HD Graphics 2000 以降を搭載したコンピューターでは、レンダリング、再生および書き出しでハードウェアアクセラレーションが有効になります。必要な場合は、ハードウェアアクセラレーションを無効にすることもできます。

詳しくは、「[一般環境設定](#)」を参照してください。

[ページの先頭へ](#)


その他の機能強化

-  **Premiere Elements の起動画面オプション**：Premiere Elements の [起動画面](#) によって、よく使用するワークフローを開始しやすくなりました。改良された起動画面には、ビデオの作成を開始するための 3 つのオプションが新たに追加されています。オプションにマウスポインターをかざすと、詳細が表示されます。
-  **クイックビュータイムラインからのワークフローの開始**：クイックビュータイムラインに、ビデオ作成プロセスを開始するための新しい [起動ポイント](#) が追加されました。「タイトルをドロップ」、「ナレーションを録音」および「オーディオクリップをドロップ」などの起動ポイントのいずれかをクリックすると、それに対応するワークフローが開始します。
-  **自動解析**：Premiere Elements の [自動解析](#) では、メディアの解析時にクリップが自動的に検出されタグ付けされます。自動解析の環境設定は Elements Organizer から Premiere Elements に移動されました。
-  **タイムラインの右クリックオプション**：タイムラインの右クリックで表示されるオプションが分類され、アクセスしやすくなりました。
-  **シーン検出**：シーン検出機能が強化され、Premiere Elements でクリップをキャプチャしたときのシーン検出の精度が向上しました。
-  **コンテキスト依存ヘルプ**：Premiere Elements では、コンテキスト依存ヘルプの新しい呼び出し点をいくつか含めることにより、ビデオ編集の学習方法が継続的に改善されます。現在は、すべての必要な情報にすばやく効果的にアクセスできるようになりました。

[ページの先頭へ](#)

削除された機能

Adobe Premiere Elements 14 では、以下の機能を使用できません。

-  Adaptive Multi-Rate Compression (.amr) オーディオファイル形式はサポートされなくなりました。



Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

Elements Organizer 13 の新機能

Elements Organizer 13 には新機能が搭載され、デジタルメディアを簡単に操作できます。新機能の簡単な説明と、詳細情報が記載されているリソースのリンクが記載されています。

Elements Organizer は、Adobe Photoshop Elements および Adobe Premiere Elements で利用できます。これらの製品の新しい機能については、以下を参照してください。

- Adobe Photoshop Elements 14 の新機能
- Adobe Premiere Elements 14 の新機能

[ページの先頭へ](#)

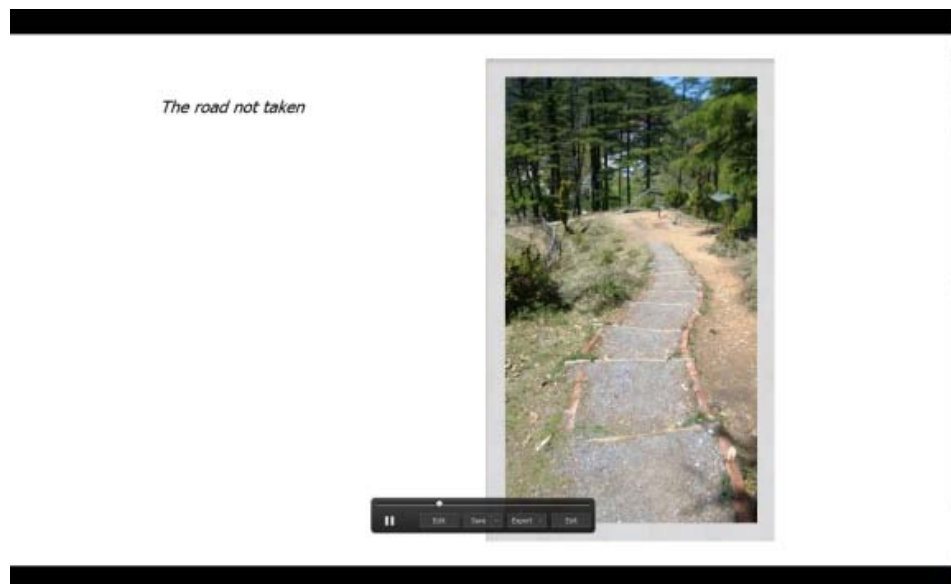
新しいスライドショー作成ワークフロー

 Elements Organizer で機能強化

Elements Organizer 13 では、簡単にスライドショーを作成して、テーマ、音楽、テキスト、キャプションなどでスライドショーをカスタマイズできます。スライドショーの作成が完了したら、MP4 ビデオとして保存するか、配信するか選択できます。

Elements 13 でのスライドショーの作成は、Mac と Windows の両方のサポート対象のプラットフォームで実行できます。以前のバージョンの Elements で作成されたスライドショーを Elements 13 で開くと、スライドショーをアップグレードするようにメッセージが表示されます。

詳しくは、[スライドショーの作成](#)を参照してください。



スライドショーのプレビュー

[ページの先頭へ](#)

強化された電子メール機能

+ Elements Organizer の新機能

Elements Organizer 13 を使用して、サポートする 32 ビット Windows、64 ビット Windows、Macintosh の 3 つのプラットフォームすべてで、電子メールを介してファイルを共有できます。Gmail、Yahoo!、AOL、Microsoft の電子メールアカウント、またはその他のあらゆる電子メールアカウントを使用して、ファイルを共有できます。

詳しくは、[電子メールを介したファイルとスライドショーの共有](#)を参照してください。

[ページの先頭へ](#)

割り付けグリッド

+ Elements Organizer の新機能

Elements Organizer 13 には、メディアグリッドを表示する新しい方法として割り付けグリッドを用意しています。割り付けグリッドを使用すると、メディアのエッジ同士が整列され、グリッドスペース全体がシームレスに塗りつぶされます。メディアの縦横比が常に維持されるので、目立つ隙間がなくなります。

割り付けグリッドは、通常のグリッドと比較すると、使用可能なグリッドスペースにより多くのメディアを表示します。ファイル名、タグ、日付/時間、アルバムとの関連付けなどのファイルの詳細は、割り付けグリッドビューには表示されません。

割り付けグリッドビューを切り替えるには、Ctrl+D (Windows) または Cmd+D (Mac) を押します。



Elements Organizer 13 の割り付けグリッド

[ページの先頭へ](#)

その他の機能強化





- + HiDPI と Retina ディスプレイのサポート


- + 64 ビット Windows のサポート



-  タグパネルの追加

廃止された機能

-  詳細検索ウィジェット
-  フォトメールサービス
-  スマートタグ
-  Canon/Epson/PIM プリンターに関連する一部の機能

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

Elements Organizer 12 の新機能

Adobe Revel でどこでもメディアにアクセス

タグ付け機能

その他の機能強化

Elements Organizer は、Adobe Photoshop Elements および Adobe Premiere Elements で利用できます。これらの製品の新しい機能については、以下を参照してください。

- [Photoshop Elements 12 の新機能](#)
- [Adobe Premiere Elements 12 の新機能](#)

Elements Organizer 12 には新機能が搭載され、デジタルメディアを簡単に操作できます。新機能の簡単な説明と、詳細情報が記載されているソースのリンクが記載されています。

[ページの先頭へ](#)

Adobe Revel でどこでもメディアにアクセス

Elements Organizer 12 の新機能

Photoshop Elements を使用すると、メディアを Adobe® Revel にアップロードし、様々なデバイスからアクセスできるようになります。Revel のライブラリに既に存在するメディアの場合は、Elements Organizer にダウンロードして作業することができます。

Adobe® Revel は、メディアをクラウドに保存してプライベートまたは一般に公開できるアプリです。

詳しくは、[この記事](#)を参照してください。



ローカルアルバムを Revel にアップロード

[ページの先頭へ](#)

タグ付け機能

Elements Organizer 12 で機能強化

Elements 12 では、高度なタグ付け機能が次のように強化されています。

- Elements 12 の場所タグは、GPS 座標が関連付けられます。これらの座標は、これらの場所にタグ付けられているメディアにも関連付けられます。
- メディアビューの右パネルから人物、場所、イベントタグを作成できます。
- 場所ビューで場所スタックを作成して表示できるようになりました。







場所別にスタックされたメディア


詳しくは、ヘルプトピックを参照してください。

- [人物、場所、イベントタグの操作](#)
- [場所ビューでの場所スタックの表示](#)

[ページの先頭へ](#)

その他の機能強化

-  メディアを名前のアルファベット順に並べ替えられるようになりました。詳しくは、この[ヘルプ記事](#)を参照してください。
-  メディアファイルを検索する方法を改善しました。詳しくは、この[ヘルプ記事](#)を参照してください。
-  Twitter を使用した写真配信のサポート
-  Mac OS での 64 ビットサポート

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

ワークスペースとワークフロー

ワークスペース

この記事の内容

[スタートアップスクリーン](#)

[ワークスペース](#)

[Elements Organizer のビュー](#)

[コンテキストメニューの使用](#)

[ショートカットキーと修飾キーの使用](#)

[操作の取り消し、やり直しまたはキャンセル](#)

[Photoshop Elements または Adobe Premiere Elements の終了](#)

[ページの先頭へ](#)

スタートアップスクリーン

初期設定では、Photoshop Elements または Adobe Premiere Elements を開始すると、スタートアップスクリーンが開きます。スタートアップスクリーンは、主な各種作業にアクセスするための出発点となる、便利なスクリーンです。



ボタンをクリックして、目的のワークスペースを開きます。例えば、Elements Organizer を起動して写真の読み込み、タグの追加、写真やメディアファイルの整理を行うには、「整理」をクリックします。または、Elements Editor を開いてメディアファイルの加工や特殊効果の追加を行う場合は、「写真の編集」をクリックします。スタートアップスクリーンは、ヘルプ/スタートアップスクリーンを選択することでいつでも開けます。他のワークスペースを開くため、スタートアップスクリーンに戻る必要はありません。

注意： *Photoshop Elements* と *Premiere Elements* のどちらかしかなくても、体験版をダウンロードできます。例えば、*Photoshop Elements* を購入した場合は、スタートアップスクリーンで *Premiere Elements* を選択できます - *Premiere Pro* の体験版のダウンロードを案内されます。

プログラムの直接起動

スタートアップスクリーンをスキップして、直接 Elements Organizer または Editor を起動するには、設定アイコンをクリックします。

「起動時に常に起動」ドロップダウンリストから、該当するオプションを選択します。



スタートアップスクリーン Elements を起動するときにスタートアップスクリーンを開始する場合は、このオプションを選択します。

整理 スタートアップスクリーンをスキップして、直接 Elements Organizer を起動するには、このオプションを選択します。

写真の編集 スタートアップスクリーンをスキップして、直接 Photoshop Elements Editor を起動するには、このオプションを選択します。

ビデオエディター スタートアップスクリーンをスキップして Premiere Elements Editor を直接起動するには、このオプションを選択します。

ボタンをクリックして、目的のワークスペースを開きます。例えば、Elements Organizer を起動して、写真の読み込み、タグの追加、または写真やメディアファイルの整理を行うには、「整理」をクリックします。または、Editor を起動して、メディアファイルの加工や、特殊効果の追加を行うには、「写真の編集」をクリックします。

ヘルプ/スタートアップスクリーンを選択すると、いつでもスタートアップスクリーンを開くことができます。他のワークスペースを開くため、スタートアップスクリーンに戻る必要はありません。

[ページの先頭へ](#)

ワークスペース

Elements Organizer を使用して、写真やメディアファイルを検索、整理および配信します。メディアビューでは、読み込んだメディアファイルのサムネールを表示できます。1 枚のメディアファイルのサムネールを拡大して表示したり、多数のメディアファイルのサムネールを縮小して表示することもできます。サムネールのサイズは、ズームスライダーを使用して指定します。

メディアビューには、すべての写真、読み込んだビデオ、PDF ファイルが表示されます。読み込んだアイテムは総合ウィンドウに表示され、簡単に参照したり、フィルターしたりできます。CD などのコンピューターの外部に保存したファイルのサムネールを表示することもできます。

タスクエリアの「かんたん補正」タブのツールを使用して、メディアファイルの一般的な問題を補正できます。

「作成」タブでは、プリントするフォトブックやコンピューターで表示するスライドショーなど、様々なプロジェクトを作成できます。

また、タスクエリアの「配信」タブのツールを使用して、写真、ビデオ、プロジェクトを他のユーザーと共有することもできます。



A Monitor B Search bar C Create and Share tabs D Importation E Albums and Folders panel F Star ratings filter G Task pane H Zoom in I Zoom out

Elements Organizer ワークスペースには、次のコンポーネントがあります。

メニューバー 作業を実行するためのメニューが含まれています。Elements Organizer では、ファイル、編集、検索、表示、ヘルプのように、トピック別にメニューが整理されています。

検索バー 条件を入力するか、ドロップダウンリストから特定の検索条件を選択して、写真またはメディアファイルを検索します。

作成および配信 「作成」をクリックすると、メディアファイルを使用して独創的なプロジェクトを作成する方法を試すことができます。「配信」をクリックすると、友達や家族とメディアファイルを共有するための様々な方法を確認できます。

「読み込み」ボタン 「読み込み」をクリックすると、Elements Organizer へのメディアの読み込みが開始されます。

アルバムとフォルダーのパネル 以前のバージョンのカタログから作成されたアルバムまたは読み込まれたアルバムは、アルバムパネルに表示されます。Elements Organizer でメディアを整理するため、アルバムを作成して、アルバムパネル内部でメディアを管理することができます。

フォルダーパネルには、Elements Organizer にメディアを読み込んだ、すべての物理フォルダーが表示されます。タスクエリアにある各ボタンをクリックして、非表示/表示することができます。

重要度フィルター メディアファイルに星の評価を付けることができます。これは、メディアを並べ替え、整理する際に役立ちます。例えば、被写体が気に入っている、優れた写真であるなど、様々な理由で写真に5つ星を付けることができます。

後ほど、このような5つ星の付いたすべての写真を並べ替えることができます。

メディアの並べ替え Elements Organizer 内のメディアは、次のパラメーターを使用して並べ替えることができます。

最も新しい：日付の最も新しいものから、最も古いものへとメディアを順に並べます

最も古い：日付の最も古いものから、最も新しいものへとメディアを順に並べます

名前：(Elements 12) 名前ごとに、アルファベット順 (A-Z) にメディアを並べます。

取り込み順：読み込んだバッチ処理の順にメディアを並べます。

アルバム順：ユーザーが選択した順にメディアを並べます。メディアの順序は、手動でドラッグして並べ替えることができます。

タスクエリア 場所、人物、イベントを追加するボタンや、スライドショーを作成するボタンが含まれます。Editor ボタンで Editor を起動して、写真やビデオを補正することもできます。詳しくは、[ワークスペース](#) を参照してください。

ステータスバー メディアビューのステータスバーには、選択しているアイテムの数と、メディアビューに含まれている全アイテム数が表示されます。このステータスバーには、表示されないメディアの数も表示されません。

[ページの先頭へ](#)

Elements Organizer のビュー

Elements Organizer には、5 つのビューが存在します。「ビュー」タブは、写真に写っている人物、撮影された場所、写真に関連のあるイベントに基づいてメディアを整理し、表示するのに役立ちます。

初めてメディアを読み込んだ場合、それらのファイルはメディアビューに表示されます。次に、写真に写っている顔をマークしたり、写真を撮影した場所を識別したり、イベントスタックを作成したりできます。これらの 4 つのビューを以下にリストします。



Elements Organizer のビュー

A. eLive eLive ビューには、記事、ビデオ、チュートリアル、その他の様々な情報が、Elements Organizer 内で学習、アイデア、ニュースなどのチャンネルごとに表示されます。

B. メディア このビューには、様々なメディアファイルが表示されます。このビューに含まれるファイルを表示したり、「かんたん補正」オプションを使用して写真を補正したり、「タグ/情報」オプションを使用して特定のファイルに関する情報を表示したり、その他の操作を実行したりできます。

C. 人物 写真に写っている人物をマークすることができます。人物ビューは、写真内で識別された人物に基づいてスタックを配置するのに役立ちます。

D. 場所 写真には、撮影場所と特別なつながりがあります。場所ビューでは、写真に場所をタグ付けできません。

E. イベント イベントの写真を含むイベントのスタックを作成できます。例えば、Dan の誕生日のイベントを作成して、このイベントの写真にタグを付けることができます。

[ページの先頭へ](#)

コンテキストメニューの使用

Elements Editor ワークスペースと Elements Organizer ワークスペースでは、どちらでもコンテキストメニューを使用できます。コンテキストメニューを使用して、使用中のツール、選択範囲、パネルなどに関連するコマンドを表示できます。

1. 画像またはパネルアイテムの上にポインターを置きます。
注意：一部のパネルにはコンテキストメニューがありません。
2. 右クリックまたは Ctrl キーを押しながらクリックして、メニューからコマンドを選択します。

[ページの先頭へ](#)

ショートカットキーと修飾キーの使用

Elements Editor ワークスペースと Elements Organizer ワークスペースでは、どちらでもショートカットキーを使用できます。標準編集で、ショートカットキーを使用すると、メニューを使用せずにコマンドをすばやく実行できます。修飾キーを使用すると、ツールの動作を変えることができます。ショートカットキーが使用可能な場合は、メニューのコマンド名の右側にショートカットキーが表示されます。

[ページの先頭へ](#)

操作の取り消し、やり直しまたはキャンセル

操作の多くは、取り消したり、やり直したりすることができます。この機能は、使用可能なメモリ容量によって制限されます。

1. 操作を取り消したり、やり直したりするには、タスクエリアで「取り消し」または「やり直し」を選択します。
2. 操作をキャンセルするには、実行中の操作が中断されるまで Esc キーを押し続けます。

[ページの先頭へ](#)


Photoshop Elements または Adobe Premiere Elements の終了

Photoshop Elements または Adobe Premiere Elements を終了するには、各ワークスペースを閉じます。一方のワークスペースを閉じて、他方のワークスペースは自動的に閉じません。

1. Windows® では、ファイル／終了を選択します。Mac® OS では、Adobe Elements 11 Organizer／Adobe Elements 11 Organizer を終了を選択します。
2. Editors を閉じるときは、開いているファイルを保存するか確認します。

アドビは次の機能も推奨します。

- Photoshop Elements ワークスペース
- Adobe Premiere Elements ワークスペース
- [イベントデータの追加と管理](#)
- [写真内の顔のマークと人物スタックの整理](#)
- [場所（位置）データの追加と管理](#)
- ナビゲーション時に使用するキー
- ツールの選択時に使用するキー

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

Elements Organizer と Adobe Premiere Elements の併用

Elements Organizer と Adobe Premiere Elements について

ワークエリアの配置

サポートされているメディアファイルの種類

[ページの先頭へ](#)

Elements Organizer と Adobe Premiere Elements について


次の方法で、Elements Organizer と Adobe® Premiere® Elements の間でファイルを共有できます。

- 写真、ビデオファイル、オーディオクリップを Elements Organizer 内で整理し、Adobe Premiere Elements Project パネルにドラッグします。
- メディアファイルを右クリックまたは Control キーを押したままクリックし、「Premiere Elements で編集」を選択します。
- Elements Organizer 内で、キャプション、トランジション、効果、ミュージック、ナレーション、グラフィック、およびタイトル付きのスライドショーを作成します。スライドショーを作成した後、Adobe Premiere Elements にそのスライドショーを取り込んで、さらに編集します。または、個別の写真またはビデオファイルを Adobe Premiere Elements に取り込んで、そこでスライドショーを作成することもできます。
- Adobe Premiere Elements を開いて、Elements Organizer の編集／Video Editor オプションを使用してビデオファイルを編集できます。
- Elements Organizer で DVD メニューテンプレートをカスタマイズして、Adobe Premiere Elements プロジェクトでテンプレートを使用します（DVD テンプレートとは、Adobe Premiere Elements のアプリケーションフォルダーに格納されている PSD ファイルです）。
- ビデオプロジェクトの設定を使用して Elements Organizer ファイルを作成し、Elements Organizer でファイルを加工し、Adobe Premiere Elements 内で使用します。また、Elements Organizer で「作成」タブを使用することでも、インスタントムービーやビデオストーリーを作成できます。

[ページの先頭へ](#)

ワークエリアの配置

Elements Organizer と Adobe Premiere Elements の間でファイルを共有するには、コンピューターのモニターに両方のアプリケーションを開いておくことが便利です。

1. Elements Organizer と Adobe Premiere Elements を開始します。
2. 画面が最大化されている場合は、各アプリケーションのウィンドウの右上にある、次の「元のサイズに戻す」ボタンをクリックします。 
3. 2つのアプリケーションのウィンドウを、少しだけ重なるようにして、横に並べて配置します。

ただし、「共有」タブで次のオプションにアクセスしようとする、Adobe Premiere Elements が起動します。

- ビデオ/DVD BluRay に書き込み
- オンラインビデオ配信
- 携帯電話

サポートされているメディアファイルの種類

Elements Organizer と Adobe Premiere Elements でサポートされているファイルの種類多くは共通しているため、2つのアプリケーション間で簡単かつ効率的にファイルを交換することができます。例えば、Photoshop (PSD) ファイルを Elements Organizer で作成し、そのファイルを Adobe Premiere Elements で静止画としてプロジェクトに追加できます。

Photoshop Elements と Adobe Premiere Elements でサポートされているすべてのファイルの種類は、Elements Organizer に読み込むことができます。ファイルのサポートは、インストールされたアプリケーション (Photoshop Elements と Adobe Premiere Elements) には依存しません。サポートされているファイルの種類のリストを次の表に示します。

画像	ビデオ	オーディオ
raw	3g2	aac
arw	avi	ac3
bmp	3gp	aif
cr2	dv	aiff
crw	m2t	m2a
srf	m2ts	m4a
dib	m2v	mp3
dng	m4v	wma (Windows のみ)
erf	mpeg	
wav	mod	
gif	mov	
sr2	mp4	
tif	mpg	
jpe	mts	
jpeg	swf	
jpg	tod	
kdc	vob	
mef		
mfw		
mos		


mrw		
nef		
orf		
x3f		
pdd		
pdf		
pef		
vda		
png		
psd		
pse		
pxr		
raf		
rle		

Photoshop Elements Editor、Adobe Premiere Elements、および Elements Organizer は、次のファイルの種類を認識しません。

Elements Organizer	Photoshop Elements Editor	Adobe Premiere Elements
LZW 圧縮した TIFF (.tif)	LZW 圧縮した TIFF (.tif)	MOD (.mod) Everio)
EPS (.eps)	Illustrator (.ai)	Illustrator
Windows Media (.wmv、.wma) - Mac OS ではサポートされていません。		AIFF (.aif)
Adobe Illustrator (.ai)		Dolby オーディオ (.ac3)
JPEG 2000		Windows Media (.wmv) - Mac OS ではサポートされていません。
Filmstrip (FLM)		AMR
Wireless BMP (WBM、WBMP)		
PCX		
Targa (TGA、VDA、ICB、VST)		
Photoshop RAW (RAW)		
PICT ファイル (PCT、PICT)		

Scitex CT (SCT)		
Photoshop EPS (EPS)		
EPS TIFF プレビュー (EPS)		
汎用 EPS (AI3、AI4、AI5、AI6、AI7、AI8、PS、EPS、AI、EPSF、EPSP)		
Mac OS のみ - IFF、Photoshop 2.0、Alias PIX、PICT Resource		
Flash ビデオ (.flv)		
AMR		

注意： *Elements Organizer* は、ビデオ AVI ファイルのカタログを正しく作成し、正常に再生します。ただし、オーディオ AVI ファイルは破損したビデオのサムネイルアイコンのように表示されます。また、*Photoshop* のファイルのスポットチャンネルで作成されたカラーは、*Elements Organizer* にファイルを読み込んだときに表示されません。

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

Elements Organizer での写真とビデオの表示

[メディアビューについて](#)

[メディアビューの表示環境設定の設定](#)

[メディアビューアイコン](#)

[メディアビューでファイルを並べ替え](#)

[メディアビューでのメディアファイルの表示と非表示](#)

[フォルダーごとのファイルの表示と管理](#)

[表示するメディアの種類の指定](#)

[ズームバーを使用したメディアサムネールのサイズ変更、更新、非表示](#)

[メディアビューでのファイルの選択](#)

[メディアファイルの詳細情報の表示と編集](#)

[ページの先頭へ](#)

メディアビューについて

メディアビューには、Elements Organizer の中心領域（グリッド）のメディアファイルのサムネールを表示します。アルバム、フォルダー、カテゴリにあるメディア（写真、ビデオファイル、オーディオファイルのサムネール）を表示できます。メディアビューでアイテムを選択して、タグを適用したり、プロジェクトに追加したり、編集することができます。

メディアビューは、デフォルトで表示されます。ただし、他のビューからメディアビューに切り替えるには、「メディア」タブをクリックします。


[ページの先頭へ](#)

メディアビューの表示環境設定の設定

1. 「メディア」タブをクリックして、メディアビューを開きます。
2. 次のいずれかの操作を行います。
 - (Windows) 編集／環境設定／一般を選択します。
 - (Mac OS) Adobe Elements Organizer / 環境設定／一般を選択します。
3. 必要に応じて次のような表示オプションを指定します。
 - プリントサイズ：メディアのプリントサイズを指定します。
 - 日付（時刻の新しい順）：同じ日付の写真を新しい写真から順に表示するには、「同じ日付のアイテムは時刻の新しい順に表示」を選択します。古い写真を最初に表示するには、「同じ日付のアイテムは時刻の古い順に表示」を選択します。
 - 日付の形式：写真のタイムスタンプに表示するデータ形式を選択します。言語によっては、このオプションは利用できません。
 - 写真のサイズ変更を許可：フォトブラウザーのスペースが許す限り、写真を実際のサイズの 100 %以上に拡大するには、「写真のサイズ変更を許可」を選択します。このオプションを選択解除すると、利用可能なスペースが残っている場合でも、写真が実際のサイズで表示されます。
 - システムフォントを使用：使用しているコンピューターのオペレーティングシステムのフォントを使用して Elements Organizer ユーザーインターフェイスのテキストを表示するには、「システムフォントを使用」を選択します。
 - サムネールの日付をクリックして日時を変更：写真の日時の詳細を編集するには、写真をクリックして、「サムネールの日付をクリックして日時を変更」を選択します。
 - すべての警告ダイアログボックスを初期化：以後、表示しないことにしたダイアログボックスを再度有効にするには、「すべての警告ダイアログボックスを初期化」をクリックします。
 - 初期設定値に戻す：このボタンをクリックすると、一般的な表示の環境設定が初期設定値に復元されます。

メディアビューアイコン

詳細オプションを選択した場合にだけ、次のアイコンのうち該当するものが表示されます。他のアイコンは常に表示されます。ファイルの詳細を表示するには、表示／詳細をクリックします。

スタックアイコン 

スタックされている写真のサムネールであることを示します。

バージョンセットアイコン 


スタックされている編集されたバージョンの写真のサムネールであることを示します。

ビデオシーングループアイコン 


ビデオシーングループのビデオシーンのサムネールであることを示します。

ビデオアイコン 


ビデオクリップのサムネールであることを示します。

オーディオアイコン 


サムネールにオーディオキャプションがあることを示します。

マルチプルキーワードタグアイコン 

メディアファイルに6つ以上のキーワードタグが適用されていることを示します。ポインタをタグアイコンに重ねると、適用されているキーワードタグが表示されます。

キーワードタグアイコン 


メディアファイルに特定のキーワードタグが適用されていることを示します。

アルバムアイコン 


アルバムであることを示します。

非表示の写真アイコン 

サムネールが非表示のファイルであることを示します。

プロジェクトアイコン 


サムネールがプロジェクトに使用されていることを示します。

フォトプロジェクトアイコン 

写真が複数ページのプロジェクトに含まれていることを示します。

重要度 

写真の重要度を5段階で表示します。

人物タグ 

写真に人物タグが追加されていることを示します。

スマートタグ  (Elements 12以前のバージョンのみ)

メディアファイルにスマートタグが適用されていることを示します。

メディアビューでファイルを並べ替え

- 並べ替えドロップダウンリストで選択できるオプションに基づいてメディアファイルを並べ替えることで、グリッド内で様々な方法でメディアファイルを表示できます。

次の「並べ替え」オプションから選択します。

取り込み順 メディアファイルを取り込んだ日時ごとに表示し、取り込み方法も表示します。

最も新しい 撮影日時や読み込み日時が新しい順にメディアファイルを表示します（メディアファイルの日付が同じ場合は、環境設定ダイアログボックスで指定しない限り、先に撮影されたメディアファイルから表示されます）。新しい順で表示すると、新しく取り込んだメディアファイルにタグを付ける場合に便利です。

最も古い 日付スタンプ順にメディアファイルを表示すると、日付に基づいて最初に読み込まれたファイルから表示されます。

ファイル名 名前のアルファベット順にメディアファイルを表示します。

メディアビューでのメディアファイルの表示と非表示

ハードディスクからメディアファイルを削除しなくても、メディアビュー内のビューで非表示にするよう、メディアファイルにマークを付けることができます。逆に、非表示のファイルを一時的に再表示したり、ファイルが常に表示されるよう、マークを削除したりすることもできます。

非表示にするメディアファイルの指定

1. 非表示にするメディアファイルを選択します。隣接する複数のファイルを選択する場合は、Shift キーを押しながら最初のメディアファイルと最後のメディアファイルをクリックして、グループ全体を選択します。隣接していない複数のファイルを選択する場合は、Ctrl キーを押しながら、ファイルを 1 つずつクリックして選択します。
2. 編集 / 表示 / 非表示 / 表示しないを選択し、非表示にするメディアファイルにマークを付けます。
選択したメディアファイルの左下に、非表示アイコンが表示されます。
3. Elements Organizer で選択したメディアファイルを非表示にするには、編集 / 表示 / 非表示を選択して、「非表示のファイルを隠す」を選択します。
サムネールを右クリック / Control キーを押しながらクリックして、コンテキストメニューから「表示 / 非表示」コマンドを選択することもできます。

非表示にしたメディアファイルの表示

- 編集 / 表示 / 非表示を選択して、次のいずれかの操作を行います。

すべてのファイルを表示 非表示のファイルと、非表示にされていないファイルを表示します。

非表示のファイルのみを表示 Elements Organizer で非表示のファイルのみを表示します。

サムネールを右クリック / Control キーを押しながらクリックして、コンテキストメニューから「表示 / 非表示」コマンドを選択することもできます。

メディアファイルの非表示アイコンの削除

1. メディアビューで、表示 / 非表示のファイル / すべてのファイルを表示を選択すると、非表示マークのメディアファイルが表示されます。
2. 非表示アイコンを削除するメディアファイルを選択します。
隣接する複数の写真を選択する場合は、Shift キーを押しながら最初の写真と最後の写真をクリックして、グループ全体を選択します。隣接していない複数の写真を選択する場合は、Ctrl キーを押しながら、写真を 1 つずつ選択します。
3. 編集 / 表示 / 非表示 / 表示するを選択します。
サムネールを右クリック / Control キーを押しながらクリックして、コンテキストメニューから「表示 / 非表示」コマンドを選択することもできます。

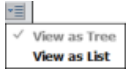
フォルダーごとのファイルの表示と管理

マイフォルダーパネルには、アルバム内でさらに整理できるメディアのフォルダーが表示されます。マイフォルダーパネルは、「アルバム」の下

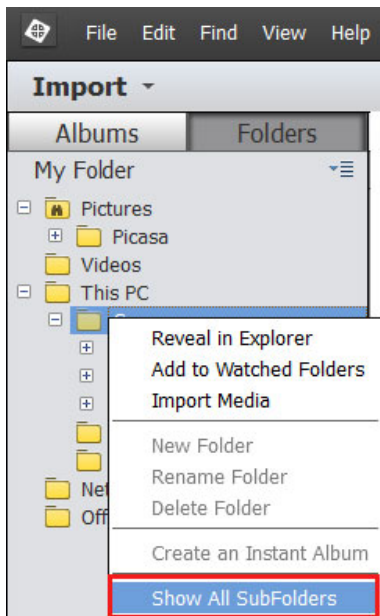
の左側に表示されます。このパネルから、フォルダーを管理したり、カタログにファイルを追加したり、チェックフォルダー（Windows のみ）ステータスからフォルダーの追加または削除を行うことができます。

フォルダー構造は、次の 2 つのビューで表示されます。

ツリービュー フォルダーパネルで、ツリービューとリストビューの間で切り替えます。ツリービューは、フォルダーにあるメディアの物理的な位置を確認するときに役立ちます。ツリービューでは、初期設定でフォルダーのサブフォルダーは表示されません。フォルダーを選択し、右クリックして「サブフォルダーをすべて表示」を選択し、フォルダーのサブフォルダーを表示します。





ツリービューとリストビューの間での切り替え



サブフォルダーの表示

統合フォルダービュー このビューは、初期設定でフォルダーパネルに表示されます。統合フォルダービューは基本構造であり、任意のフォルダーをクリックしてそのフォルダー内の使用可能なメディアを表示できます。

初期設定では、フォルダーパネルには、Elements Organizer に読み込まれたメディアのハードディスクにあるすべてのフォルダーが表示されます。

管理対象ファイルを含むフォルダーには、管理対象フォルダーアイコン  が付いています。管理対象ファイルとは、手動または自動でカタログに取り込まれたファイルを指します。チェックフォルダーには、チェックフォルダーアイコン  が付いています。

注意： チェックフォルダーのオプションはネットワークドライブでは無効です。チェックフォルダー機能は、Windows でのみ使用できます。

チェックフォルダーに保存されたファイルは、互換性のないものを除き、Elements Organizer に自動的に取り込まれます。管理対象フォルダーとチェックフォルダーの両方に指定されている場合は、これらの対象であることを表すアイコンが付いています。

マイフォルダーパネルで利用可能なオプションを使用して、フォルダー内のファイルを表示したり、異なる操作を実行したりできます。

1. フォルダー階層は、「マイフォルダー」タブの Organizer の左側に表示され、画像のサムネールはグリッドに表示されます。
2. メディアファイルを表示するフォルダーをクリックします。フォルダー内のファイルのサムネールがメディアビューのグリッドに表示されます。
3. フォルダーからアルバムにファイルを追加するには、フォルダーを選択し、グリッドから「アルバム」にメディアファイルをドラッグ&ドロップします。
4. ファイルとフォルダーを管理するには、マイフォルダーからフォルダーを選択し、次のいずれかの操作を行います。

- 別のフォルダーにファイルを移動する移動元のフォルダーを選択します。
- 別のフォルダーにファイルを移動するには、フォルダーパネルの移動先のフォルダーに、メディアビューのファイルのサムネールをドラッグします。
- エクスプローラーでフォルダーを表示するには、フォルダー階層パネルで右クリックするか、Control キーを押しながらクリックして、「エクスプローラーで表示」(Windows)または「Finder で表示」(Mac OS)を選択します。
- (Windows のみ) フォルダーをチェックフォルダーとして設定したり、設定を解除するには、フォルダー階層パネルでフォルダーを右クリックし、「チェックフォルダーとして追加」または「チェックフォルダーから削除」を選択します。
- フォルダーの名前を変更するには、フォルダーを右クリック/Control キーを押しながらクリックし、「フォルダー名の変更」を選択します。次に、新しい名前を入力します。
- フォルダーを削除するには、フォルダー階層パネルでフォルダーを右クリックするか、Control キーを押しながらクリックし、「フォルダーの削除」を選択します。
- フォルダーパネルでかんたんアルバムを作成できます。選択したフォルダー内のすべての画像が、かんたんアルバムに追加されます。フォルダー名でアルバムをすばやく作成するには、フォルダーを選択し、右クリックして、「かんたんアルバム作成」を選択します。

[ページの先頭へ](#)


表示するメディアの種類 の指定

- メディアビューで、表示/メディアの種類/[ファイルの種類]を選択します。

[ページの先頭へ](#)

ズームバーを使用したメディアサムネールのサイズ変更、更新、非表示

メディアファイルのサムネールのサイズを変更したり、別のアプリケーションでメディアファイルを編集した後でサムネールを更新したりすることができます。さらに、サムネールをすばやく回転して、ウィンドウに正しく表示されるようにできます。

- サムネールのサイズを徐々に変更するには、ズームバーのサムネールスライダーをドラッグします。
- できる限り小さなサムネールを表示するには、ズームバーをスライダーの最左端(開始点)に移動します。
- 1つのメディアファイルを表示するには、ズームバーをスライダーの最右端(終了点)の右に移動します。
- サムネール画像を更新するには、表示/表示の更新を選択します。
- 反時計回りに画像を回転させるには、タスクエリアで「左に回転」をクリックします。時計回りに画像を回転させるには、「右に回転」をクリックします。

[ページの先頭へ](#)

メディアビューでのファイルの選択

メディアビューで、作業対象のメディアファイルを選択します。選択したサムネールの枠が暗いブルーでハイライト表示されます。

- 次のいずれかの操作を行います。
 - アイテムを1つ選択するには、そのサムネールをクリックします。
 - 連続した複数のアイテムを選択するには、Shift キーを押しながら選択する範囲の最初のアイテムと最後のアイテムをクリックします。
 - 連続していない複数のアイテムを選択するには、Ctrl キー/Command キーを押しながらアイテムを1つずつクリックします。
 - メディアビューのすべてのアイテムを選択または選択解除するには、編集/すべてを選択、または編集/選択を解除を選択します。

[ページの先頭へ](#)


メディアファイルの詳細情報の表示と編集

メディアビューに各サムネールの詳細情報を表示することを選択できます。また、特定の詳細情報をどのように表示するか選択することもできま

す。また、オーディオキャプションなどのキャプションや日時に関する情報を追加および編集することができます。


メディアファイルの詳細情報の編集

メディアファイルに関連する情報を編集できます。例えば、日付、適用したタグ、ファイル名、キャプションおよびオーディオキャプションを編集できます。

- メディアビューで、次のいずれかの操作を行います。
 - テキストキャプションを編集または追加するには、表示／詳細を選択し、右クリックして、「キャプションを追加」を選択します。
 - オーディオキャプションを追加、再生または編集するには、表示／詳細を選択し、写真をダブルクリックします。オーディオキャプションを設定ボタン  をクリックします。
 - メディアファイルに割り当てられた日付を変更するには、サムネイルを選択し、編集／日時を変更を選択します。表示されるダイアログボックスのオプションを指定します。

シングルクリックで日付を変更することができます。この機能を有効にするには、編集／環境設定／一般 (Windows)、または *Adobe Elements Organizer* / 環境設定／一般 (Mac OS) を選択します。環境設定ダイアログで、選択します。日付をクリックし、必要な変更を加えます。

アドビは次の機能も推奨します。

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

写真表示に使用するキー（Elements Organizer）

このリストには、主なショートカットだけを示します。他のショートカットは、メニューコマンドやツールヒントに表示されます。

目的	ショートカット（Windows）	ショートカット（Mac OS）
フルスクリーン表示	F11	Cmd + F11
写真を並べて比較	F12	Cmd + F12
フルスクリーン表示または写真を並べて比較を終了	Esc	Esc
メディアビューの表示を更新	F5	Cmd + R
詳細の表示／非表示を切り替え	Ctrl + D	Cmd + D
タイムグラフの表示／非表示を切り替え	Ctrl + L	Cmd + L
スタックの写真を展開	Ctrl + Alt + R	Cmd + Alt + R



[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

写真編集に使用するキー（Elements Organizer）


このリストには、主なショートカットだけを示します。他のショートカットは、メニューコマンドやツールヒントに表示されます。

目的	ショートカット (Windows)	ショートカット (Mac OS)
最後の操作を取り消し	Ctrl + Z	Command + Z
最後の操作をやり直し	Ctrl + Y	Command + Y
コピー	Ctrl + C	Command + C
貼り付け	Ctrl + V	Command + V
すべてを選択	Ctrl + A	Command + A
選択を解除	Ctrl + Shift + A	Command + Shift + A
左に 90°回転	Ctrl + 左向き矢印	Command + 左向き矢印
右に 90°回転	Ctrl + 右向き矢印	Command + 右向き矢印
Photoshop Elements Editor での編集 (標準編集)	Ctrl + I	Command + I
プロパティパネルの表示	Alt + Enter	Alt + Enter
写真の日時の調整	Ctrl + J	Command + J
キャプションを追加	Ctrl + Shift + T	Command + Shift + T
サムネールを更新	Ctrl + Shift + U	Command + Shift + U
写真をデスクトップの壁紙として設定	Ctrl + Shift + W	
カラー設定ダイアログボックスを開く	Ctrl + Alt + G	Command + Alt + G
Premiere Elements Editor でファイルを開く	Ctrl + M	Command + M
ズームイン	Ctrl + +	Command + +
ズームアウト	Ctrl + -	Command + -
OK	Enter	Enter

キャンセル

Esc

Esc

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

写真の検索時に使用するキー

このリストには、主なショートカットだけを示します。他のショートカットは、メニューコマンドやツールヒントに表示されます。

目的	ショートカット (Windows)	ショートカット (Mac OS)
期間を設定	Ctrl + Alt + F	Cmd + Alt + F
期間を削除	Ctrl + Shift + F	Cmd + Shift + F
キャプションまたはメモで検索	Ctrl + Shift + J	Cmd + Shift + J
ファイル名で検索	Ctrl + Shift + K	Cmd + Shift + K
日付または時間が不明なアイテムを検索	Ctrl + Shift + X	Cmd + Shift + X
タグなしアイテムを検索	Ctrl + Shift + Q	Cmd + Shift + Q



[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

国または地域の選択

この記事の内容

[国または地域の選択](#)

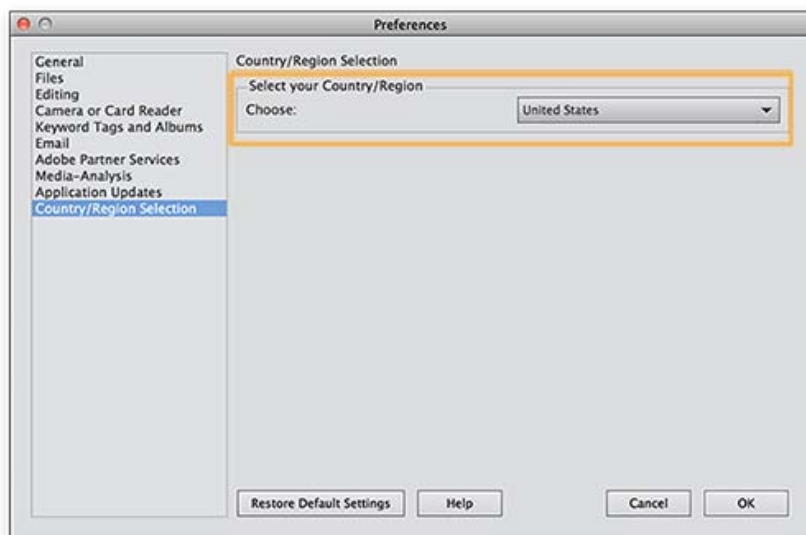
[ページの先頭へ](#)

国または地域の選択

Adobe Photoshop Elements または Adobe Premiere Elements をインストールする際には、国または地域を指定します。一部のオンラインサービスは、この設定に左右されます。例えば、プリント注文を受け付けるパートナーが国によって異なることがあります。

国または地域は「環境設定」画面で更新でき、国や地域を変更するためにソフトウェアを再インストールする必要はありません。

1. 編集／環境設定／国／地域を選択（Windows）またはAdobe Elements Organizer／環境設定／国／地域を選択（Mac OS）を選択します。



2. 一覧から国または地域を選択します。
3. 「OK」をクリックします。

Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

読み込み

メディアの一括読み込み



この記事の内容

[一括読み込みインターフェイスの起動](#)

[メディアファイルの読み込み](#)

[キーワードの読み込み](#)

[読み込み中にメディアファイルのキーワードを置き換える](#)

[新しいキーワード名札として取り込む](#)

[既存のキーワード名札を使用する](#)

注意： *Elements Organizer 14* では、従来のリリースの検索による読み込み機能に代わって一括読み込み機能が用意されました。

Elements Organizer 14 では、簡単に大量のメディアファイルを一度に読み込めます。

一括読み込み機能の直感的なビジュアルインターフェイスにより、メディアファイルの読み込み先フォルダーを簡単に選択できます。また、メディアファイルのプレビュー、読み込み先フォルダーまたはサブフォルダーの選択、読み込むキーワードタグの選択も実行できます。

[ページの先頭へ](#)

一括読み込みインターフェイスの起動

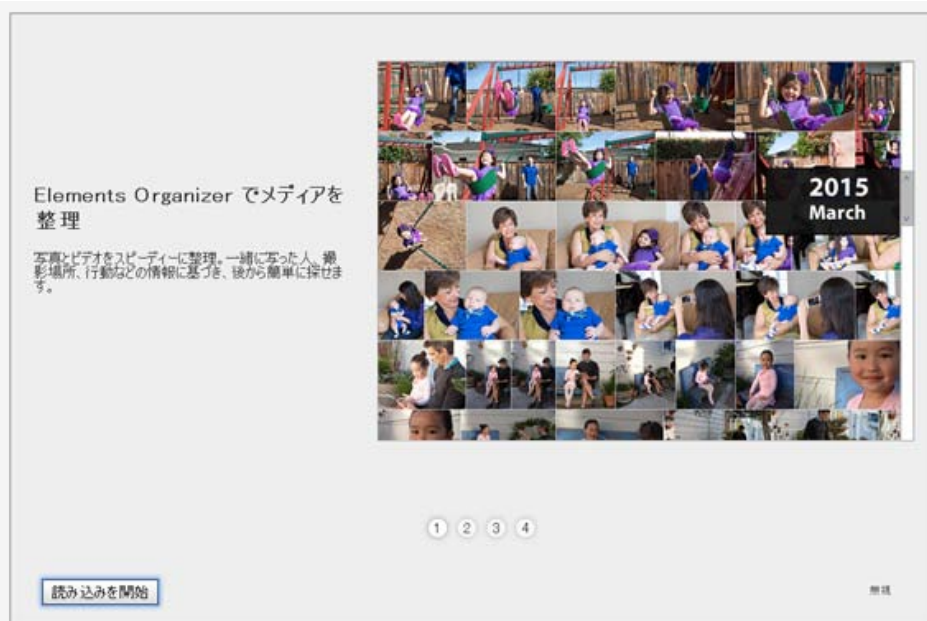
Elements Organizer の使い始め体験の一環として、*Elements Organizer* の初回起動時または新規カタログ作成時には一括読み込み機能が自動で起動されます。

また、この機能は読み込み／一括を選択することでいつでも起動できます。

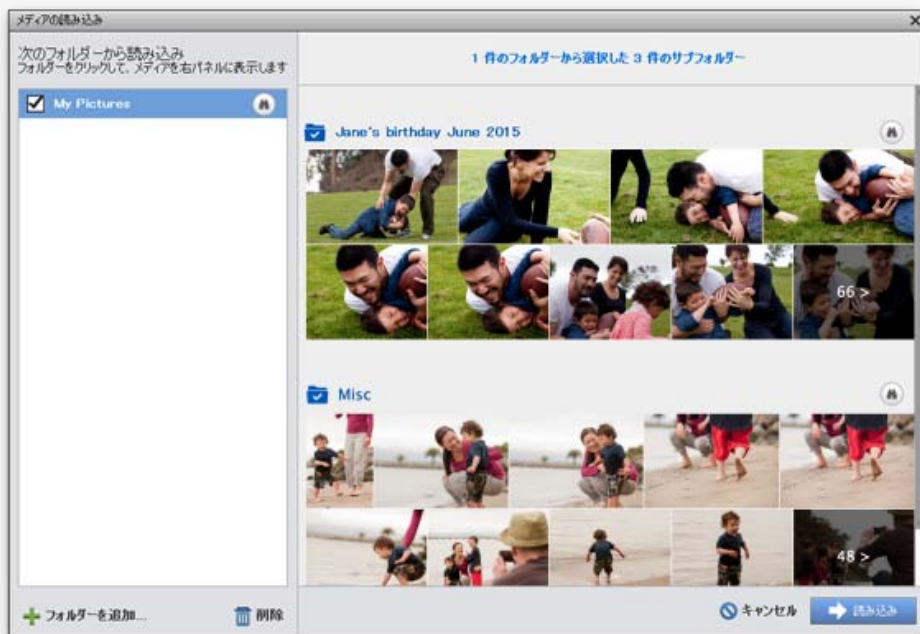
自動起動

[読み込み／一括を選択する](#)

一括読み込み機能は、*Elements Organizer* の初回起動時または新規カタログ作成時に自動で起動されます。

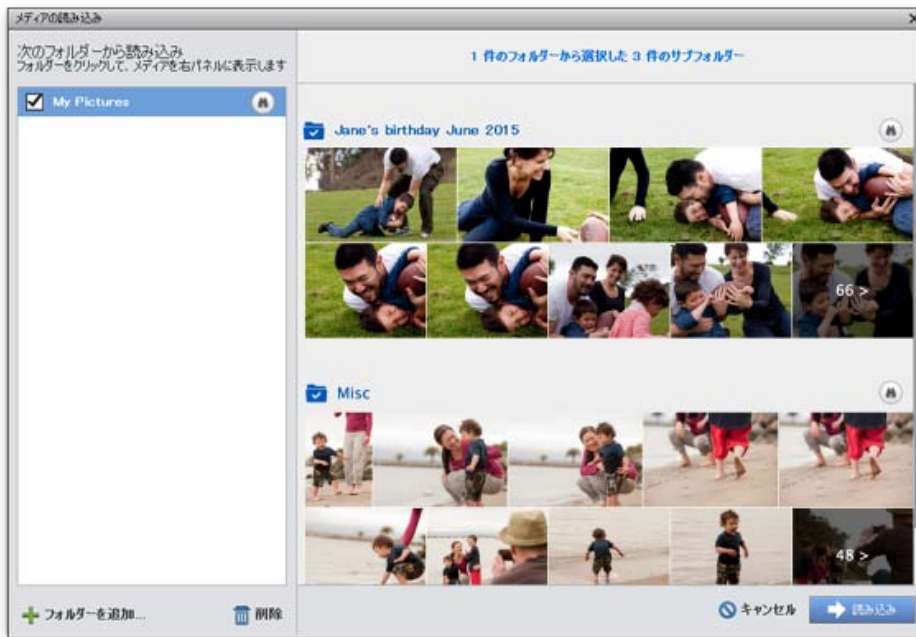


「読み込みを開始」をクリックします。ファイルの読み込みダイアログボックスが表示されます。初期設定では、読み込み元として「ピクチャ」フォルダー（Mac OS）、「ピクチャ」または「マイピクチャ」（Windows）フォルダーが選択されます。



メディアファイルを読み込むには、「読み込む」をクリックします。
詳しくは、次のセクションの[メディアファイルの読み込み](#)を参照してください。

1. メディアの読み込みダイアログボックスの左パネルで、メディアファイルの読み込み元フォルダーを選択します。

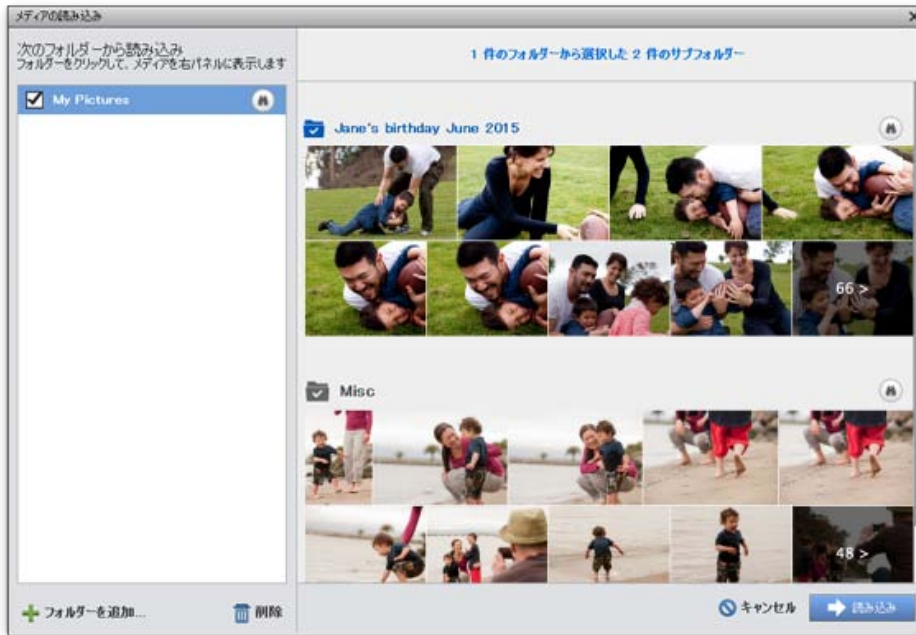


直感的なビジュアルインターフェイスにより、簡単に様々なフォルダーから大量のメディアファイルを読み込めます。

初期設定では、マイピクチャまたはピクチャフォルダー（Windows）、ピクチャフォルダー（Mac OS）が表示されます。メディアファイルが含まれているサブフォルダーがあれば、含まれているファイルと共にそのサブフォルダーも表示されます。

トラック右下の数字（前図の「48」など）は、フォルダー内に存在していて読み込みが可能だがトラックに表示されていないメディアファイルの数を示しています。フォルダー内の全メディアファイルの一覧をプレビューするには、トラック右下の矢印（>）をクリックします。

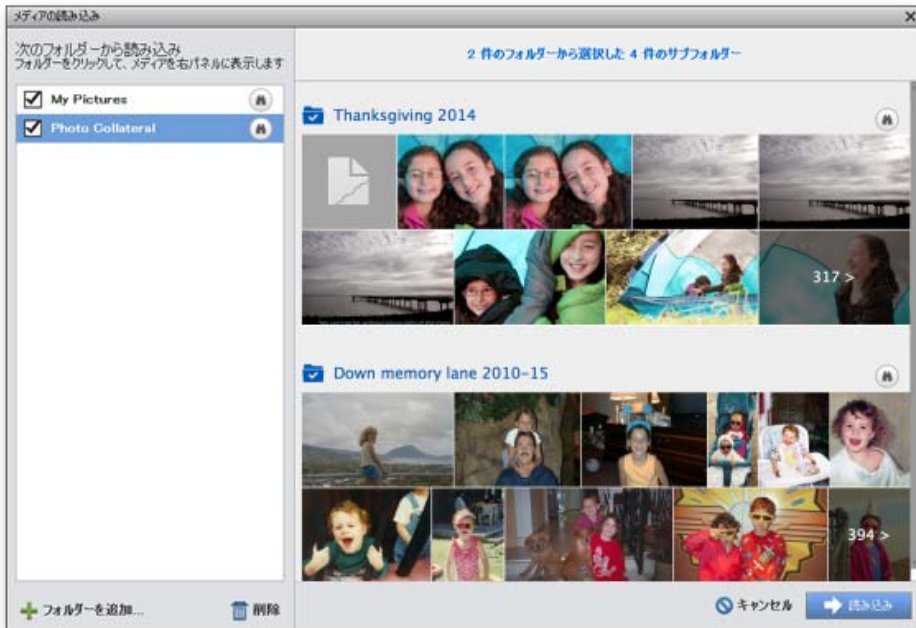
2. 初期設定では、すべてのサブフォルダーが選択されます。読み込み対象から1つ以上のサブフォルダーを削除する場合は、サブフォルダーの名前をクリックします。名前が青くハイライトされているものが削除されるサブフォルダーで、そのサブフォルダー内のメディアファイルが読み込まれないことを示しています。



注意： ハイライトが削除されたフォルダー名を確認する場合は、マウスカーソルがそのフォルダーの名前の上にならないようにしてください。

3. メディアファイルの読み込み元フォルダーを追加するには、「フォルダーを追加」をクリックします。追加するフォルダーへ移動し、「OK」をクリックします。

次の例では、Photo Collateral という新しいフォルダーが表示されています。Photo Collateral フォルダー内のサブフォルダー（Thanksgiving 2014 や Down memory lane 2010-15）が初期設定で選択されています。

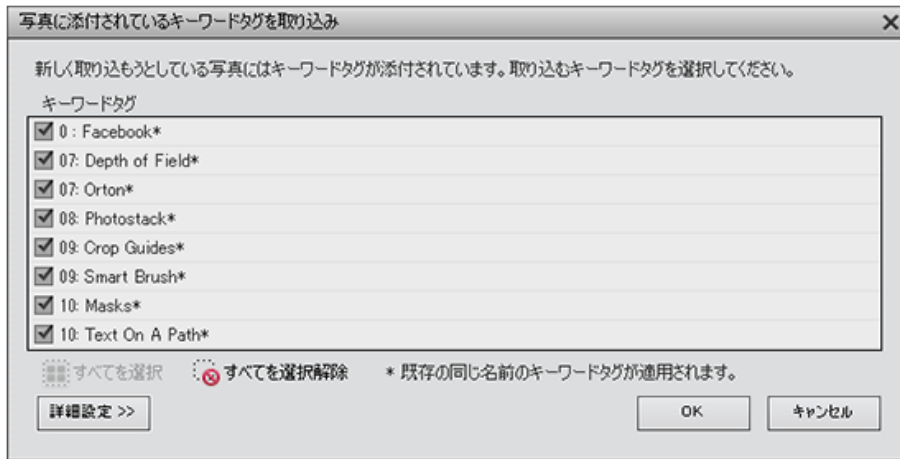


4. 一覧からフォルダーを削除するには、削除するフォルダーを選択し、「削除」をクリックします。
5. メディアファイルの読み込み元となるフォルダーとサブフォルダーを選択したら、「読み込み」ボタンをクリックします。

指定したフォルダーとサブフォルダーからメディアファイルが読み込まれます。

キーワードの読み込み

メディアファイルに関連付けられているキーワードがある場合は、ファイルの読み込み後にそうしたキーワードを保持するかどうかの確認が求められます。



読み込むメディアファイルに含まれているキーワードを選択し、「OK」をクリックします。

読み込み中にメディアファイルのキーワードを置き換える

また、メディアファイルのキーワードを、選択した他のキーワードに置き換えることもできます。例えば、「被写界深度」を「遠近」という新しいキーワードに置き換えることができます。または、メディアファイルのキーワードを以前作成したキーワード（名札）のどれか（「自然」など）に置き換えることができます。

キーワードを置き換えるには、「詳細設定」をクリックします。写真に添付されているキーワード名札を取り込みダイアログボックスが更新され、キーワードを置き換えるためのオプションが表示されます。



キーワードは次のいずれかの方法で変更できます。

- [新しいキーワード名札として読み込む](#)

- 既存のキーワード名札を使用する

新しいキーワード名札として取り込む

メディアファイルに含まれているキーワードをまったく新しいキーワードに置き換えるには：

次の例では、「Too Bright」（明るすぎ）というキーワード名札が「Overexposed」（露出オーバー）という新しいキーワードに置き換えられています。

1. 「キーワード名札」列のキーワードの名前を選択します。
2. 「新規キーワード名札として取り込み」列のラジオボタンを選択し、新しいキーワード名を入力します。
3. 「OK」をクリックします。

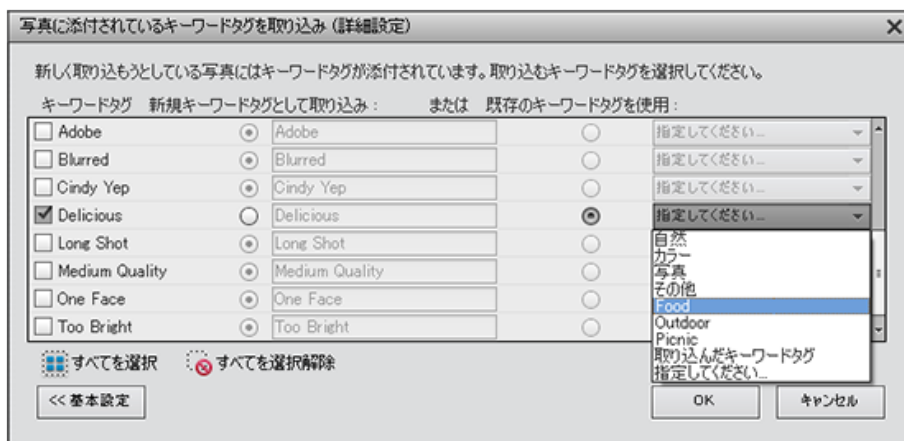


既存のキーワード名札を使用する

メディアファイルに含まれているキーワードタグを Elements Organizer に存在するキーワードタグに置き換えるには：


次の例では、「Delicious」（美味）というキーワードが「Food」（食べ物）に置き換えられています。

1. 「キーワード名札」列（先頭の列）でキーワードを選択します。
2. 「既存のキーワード名札を使用」列（3 番目の列）の該当するラジオボタンを選択し、既存のキーワードを選択します。
3. 「OK」をクリックします。



注意： ドロップダウンメニューに表示されるキーワードは、作成済みのすべての既存のキーワードと、*Elements Organizer* に初期設定で収録されている次のキーワードです。

- 自然
- カラー
- 写真
- その他

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

カメラおよびカードリーダーからのメディアの読み込み

カメラおよびカードリーダー

デジタルカメラまたはカードリーダーからのメディアファイルの取り込み

写真ダウンロードオプションの詳細設定の指定

カメラおよびカードリーダーの環境設定

携帯電話からの読み込み

[ページの先頭へ](#)

カメラおよびカードリーダー

デジタルカメラやカードリーダーからメディアファイルをダウンロード（コピー）するには、いくつかの方法があります。

- フォトダウンローダーダイアログボックスのオプションを使用して、デジタルカメラまたはカードリーダーから直接 Elements Organizer にメディアファイルをコピーして読み込みます。この方法は、迅速かつ簡単で、また、メディアファイルを読み込み時に整理することができるのでお勧めします。
- デジタルカメラ付属のソフトウェアを使用して、コンピューターに写真をダウンロードします。次に、「読み込み/カメラまたはカードリーダーから」を選択して、Elements Organizer に読み込みます。
- カメラまたはカードリーダーがマイコンピューターでドライブとして表示される場合は、ファイルをマイコンピューターからドラッグして、メディアビューのワークスペースに直接ドロップできます。または、ハードディスク上の任意のフォルダーにファイルをドラッグし、Elements Organizer の「読み込み/ファイルやフォルダーから」を使用して、Elements Organizer に読み込みます。

メディアファイルをコンピューターにダウンロードする前に、必要に応じて、カメラ付属のソフトウェアドライバーをインストールします。また、Elements Organizer でデジタルカメラとカードリーダーの環境設定を行います。

[ページの先頭へ](#)

デジタルカメラまたはカードリーダーからのメディアファイルの取り込み

この処理に関するビデオについては、http://www.adobe.com/go/lrvid2311_pse10_jp を参照してください。

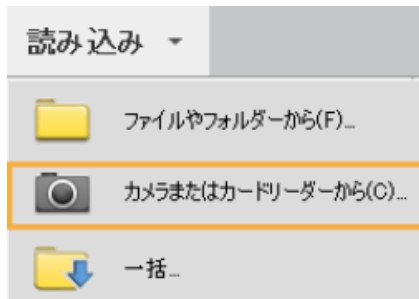
1. カメラまたはカードリーダーをコンピューターに接続します（必要に応じて、デバイスに付属の説明書を参照してください）。

（Windows）Windows 自動再生ダイアログボックスが開き、写真を取り込むオプションのリストが表示されます。

注意：（Windows）自動再生が有効な場合、Windows 自動再生ダイアログボックスが開き、写真を取り込むオプションのリストが表示されます。Windows 自動再生ダイアログボックスで、「整理と編集」の「Adobe Elements Organizer 11 使用」を選択します。Elements Organizer を起動していない場合、フォトダウンローダーダイアログボックスが開きます。「取り込み」をクリックします。Elements Organizer が起動し、メディアファイルが取り込まれます。

2. Windows 自動再生ダイアログボックスで、「Elements Organizer 11」オプションを選択します。

Elements Organizer が実行中であれば、フォトダウンローダーダイアログボックスが開きます。読み込み／カメラまたはカードリーダーからをクリックするか、ファイル／写真とビデオの取り込み／カメラまたはカードリーダーからを選択して、フォトダウンローダーを開くこともできます。



3. 「フォトダウンローダー」ダイアログボックスの「ソース」で、「写真の取り込み元」ドロップダウンリストを使用してコピー元または読み込み元を選択します。

注意： ドロップダウンリストから「リストを更新」オプションを選択すると、使用可能なカメラまたはカードリーダーの一覧が更新されます。

4. 「取り込み設定」エリアで、次のオプションを設定します。

保存先 メディアファイルのダウンロード先フォルダーを指定します。初期設定の場所を変更するには、「参照」をクリックして新しい場所を指定します。

サブフォルダーを作成 ポップアップメニューから選択した命名方法でサブフォルダーを作成します。「カスタム名」を選択した場合は、ボックスにサブフォルダー名を入力します。

説明：（Windows のみ）キーボードショートカットを使用してサブフォルダーを作成（Alt+C キー）したりファイルの名前を変更（Alt+R キー）する場合、スペースバーを押してメニューを展開します。矢印キーを使用して、オプションを選択します。

ファイル名を変更 ポップアップメニューから選択した命名方法を使用して、ファイル名を変更します。カスタム名を指定する場合、基本のファイル名と、メディアファイルのファイル名の連番に割り振る最初の番号を入力します。

注意：入力した名前が存在している場合は、コピーした画像のファイル名の末尾に「-1」または該当するその他の番号が付けられます。

現在のファイル名を XMP で保持 このオプションを選択すると、メディアファイルのメタデータに保存するファイル名として、現在のファイル名が使用されます。

削除オプション コピー完了後にカメラまたはカード内のメディアファイルをそのまま保持するか、確認してから削除するか、コピーしたら直ちに削除するかを選択します。ファイルを自動的に削除すると、カメラでメディアファイルを削除する手間を省くことができます。Elements Organizer に読み込まれていないメディアファイルはデバイスから削除されません。

自動ダウンロード（Windows のみ） 次回、Windows 自動再生ダイアログボックスで Elements Organizer 11 を選択したときに、メディアファイルが即座に取り込まれます。このオプションでは、カメラまたはカードリーダー環境設定で指定した自動ダウンロードの値が使用されます。

5. さらに詳細なダウンロードオプションを設定するには、「詳細設定」ボタンをクリックし

ます。

6. 「取り込み」をクリックします。

メディアファイルがハードディスクにコピーされます。コピーしたメディアファイルにキーワードメタデータが含まれている場合は、写真に添付されているキーワードタグを取り込みダイアログボックスが表示され、タグをコピーするかどうかを指定できます。

7. ファイルを正常にコピーしましたダイアログボックスで、「OK」をクリックします。メディアブラウザに新しいファイルのみを表示するよう選択することができます。

この設定はいつでも変更できます。Elements Organizer で、Windows の場合、編集／環境設定／カメラまたはカードリーダーを選択します。Mac OS の場合、Adobe Elements Organizer 11／環境設定／カメラまたはカードリーダーを選択します。

[ページの先頭へ](#)

写真ダウンロードオプションの詳細設定の指定

Adobe フォトダウンローダーの詳細設定ダイアログボックスには、標準ダイアログボックスのすべてのオプションと、その他のオプションがあります。例えば、デバイスに保存されたすべてのメディアファイルを表示したり、取り込む前のビデオをプレビューしたりできます。著作権情報のメタデータを追加したり、取り込んだ写真のアルバムを指定したり、画像の取り込み時に赤目を自動修正したりすることもできます。このダイアログボックスで指定した設定は、初期化しない限り、保持されます。

1. 標準のフォトダウンローダーのダイアログボックスで、「詳細設定」ボタンをクリックします。

デバイスに格納されたファイルのサムネイル画像が表示されます。

2. 種類の異なるファイルの表示／非表示を切り替えるには、画像ボタン、ビデオボタン、またはオーディオボタンをクリックします。デバイス内に重複ファイルが存在する場合は、複製ボタンも使用可能になります。

注意： 重複ファイルとは、Elements Organizer 内に既に存在するファイル、またはハードディスクに既にコピーされたファイルです。重複ファイルをダウンロードすると、それらのファイルはハードドライブにコピーされますが、Elements Organizer には追加されません。

3. メディアファイル（写真またはビデオ）を選択すると、次のいずれかの操作によりダウンロードされます。

- メディアファイルを個別に選択するには、各サムネイルの下にあるボックスをクリックします。
- 複数のメディアファイルを選択するには、サムネイルを囲むように長方形をドラッグします。その後、右クリックまたは Control キーを押したままクリックし、「選択した写真をチェック」をクリックします。または、選択したいいずれかのメディアファイルの下にあるボックスをクリックすると、すべてがオンになります。
- すべてのメディアファイルを選択するには、「すべてをチェック」をクリックします。すべての画像の選択を解除するには、「すべてのチェックをはずす」をクリックします。

4. 1 つまたは複数のメディアファイルを回転するには、メディアファイル（チェックボックスではない）をクリックして選択します。左に回転ボタン または右に回転ボタン をクリックします。

5. 「保存オプション」セクションで、次のいずれかを選択します。

- メディアファイルのコピー先を指定します。「参照」をクリックして、目的の場所に移動します。

注意： 標準設定ダイアログボックスに切り替えると、カスタムグループ設定は失われます。

- サブフォルダーを作成メニューから、サブフォルダーの命名オプションを選択します。「カスタムグループ（詳細）」オプションを指定すると、グループ名ボックスで選択したグループ名の形式で、サブフォルダー名が作成されます。グループ名をキーワードタグとして使用すると、カテゴリ内で写真を検索および区別するのに役立ちます。
- 読み込み中にメディアファイルの名前を変更する場合は、名前の変更メニューから命名規則を選択します。「名前の変更の詳細」オプションで、条件に基づいてファイルの名前を変更できます。カスタム名を指定する場合、基本のファイル名と、メディアファイルのファイル名の連番に割り振る最初の番号を入力します。

注意： 入力した名前が存在している場合は、コピーした画像のファイル名の末尾に「-1」または該当するその他の番号が付けられます。

6. 「詳細オプション」セクションで、次のいずれかを選択します。

自動赤目修正 選択したすべての写真に、自動赤目修正コマンドが適用されます。

注意： 多数の画像ファイルから自動的に赤目を除去すると、写真の読み込みにかかる時間が増加します。

自動的に写真をスタック 選択した写真が、見た目の類似性に基づいて類推される写真スタックに配置されます。

注意： カメラ、カードリーダーまたは携帯電話からメディアファイルをダウンロードしているとき、読み込み処理中にメディアファイルを写真のスタックに整理することをお勧めします。

グループのカスタム名をキーワードタグとして作成 指定したグループのカスタム名が、選択した写真にキーワードタグとして適用されます。このオプションは、カスタムグループに対してカスタム名を指定した場合にのみ使用してください。ダウンロードする際にキーワードタグを割り当てておくと、Elements Organizer で簡単に写真を検索することができます。

アルバムへ読み込み 写真を読み込む先のアルバムを指定または作成できます。「設定」をクリックしてアルバムを選択または作成して、「OK」をクリックします。

注意： フォトダウンローダーセッション（1回）につき、読み込み先とするアルバムは1つに限られます。

7. 「詳細オプション」セクションの下のメニューから、写真をコピーした後にElements Organizer で行う処理を指定するオプションを選択します。元のファイルのみを残すか、正常に読み込まれたことを確認して元のファイルを削除するか、または元のファイルを即座に削除するかを選択します。
8. メタデータを追加するには、使用するテンプレートを選択し、次のフィールドに値を入力します。

作成者 ファイルの作成者を指定します。このフィールドに入力された情報は、ファイルに含まれる作成者メタデータに追加されます。

Copyright 日付、および写真を保護するための情報を指定します。このフィールドに入力された情報は、ファイルに含まれる著作権情報のメタデータ内に既に存在するデータをすべて上書きします。

9. (オプション) (Windows のみ) デバイスを接続した後、Elements Organizer でメディアファイルから自動的にダウンロードするには、「自動ダウンロード」を選択します。自動ダウンロードオプションは、カメラまたはカードリーダーの環境設定で設定します。
10. 「取り込み」をクリックします。

カメラおよびカードリーダーの環境設定

Elements Organizer では、デバイスの環境設定を行うことができます。デバイスを接続したときに表示される Windows 自動再生ダイアログボックスの「Elements Organizer 11」オプションを選択すると、その環境設定が適用されます。環境設定は、ユーザーが変更するまで変更されません。別のデジタルカメラやカードリーダーを使用する場合は、使用する周辺機器に適した環境設定を行っていることを確認してください。

1. Elements Organizer で、（Windows の場合）、編集／環境設定／カメラまたはカードリーダーを選択します。Mac OS の場合、Adobe Elements Organizer 11／環境設定／カメラまたはカードリーダーを選択します。
2. ファイル固有の取り込みオプションを設定します。

ファイル保存先 ファイルをハードディスクにコピーするかどうかを指定します。別の保存先を指定するには、「参照」ボタンをクリックします。

自動赤目修正 ファイルをダウンロードしながら赤目修正を行います。

自動的に写真をスタック 類似性と日付に応じて、写真スタックを提示させます。

グループのカスタム名をキーワードタグとして作成 指定したグループのカスタム名が、選択した写真にキーワードタグとして適用されます。このオプションは、カスタムグループに対してカスタム名を指定した場合にのみ使用してください。ダウンロードする際にキーワードタグを割り当てておくと、Elements Organizer で簡単に写真を検索することができます。

3. 特定の周辺機器のオプションを設定するには、デバイスプロファイルを選択し、「編集」をクリックします。表示されるメニューからダウンロードオプションを選択し、「OK」をクリックします。このリストからデバイスを削除するには、そのデバイスを選択し、「削除」をクリックします。
4. （Windows のみ）自動ダウンロードの初期設定値を指定するには、次のいずれかのオプションを設定します。

ダウンロードを開始 デバイスが接続された後、ダウンロードの開始時期を指定します。

サブフォルダーを作成 異なる日付に撮影されたメディアファイルを含むフォルダーを分離するかどうか、またその分離および名前付けの方法を指定します。

削除オプション 写真をハードディスクにコピーした後、カメラから元のメディアファイルを削除するかどうか、またどのように削除するかを指定します。

新しいファイルのみコピー（読み込み済みのファイルを無視） 既にハードディスクにあるファイルは無視します。

設定を変更する場合やメディアファイルの取り込みに問題がある場合には、「初期設定値に戻す」をクリックしてオリジナルの環境設定を復元することができます。

携帯電話からの読み込み

カメラが内蔵されている携帯電話を使用している場合、機種によってはメディアファイルをカタログに取り込

むことができます。携帯電話でメディアファイルを保存するときは、カタログに取り込むことができるファイル形式で保存する必要があります。携帯電話で使用されているファイル形式を正確に確認するには、携帯電話付属の説明書を参照してください。

リムーバブルフラッシュまたはメモリカードにメディアファイルを保存する携帯電話の場合、Adobe フォトダウンローダーを使用してメディアファイルを Elements Organizer 11 に読み込みます。携帯電話での写真の保存方法については、携帯電話付属の説明書を参照してください。

携帯電話からカタログに写真を取り込むには、次のいずれかの方法を使用します。


直接接続 リムーバブルフラッシュまたはメモリカードにメディアファイルを保存する携帯電話の場合、Adobe フォトダウンローダーを使用すると、携帯電話から Elements Organizer 11 に直接メディアファイルを読み込むことができます。携帯電話での写真の保存方法については、携帯電話付属の説明書を参照してください。

ケーブルまたはワイヤレス転送 ケーブル転送またはワイヤレス転送を使用して画像をコンピューターのハードディスクに転送します。詳しくは、携帯電話メーカーに問い合わせるか、携帯電話に付属の説明書を参照してください。コンピューターに写真を転送した後、ファイル／写真とビデオの取り込みをクリックして、メディアファイルをカタログに読み込みます。一部の携帯電話のカメラでは、ケーブルやワイヤレスで接続したときに Adobe フォトダウンローダーが自動的に表示されます。

注意：Mac OS では、ダウンローダーは自動的に起動されません。

注意：携帯電話の機種によっては、コンピューターへのメディアファイルの取り込みが上記の方法ではできない場合もあります。使用できるオプションについては、携帯電話メーカーに問い合わせるか、携帯電話に付属の説明書を参照してください。また、最新情報については、Adobe の Web サイトを参照してください。

- Elements Organizer への写真やビデオの取り込み
- ファイルやフォルダーからメディアファイルを取り込む
- 写真のダウンロード中のアルバムの指定

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

ファイルおよびフォルダーからのメディアの読み込み

ファイルおよびフォルダーからのメディアの読み込み

ファイルの環境設定

メディアファイルに付けられたタグの読み込み

[ページの先頭へ](#)

ファイルおよびフォルダーからのメディアの読み込み

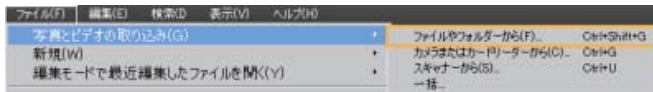
お使いのコンピューター、CD/DVD、リムーバブルドライブまたはネットワーク上の場所から写真やビデオを Elements Organizer に読み込み、様々な方法で管理することができます。例えば、写真でアルバムを作成したり、写真に写っている人物にタグを付けたりできます。

メディアファイルを読み込むときに、Elements Organizer はカタログ内にメディアファイルへのリンクを作成します。指定するまでは、オリジナル画像のコピーや移動は行いません。CD や DVD またはスキャナー、カメラ、カードリーダー、携帯電話などの周辺機器からメディアファイルを読み込む場合、初期設定では、Elements Organizer によってメディアファイルがハードディスク上のフォルダーにコピーされた後で、このコピーへのリンクが作成されます。

注意： オリジナルファイルをハードディスクから削除すると、カタログにサムネイルが残っていても、画像を編集できなくなります。

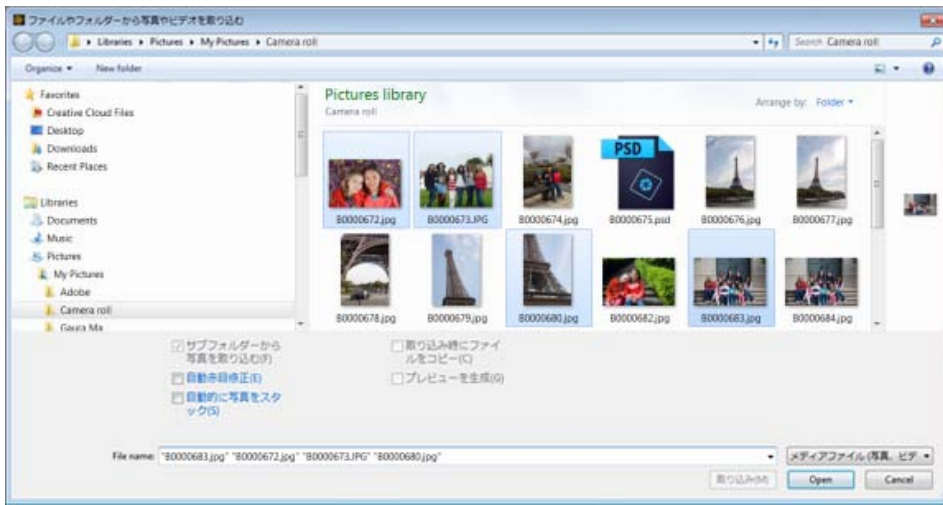
1. 「読み込み」をクリックします。
2. 「ファイルやフォルダーから」を選択すると、特定のファイルやフォルダーからメディアを読み込みます。フォルダーには、お使いのコンピューター、外部ドライブ、ペンドライブ、またはネットワークを指定できます。

注意： その他に、ファイルやフォルダーからメディアを読み込むには、ファイル/写真とビデオの取り込み/ファイルやフォルダーからを選択することもできます。

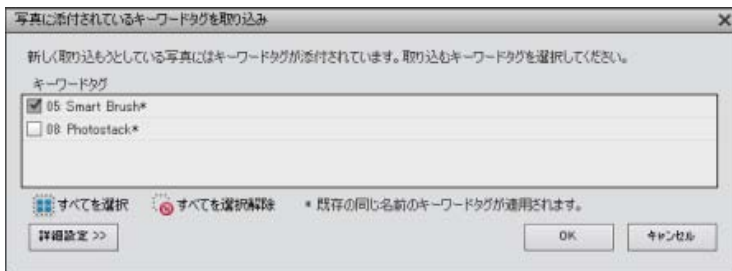


写真とビデオの取り込み

3. ファイルやフォルダーから写真とビデオを取り込むダイアログボックスで、メディアを選択します。
4. (オプション) 次の情報を指定します。
 - 自動赤目修正：ファイルの取り込み時に赤目の問題を解決します。
 - 自動的に写真をスタック：日付と類似性に応じて写真スタックを提示させます。
 - 取り込み時にファイルをコピー：外部ドライブから読み込むファイルのコピーを作成します。
 - プレビューを生成：読み込み中に、解像度の低いプレビューファイルと呼ばれるコピーを作成します。



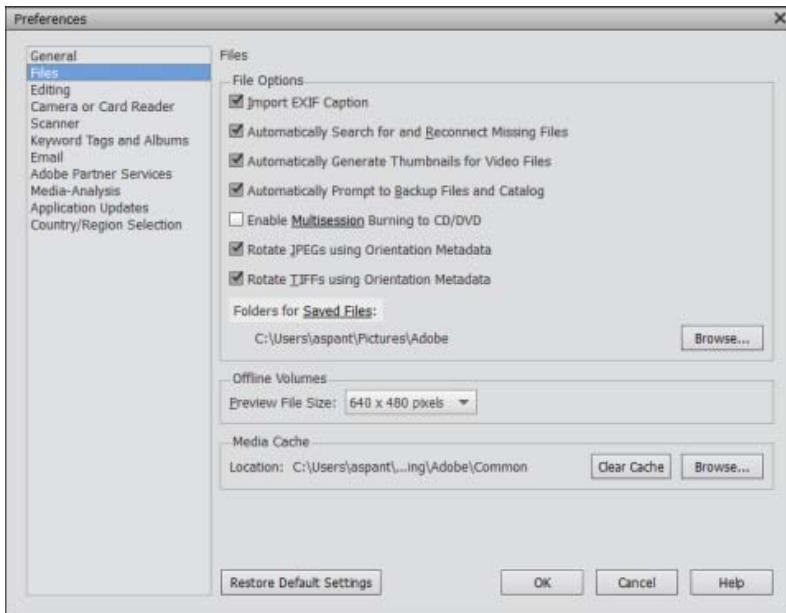
5. 「取り込み」をクリックします。
6. メディアに追加されているキーワードタグも取り込むことができます。取り込むタグを選択し、「OK」をクリックします。



ファイルの環境設定

ファイルの環境設定を設定して、Elements Organizer でのファイルの管理方法を定義します。

1. Elements Organizer で、編集／環境設定／ファイル（Windows）を選択するか、Elements Organizer 11／環境設定／ファイル（Mac OS）を選択します。



ファイルの環境設定

2. 次のいずれかのオプションを選択し、「OK」をクリックします。

EXIF キャプションを取り込む デジタルカメラでメディアファイルに付けられていたキャプションを読み込みます。この情報を削除するには、このオプションの選択を解除し、各メディアファイルに独自のキャプションを入力します。

注意： キャプションデータはファイル内の複数の場所に保存されている場合があります。このオプションの選択を解除したときにブロックされるのは、EXIF キャプションデータだけです。

見つからないファイルを自動的に検索して再リンク 見つからず、再リンクできなかったファイルを検索します。再リンクできないファイルに関するメッセージを表示しないようにする場合は、このオプションを選択します。

ビデオファイルのサムネールを自動的に生成 読み込んだビデオファイルのプレビューサムネールを生成します。

ファイルとカタログのバックアップ作成時に自動的にメッセージを表示 読み込み中に、ファイルとカタログを自動的にバックアップすることができます。

CD/DVD へのマルチセッションの書き込みを有効にする (Windows のみ) ディスクに複数回の追加のファイルを書き込みできるようにして、ディスクスペースを最大限使用することができます。通常、CD または DVD には一度だけ書き込みすることができ、未使用領域はそのままになります。

メタデータの情報を使用して JPEG ファイルを回転 / メタデータの情報を使用して TIFF ファイルを回転

これらのオプションがオンになっている場合、画像の方向のメタデータを更新して画像を回転させます。画像データが付いていない場合、回転はメタデータを変更するだけで指定できます。メタデータを使った画像の回転処理は、画像自体を回転させるより速くなります。

すべてのアプリケーションが、このメタデータを認識できるわけではありません。そのようなアプリケーションに画像を読み込む予定がある場合、このオプションは選択解除しておきます。

ファイル保存先 プロジェクトやその他のファイルの初期設定の保存先フォルダーを指定します。この場所を変更するには、「参照」をクリックして新しい場所に移動します。

プレビューファイルのサイズ メディアファイルをオフラインで保存するときに Elements Organizer が使用するプレビューファイルのサイズを指定します。

環境設定を変更した後で、メディアファイルの読み込みに問題が起きた場合は、環境設定ダイアログボックスの「初期設定値に戻す」ボタンをクリックして初期設定に戻してください。

[ページの先頭へ](#)

メディアファイルに付けられたタグの読み込み

キーワードタグまたはキーワードメタデータが添付されているメディアファイルを読み込むとき、メディアファイルとあわせてそれらも読み込むことができます。添付されているキーワードタグは、そのまま保持するか、名前を変更したり別のキーワードタグに付け替えることができます。新しいキーワードタグを読み込むと、そのタグはキーワードタグパネルに表示されます。この新しいタグを使用して他のメディアファイルにタグを付けることができます。


1. カメラまたはカードリーダーがコンピューターに接続されているか、読み込むメディアファイルがコンピューターにコピーされていることを確認します。
2. Elements Organizer で、次のいずれかの操作を行います。
 - 「読み込み」をクリックします。写真やビデオの取り込み方法を選択します。
 - ファイル／写真とビデオの取り込みを選択し、写真やビデオの取り込み方法を選択します。

注意： メディアファイルにキーワードタグまたはキーワードメタデータが含まれている場合、写真に添付されているタグの取り込みダイアログボックスが表示されます。

3. 次のいずれかの操作を行います。
 - 取り込むキーワードタグを選択します。選択したキーワードタグは、メディアファイルを読み込むときにキーワードタグパネルに追加されます。タグにアスタリスク (*) が付く場合、カタログには既に同じ名前のタグがあります。既存のタグがメディアファイルに付けられます。
 - 追加オプションを設定するには、「詳細設定」をクリックします。
4. 「詳細設定」を選択した場合は、次のいずれかの操作を行い、「OK」をクリックします。
 - 「キーワードタグ」セクションの名前の左横にあるチェックボックスをクリックして、取り込むキーワードタグを選択します。キーワードタグを選択すると、キーワードタグの右側にあるオプションが使用可能になります。
 - 取り込むキーワードタグの名前を変更するには、キーワードタグ名の横にあるボックスをクリックして、取り込むキーワードタグを選択します。「新規キーワードタグとして取り込み」の下のタグの右側にあるボタンをクリックし、テキストボックスに名前を入力します。Elements Organizer により新しい名前のキーワードタグがカタログに追加され、そのキーワードタグが取り込んだメディアファイルに適用されます。
 - 取り込んだタグをカタログ内の既存のタグにマップするには、取り込むタグを選択します。「既存のキーワードタグを使用」の下の右側のボタンをクリックして、ポップアップメニューからタグを選択します。読み込んだメディアファイルには、元のタグ名の代わりに、選択したタグ名が付きます。
 - 「基本設定」をクリックすると、変更内容をクリアして、写真に添付されているキーワードタグを取り込みダイアログボックスに戻ります。

注意： 読み込み中のメディアファイルに付いているタグの数が多いと、ダイアログボッ

クスが表示されます。すべてのキーワードタグを取り込むことも、キーワードタグを1つも取り込まないこともできます。読み込むタグを個々に選択する場合は、ダイアログボックスを閉じ、編集／メディアの読み込みを取り消しを選択して、読み込みを取り消します。1回の読み込み分全体を選択し、カタログから削除する方法でも、読み込みを取り消すことができます。その後、メディアファイルをもっと小さな単位の処理に分けて、読み込み直します。

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

スキャナーからの写真の読み込み (Windows のみ)

スキャン

スキャナーからの写真の取り込み

スキャナーの環境設定

TWAIN ドライバーを使用した写真のスキャン

[ページの先頭へ](#)

スキャン

Elements Organizer では、スキャナーから写真、ネガ、スライドの画像を取り込むことができます。次のいずれかの方法で、スキャナーから画像を取り込みます。

- スキャナー付属のスキャナードライバープラグインモジュールを使用します。このソフトウェアは、Windows で 32-bit Elements Organizer と連動するか、TWAIN® インターフェイスを使用して画像をスキャンし、直接 Elements Organizer で開きます。

注意：TWAIN マネージャーは、Windows でのみサポートされます。

スキャナー付属のスタンドアロンのスキャンソフトウェアを使用して画像をスキャンし、保存します。それから、次の方法で、その画像を Elements Organizer に取り込むことができます。

- 「読み込み」をクリックします。「スキャナーから」を選択します。
- ファイル／写真とビデオの取り込み／スキャナーからを選択します。

[ページの先頭へ](#)

スキャナーからの写真の取り込み

写真をスキャンして Elements Organizer で開く前に、スキャナーに付属しているソフトウェアがすべてインストールされていることを確認してください。スキャナーの説明書をよく読んで、コンピューターに正しく接続してください。

- スキャナーが接続され、電源が入っていることを確認します。
- Elements Organizer で、次のいずれかの操作を行います。
 - 「読み込み」をクリックします。「スキャナーから」を選択します。
 - ファイル／写真とビデオの取り込み／スキャナーからを選択します。
- スキャナーから写真を取り込むダイアログボックスで、スキャナーメニューからスキャナーの名前を選択します。

注意：スキャナーリストに「有効な周辺機器なし」というメッセージが表示された場合は、スキャナーの電源が入っていること、スキャナーがコンピューターに正しく接続されていることを確認してください。

- 「参照」ボタンをクリックして、写真の保存先を選択します。
- 保存形式ポップアップメニューからファイル形式を選択します。通常は、初期設定の形式である JPEG を選択します。JPEG を選択した場合は、画質スライダーをドラッグしてスキャンの品質を調整できます。画質を高くするほど、ファイルサイズも大きくなります。

す。



画質スライダー

6. 「OK」をクリックします。TWAIN ドライバーが付属しているスキャナーを使用している場合は、Elements Organizer によって TWAIN ドライバーが起動されます。ドライバーソフトウェアの説明書に従って、写真をスキャンしてください。通常は、スキャンする領域を選択したり、カラー補正したりする機能が付属しています。

注意： Windows XP、Windows Vista または Windows 7 で、WIA (Windows Imaging Architecture) スキャナーを使用している場合、Elements Organizer により Windows XP のスキャンングインターフェイスが起動されます。Windows のマニュアルを参照してください。TWAIN をサポートしているスキャナーでは、各メーカー独自のユーザーインターフェイスが起動します。

写真をスキャンすると、写真の取り込みダイアログボックスにスキャンした写真のプレビューが表示されます。Elements Organizer は取り込んだ日付を写真に割り当てます。

[ページの先頭へ](#)

スキャナーの環境設定

1. Elements Organizer で、編集／環境設定／スキャナーを選択します。
2. 「読み込み」領域のスキャナードロップダウンリストからスキャナー名を選択します。

注意： 別のスキャナーを接続するたびに、リストからスキャナーを選択する必要があります。このポップアップメニューは、前回接続したスキャナーの名前が選択された状態で表示されます。
3. 保存形式ポップアップメニューからファイル形式を選択します。通常は、初期設定の形式である JPEG を選択します。JPEG を選択した場合は、画質スライダーを適切な設定にドラッグします。画質を高くするほど、ファイルサイズも大きくなります。
4. スキャンした写真を保存するデフォルト位置を選択し、「OK」をクリックします。

「OK」をクリックする前のいずれかの時点で、「初期設定値に戻す」をクリックすることができます。

[ページの先頭へ](#)

TWAIN ドライバーを使用した写真のスキャン

TWAIN は、特定のスキャナー、デジタルカメラおよびフレームグラバーによる画像の取り込みに使用されるソフトウェアドライバーです。Elements Organizer で TWAIN デバイスを使用する場合は、デバイスのメーカーからソースマネージャーと TWAIN データソースを入手する必要があります。

スキャナーを使用して画像を Elements Organizer に取り込む前に、TWAIN デバイスとそのソフトウェアをインストールし、コンピューターを再起動する必要があります（インストールに関する情報は、デバイスのメーカーが提供するドキュメントを参照してください）。

- Elements Organizer で、読み込み／スキャナーからをクリックするか、ファイル／写真とビデオの取り込み／スキャナーからを選択します。

画像がスキャンされると、Elements Organizer に表示されます。

注意：Canon MP960 などの一部のスキャナーでは、初めてスキャンボタンを押したときに、スキャンプログレスバーが *Photoshop Elements* の後ろに表示されます。*Photoshop Elements* ウィンドウのサイズを小さくすると、スキャンプログレスバーが前面に表示されます。



Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

iPhoto ライブラリからのメディアの読み込み (Mac OS のみ)

[iPhoto '09 からの写真の読み込み](#)

[iPhoto '11 からの写真の読み込み](#)

[読み込まれる写真の初期設定位置の変更](#)

iPhoto は、Mac OS でデジタル写真の読み込み、整理、編集、プリント、共有を行うためのソフトウェアアプリケーションです。

Elements Organizer 11 では、iPhoto '09 (バージョン 8.0 ~ 8.1.2) および iPhoto '11 (バージョン 9.0 ~ 9.1.3) からの写真の読み込みをサポートします。iPhoto '09 より前のバージョンからは写真を読み込めません。

[ページの先頭へ](#)

iPhoto '09 からの写真の読み込み

Elements Organizer は、iPhoto '09 からの写真とあわせて、関連付けられているキャプション、タグ、重要度の読み込みをサポートします。ライブラリの組織を維持するために、イベントやアルバムなどの情報を読み込むオプションもあります。

読み込んだアルバムはアルバムフォルダーに表示され、イベントはイベントビューで表示できます。

1. 次のいずれかの操作を行います。
 - [読み込み](#) / iPhoto からを選択します。
 - [ファイル](#) / [写真とビデオの取り込み](#) / iPhoto からを選択します。

注意: *iPhoto* がコンピューターにインストールされていない場合、*iPhoto* オプションは表示されません。

2. (オプション) iPhoto 内のイベントを Elements Organizer では個別のアルバムに変換することができます。iPhoto から読み込みダイアログボックスで、「iPhoto のイベントからアルバムに変換」を選択します。
アルバムとイベントを同じ名前を読み込むと、アルバムが 1 つ作成され、関連するすべての写真がそのアルバムに追加されます。
3. (オプション) 読み込むイベントとアルバムを選択する場合は、「詳細」オプションを選択します。読み込むイベントとアルバムを選択します。
4. 「読み込み」をクリックします。

[ページの先頭へ](#)

iPhoto '11 からの写真の読み込み

1. 次のいずれかの操作を行います。
 - [読み込み](#) / iPhoto からを選択します。
 - [ファイル](#) / [写真とビデオの取り込み](#) / iPhoto からを選択します。
2. 「読み込み」をクリックします。

[ページの先頭へ](#)


読み込まれる写真の初期設定位置の変更

iPhoto から Elements Organizer に写真を読み込むと、それぞれの写真のコピーが `/Users/[ユーザー名]/Pictures/Adobe/Organizer/[カタログ名]` に配置されます。

この場所を変更するには：

1. Adobe Elements Organizer / 環境設定 / ファイルを選択します。

2. 「参照」をクリックします。
3. 「ファイル」をクリックします。
4. 「参照」をクリックして場所を変更します。

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

カタログ、フォルダー、アルバム

アルバムおよびアルバムカテゴリの作成

アルバム

アルバムおよびアルバムカテゴリの作成

アルバムまたはアルバムカテゴリの作成

フォルダー名を使ったかんたんアルバムの作成

アルバムへの写真の追加

複数のアルバムへの写真の追加

アルバム内の写真の表示

アルバム内の写真の並べ替え

アルバム内の写真の順序のカスタマイズ

写真のダウンロード中のアルバムの指定

アルバム構造の書き出しと取り込み

[ページの先頭へ](#)

アルバム

Elements Organizer のアルバムは、選択したグループに写真を保存して整理できる、実際のアルバムのようなものです。例えば、「休暇の写真ベスト 10」というアルバムを作成し、お気に入りの画像を 10 枚追加することができます。

アルバム内の写真をドラッグして、任意の順序に並べることができます。1 枚の写真を複数のアルバムに追加することもできます。

グループ内のアルバムを整理することができます。複数のレベルのアルバムカテゴリを作成することもできます。例えば、「アジアの旅」というアルバムカテゴリを作成して、その中に「日本の写真ベストテン」、「中国の写真ベストテン」というように、旅行したアジアの国のアルバムを整理することができます。

アルバムに入れる写真を手動で選択する代わりに、写真選択の条件を指定した保存検索を作成することができます。それぞれの保存検索は、保存検索に指定した条件に一致する写真を自動的に収集するアルバムです。例えば、保存検索の条件が、キーワードタグが「キアラ」の写真を収集するようになっている場合、その保存検索を開けば、キーワードタグ「キアラ」の写真をすべて表示することができます。

[ページの先頭へ](#)

アルバムおよびアルバムカテゴリの作成

Elements Organizer の左側のアルバムパネルでは、アルバムの作成、編集、管理ができます。

- アルバムの作成、編集、名前変更、および削除を行います。
- アルバムおよびアルバムカテゴリを表示します。必要に応じて、アルバムのリストを上下にスクロールします。アルバムカテゴリの横にある三角形 ▼ をクリックして、アルバムの展開、または折りたたみ状態を切り替えます。
- アルバムカテゴリ内でアルバムを整理します。
- アルバムの写真を表示します。

[ページの先頭へ](#)

アルバムまたはアルバムカテゴリの作成

アルバムのメディアまたは新規アルバムのグループで構成されているアルバムを作成できます。例えば、「休暇」というアルバムカテゴリを作成し、その中に個別にアルバムを作成して、休暇の写真のセットごとに 1 アルバムとすることができます。

アルバムの作成

1. アルバムパネルの **+** ボタンまたは **+** の横にあるドロップダウンウィジェットをクリックして、右パネルで作成ワークフローを開きます。
2. 「名前」ボックスに、アルバムの名前を入力します。
3. (オプション) カテゴリドロップダウンリストから、アルバムのカテゴリを選択します。
注意： アルバムの名前のふりがなを変更するには、「名前 (ふりがな)」テキストボックスに新しいふりがなを入力します。
4. 写真をメディアエリアに追加するには、次のように様々な方法があります。
 - 写真をメディアエリアにドラッグし、「OK」をクリックします。
 - また、メディアビューで写真を選択し、タスクバーから「メディアエリアを追加」を選択して写真を追加することもできます。
 - メディアビューでメディアを選択し、右クリックして「選択したメディアを追加」を選択します。また、「すべて追加」を選択して、メディアビューにあるすべてのメディアをアルバムに追加することもできます。写真を削除するには、写真を選択してごみ箱アイコンをクリックします。

アルバムパネルの指定したアルバムカテゴリの下にアルバムが表示されます。

アルバムカテゴリの作成

1. アルバムパネルで **+** の横にある矢印ボタンをクリックし、「新規アルバムカテゴリ」を選択します。
2. 「アルバムカテゴリ名」ボックスで、アルバムカテゴリの名前を入力します。
注意： アルバムカテゴリの名前のふりがなを変更するには、「ふりがな」ボックスに新しいふりがなを入力します。
3. (オプション) 上位のアルバムカテゴリメニューから、アルバムカテゴリを配置するカテゴリを選択します。
4. 「OK」をクリックします。

アルバムパネルの指定したアルバムカテゴリの下にアルバムカテゴリが表示されます。

[ページの先頭へ](#)

フォルダー名を使ったかんたんアルバムの作成

ハードディスク上のフォルダーと同じ名前を持つかんたんアルバムを自動的に作成することができます。わかりやすいフォルダー名を使用してハードディスク上のメディアファイルが整理されている場合は、このようにかんたんアルバムを作成すると便利です。これは、同じフォルダー名を持つ管理対象のメディアファイルをすばやく追加する場合にも役立ちます。

1. メディアビューで、アルバムパネルのマイフォルダーリストからフォルダーを選択します。
2. 左側のフォルダーツリー／管理対象フォルダーで、タグを付けるメディアファイルが含まれているフォルダーを選択します。選択したフォルダー内の管理対象メディアファイルのサムネールがメディアグリッドに表示されます。

3. フォルダーを右クリックし、「かんたんアルバムを作成」を選択します。

フォルダーの名前を持つ新しいアルバムが、アルバムパネルに作成されます。

4. (オプション) 新しく作成したアルバムのプロパティをカスタマイズするには、アルバム名を右クリックまたは Control キーを押したままクリックし、「編集」を選択します。

[ページの先頭へ](#)

アルバムへの写真の追加

1. メディアビューの左上隅にある「すべてのメディア」ボタンをクリックして、Elements Organizer で使用可能なメディアを表示します。
2. 次のいずれかの操作を行います。

- メディアビューにある写真やビデオを、アルバムパネルにあるアルバムにドラッグします。
- アルバムパネルにあるアルバムを、メディアビュー内の写真にドラッグします。
- また、人物／場所／イベントスタックをアルバムに追加することもできます。スタックを選択してアルバムにドラッグします。

注意： 画像をコピーして *Elements Organizer* に読み込むときにも、写真をアルバムに追加できます。[写真のダウンロード中のアルバムの指定](#)を参照してください。

[ページの先頭へ](#)

複数のアルバムへの写真の追加

1. メディアビューの左上隅にある「すべてのメディア」ボタンをクリックして、Elements Organizer で使用可能なメディアを表示します。
2. 写真を選択します。選択した写真の外枠が青くなります。
3. アルバムパネルで、1 つまたは複数のアルバム名を選択します。連続している複数のアイテムを選択するには Shift キーを押しながら最初と最後のアイテムをクリックします。連続していない複数のアイテムを選択するには、Ctrl キー／Command キーを押しながら各アイテムをクリックします。

4. 次のいずれかの操作を行い、写真をアルバムに追加します。


- 写真を、アルバムパネルで選択した任意のアルバムにドラッグします。
- アルバムパネルにあるアルバムを、選択した任意の写真の上にドラッグします。

[ページの先頭へ](#)

アルバム内の写真の表示

同じ写真を複数のアルバムに入れることができますが、一度に表示できるアルバムは 1 つです。

- アルバムをクリックします。

写真がどのアルバムにあるかを確認するには、メディアビューの写真の下にあるアルバムアイコン  またはタグアイコン (複数のキーワードタグがアルバムに付けられている場合) の上にマウスのポインターを合わせます。

[ページの先頭へ](#) ¹

アルバム内の写真の並べ替え

アルバム内の写真を日付が古い順、日付が新しい順、またはアルバム内の順序で並べ替えることができます。

1. アルバムとフォルダーのパネルからアルバムを選択します。
2. メディアビューの並べ替えドロップダウンリストから、次のいずれかのオプションを選択します。
 - 最も新しい：日付の最も新しいものから、最も古いものへと写真を順に並べます。
 - 最も古い：日付の最も古いものから、最も新しいものへと写真を順に並べます。
 - ファイル名：名前ごとに、アルファベット順 (A-Z) にメディアを並べます。
 - 取り込み順：読み込んだバッチ処理の順に写真を並べます。
 - アルバム順：ユーザーが選択した順に写真を並べます。写真の順序は、手動でドラッグして並べ替えることができます。

[ページの先頭へ](#) ¹

アルバム内の写真の順序のカスタマイズ

Elements Organizer で用意されている初期設定の配置順 (最も新しい/最も古い/取り込み順) とは別に、写真の順序をカスタマイズすることもできます。

1. アルバムパネルからアルバムを選択します。
2. メディアビューの並べ替えドロップダウンリストから、次のいずれかのオプションを選択します。
 - 最も新しい
 - 最も古い
 - ファイル名 (A~Z のアルファベット順)
 - 取り込み順
 - アルバム順
3. 1 つまたは複数の写真を選択し、アルバム内の任意の 2 つの写真の間にドラッグします。選択した写真を、アルバムの最初の写真の前または最後の写真の後にドロップすることもできます。

注意： アイテムの配置をリセットするには、ドロップダウンリストから最も新しい/最も古い/取り込み順を選択します。

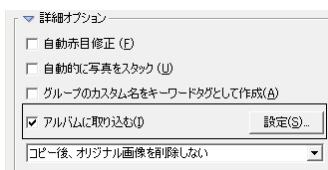
[ページの先頭へ](#) ¹

写真のダウンロード中のアルバムの指定

フォトダウンローダーまたは読み込み/カメラまたはカードリーダーからオプションを使用している場合、メディアのダウンロード先にあるアルバムを指定できます。ここをクリックして、写真ダウンロードオプション指定までの手順を確認してください。

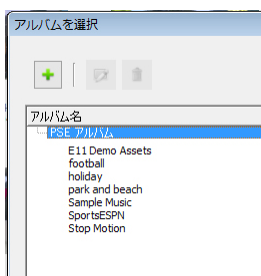
1. フォトダウンローダーが詳細設定モードになっていることを確認します。必要に応じて、「詳細設定」をクリックします。

2. 「詳細オプション」セクションで、「アルバムへ読み込み」を選択します。



3. 「設定」をクリックして、アルバムを選択ダイアログボックスで次のいずれかを実行します。

- 写真を特定のアルバムに取り込むには、ダイアログボックスでアルバムを選択します。
- 写真を新規アルバムに取り込むには、新規アルバムを作成 **+** をクリックして、ダイアログボックスで名前を入力して汎用の「新規アルバム」を上書きします。

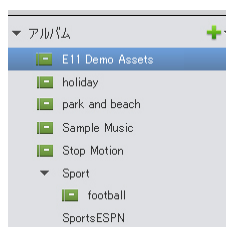


4. 「OK」をクリックします。

アルバム構造の書き出しと取り込み

アルバム構造には、自分で作成したアルバム名とアルバムカテゴリが含まれています。アルバムとアルバムカテゴリの名前の現在のセットを、アルバムパネルでの並べ方とそれぞれのアイコンとともに保存することができます。この構造は、他のユーザーとも共有できます。

アルバム構造は、書き出しや読み込みによって、他の人と共有することができます。例えば、友人と訪れた様々な美術館に関するアルバムセットがあるとします。アルバムセットを保存し書き出すことにより、友人がそのアルバムの構造（写真は含まれない）を取り込んで、自身の写真に使用することができます。逆に、友人のアルバムの構造を取り込んで、自分の写真に適用することもできます。



アルバム構造の書き出し

アルバム構造は、書き出すことにより、他の人と共有することができます。

注意： アルバムを書き出しても、そのアルバムに関連付けられた写真は書き出されません。

1. アルバムパネルで、**+**の横にある矢印をクリックし、「アルバムをファイルに保存」を選択します。
2. 次のいずれかを選択し、「OK」をクリックします。

すべてのアルバムを書き出す すべてのアルバム階層を含めたファイルを作成します。

指定したアルバムカテゴリの書き出し リストから選択したアルバムカテゴリの階層だけを含めたファイルを作成します。


3. アルバムをファイルに保存ダイアログボックスで、名前を入力し、保存先を選択して、「保存」をクリックします。このファイルは、XML 形式で保存されます。

アルバム構造の取り込み

既存のアルバムカテゴリの階層をアルバムパネルに読み込み、自分の写真に使用することができます。

注意： アルバムを取り込んでも、そのアルバムに関連付けられた写真は取り込まれません。

1. アルバムパネルで、**+**の横にある下向き矢印をクリックし、「ファイルからアルバムを取り込む」を選択します。
2. ファイルからアルバムを取り込むダイアログボックスで、アルバムおよびアルバムカテゴリの名前が書き出された XML ファイルを選択し、「開く」をクリックします。
3. 読み込むアルバム構造が含まれている XML ファイルを検索して選択します。「開く」をクリックします。

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

カタログの作成と編集

カタログ

カタログの作成

カタログファイルを検索します。

カタログを開く

メディアファイルの移動または変更

以前のバージョンのカタログの使用 (変換)

カタログ名の変更

カタログの削除

カタログサイズの最適化

[ページの先頭へ](#)

カタログ

カタログとは、Elements Organizer が読み込まれたメディアに関する情報を維持するためのファイルです。メディアを読み込むと、名前や場所などの基本的な情報がファイル内で更新されます。Elements Organizer でファイルの作業を継続すると、それらの変更を更新するようにファイルがさらに更新されます。

カタログと一緒にメディアファイルを別のコンピューターまたは別のバージョンの Elements Organizer に移動すると、それらすべての情報が保持されます。

カタログファイルには、次の情報が含まれています。

- メディアファイルのパス (保存場所) とファイル名
- オーディオファイルのパス (保存場所) とファイル名
- フル解像度 (写真のオリジナルの解像度) のオリジナルファイルのパス (保存場所)、ファイル名およびボリューム名 (リンクしているオリジナルファイルが、CD または DVD などのオフラインメディアに保存されている場合)
- 編集前のオリジナルファイルのパス (保存場所) とファイル名 (ファイルを編集した場合)
- 取り込んだメディアファイルと関連のあるカメラまたはスキャナーの名前
- メディアファイルに追加したキャプション
- メディアファイルに追加したメモ
- メディアの種類 (写真、ビデオファイル、オーディオクリップまたはプロジェクトのいずれか)
- メディアファイルの作成日時と修正日時
- メディアファイルに適用したキーワードタグ
- メディアファイルが含まれているアルバム
- メディアファイルの履歴: ローカルプリンターで印刷したか、書き出されたか、電子メールまたはオンラインで配信されたか、オンラインの写真仕上げサービスに送信されたか履歴には、メディアファイルをオンラインソースから受信したかどうか、および読み込まれたグループ (取り込み日時を含む) も表示されます。
- メディアファイルに加えた編集 (回転、切り抜き、赤目の修正など)
- 写真およびビデオファイルのピクセル数

- プロジェクトの設定（プロジェクトの種類、キャプションやページ番号の表示など）
- 画像サイズ、Exif、著作権、IPTC 情報、ファイル形式などの情報を含むメタデータ

[ページの先頭へ](#)

カタログの作成

Photoshop Elements にメディアを読み込むと、初期設定のカタログに追加されます。すべてのメディアに対してこの初期設定のカタログファイルを使用するように選択すると、他に何もする必要はありません。

ただし、複数のカタログを作成すると便利な場合があります。例えば、職場の写真や家族の写真用に個別のカタログを作成します。

1. ファイル／カタログを管理を選択します。
2. 次のいずれかの操作を行います。
 1. カatalogのプリセットの場所を選択するには、「すべてのユーザーがアクセス可能なカタログ」（Windows® のみ）または「現在のユーザーがアクセス可能なカタログ」を選択します。
 2. ユーザー定義の場所を選択するには、「ユーザー定義の場所」を選んで「参照」をクリックします。コンピュータ上でカタログファイルの場所を参照します。
3. 「新規」をクリックします。
4. 新規カタログの名前を入力ダイアログボックスで、カタログの名前を入力します。
5. 「OK」をクリックします。

[ページの先頭へ](#)

カタログファイルを検索します。

- ヘルプ／システム情報をクリックします。

現在コンピューター上で開いているカタログファイルの場所は、現在のカタログ／カタログの場所にリストされます。



カタログファイルの場所

[ページの先頭へ](#)

カタログを開く

1. ファイル／カタログを管理を選択します。

2. カタログマネージャーダイアログボックスのリストからカタログを選択します。

3. 「開く」をクリックします。

注意：（Mac OS）共有ネットワークでは、カタログにアクセスできません。

[ページの先頭へ](#)

メディアファイルの移動または変更

Elements Organizer にはファイルへの参照が含まれているので、ソフトウェアの外部に参照を移動したり、外部で変更を加えたりしてはいけません。Elements Organizer の外部にファイルを移動したり、外部で変更を加えたりした場合、ファイルに再リンクするようにメッセージが表示されます。

カタログに関連のあるファイルを移動または変更するには、次の提案に従ってください。

- カタログ内のファイルを移動するには、「移動」コマンドを使用します（アイテムを選択し、ファイル／移動を選択します）。
- カタログ内のファイルの名前を変更するには、「ファイル名変更」コマンドを使用します（アイテムを選択し、ファイル／ファイル名変更を選択します）。
- ファイルを削除した場合は、そのアイテムをカタログから削除して、メディアビューに表示しないようにします。この問題を解決するには、見つからないファイルを再リンクダイアログボックスまたは編集／カタログから削除コマンドを使用します。
- 編集／[オリジナルアプリケーション名]で編集コマンドを使用して、オリジナルファイルをオリジナルアプリケーションで編集します。

このコマンドを設定するには、次の操作を行います。

- 編集／環境設定／編集（Windows）、または Adobe Elements Organizer 11／環境設定／編集（Mac OS）を選択します。
- 追加の編集アプリケーションを使用を選択し、「参照」をクリックし、アプリケーションの場所を特定して選択します。
- 「開く」をクリックします。

このコマンドを使用すると、ファイルが見つからないことを示すエラーを発生させずに、ファイル名とファイルタイプを変更できます（BMP から JPEG に変更するなど）。編集が終了したら、必要に応じてサムネールを更新します。

[ページの先頭へ](#)

以前のバージョンのカタログの使用（変換）

Elements Organizer をインストール後に初めて開いたとき、以前のバージョンのカタログを変換するよう求められます。「はい」をクリックすると、以前のバージョンで作成したカタログが変換され、名前が変更されません。

初回起動時にカタログを変換しなかった場合は、次の手順で以前のバージョンのカタログを変換します。

注意： ファイル／カタログのバックアップを作成を使用して、以前のカタログのバックアップを取ってからカタログを変換することをお勧めします。

1. 最新バージョンの Elements Organizer では、ファイル／カタログを管理を選択します。
2. 「変換」をクリックします。
3. 表示されているリストからカタログを選択します。
4. 「完了」をクリックします。

Photoshop Elements 11 にカタログをアップグレードするユーザー向けの注釈

ユーザーインターフェースの機能強化や、サポート対象のファイル形式の変更により、カタログ変換プロセスにも変更が必要になります。次の表を参照すれば、Photoshop Elements 11 へカタログをスムーズにアップグレードできます。

アイテム	Photoshop Elements 11 への移行後
人物タグ	<p>メディアビューの人物パネル、または人物ビューで、人物タグの付いた写真を特定できます。人物タグには汎用アイコンが使用されています。</p> <p>メディアビューで人物パネルを表示するには、タグパネルで表示／人物を表示を選択します。</p> <p>サブカテゴリに含まれる写真は、人物ビューの「グループ」セクションに移動します。人物ビューで、人物／グループスライダーをクリックしてそれらの写真を表示します。</p>
イベントタグ	イベント（タグ）に名前を変更
場所タグ	場所（タグ）に名前を変更
スマートアルバム	保存検索の下でスマートアルバムを特定できます。
サポートされないファイル形式	<p>ファイル変換中、次のファイル形式はスキップされません。Filmstrip (FLM)、Wireless BMP (WBM、WBMP)、PCX、Targa (TGA、VDA、ICB、VST)、Photoshop RAW (RAW)、PICT ファイル、PCT、PICT)、Scitex CT (SCT)、Photoshop EPS (EPS)、EPS TIFF プレビュー (EPS)、汎用 EPS (AI3、AI4、AI5、AI6、AI7、AI8、PS、EPS.AI、EPSF、EPSP、.amr</p>
サポートされないアルバムテンプレート	オンラインアルバムには、初期設定のアルバムテンプレートが使用されます。

カタログ名の変更

1. Photoshop Elements Editor と Adobe Premiere Elements を閉じます。
2. Elements Organizer で、ファイル／カタログを管理を選択します。

3. カタログマネージャーダイアログボックスで、リストからカタログの名前を選択します。
4. 「名前変更」をクリックします。新しい名前を入力し、「OK」をクリックします。

[ページの先頭へ](#)

カタログの削除

Elements Organizer に関連のあるカタログが 2 つ以上存在する場合のみ、カタログを削除できます。1 つしかないカタログを削除する場合は、そのカタログを削除する前に、別のカタログを作成します。

1. Photoshop Elements Editor と Adobe Premiere Elements を閉じます。
2. ファイル／カタログを管理を選択します。
3. カタログマネージャーダイアログボックスに複数のカタログがリストされていることを確認します。必要に応じて、新しいカタログを作成します。[カタログの作成](#)を参照してください。
4. 削除するカタログ以外のカタログを開きます。[カタログを開く](#)を参照してください。
5. カタログマネージャーダイアログボックスで、削除するカタログをハイライトします。
6. 「削除」をクリックします。次に、「はい」をクリックします。

[ページの先頭へ](#)

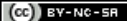
カタログサイズの最適化

カタログを最適化すると、カタログのサイズを削減できます。その結果、カタログ内のファイルを開き、作業にかかる時間が短縮されます。

1. Photoshop Elements Editor と Adobe Premiere Elements を閉じます。
2. ファイル／カタログを管理を選択します。
3. カタログマネージャーで、最適化するカタログを選択します。
4. 「最適化」をクリックします。

アドビは次の機能も推奨します。

- スライドショーの公開 (Windows のみ)
- カタログに関する問題のトラブルシューティング

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

アルバムおよびアルバムカテゴリの編集

アルバムの編集

アルバムの名前の変更

アルバムからの写真の削除

アルバムの結合

アルバムまたはアルバムカテゴリの削除

アルバムおよびアルバムカテゴリの再整理

アルバム内の写真へのキーワードタグの適用

キーワードタグからのアルバムの作成

[ページの先頭へ](#)

アルバムの編集

1. 整理ワークスペースのアルバムパネルからアルバムを選択します。
2. 右クリックして、「編集」を選択します。
3. アルバムを編集パネルでは、次のアイテムを編集できます。
 - 名前：アルバムの名前を編集します。
 - カテゴリ：ドロップダウンリストからカテゴリを選択します。写真またはビデオを選択し、それをごみ箱にドラッグすることにより、メディアを削除します。複数のメディアを選択して、ごみ箱にドラッグすることもできます。



[ページの先頭へ](#)

アルバムの名前の変更

アルバムの名前はすばやく変更できます。アルバムパネルでアルバムを右クリックして、「名前の変更」を選択します。



アルバムの名前の変更

名前の変更ダイアログボックスに新しい名前を入力して、アルバムの名前を変更します。

[ページの先頭へ](#)

アルバムからの写真の削除

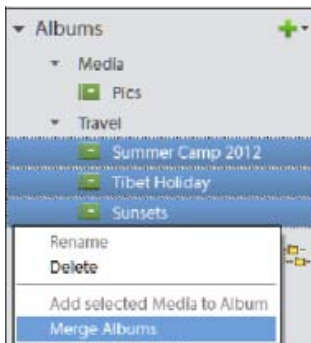
1. メディアビューで、アルバムから削除する写真を選択します。
2. 写真を右クリックまたは Control キーを押したままクリックして「アイテムをアルバムから削除」を選択し、その写真を削除するアルバムのアルバム名を選択します（写真は複数のアルバムに表示することができます）。
 - その写真に割り当てられたアルバムアイコンが表示される場合は、アイコンを右クリックまたは Control キーを押したままクリックし、「[アルバム名] アルバムを削除」を選択してアルバムを削除します。アルバムに関連付けられているメディアは削除されません。

[ページの先頭へ](#)

アルバムの結合

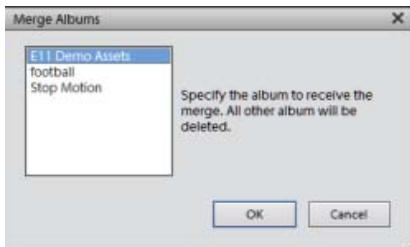
複数のアルバムを結合して1つのアルバムにし、そのようにして作成されたアルバムには、結合されたアルバム内のすべての写真が含まれます。例えば、「車」アルバムを作成した後、同じ写真に対して誤って「自動車」アルバムを作成してしまった場合でも、両方のアルバムを1つに結合できます。アルバムを結合すると、すべての写真が1つのアルバムに配置され、その他のアルバムは削除されます。写真は、アルバムパネルに表示されている順序で配置されます。この順序は、結合の前後に並べ替えることができます。

1. アルバムパネルで、結合するアルバムを選択します。アルバム名をクリックしてアルバムを選択します。連続するアルバムを選択するには Shift キーを押しながらクリックし、連続していない複数のアルバムを選択するには、Ctrl キー (Win) / Command キー (Mac OS) を押しながらクリックします。
2. 右クリックして、「アルバムを結合する」を選択します。



アルバムの結合

3. リストから、選択したアルバムを結合するアルバムを選択し、「OK」をクリックします。



アルバムまたはアルバムカテゴリの削除

アルバムまたはアルバムカテゴリを削除すると、そのアルバム、アルバムカテゴリ、およびカテゴリ内のアルバムが削除されますが、その中の写真は削除されません。また、アルバムカテゴリと他のカテゴリにあるアルバムを同時に削除することはできません。

1. アルバムパネルで、アルバム名をクリックしてアルバムまたはアルバムカテゴリを選択します。連続している複数のアルバムを選択するには、Shift キーを押しながら最初と最後のアイテムをクリックします。連続していない複数のアルバムを選択するには、Ctrl キーを押しながら各アイテムをクリックします。
2. 右クリックして「削除」を選択します。

注意： アルバムに関連付けられているメディアは削除されません。

アルバムおよびアルバムカテゴリの再整理

初期設定では、最上位のアルバムが五十音順でリストされており、その後にアルバムカテゴリが五十音順でリストされています。これらの順序を変更することはできますが、アルバムカテゴリの後にアルバムを配置することはできません。

1. 編集／環境設定／キーワード名札とアルバム (Windows)、または、Elements Organizer 11／環境設定／キーワード名札とアルバム (Mac OS) を選択します。
2. アルバムカテゴリとアルバムの並べ替えオプションを「手動」に選択し、「OK」をクリックします。
3. アルバムパネルで、1 つ以上のアルバムおよびアルバムカテゴリを選択します。
4. アルバム階層内の新しい場所にアイテムをドラッグします。

アルバムカテゴリを移動する場合、アルバムカテゴリに含まれるアイテムも一緒に移動します。

注意： 下位にあるアルバムまたはアルバムカテゴリを、最上位にドラッグして移動することはできません。下位にあるアルバムを最上位に移動するには、アルバムを編集ダイアログボックスまたはアルバムカテゴリを編集するダイアログボックス内でそのグループを最上位に変更します。

アルバム内の写真へのキーワードタグの適用

キーワードタグも、アルバムと同じように、写真や他のメディアファイルを整理するための方法の 1 つです。キーワードタグとアルバムは、同じアイテムに関連付けることができます。アルバム内の写真を表示しながら、その写真にキーワードタグを適用することができます。

1. アルバムパネルで、アルバム名をクリックすると、そのアルバム内の写真が表示されます。
2. タスクエリアのタグ／情報ボタンをクリックします。




3. 編集／すべてを選択を選択して、メディアビューのすべてのアイテムを選択するか、特定のメディアアイテムをクリックします。
4. キーワードタグを選択し、写真に適用します。キーワードタグエリアから、右クリックして「選択したメディアに適用」を選択します。メディアアイテムのキーワードをドラッグ&ドロップして、キーワードタグをメディアに適用することもできます。

[ページの先頭へ](#)

キーワードタグからのアルバムの作成

1. 「キーワードタグ」タブで、キーワードタグの横にある三角形をクリックし、パネルを展開します。
 2. タグの最も右側にある矢印ウィジェットをクリックします。そのタグが適用されているすべての写真がメディアビューに表示されます。
 3. 「読み込み／アルバム」タブで、アルバムの横にある三角形をクリックし、パネルを展開します。
 4. 次のいずれかの操作を行います。
 - 写真をアルバムパネルのアルバム（1つまたは複数）の上にドラッグします。
 - アルバムを新規に作成し、写真をその上にドラッグします。
- アルバム
 - アルバムへの写真の追加
 - アルバムパネルの使用

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

カタログの問題のトラブルシューティング

カタログの変換エラーのトラブルシューティング

カタログの修復

カタログ内で見つからないファイルを再リンク

オフラインファイルの操作

カタログの変換エラーのトラブルシューティング

[トップへ戻る](#)

以前バージョンの Elements Organizer がコンピューターで開かれていないことを確認します。

(Windows) iTunes を閉じて、iTunes の EXE ファイル (iTunes および iTunesHelper) が実行されていないことをタスクマネージャーで確認します。(Mac OS) iTunes を閉じて、iTunes の EXE ファイル (iTunes および iTunesHelper) が実行されていないことをアクティビティモニターで確認します。

次に挙げる以前のバージョンのプロセスがコンピューターで実行されている場合は、それを終了してからもう一度実行してください。

- 自動解析

自動解析を無効にするには、編集／環境設定／メディア解析を選択します。解析を実行するオプションを無効にします。オプションを無効にしたら、自動解析の EXE ファイル (ElementsAutoAnalyzer) が実行されていないことをタスクマネージャーで確認します。

- 人物認識

編集／環境設定／メディア解析を選択します。「人物の写真を自動的に解析」を無効にします。

カタログの修復

[トップへ戻る](#)


停電やコンピューターの故障によってカタログが破損した場合は、カタログに問題があることを知らせるメッセージが Elements Organizer に表示されます。このようなときは、「修復」コマンドを使用してカタログを修復します。

注意：(Mac OS) ネットワークドライブ上にあるカタログにはアクセスできません。

1. Photoshop Elements を閉じます。
2. ファイル／カタログを管理を選択します。
3. カタログマネージャーで、修復するカタログを選択します。
4. 「修復」をクリックします。
5. 次のダイアログボックスのいずれかが表示されます。
 - ダイアログボックスに「カタログにエラーは見つかりませんでした。」と表示される場合は、「OK」または「修復する」をクリックします。
 - ダイアログボックスに、カタログにはエラーがないが、サムネイルキャッシュにはエラーがあることが表示された場合は、「サムネイルキャッシュを削除」をクリックします。キャッシュが削除され、再生成されます。
 - エラーが見つかったとダイアログボックスに表示される場合は、「OK」または「キャンセル」をクリックします。サムネイルキャッシュにエラーが検出された場合、キャッシュが削除され、再生成されます。
 - カatalogが回復不能であるとダイアログボックスに表示される場合は、カタログのバックアップを読み込むことを検討してください。

カタログ内で見つからないファイルを再リンク

[トップへ戻る](#)


Elements Organizer を使用しないでファイルの移動、名前変更、または削除を行うと、そのファイルを開いたり、変更しようとする際に、ファイルが見つからないことを示すアイコン  が表示されます。

Elements Organizer の初期設定では、見つからないファイルがある場合、自動的にそのファイルの再リンクと名前変更を試みます。見つからないファイルと同じ名前、更新日、およびサイズのファイルを使用して、カタログに再リンクします。

ファイルのプリント、電子メールでの送信、編集、ファイルへの書き出しなどの操作では、実際に使用するまでそれらのファイルが見つからないことに気づきません。そのような場合は、見つからないファイルを再リンクダイアログボックスが開かれます。

注意：サムネイルを生成できないサイズの大きなファイルの場合、見つからないアイコンも表示されます。

1. 次のいずれかの操作を行います。

- ファイルが見つからないことを示すアイコン  が表示されているアイテムを 1 つまたは複数選択し、ファイル/再リンク/見つからないファイルを選択します。
- 見つからないアイテムをすべて再リンクするには、ファイル/再リンク/すべての見つからないファイルを選択します。

2. ファイルの現在の場所がわかっている場合は、「参照」をクリックします。コンピューター上で見つからないファイルが含まれる場所に移動します。

ファイルの場所がわからない場合は、Elements Organizer がコンピューターの検索を完了するまで待ちます。

3. 見つからないファイルを再リンクダイアログボックスで、1 つまたは複数の見つからないファイルを選択します。連続している複数のファイルを選択するには、Shift キーを押しながら、選択対象の最初と最後のファイルをクリックします。連続していない複数のファイルを選択するには、Ctrl キー (Mac OS では Cmd キー) を押しながらファイルを 1 つずつクリックします。

注意：完全に一致するものが見つからない場合は、「参照」をクリックします。見つからないファイルを再リンクダイアログボックスで、見つからないファイルを手動で検索して再リンクします。


4. 「再リンク」をクリックします。

自動再リンクの無効化

1. Elements Organizer で、編集/環境設定/ファイル (Windows) または Adobe Elements 11 Organizer/環境設定/ファイル (Mac OS) を選択します。
2. 「見つからないファイルを自動的に検索して再リンク」の選択を解除します。
3. 「OK」をクリックします。

オフラインファイルの操作

[トップへ戻る](#)

オフラインファイルとは、現在オフライン (使用できない) の外部ディスクやドライブにあるカタログ内のアイテムのことを指します。オフラインアイコン  は、そのオフラインのアイテム (ローカルのハードディスク以外のディスクやドライブに保存されている) に表示されます。

外部ドライブからファイルを取り込む際に、取り込みダイアログで、取り込み後にコンピューターにファイルをコピーするかどうかを指定することができます。「取り込み時にファイルをコピー」オプションの選択を解除し、「プレビューを生成」オプションを選択すると、プレビューファイルと呼ばれる低解像度のコピーが作成されます。

オフラインアイテムに操作を実行しようとする、オフラインファイルを保存しているディスクやドライブを挿入するように指示するメッセージが表示されます。

注意：フォトメール、電子メールの添付ファイル、PDF スライドショーなどの操作では、オフラインファイルを検索ダイアログに「オフラインアイテムにプレビューを使用」オプションが表示されます。このオプションを選択すると、低解像度のプレビューファイルで操作が実行されます。オフラインファイルで操作を実行すると、オフラインドライブを検索ダイアログが表示されます。

次のいずれかの操作を実行できます。

- そのアイテムが含まれているディスクまたはドライブを挿入します。オフラインファイルが接続されます。ネットワークドライブの場合は、ネットワークに接続していることを確認して、「更新」をクリックします。オフラインとしてマークされているカタログ内のすべてのアイテムがオンライン状態に戻ったら、様々なファイル操作を続けることができます。
注意：オフラインドライブを検索ダイアログに複数のディスクやドライブが表示されている場合、全ファイルに接続するためにすべてのディスクまたはドライブを挿入します。
- 選択範囲に接続中のファイルとオフラインファイルが混在していて、そのオフラインファイルを当面の間無視する場合は、「無視」を選択します。選択した操作が接続中のすべてのファイルで実行されます。オフラインファイルはオフラインの状態を保持し、変更されません。
- 選択範囲に別の場所に移動またはコピーされたアイテムがある場合は、「ファイルを再リンク」を選択します。ファイルの現在の場所を参照して、アイテムを選択します。再接続されたすべてのオフラインアイテムが接続され、選択した操作がそのアイテムで実行されます。
- アイテムを別のドライブにコピーまたは移動した場合は、コンピューターにドライブを接続して、「ドライブを再リンク」を選択します。ドロップダウンメニューからドライブを選択します。ドライブにあるカタログ内のすべてのオフラインアイテムがオンライン状態に復元され、接続されたアイテムで選択した操作が実行されます。
注意：すべてのオフラインファイルがドライブの元のフォルダー構造内に存在することを確認してください。

オフラインファイルを含むカタログのオペレーティングシステム間の移動

Windows で作成されたカタログを Mac OS で復元する場合は、ドライブを挿入しても、カタログ内のオフラインアイテムは自動的に接続されません。そのアイテムで操作を実行すると、オフラインドライブを検索ダイアログが表示されます。「ドライブを再リンク」を選択して、ドロップダウンメニューからそのアイテムが保存されているドライブを選択します。

同様に、オフラインファイルを含む Mac OS カタログを Windows で復元する場合も、同じように操作します。



[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

カタログのバックアップまたは復元

カタログのバックアップのヒントと指針

カタログのバックアップ

カタログの復元

カタログをバックアップすると、ほとんど使用しないメディアファイルを CD、DVD、コンピューターの別のドライブ、共有ネットワークに移動することで、コンピューターに空きスペースを作成することができます。

CD または DVD にバックアップを作成する場合は、書き込み可能な CD または DVD ドライブをコンピューターに接続しておく必要があります。差分バックアップを行う場合は、メディアに最新の完全バックアップが含まれていることを確認してください。

カタログのバックアップのヒントと指針

[ページの先頭へ](#)

カタログのバックアップに進む前に、次の情報を確認してください。

- CD、DVD、または外付けハードディスクにバックアップを作成することをお勧めします。
コンピューターの内部ハードドライブ上のフォルダーをバックアップする場合は、ファイル名は Elements Organizer によって英数字に変更されます。このように名前を変更することで、同じバックアップフォルダーに同じ名前のファイルが複数存在することを防ぎます。ただし、ファイルを復元すると、Elements Organizer によりファイル名は元に戻ります。
- CD/DVD を使用したバックアップ/復元は、Mac OS ではサポートされません。また、Mac OS では、共有ネットワークのファイルにアクセスできません。
- 選択した写真をコンピューターや複数の DVD プレイヤーで再生するために CD または DVD に焼き込む場合は、スライドショーの作成 (Windows のみ) を参照してください。
- (Windows のみ) CD や DVD で使用可能な領域をすべて使用できるように、Elements Organizer では 1 枚のディスクに複数のセッションを書き込むことができます。編集/環境設定/ファイルを選択し、「CD / DVD へのマルチセッションの書き込みを有効にする」を選択します。
- CD などのリムーバブルメディアへのバックアップが完了したら、今後のバックアップに備えて、今回のバックアップの内容と日付を記入しておくとう便利です。ディスクにラベルを付けるには、Elements Organizer を使用して CD ラベルや DVD ラベルを作成したり、専用のペンを使用してディスクに記入します。

カタログのバックアップ

[ページの先頭へ](#)

1. 複数のカタログがある場合は、バックアップするカタログを開きます。
2. ファイル/カタログのバックアップを選択します。
3. バックアップの作成前に見つからないファイルを確認ダイアログボックスが表示されたら、次のいずれかの操作を行います。
 - 「再リンク」をクリックして、見つからないファイルを確認します。「再リンク」をクリックして、見つからないファイルがあった場合は、見つからないファイルを再リンクダイアログボックスが表示され、そのファイルに再リンクするように促されます。
 - 「続行」をクリックすると、バックアップファイルの作成を続行します。復元手順が自動的に実行されます。

メモ：再リンクされないアイテムがあってもバックアップを継続することを選択した場合、このバックアップを復元すると、再リンクされていないアイテムを持つカタログが作成されます。

4. バックアップウィザードのステップ 1 で、次のオプションのいずれかを選択し、「次へ」をクリックします。

完全バックアップ カatalog全体と、写真ファイル、ビデオファイル、オーディオクリップ、PDF、プロジェクトおよびその他

の関連ファイルのすべてがコピーされます。ファイルのバックアップを初めて作成する場合は、このオプションを選択してください。

差分バックアップ 現在のカタログと、前回の完全バックアップまたは差分バックアップを作成した時の差分のデータとなる、新規作成または変更されたメディアファイル、PDF、プロジェクトおよびその他の関連ファイルだけがコピーされます。

- バックアップウィザードのステップ 2 で、次のオプションを設定し、「バックアップを保存」をクリックします。
 - 「保存先ドライブを選択」の一覧から、アイテムの書き込み先として CD、DVD、またはハードディスクを選択します。
 - 「保存名」テキストボックスで初期設定の名前をそのまま使用するか、バックアップセッションに付ける名前を入力します。
 - CD または DVD ドライブを選択する場合は、項目の焼き込みの速度を選択します。初期設定では、使用するドライブと CD / DVD メディアの最速の速度が選択されています。ご使用のドライブとメディアに適した書き込み速度を選択してください。
 - 「バックアップ先パス名」では、「保存先ドライブを選択」でハードディスクを選択した場合に、内部またはネットワークのハードディスクへのバックアップファイルの保存先の場所を指定します。保存先を変更する場合は、「参照」をクリックして別の場所を選択します。
 - 「以前に作成したバックアップファイル」は、差分バックアップを作成する場合に、最後に作成したバックアップから変更された部分を調べるために使用します。以前のバックアップファイルを参照するには、「参照」をクリックしてファイルを選択します。
- バックアップに必要なサイズと必要な時間の推定が計算されたら、「バックアップを保存」をクリックします。CD または DVD のディスクを選択すると、書き込み可能な CD または DVD を挿入するように促すメッセージが表示されます。
- 差分バックアップを作成する場合は、前回の完全バックアップや差分バックアップを保存したメディアを挿入するか、ハードディスク上の場所を指定し、画面上の指示に従います。

CD または DVD に書き込むたびに、ディスクの検証が求められます。検証には時間がかかりますが、ディスクを正しく作成するために必要です。

ページの先頭へ

カタログの復元

バックアップ済みのカタログを復元すると、バックアップカタログのコンテンツがコンピューター上に再度作成されます。カタログからの復元は、特に、失われたファイルを取得したり、コンピューター間でファイルを移動する場合に役立ちます。

例えば、バックアップコマンドを使用して、書き込み可能 CD または DVD にすべてをコピーします。次に復元コマンドを使用して、CD または DVD からファイルを他のコンピューターに配置します。

メモ： CD / DVD を使用したバックアップ / 復元は、Mac OS ではサポートされていません。

- 次のいずれかの操作を行います。
 - CD や DVD などのリムーバブルメディアにバックアップした場合は、コンピューターにメディアを挿入します。
 - 外部ハードディスクにバックアップした場合は、そのハードディスクがコンピューターに接続されていることを確認します。
- ファイル / カタログを復元を選択します。
- 「復元するバックアップの場所」で、復元するファイルが保存されている場所を指定します。
 - バックアップファイルが CD または DVD のどちらかに保存されている場合は、「CD / DVD」を選択します。必要に応じて、ドライブを選択メニューを使用して CD または DVD のドライブを選択します。

メモ： マルチセッションバックアップファイルが入った CD または DVD からファイルを復元する場合は、ドライブを選択リストを使用して最新のバックアップを選択します。

- バックアップファイルがハードディスク、またはフラッシュメディアなどの他のリムーバブルメディアに保存されている場合は、「ハードディスク / その他のボリューム」を選択します。復元するバックアップファイルを検索するには、「参照」ボタンをクリックします。
- カタログおよびファイルの復元先を指定します。


- 「元の場所」を選択すると、カタログ、写真、ビデオファイル、PDF、プロジェクト、およびオーディオクリップが元の場所に復元されます。
- 「新規の場所」を選択すると、カタログおよび画像が新規のドライブまたはフォルダーに復元されます。別の保存先を選択するには、「参照」ボタンをクリックします。「元のフォルダー構造を復元」を選択すると、カタログ、写真、ビデオファイル、PDF、プロジェクト、およびオーディオクリップを含むフォルダーとサブフォルダーの階層が保持された状態で復元されます。

メモ： 復元するバックアップの場所を CD / DVD として選択している場合は、Elements Organizer からカタログの復元に複数のディスクが必要かどうかを問い合わせるメッセージが表示されます。画面の指示に従ってください。1つのバックアップセットだけを復元する場合と、1つのバックアップセットと差分バックアップを復元する場合とは手順が異なります。

5. 「復元」をクリックします。

以前のバージョンの Windows からカタログを Mac OS 上に復元する

- 以前のバージョンの Windows からカタログを Elements Organizer の現在の Windows バージョンに復元します。カタログは、現在のバージョンと互換性のある形式に変更され、変換完了メッセージが表示されます。
- 現在の Windows バージョンで、復元したカタログをバックアップします。
- Mac OS では、Elements Organizer のバックアップファイル (.tly) が復元されます。

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

保存検索の作成と編集

保存検索

保存検索の作成

保存検索の編集と類似保存検索の作成

保存検索の削除

[ページの先頭へ](#)

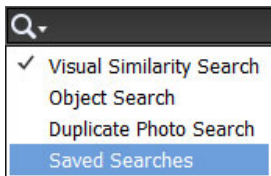
保存検索

保存検索は、指定した条件に合うメディアを集めたアルバムです。保存検索を作成すると、その保存検索の条件に合うメディアがあれば、その保存検索結果に自動的に表示されます。カタログに新しいメディアを追加すると、保存検索の条件に合うメディアがその保存検索結果に自動的に表示されます。保存検索は、自動的に更新されます。

[ページの先頭へ](#)

保存検索の作成

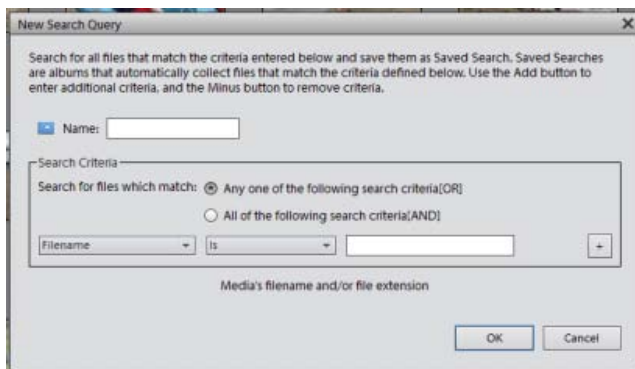
1. 検索アイコンをクリックします。ドロップダウンリストから「保存検索」を選択します。



2. 保存検索ダイアログボックスで、「新規検索クエリー」をクリックします。



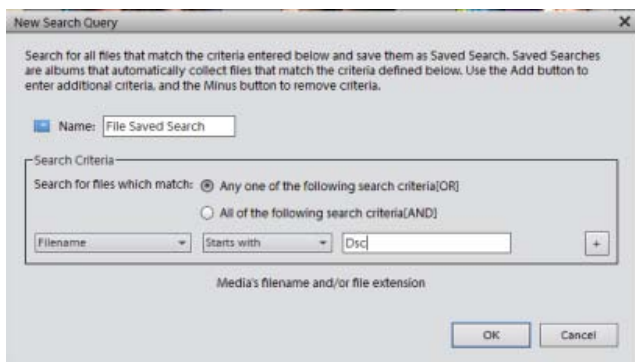
3. 新規検索クエリーダイアログボックスで検索条件を入力し、「OK」をクリックします。



新規検索クエリダイアログボックスでは、次の詳細を指定します。

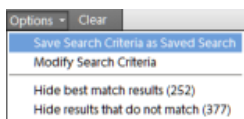
- 名前：保存検索の名前を入力します。
- 検索条件：ドロップダウンリストから検索条件を選択します。テキストボックスに（必要に応じて）値を入力します。
- + をクリックすると、検索クエリを追加できます。
- 「OK」をクリックします。

例えば、ファイル名が「Dsc」で始まるファイルをすべて検索することができます。



注意： 写真の選択条件は、複数指定することができます。

4. 右上のエリアの「オプション」をクリックすると、保存検索のオプションが表示されます。



「消去」をクリックすると、検索結果が消去され、メディアビューに戻ります。

現在の検索結果を新しい保存検索として保存することができます。「保存検索として検索条件を保存」をクリックします。

「検索条件を変更」をクリックすると、目標とする検索結果を得るために、検索条件を変更できます。

「条件に最も近いアイテムを非表示」をクリックすると、それ以外の検索結果が表示されます。

「条件に一致しないアイテムを非表示」をクリックすると、保存検索条件に一致しないアイテムは表示せず、メディアビュー内の検索結果に集中できます。

保存検索の編集と類似保存検索の作成

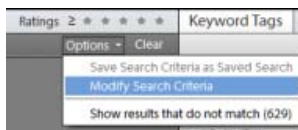
保存検索の検索条件は編集できます。

1. 検索アイコンをクリックします。ドロップダウンリストから「保存検索」を選択します。

2. 保存検索ダイアログボックスで、変更する検索を選択し、「開く」をクリックします。

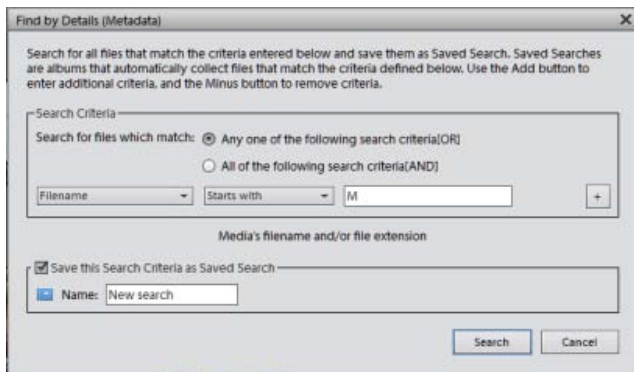
保存検索が実行され、メディアビューに結果が表示されます。

3. 右上のバーからオプションを選択します。「検索条件を変更」をクリックします。



4. 検索条件を編集したり、さらに追加したりします。

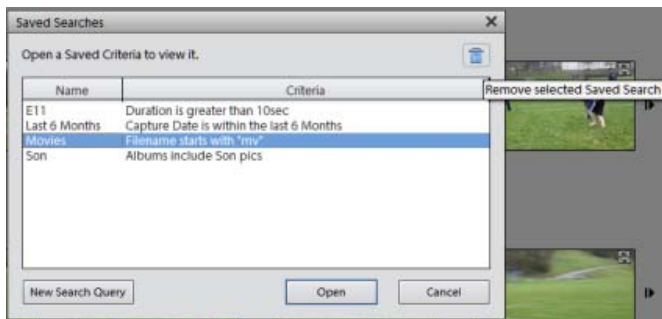
「この検索条件を保存検索として保存」オプションをオンにします。検索の名前を入力します。新しい保存検索が作成されます。



[ページの先頭へ](#)

保存検索の削除

1. 検索バーで、「保存検索」を選択します。
2. 保存検索ダイアログボックスで、削除する保存検索を選択します。ごみ箱アイコンをクリックします。「OK」をクリックします。



Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

写真の表示と補正

Elements Organizer での写真とビデオの表示

[メディアビューについて](#)

[メディアビューの表示環境設定の設定](#)

[メディアビューアイコン](#)

[メディアビューでファイルを並べ替え](#)

[メディアビューでのメディアファイルの表示と非表示](#)

[フォルダーごとのファイルの表示と管理](#)

[表示するメディアの種類の指定](#)

[ズームバーを使用したメディアサムネールのサイズ変更、更新、非表示](#)

[メディアビューでのファイルの選択](#)

[メディアファイルの詳細情報の表示と編集](#)

[ページの先頭へ](#)

メディアビューについて

メディアビューには、Elements Organizer の中心領域（グリッド）のメディアファイルのサムネールを表示します。アルバム、フォルダー、カテゴリにあるメディア（写真、ビデオファイル、オーディオファイルのサムネール）を表示できます。メディアビューでアイテムを選択して、タグを適用したり、プロジェクトに追加したり、編集することができます。

メディアビューは、デフォルトで表示されます。ただし、他のビューからメディアビューに切り替えるには、「メディア」タブをクリックします。


[ページの先頭へ](#)

メディアビューの表示環境設定の設定

1. 「メディア」タブをクリックして、メディアビューを開きます。
2. 次のいずれかの操作を行います。
 - (Windows) 編集／環境設定／一般を選択します。
 - (Mac OS) Adobe Elements Organizer／環境設定／一般を選択します。
3. 必要に応じて次のような表示オプションを指定します。
 - プリントサイズ：メディアのプリントサイズを指定します。
 - 日付（時刻の新しい順）：同じ日付の写真を新しい写真から順に表示するには、「同じ日付のアイテムは時刻の新しい順に表示」を選択します。古い写真を最初に表示するには、「同じ日付のアイテムは時刻の古い順に表示」を選択します。
 - 日付の形式：写真のタイムスタンプに表示するデータ形式を選択します。言語によっては、このオプションは利用できません。
 - 写真のサイズ変更を許可：フォトブラウザーのスペースが許す限り、写真を実際のサイズの 100 %以上に拡大するには、「写真のサイズ変更を許可」を選択します。このオプションを選択解除すると、利用可能なスペースが残っている場合でも、写真が実際のサイズで表示されます。
 - システムフォントを使用：使用しているコンピューターのオペレーティングシステムのフォントを使用して Elements Organizer ユーザーインターフェイスのテキストを表示するには、「システムフォントを使用」を選択します。
 - サムネールの日付をクリックして日時を変更：写真の日時の詳細を編集するには、写真をクリックして、「サムネールの日付をクリックして日時を変更」を選択します。
 - すべての警告ダイアログボックスを初期化：以後、表示しないことにしたダイアログボックスを再度有効にするには、「すべての警告ダイアログボックスを初期化」をクリックします。
 - 初期設定値に戻す：このボタンをクリックすると、一般的な表示の環境設定が初期設定値に復元されます。

メディアビューアイコン

詳細オプションを選択した場合にだけ、次のアイコンのうち該当するものが表示されます。他のアイコンは常に表示されます。ファイルの詳細を表示するには、表示／詳細をクリックします。

スタックアイコン 

スタックされている写真のサムネールであることを示します。

バージョンセットアイコン 

スタックされている編集されたバージョンの写真のサムネールであることを示します。

ビデオシーングループアイコン 


ビデオシーングループのビデオシーンのサムネールであることを示します。

ビデオアイコン 


ビデオクリップのサムネールであることを示します。

オーディオアイコン 


サムネールにオーディオキャプションがあることを示します。

マルチプルキーワードタグアイコン 


メディアファイルに6つ以上のキーワードタグが適用されていることを示します。ポインタをタグアイコンに重ねると、適用されているキーワードタグが表示されます。

キーワードタグアイコン 


メディアファイルに特定のキーワードタグが適用されていることを示します。

アルバムアイコン 


アルバムであることを示します。

非表示の写真アイコン 


サムネールが非表示のファイルであることを示します。

プロジェクトアイコン 


サムネールがプロジェクトに使用されていることを示します。

フォトプロジェクトアイコン 

写真が複数ページのプロジェクトに含まれていることを示します。

重要度 

写真の重要度を5段階で表示します。

人物タグ 

写真に人物タグが追加されていることを示します。

スマートタグ  (Elements 12 以前のバージョンのみ)

メディアファイルにスマートタグが適用されていることを示します。

メディアビューでファイルを並べ替え

- 並べ替えドロップダウンリストで選択できるオプションに基づいてメディアファイルを並べ替えることで、グリッド内で様々な方法でメディアファイルを表示できます。

次の「並べ替え」オプションから選択します。

取り込み順 メディアファイルを取り込んだ日時ごとに表示し、取り込み方法も表示します。

最も新しい 撮影日時や読み込み日時が新しい順にメディアファイルを表示します（メディアファイルの日付が同じ場合は、環境設定ダイアログボックスで指定しない限り、先に撮影されたメディアファイルから表示されます）。新しい順で表示すると、新しく取り込んだメディアファイルにタグを付ける場合に便利です。

最も古い 日付スタンプ順にメディアファイルを表示すると、日付に基づいて最初に読み込まれたファイルから表示されます。

ファイル名 名前のアルファベット順にメディアファイルを表示します。

メディアビューでのメディアファイルの表示と非表示

ハードディスクからメディアファイルを削除しなくても、メディアビュー内のビューで非表示にするよう、メディアファイルにマークを付けることができます。逆に、非表示のファイルを一時的に再表示したり、ファイルが常に表示されるよう、マークを削除したりすることもできます。

非表示にするメディアファイルの指定

1. 非表示にするメディアファイルを選択します。隣接する複数のファイルを選択する場合は、Shift キーを押しながら最初のメディアファイルと最後のメディアファイルをクリックして、グループ全体を選択します。隣接していない複数のファイルを選択する場合は、Ctrl キーを押しながら、ファイルを 1 つずつクリックして選択します。

2. 編集 / 表示 / 非表示 / 表示しないを選択し、非表示にするメディアファイルにマークを付けます。

選択したメディアファイルの左下に、非表示アイコンが表示されます。

3. Elements Organizer で選択したメディアファイルを非表示にするには、編集 / 表示 / 非表示を選択して、「非表示のファイルを隠す」を選択します。

サムネールを右クリック / Control キーを押しながらクリックして、コンテキストメニューから「表示 / 非表示」コマンドを選択することもできます。

非表示にしたメディアファイルの表示

• 編集 / 表示 / 非表示を選択して、次のいずれかの操作を行います。

すべてのファイルを表示 非表示のファイルと、非表示にされていないファイルを表示します。

非表示のファイルのみを表示 Elements Organizer で非表示のファイルのみを表示します。

サムネールを右クリック / Control キーを押しながらクリックして、コンテキストメニューから「表示 / 非表示」コマンドを選択することもできます。

メディアファイルの非表示アイコンの削除

1. メディアビューで、表示 / 非表示のファイル / すべてのファイルを表示を選択すると、非表示マークのメディアファイルが表示されます。

2. 非表示アイコンを削除するメディアファイルを選択します。

隣接する複数の写真を選択する場合は、Shift キーを押しながら最初の写真と最後の写真をクリックして、グループ全体を選択します。隣接していない複数の写真を選択する場合は、Ctrl キーを押しながら、写真を 1 つずつ選択します。

3. 編集 / 表示 / 非表示 / 表示するを選択します。

サムネールを右クリック / Control キーを押しながらクリックして、コンテキストメニューから「表示 / 非表示」コマンドを選択することもできます。

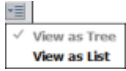
フォルダーごとのファイルの表示と管理

マイフォルダーパネルには、アルバム内でさらに整理できるメディアのフォルダーが表示されます。マイフォルダーパネルは、「アルバム」の下

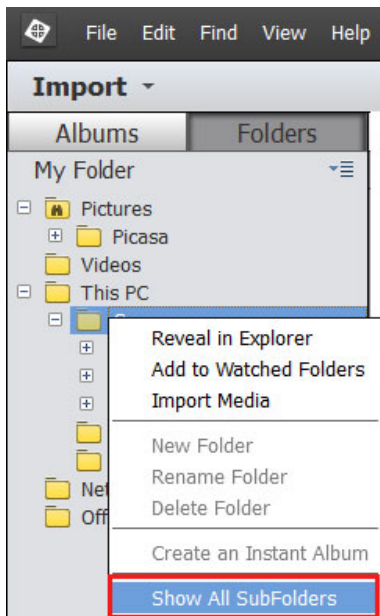
の左側に表示されます。このパネルから、フォルダーを管理したり、カタログにファイルを追加したり、チェックフォルダー（Windows のみ）ステータスからフォルダーの追加または削除を行うことができます。

フォルダー構造は、次の 2 つのビューで表示されます。

ツリービュー フォルダーパネルで、ツリービューとリストビューの間で切り替えます。ツリービューは、フォルダーにあるメディアの物理的な位置を確認するときに役立ちます。ツリービューでは、初期設定でフォルダーのサブフォルダーは表示されません。フォルダーを選択し、右クリックして「サブフォルダーをすべて表示」を選択し、フォルダーのサブフォルダーを表示します。





ツリービューとリストビューの間での切り替え



サブフォルダーの表示

統合フォルダービュー このビューは、初期設定でフォルダーパネルに表示されます。統合フォルダービューは基本構造であり、任意のフォルダーをクリックしてそのフォルダー内の使用可能なメディアを表示できます。

初期設定では、フォルダーパネルには、Elements Organizer に読み込まれたメディアのハードディスクにあるすべてのフォルダーが表示されます。

管理対象ファイルを含むフォルダーには、管理対象フォルダーアイコン  が付いています。管理対象ファイルとは、手動または自動でカタログに取り込まれたファイルを指します。チェックフォルダーには、チェックフォルダーアイコン  が付いています。

注意： チェックフォルダーのオプションはネットワークドライブでは無効です。チェックフォルダー機能は、Windows でのみ使用できます。

チェックフォルダーに保存されたファイルは、互換性のないものを除き、Elements Organizer に自動的に取り込まれます。管理対象フォルダーとチェックフォルダーの両方に指定されている場合は、これらの対象であることを表すアイコンが付いています。

マイフォルダーパネルで利用可能なオプションを使用して、フォルダー内のファイルを表示したり、異なる操作を実行したりできます。

1. フォルダー階層は、「マイフォルダー」タブの Organizer の左側に表示され、画像のサムネールはグリッドに表示されます。
2. メディアファイルを表示するフォルダーをクリックします。フォルダー内のファイルのサムネールがメディアビューのグリッドに表示されます。
3. フォルダーからアルバムにファイルを追加するには、フォルダーを選択し、グリッドから「アルバム」にメディアファイルをドラッグ&ドロップします。
4. ファイルとフォルダーを管理するには、マイフォルダーからフォルダーを選択し、次のいずれかの操作を行います。

- 別のフォルダーにファイルを移動する移動元のフォルダーを選択します。
- 別のフォルダーにファイルを移動するには、フォルダーパネルの移動先のフォルダーに、メディアビューのファイルのサムネールをドラッグします。
- エクスプローラーでフォルダーを表示するには、フォルダー階層パネルで右クリックするか、Control キーを押しながらクリックして、「エクスプローラーで表示」(Windows)または「Finder で表示」(Mac OS)を選択します。
- (Windows のみ) フォルダーをチェックフォルダーとして設定したり、設定を解除するには、フォルダー階層パネルでフォルダーを右クリックし、「チェックフォルダーとして追加」または「チェックフォルダーから削除」を選択します。
- フォルダーの名前を変更するには、フォルダーを右クリック/Control キーを押しながらクリックし、「フォルダー名の変更」を選択します。次に、新しい名前を入力します。
- フォルダーを削除するには、フォルダー階層パネルでフォルダーを右クリックするか、Control キーを押しながらクリックし、「フォルダーの削除」を選択します。
- フォルダーパネルでかんたんアルバムを作成できます。選択したフォルダー内のすべての画像が、かんたんアルバムに追加されます。フォルダー名でアルバムをすばやく作成するには、フォルダーを選択し、右クリックして、「かんたんアルバム作成」を選択します。

[ページの先頭へ](#)


表示するメディアの種類指定

- メディアビューで、表示/メディアの種類/[ファイルの種類]を選択します。

[ページの先頭へ](#)

ズームバーを使用したメディアサムネールのサイズ変更、更新、非表示

メディアファイルのサムネールのサイズを変更したり、別のアプリケーションでメディアファイルを編集した後でサムネールを更新したりすることができます。さらに、サムネールをすばやく回転して、ウィンドウに正しく表示されるようにできます。

- サムネールのサイズを徐々に変更するには、ズームバーのサムネールスライダーをドラッグします。
- できる限り小さなサムネールを表示するには、ズームバーをスライダーの最左端(開始点)に移動します。
- 1つのメディアファイルを表示するには、ズームバーをスライダーの最右端(終了点)の右に移動します。
- サムネール画像を更新するには、表示/表示の更新を選択します。
- 反時計回りに画像を回転させるには、タスクエリアで「左に回転」をクリックします。時計回りに画像を回転させるには、「右に回転」をクリックします。

[ページの先頭へ](#)

メディアビューでのファイルの選択

メディアビューで、作業対象のメディアファイルを選択します。選択したサムネールの枠が暗いブルーでハイライト表示されます。

- 次のいずれかの操作を行います。
 - アイテムを1つ選択するには、そのサムネールをクリックします。
 - 連続した複数のアイテムを選択するには、Shift キーを押しながら選択する範囲の最初のアイテムと最後のアイテムをクリックします。
 - 連続していない複数のアイテムを選択するには、Ctrl キー/Command キーを押しながらアイテムを1つずつクリックします。
 - メディアビューのすべてのアイテムを選択または選択解除するには、編集/すべてを選択、または編集/選択を解除を選択します。

[ページの先頭へ](#)


メディアファイルの詳細情報の表示と編集

メディアビューに各サムネールの詳細情報を表示することを選択できます。また、特定の詳細情報をどのように表示するか選択することもできま

す。また、オーディオキャプションなどのキャプションや日時に関する情報を追加および編集することができます。


メディアファイルの詳細情報の編集

メディアファイルに関連する情報を編集できます。例えば、日付、適用したタグ、ファイル名、キャプションおよびオーディオキャプションを編集できます。

- メディアビューで、次のいずれかの操作を行います。
 - テキストキャプションを編集または追加するには、表示／詳細を選択し、右クリックして、「キャプションを追加」を選択します。
 - オーディオキャプションを追加、再生または編集するには、表示／詳細を選択し、写真をダブルクリックします。オーディオキャプションを設定ボタン  をクリックします。
 - メディアファイルに割り当てられた日付を変更するには、サムネールを選択し、編集／日時を変更を選択します。表示されるダイアログボックスのオプションを指定します。

シングルクリックで日付を変更することができます。この機能を有効にするには、編集／環境設定／一般 (Windows)、または *Adobe Elements Organizer* / 環境設定／一般 (Mac OS) を選択します。環境設定ダイアログで、選択します。日付をクリックし、必要な変更を加えます。

アドビは次の機能も推奨します。

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

メディアのタグ付け

キーワードタグの操作

キーワードタグ

キーワードタグパネルの使用

キーワードタグの作成

メディアファイルにキーワードタグを追加

スマートタグについて

キーワードタグによるメディアファイルの検索

タグのすばやい作成と適用

新しいキーワードタグカテゴリまたはサブカテゴリの作成

キーワードタグ、カテゴリおよびサブカテゴリの編集

人物、場所、イベントタグの操作 | Elements 12

人物タグの作成

場所タグの作成

イベントタグの作成

メディアをタグ付けすると、管理が簡単に、検索されやすくなります。キーワードで写真やビデオを識別して、メディアファイルやアルバムを取得するために、キーワードタグを使用できます。また、人物、場所、イベントのタグを使用して、メディアを簡単に整理できます。

[ページの先頭へ](#)

キーワードタグの操作

キーワードタグ

キーワードタグとは、「父親」や「フロリダ」のようにカスタマイズされたキーワードで、メディアビュー内で写真、ビデオファイル、オーディオクリップ、PDF およびプロジェクトに追加されます。キーワードタグを使用すると、タグ付けされたファイルを簡単に整理して検索できるようになります。キーワードタグを使用すると、カテゴリ固有のフォルダー内でメディアファイルを手動で整理したり、メディアファイルの名前をコンテンツに沿った名前に変更したりする必要がなくなります。代わりに、単に各メディアファイルに1つまたは複数のキーワードタグを追加できます。次に、キーワードタグパネルで、1つまたは複数のキーワードタグを選択することで、希望のメディアファイルを取得できます。検索テキストボックスにキーワードを入力して、特定のキーワードタグの付いたメディアファイルも検索できます。

例えば、「Anna」というキーワードタグを作成し、妹の Anna が写っているすべてのメディアファイルに適用します。次に、コンピューターに保存されている Anna のすべてのメディアファイルを即時に検索するには、キーワードタグパネルで「Anna」のタグを選択します。

任意のキーワードを使用してキーワードタグを作成することができます。メディアファイルに複数のキーワードタグが付いている場合、キーワードタグの組み合わせを選択して、特定の場所やイベントに関係した特定の人が写っているメディアを検索することもできます。例えば、「Anna」というキーワードタグと「Marie」というキーワードタグをすべて検索することによって、Anna と彼女の娘の Marie が一緒に写っている写真をすべて見つけることができます。また、「Anna」というキーワードタグと「岬」というキーワードタグをすべて検索することによって、サンルカス岬で休暇中の Anna の写真をすべて見つけることができます。

キーワードタグパネルの使用

キーワードタグは、「整理」タブのキーワードタグパネルで作成および操作します。


Elements Organizer のキーワードタグパネルには、旅行のカテゴリがデフォルトで含まれます。さらに、キーワードタグが付いているメディアファイルを読み込むと、それらのタグは読み込んだキーワードタグカテゴリの下に表示されます。これらのカテゴリでタグを整理する以外に、独

自のカテゴリやサブカテゴリを作成することもできます。

キーワードタグパネルでは、次の操作を行うことができます。


- すべてのキーワードタグ、タグのカテゴリおよびタグのサブカテゴリを表示します。カテゴリまたはサブカテゴリの横にある三角形をクリックして、キーワードタグを展開するか、折りたたみます。
- キーワードタグの作成、編集および削除を行います。
- カテゴリとサブカテゴリ内のキーワードタグを整理します。
- キーワードタグのリストを上下にスクロールします。

キーワードタグの作成

任意のカテゴリまたはサブカテゴリの下に新しいキーワードタグを作成して、カタログに新たに追加したメディアファイルを整理できます。新しいキーワードタグには、疑問符のアイコン  が付いています。



キーワードタグを作成ダイアログボックスで、キーワードタグを作成できます。 .

1. キーワードタグパネルで、新規ボタン（文末のプラス記号）をクリックして、新しいキーワードタグを選択します： 
 2. キーワードタグを作成ダイアログボックスで、カテゴリポップアップメニューからキーワードタグの配置先のカテゴリまたはサブカテゴリを選択します。
 3. 「名前」ボックスに、キーワードタグの名前を入力します。
- 注意： キーワードタグの名前のふりがなを変更するには、「名前（ふりがな）」ボックスに新しいふりがなを入力します。
4. 「メモ」ボックスにキーワードタグに関する情報を入力します（例えば、「休暇の写真」などの説明を記述しておきます）。
 5. 「OK」をクリックします。

選択したカテゴリまたはサブカテゴリに属した形で、キーワードタグがキーワードタグパネルに表示されます。

注意： キーワードタグを最初に適用したメディアファイルが、キーワードタグのアイコンとして使用されます。アイコンを変更するには、[キーワードタグアイコンの変更](#)を参照してください。

メディアファイルにキーワードタグを追加

作成したキーワードタグは、タグに関連するメディアファイルに適用できます。1つのメディアファイルに複数のキーワードタグを適用することもできます。キーワードタグを最初に適用したメディアファイルが、キーワードタグのアイコンとして使用されます。複数のメディアファイルをキーワードタグへドラッグした場合は、先頭にあるメディアファイルがキーワードタグのアイコンとして使用されます。

1. メディアビューで、キーワードタグを適用するメディアファイルを選択します（1枚以上の写真を選択するには、Ctrl キー / Cmd キーを押しながらメディアファイルをクリックします）。
2. 1つのキーワードタグを1枚のメディアファイルに適用するには、次のいずれかの操作を行います。

- キーワードタグパネルで1つのキーワードタグを選択し、選択したメディアファイルに重なるようにドラッグします。
- キーワードタグパネルのキーワードタグに重なるように、メディアファイルをドラッグします。

3. キーワードタグを複数のメディアファイルに適用するには、次のいずれかの操作を行います。

- キーワードタグパネルから、選択されたメディアファイルのいずれかにキーワードタグをドラッグします。
- 1つまたは複数のキーワードタグを選択し、選択したメディアファイルのいずれかに重なるようにキーワードタグをドラッグします。
- 1つまたは複数のキーワードタグを選択してから、キーワードタグパネルで選択したタグのいずれかに重なるように写真をドラッグします。

アルバム内のすべてのメディアファイルにタグを適用するには、アルバムパネルでアルバムをクリックします。メディアビューで、すべてのメディアファイルを選択します。キーワードタグパネルでキーワードタグを選択し、それらにタグを適用します。

スマートタグについて

注意： Elements 13 では、スマートタグを利用できなくなりました。

スマートタグを使用すると、品質や内容に応じてメディアファイル（写真やビデオ）を簡単に検索できます。自動解析は、自動的にスマートタグをメディアファイルに割り当てます。自動解析は次の項目を有効にします。

- メディアファイルを解析します。
- 手ぶれ、暗い、明るいなどの品質に基づいて写真や風景を識別します。

最高のメディアファイルを見つけて、粗悪なメディアファイルを排除することができます。これらのタグを使用すると、品質に基づいてアセットを並べ替えることができます。自動解析されたメディアファイルを表示するには、Elements Organizer インターフェイスで「スマートタグ」オプションを選択します。

注意： スマートタグを作成、編集、または削除することはできません。ただし、個別のクリップからスマートタグを削除または適用することはできます。

自動解析のコンテンツ解析は手動または自動で行えます。手動モードでは、スマートタグを選択したアセットに割り当てることができます。自動モードでは、解析とスマートタグのアセットへの割り当てがバックグラウンドプロセスで実行されます。

キーワードタグによるメディアファイルの検索

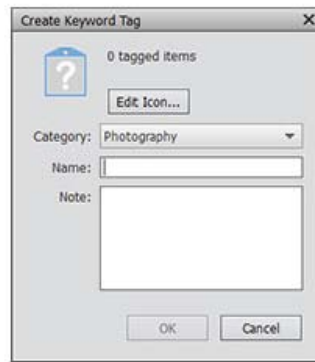
1. 検索バー内のボックスにタグの名前を入力すると、入力された文字に一致するタグのリストが表示されます。例えば、「D」を入力すると、「D」の文字で始まるすべてのタグが表示されます。必要なタグのみを選択できます。

検索条件として指定したキーワードタグが付いている、すべてのメディアファイルが検索されます。キーワードタグが含まれているサブカテゴリまたはカテゴリを選択すると、その階層下にある写真も含めてすべて表示します。例えば、「新郎」と「新婦」のキーワードタグを含む「結婚」サブカテゴリが存在するとします。「結婚」サブカテゴリを選択すると、Elements Organizer には、「新郎」と「新婦」のタグが付いたすべてのメディアファイルが表示されます。

2. タグをクリックして、タグに関連付けられているメディアを検索できます。タグをクリックすると、詳細な検索メニューが表示されます。検索内容を変更するか、他のキーワードタグを選択して、関連付けられているメディアを検索できます。

タグのすばやい作成と適用

Elements Organizer インターフェイス内の「キーワードタグ」テキストボックスを使用すると、迅速にタグを作成および適用することができます。このテキストボックスには、入力した文字に応じて、既存のタグのリストの一部が表示されます。例えば、「S」を入力すると、「S」の文字で始まるタグのリストが表示されます。このリストの一部を表示できます。このリストから既存のタグを選択して、選択されたアセットに適用するか、タグを作成してアセットに適用することができます。



タグの作成と適用

タグの作成


1. メディアファイルを選択します。
2. 「画像タグ」フィールドで、タグの名前を入力します。
3. 「追加」をクリックします。

タグの適用

1. タグ付けするアセットを選択して、次のいずれかの操作を行います。
 - 「キーワードタグ」テキストボックスで、タグの名前を入力します。
 - 例えば、「A」を入力すると、「A」の文字で始まるタグのリストが表示されます。使用するタグを選択します。
2. 「追加」をクリックします。

選択されたアセットにタグが適用されます。

新しいキーワードタグカテゴリまたはサブカテゴリの作成

1. 「整理」タブのキーワードタグパネルで、新規ボタン（文末のプラス記号）をクリックし、「新規カテゴリ」または「新規サブカテゴリ」のいずれかを選択します：
2. 次のいずれかの操作を行います。
 - 新規カテゴリを作成するには、「カテゴリ名」ボックスに名前を入力します。「カラーを選択」をクリックして、そのカテゴリ内のキーワードタグに付けるカラーを指定します。次に、カテゴリアイコンリストからアイコンをクリックして選択します。
 - 新規サブカテゴリを作成するには、「サブカテゴリ名」ボックスに名前を入力します。次に、「1つ上のカテゴリまたはサブカテゴリ」ポップアップメニューで、新規サブカテゴリの配置先を選択します。
3. 「OK」をクリックします。

新しいカテゴリまたはサブカテゴリがキーワードタグパネルに表示されます。

注意： サブカテゴリは編集または削除することができますが、サブカテゴリのアイコンは常に単色のタグとして表示され、アイコンに写真を使用することはできません。

キーワードタグ、カテゴリおよびサブカテゴリの編集

キーワードタグアイコンの変更

初期設定では、キーワードタグのアイコンには、そのタグが最初に付けられた写真が使用されます。タグの内容をわかりやすくするために、このアイコンを変更することができます。

1. キーワードタグパネルのタグを選択します。

注意： この機能は、顔／人物認識によって生成されたタグでは利用できません。

2. 新規ボタン（文末のプラス記号）をクリックし、メニューから「編集」を選択します：+

3. キーワードタグの編集ダイアログボックスで、「アイコンの編集」ボタンをクリックします。

4. アイコンの次のプロパティを編集できます。

- ・ カラー：「カラーを選択」をクリックして、カラーを選択してアイコンのカラーを変更します。
- ・ 名前：「カテゴリ名」でキーワードカテゴリの名前を編集します。
- ・ カテゴリアイコン：カテゴリアイコンで利用できるオプションからアイコンを選択します。アイコンのその他のオプションを表示するには、横にスライドします。



キーワードカテゴリの編集

5. 「OK」をクリックします。

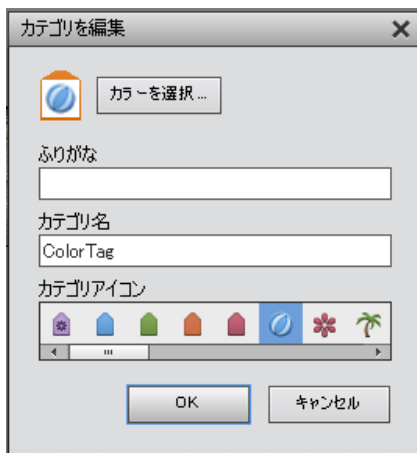
キーワードタグのカテゴリまたはサブカテゴリの編集

カテゴリやサブカテゴリの名前または場所を変更することができます。

1. キーワードタグパネルのカテゴリまたはサブカテゴリを選択します。新規ボタン（文末のプラス記号）をクリックし、メニューから「編集」を選択し、カテゴリを右クリック／Ctrl キーを押しながらクリックして、「編集」を選択します。+

2. アイコンの次のプロパティを編集できます。

- ・ カラー：「カラーを選択」をクリックして、カラーを選択してアイコンのカラーを変更します。
- ・ 名前：「カテゴリ名」でキーワードカテゴリの名前を編集します。
- ・ カテゴリアイコン：カテゴリアイコンで利用できるオプションからアイコンを選択します。アイコンのその他のオプションを表示するには、横にスライドします。



キーワードカテゴリの編集

3. 「OK」をクリックします。

ドラッグによるキーワードタグ、カテゴリ、サブカテゴリの整理

初期設定では、キーワードタグとサブカテゴリは五十音順で表示されますが、ドラッグして、これらの順序を変更することができます。

1. 編集／環境設定／キーワードタグとアルバム (Windows) 、または、Adobe Elements Organizer 11／環境設定／キーワードタグとアルバム (Mac OS) を選択します。
2. 「カテゴリ」、「サブカテゴリ」、および「キーワードタグ」の並べ替えオプションを「手動」に設定し、「OK」をクリックします。
3. キーワードタグパネルで、1つまたは複数のキーワードタグ、カテゴリ、またはサブカテゴリを選択します。
4. 次のいずれかの操作を行い、選択したアイテムを新しい場所に移動します。
 - カテゴリまたはサブカテゴリ内でキーワードタグを並べ替えるには、タグをドラッグし、グレーのラインが表示されたらマウスボタンを放します。ドラッグしたタグは、グレーのラインのすぐ下に表示されます。
 - キーワードタグを新しいカテゴリに移動するには、移動先のカテゴリに重なるようにタグをドラッグし、カテゴリがハイライトされたらマウスボタンを放します。
 - カテゴリまたはサブカテゴリを並べ替えるには、グレーのラインが表示されるまでカテゴリまたはサブカテゴリをドラッグします。マウスボタンを放すと、カテゴリまたはサブカテゴリがグレーのラインのすぐ下に表示されます。カテゴリまたはサブカテゴリを移動すると、それに含まれるキーワードタグも一緒に移動します。
 - カテゴリまたはサブカテゴリを別のカテゴリの下位に配置するには、それらを目的のカテゴリまたはサブカテゴリまでドラッグします。移動先のカテゴリまたはサブカテゴリがハイライトされたら、マウスを放します。

注意： カテゴリまたはサブカテゴリを間違えて移動し、意図していないカテゴリまたはサブカテゴリのサブカテゴリにしてしまった場合、移動先のサブカテゴリを選択して新規ボタン（文末のプラス記号）をクリックし、キーワードタグパネルのメニューの編集をクリックします。次に、「1つ上のカテゴリまたはサブカテゴリ」メニューを使用して、正しい場所を指定します。

キーワードタグからサブカテゴリへの、またはサブカテゴリからキーワードタグへの変更

- 「整理」タブで次のいずれかの操作を行います。
 - キーワードタグのキーワードタグを右クリック／Control キーを押しながらクリックし、「新規サブカテゴリ」を選択します。
 - キーワードタグのサブカテゴリを右クリック／Control キーを押しながらクリックし、「新規サブカテゴリ」を選択します。下位にキーワードタグまたはサブカテゴリを持つサブカテゴリを変更することはできません。

カテゴリまたはサブカテゴリの削除

1. キーワードタグパネルで、1 つ以上のカテゴリまたはサブカテゴリを選択します。
2. 「削除」を右クリックして選択し、「OK」をクリックして削除を確定します。

写真からのキーワードタグの削除

- メディアビューでの表示方法に応じて、次のいずれかの操作を行います。
 - サムネール表示で 1 枚の写真からキーワードタグを削除するには、メディアファイルを右クリック／Control キーを押しながらクリックし、アイテムからキーワードタグを削除／[タグ名] を選択します。
 - サムネールを拡大表示しているときに 1 枚の写真からキーワードタグを削除するには、メディアファイルの下にあるカテゴリのアイコンを右クリックするか、Control キーを押しながらクリックし、「キーワードタグを削除」を選択します。
- 表示によっては、ポインターをカテゴリのアイコンの上に置くと、メディアファイルに適用されているキーワードタグのリストが表示されます。
- 任意のビューで複数のメディアファイルからキーワードタグを削除するには、Ctrl キーまたは Cmd キーを押しながらクリックしてメディアファイルを選択します。次に、選択したメディアファイルのいずれかを右クリック／Control キーを押しながらクリックし、選択アイテムからキーワードタグを削除／[タグ名] を選択します。
 - 写真からキーワードタグを削除する方法には、メディアビューで写真を選択する方法があります。キーワードタグは、画像タグパネルに表示されます。タグを右クリックして、「削除」を選択します。

キーワードタグ情報のファイルへの書き出し

タグ付きの JPEG、TIFF または PSD ファイルを Elements Organizer から電子メールで送信したり書き出したりする場合、タグの情報は自動的に IPTC (International-Press-Telecommunications-Council: 国際新聞電気通信評議会) キーワードとして出力ファイルに含まれます。受信者がメディアファイルを取り込み、関連付けられているタグを取り込むように要求されると、そのタグを作成したバージョンの Elements Organizer でタグが適用されます。

Elements Organizer の電子メールまたは書き出し機能を使用せずにメディアファイルを電子メールで送信したり、配信したりする場合は、タグの情報をファイルのヘッダーの IPTC キーワードセクションに手動で書き込むことができます。

- メディアビューで、ファイルを 1 つ以上選択し、ファイル／メタデータをファイルに保存を選択します。

注意： キーワードタグの他に、人物／場所／イベントタグもファイルに書き込みます。


キーワードタグの取り込みと書き出し

キーワードタグの取り込みと書き出しは、共通する趣味を持つ友人とメディアファイルを共有する場合などに役立ちます。例えば、自分の趣味に関連したメディアファイルに対して、一連のキーワードタグを作成したとします。これらのタグセットを保存すると、同じ趣味を持った友人が、キーワードタグパネルにこれらのタグを取り込み、メディアファイルにこれらのタグを適用できます。逆に、友人のキーワードタグを取り込み、自分のメディアファイルにこれらのタグを適用することもできます。共通するキーワードを友人と一緒に使用し、共有する趣味に関連したメディアファイルを検索することができます。

キーワードタグの書き出し

キーワードタグパネル内のカテゴリやサブカテゴリの階層全体とキーワードタグアイコンをまとめて保存し、現在のキーワードタグのセットを他の人と共有することができます。書き出されたタグファイルは、Extensible Markup Language (XML) 形式で保存されます。

注意： タグを書き出しても、そのタグに関連付けられた写真は書き出されません。

1. キーワードタグパネルで、新規ボタン (文末のプラス記号) をクリックし、「キーワードタグをファイルに保存」を選択します：
2. 次のいずれかを選択し、「OK」をクリックします。

すべてのキーワードタグを書き出す すべてのキーワードタグと階層を含むファイルを作成します。

指定したキーワードタグを書き出す リストから選択されたカテゴリまたはサブカテゴリのキーワードタグと階層を含むファイ

ルを作成します。


3. キーワードタグをファイルに保存ダイアログボックスで、ファイル名を入力し、ファイルの保存先を選択してから、「保存」をクリックします。

ファイルからのキーワードタグの取り込み


「キーワードタグをファイルに保存」コマンドを使用して XML 形式で保存されたキーワードタグのセットは、カテゴリとサブカテゴリの階層全体およびアイコンを含めて、すべて取り込むことができます。

また、別のキーワードタグが付けられた画像を取り込むことによって、キーワードタグを取り込むこともできます。例えば、メディアファイルを電子メールで送信、書き出し、および編集した場合、またはキーワードタグの情報が追加された場合、キーワードタグが添付されます。

注意： キーワードタグを取り込んでも、タグに関連付けられた写真は取り込まれません。

1. キーワードタグパネルで、新規ボタン（文末のプラス記号）をクリックし、「ファイルからキーワードタグを取り込む」を選択します： 
2. ファイルからキーワードタグを取り込むダイアログボックスで、キーワードタグ、カテゴリ、およびサブカテゴリを含む XML ファイルを選択し、「開く」をクリックします。

キーワードタグパネルとアルバムパネルの環境設定

1. Elements Organizer で、編集／環境設定／キーワード名札とアルバム（Windows）、または、Adobe Elements Organizer 11／環境設定／キーワード名札とアルバム（Mac OS）を選択します。
2. キーワードタグ、カテゴリ、サブカテゴリ、アルバム、およびアルバムカテゴリについて、並べ替え順序として「五十音順」または「手動」を指定します。キーワードタグの並べ替え順序として「手動」を選択すると、キーワードタグパネルでタグをドラッグして、任意の順序で並べることができます。
3. キーワードタグの表示方法について、名前のみを表示するか、または名前の他に小さなアイコンまたは大きなアイコンも表示するか「キーワード名札の表示方法」で指定します。「OK」をクリックします。
4. キーワードタグの大きなアイコンを表示するには、キーワードタグパネルの記号をクリックし、「大きなアイコンを表示」を選択します。このフライアウトの環境設定と環境設定ダイアログは同期します。 


人物、場所、イベントタグの操作 | Elements 12

人物、場所、イベントタグを使用して定義すると、メディアを簡単に管理できます。これらのタグは、対応するビュー（場所ビューなど）から、またはメディアビュー（タスクバーの「タグ／情報」をクリックして「場所」をクリック）から作成できます。


メディアビューでタグを操作すると、タグをドラッグ&ドロップして、すばやくタグ付けできます。

人物タグの作成

人物タグをグループに整理することができます。同僚、家族、友達は必要に応じて削除できる定義済みのグループです。

1. タスクバーの「タグ／情報」をクリックします。
2.  メニューを展開し、「新規人物」または「新規グループ」をクリックします。
3. 画面上の指示に従い、人物タグを整理します。

場所タグの作成

1. タスクバーの「タグ／情報」をクリックします。
2.  メニューを展開し、「新規場所」をクリックします。
3. 新しい場所を追加ダイアログで、場所を検索します。

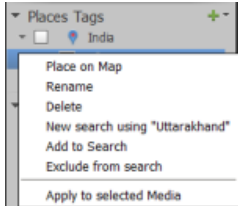
4. メッセージが表示されたら、新しい場所を割り当ててを確認します。
5. 「完了」をクリックします。新しい場所が場所の階層に追加されます。

注意： Elements 12 の場所タグは、GPS 座標が関連付けられます。これらの座標は、これらの場所にタグ付けられているメディアにも関連付けられます。

場所タグの編集

場所タグに様々な GPS 座標を割り当てられます。次の手順に従います。

1. 場所階層の場所を右クリックし、「この場所を編集」をクリックします。



場所の編集

2. マップが表示されたら、場所に対応するピンを新しい場所にドラッグします。
3. メッセージが表示されたら、新しい場所を割り当ててを確認します。
4. 「完了」をクリックします。場所が場所階層に新しい名前で表示されます。

場所タグの名前の変更

場所のデフォルト名を変更できます。例えば、*Lincoln Ave* の名前を *Home* に変更できます。次の手順に従います。

1. 場所の階層で場所を右クリックし、「名前の変更」を選択します。
2. 新しい場所の名前を入力します。
3. 「OK」をクリックします。

場所の階層から場所を削除するには、その場所を右クリックし、「削除」を選択します。場所を削除することを確認します。

従来の場所タグへの GPS 座標の割当て

古いバージョンの Elements から Elements 12 に読み込まれた場所には、GPS 座標が関連付けられていない場合があります。このような場所に GPS 座標を割り当てることができます。

1. 場所階層の場所を右クリックして、地図に配置をクリックします。
2. マップが表示されたら、場所に対応するピンを新しい場所にドラッグします。
3. メッセージが表示されたら、新しい場所を割り当ててを確認します。
4. 「完了」をクリックします。

イベントタグの作成

必要に応じて、イベントタグをグループに整理できます。イベントタグを作成するには、次の手順に従います。

1. タスクバーの「タグ/情報」をクリックします。
2. + メニューを展開し、「新規イベント」をクリックします。
3. 次のイベントの詳細を追加します。

- イベント名
 - イベントの開始日と終了日
 - (オプション) イベントグループ。まだイベントグループを定義していない場合は、このオプションではデフォルトの「なし」が選択されます。
 - (オプション) イベントの説明
4. イベントに関連付けられているメディアを、メディアエリアにドラッグ&ドロップします。


注意： 同じメディアが複数のイベントに関連付けられている場合があります。

5. 「完了」をクリックします。

注意： *Elements 10* 以前のバージョンからカタログを移行する場合は、カタログ内のイベントカテゴリはイベントグループとしてインポートされます。

アドビは次の機能も推奨します。

- [ファイルメニューの使用](#)

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

ビデオと全画面画像の表示

ビデオファイルの表示

メディアファイルをフルスクリーン表示または並べて比較する


フルスクリーン表示のオプション

属性パネルのオプション

メディアファイルへの切り替え方法の適用

ページの先頭へ

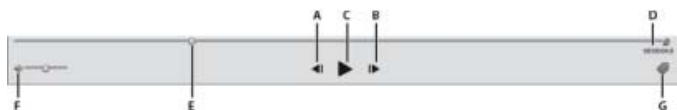
ビデオファイルの表示

メディアビューでは、ビデオクリップの最初のフレームがクリップのサムネールとして表示されます。メディアビューでフィルムストリップアイコン  が付いているアイテムはビデオクリップです。

1. メディアビューでビデオクリップをダブルクリックします。

注意： *Elements Organizer* で *QuickTime* ムービーを表示するには、コンピュータに *Quicktime* プレーヤーをインストールする必要があります。まだインストールされていない場合は、www.apple.co.jp/quicktime/download から *QuickTime* インストーラーをダウンロードし、実行してください。

2. *Elements Organizer* メディアプレーヤーが表示されたら、再生ボタンをクリックしてビデオを開始します。フレーム単位で表示するには、スライダーをドラッグします。ビデオクリップが長い場合は、数フレーム先に移動する場合があります。



Photoshop Elements ビデオウィンドウ

A. 開始点ボタンと終了点ボタン B. 再生ボタン C. 経過時間 D. スライダーをドラッグしてビデオクリップの再生箇所を指定 E. 音量調節 F. キーワードタグの追加

3. 「閉じる」ボタンをクリックして、*Elements Organizer* メディアプレーヤーを終了します。

Elements Organizer で再生できるファイル形式は、次に示すようにインストールされたアプリケーションに依存します。

Photoshop Elements のみがインストールされている場合

この場合、ロイヤルティベースでないフィルターを使用して再生できるファイル形式（ビデオとオーディオ）のみが *Elements Organizer* で再生されます。特定のファイル形式がシステム上でサポートされている他のフィルター（例：QuickTime）を取得した場合、*Elements Organizer* でもそのファイル形式が再生されます。Mac OS では、Photoshop Elements と一緒にインストールされたコーデックを使用してビデオが再生されます。アプリケーションでコーデックを使用できない場合は、QuickTime コーデックが使用されます。

Adobe Premiere Elements のみがインストールされている場合

この場合、すべてのファイル形式（ビデオとオーディオ）が *Elements Organizer* で再生されます。

Photoshop Elements と Adobe Premiere Elements の両方がインストールされている場合

この場合、すべてのファイル形式（ビデオとオーディオ）が Elements Organizer で再生されます。

[ページの先頭へ](#)

メディアファイルをフルスクリーン表示または並べて比較する

フルスクリーンおよび写真を並べて比較ビューでは、ウィンドウやメニューなどのインターフェイスアイテムに邪魔されずにメディアファイルを表示できます。マウススクロールを使用してメディアをズーム／パンできます。

フルスクリーンで表示、編集、整理オプションを使用すれば、一連のメディアファイルがフルスクリーンのスライドショーとして表示されます。例えば、次のようにスライドショーをカスタマイズできます。

- 画像を表示するようにオーディオファイルを再生します。
- 画面の右側に沿って、フィルムストリップで選択したファイルのサムネールを表示します。
- メディアファイルへのエフェクトの追加

スライドショーに含める写真を決定した後、それらの写真に必要な編集を加えることができます。このビューからスライドショーエディターにこれらの写真を直接送信できます。スライドショーを作成するには、作成／スライドショーオプションを右クリックして選択します。



フルスクリーン表示

フルスクリーン表示でメディアファイルを表示するには、次のいずれかを実行します。

- 表示するメディアファイルを選択して、フルスクリーンプレビューで表示、編集、整理アイコンをクリックします。□

F11／Cmd キー+ F11 を押します。

「写真を並べて比較」コマンドを使用すれば、2つの写真が同時に表示されます。「写真を並べて比較」表示は、写真の細部と相違点に注目したいときに便利です。複数の写真を選択して比較できます。

写真を比較するには、次のいずれかを実行します。

- Organizer の右上で、画面表示／写真を並べて比較を選択します（一部の言語設定ではこのオプションを使用できません）。
- 2つの写真を選択して、F12／Cmd キー+ F12 を押します。

写真を並べて比較ビューでは、現在選択している写真が青色の境界線で囲まれます。「次のメディア」をクリックすると、選択された写真が替わります。➡ 選択範囲内で次の写真が表示されます。「フィルムストリップ」オプションを有効にしている場合、フィルムストリップの画像をクリックして、選択した画像（青い境界線で囲まれている画像）の代わりに表示できます。

フルスクリーン表示または写真を並べて比較表示では、次のアイテムを表示できます。

クイック編集パネル

表示されたメディアファイルの編集を有効にします。

クイック整理パネル

メディアファイルへのタグの作成と適用を有効にします。既存のアルバムへのメディアファイルの追加も有効にします。

コントロールバー

すべてのナビゲーションアイコンとコントロールアイコンが表示されるので、必要なパネルやダイアログにアクセスできるようになります。

「フルスクリーンで整理」ボタンまたは「写真を並べて比較」ボタンをクリックして、表示を交互に切り替えることができます。



構図や細部を分析するには、写真を並べて比較表示を使用します。

クイック編集パネル

フルスクリーンで整理表示または写真を並べて比較表示では、クイック編集パネルを使用して、表示されてい

る写真を編集できます。クイック編集パネルは画面の左側に表示され、初期設定では最小化されます。マウスを数秒間移動しない場合も、クイック編集パネルは最小化されます。最大化するには、パネルの上にマウスを移動するか、フルスクリーンプレビューバーでクイック編集の切り替えパネルをクリックします。「自動的に隠す」ボタンをクリックすれば、常にクイック編集パネルが表示されます。

次の表では、クイック編集パネルに含まれる一部のアイコンとその機能が説明されています。

アイコン	機能
スマート補正、 	劣悪な露光量、コントラスト、カラーバランス、カラーの彩度が原因で生じる画像の問題を補正
カラー、 	自動カラー補正で写真のカラーを補正
レベル、 	自動レベル補正で階調の範囲を補正
コントラスト、 	自動コントラストでコントラストを補正
シャープ、 	写真をシャープにする
赤目修正、 	赤目を除去
写真の編集、 	Photoshop Elements Editor を起動
ビデオの編集、 	Adobe Premiere Elements を起動
プリント用にマーク、 	プリント用にメディアファイルをマーク

注意：表示された写真の重要度を設定するには、星を選択します。写真の重要度を消去したい場合は、一番右にあるゴールドの星をクリックします。

クイック整理パネル

フルスクリーン表示または写真を並べて比較表示では、表示されたメディアファイルへのキーワードタグの作成や追加が簡単になります。クイック整理パネルは画面の左側に表示され、初期設定では最小化されます。マウスを数秒間移動しない場合も、クイック整理パネルは最小化されます。最大化するには、パネルの上にマウスを移動するか、フルスクリーンプレビューバーでクイック整理の切り替えパネルをクリックします。

クイック整理パネルには、次のサブパネルが含まれています。

アルバムパネル

既存のアルバムのリストが表示されます。表示されたメディアファイルに関連のあるアルバムはハイライトされます。

キーワードタグ

タグクラウド表示に、キーワードタグのリストが表示されます。メディアファイルに関連のあるタグがハイライトされます。

クイック整理パネルを使用すれば、次のタスクを実行できるようになります。

- 表示されたメディアファイルを既存のアルバムに追加する。例えば、表示されたメディアファイルを「ディズニーランド」アルバムに追加するには、アルバムサブパネルでディズニーランドをクリックします。
- キーワードタグを作成して、表示されたメディアファイルにタグを適用する。

新しいタグを作成して、表示されたメディアファイルにタグを適用するには：

表示されたメディアファイルに既存のタグを適用するには、キーワードタグサブパネルでタグの名前をクリックします。タグがハイライトされます。

1. キーワードタグサブパネルで、メディアにタグ付けテキストボックスにタグの名前を入力します。例えば、祝日という名前のキーワードタグを作成する場合は、テキストボックスに「祝日」と入力します。
2. 「追加」をクリックします。

作成されたタグは、表示されたメディアに適用されます。

コントロールバー

コントロールバーには、メディアファイル間の移動や、メディアファイルの再生などのアイコンが含まれています。数秒間マウスを移動しないと、ビューからコントロールバーが消えます。（再表示するには、マウスを動かします）。

コントロールバーには、次のアイコンが含まれます。

フィルムストリップアイコン

フィルムストリップで画像の表示と非表示を切り替えることができます。このアイコンをクリックすると、選択したすべての画像が一行のサムネールになり、画面の右側に表示されます。もう一度クリックすると、画像が隠れます。

かんたん補正パネル

かんたん補正パネルの表示と非表示を切り替えることができます。このアイコンをクリックすると、かんたん補正パネルが画面の左側に表示されます。もう一度クリックすると、かんたん補正パネルが隠れます。

クイック整理パネル

クイック整理パネルの表示と非表示を切り替えることができます。このアイコンをクリックすると、クイック整理パネルが画面の左側に表示されます。もう一度クリックすると、クイック整理パネルが隠れます。

前へ

前のメディアファイルが表示されます。

次へ

次のメディアファイルが表示されます。

再生

メディアファイルを再生します。

設定ダイアログを開く

フルスクリーン表示のオプションダイアログボックスが表示されます。

切り替え方法

切り替え方法を選択ダイアログボックスが表示されます。

属性パネルを切り替え

属性パネルの表示と非表示を切り替えることができます。

フルスクリーンで表示、編集、整理

写真を並べて比較表示からフルスクリーン表示に切り替えることができます。

写真を並べて比較

写真を並べて比較表示に切り替えることができます。

「写真を並べて比較」表示の画像倍率を同期します

写真を並べて比較表示に写真を表示するとき、画像倍率を同期します。例えば、このアイコンをクリックし、マウスを使用してズームインする場合、両方の画像が同時にズームインされます。

[ページの先頭へ](#)

フルスクリーン表示のオプション

フルスクリーン表示のオプションダイアログボックス内のオプション

コントロールバーで設定アイコンをクリックします。

BGM スライドショーの実行中に再生するオーディオファイルを指定します。別のファイルを選択するには、「参照」をクリックし、目的のファイルの場所を特定して選択します。

オーディオキャプションを再生 スライドショーの実行中に再生する、選択したファイルのオーディオキャプションを指定します。

スライド間隔 画面上での各画像の表示時間を指定します。この時間が過ぎると、次の画像が表示されるか、フェードインします。

キャプションを含める キャプションを画面の下部に表示します。

写真のサイズ変更を許可 画面に合わせて写真のサイズを変更します。

ビデオのサイズ変更を許可 画面に合わせてビデオのサイズを変更します。

フィルムストリップを表示 選択したすべての画像を一行のサムネールにして、画面の右側に表示します。フルスクリーン表示する画像を選択するには、サムネールをクリックします。

スライドショーを繰り返し再生 停止されるまでスライドショーを繰り返し再生します。

[ページの先頭へ](#)

属性パネルのオプション

属性パネルには、メディアファイルに関連のある属性が表示されます。属性パネルを切り替えアイコンをクリックすると、属性パネルが表示されます。① このパネルには、次のオプションが含まれています。

一般 ファイル名、重要度、キャプション、注釈などのメディアファイルの一般属性が表示されます。

メタデータ ファイルに関連のあるメタデータが表示されます。「すべて」をクリックしてすべての詳細を表示するか、「概要」をクリックしてファイルに関連のあるメタデータの限定セットを表示します。

キーワード メディアファイルに関連のあるキーワードが表示されます。

履歴 変更された日付や、取り込まれた日付など、ファイルの履歴が表示されます。

[ページの先頭へ](#)

メディアファイルへの切り替え方法の適用

1. コントロールバーで、テーマアイコンをクリックします。
2. 次のいずれかのオプションを選択し、「OK」をクリックします。サムネールの上にマウスを移動すると、切り替え方法をプレビューできます。
 - クラシック
 - フェードイン/アウト
 - パン・ズーム
 - 3D ピクセレート

選択された切り替え方法が、表示されたメディアファイルに適用されます。エフェクトを表示できます。

注意： パン・ズームの切り替え方法と 3D ピクセレートの切り替え方法は、写真のみでサポートされます。ビデオでは、最初のフレームのみでこれらの切り替え方法がサポートされます。

切り替え方法と OpenGL について

Open Graphics Library (OpenGL) とは何ですか？ コンピュータープログラムが、ディスプレイドライバーとの通信に使用できるクロスプラットフォームのソフトウェアライブラリです。

パン・ズームおよび 3D ピクセレートの切り替え方法の場合、OpenGL バージョン 1.2 以降をコンピューターにインストールする必要があります。OpenGL のバージョンは、システムにインストールされたディスプレイカードドライバーに依存します。ご使用のシステムに OpenGL をサポートしないという警告が表示される場合、ディスプレイカードに対して最新のドライバーがインストールされていることを確認してください。ディスプレイカードのメーカーは、新しいオペレーティングシステムやプログラム機能に追いつくように頻繁にドライバーを更新しています。ドライバーを更新する前に、現在のディスプレイドライバーのバージョンを確認してください。

Windows XP でのディスプレイドライバーのバージョンの確認

注意： Windows XP は、Elements Organizer 14 リリースからサポートされなくなりました。

1. デスクトップを右クリックし、プロパティを選択します。
2. 設定を選択し、詳細設定を選択します。
3. ご使用のグラフィックスディスプレイカードによっては、異なるタブが表示されます。アダプタ/プロパティを選択して、カード上のメモリ容量などのカードデータを確認します。ドライバーを選択して、ドライバーのバージョンなどの詳細を確認します。

Windows Vista でのディスプレイドライバーのバージョンの確認

注意： Windows Vista は、Elements Organizer 14 リリースからサポートされなくなりました。

1. デスクトップを右クリックし、個人用設定を選択します。

2. ディスプレイの設定／詳細設定を行いますを選択します。「アダプタ」タブには、カード上のメモリ容量などのカードデータが表示されます。
3. プロパティ／ドライバーを選択して、ドライバーのバージョンを取得します。


ディスプレイカードのメーカーの Web サイトにアクセスして、より最新のドライバーがあるか確認します。ドライバーのアップデートにはダウンロードとインストールの手順が含まれるか、ドライバーと一緒に手順がダウンロードされます。

Windows 7 でのディスプレイドライバーのバージョンの確認

1. スタートメニューで、コンピューターを右クリックし、「管理」をクリックします。
2. ここで表示されるパネルの左側で、デバイス マネージャを選択します。
3. ディスプレイ アダプタリストを展開して、ディスプレイドライバーの情報を表示します。
4. (オプション) ディスプレイアダプタを右クリックし、「プロパティ」を選択して、詳細を確認します。

アドビは次の機能も推奨します。

- スライドショーについて (Windows のみ)

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

Elements Organizer での写真の修正

写真の切り抜き

コントラストでのコントラストの補正

赤目修正での赤目の除去

カラー補正でのカラーの補正

シャープでの写真のシャープ補正

レベル補正でのレベルの設定

スマート補正を使用したクイック補正

写真の回転

Elements Organizer のタスクエリアにある「かんたん補正」ボタンのツールを使用すると、写真の一般的な問題をすばやく補正できます。ツールの一部は、Elements Editor でカスタマイズすることもできますが、「かんたん補正」タブでそのままの設定ですばやく簡単に補正できるように設定されています。

簡単補正オプションを起動するには：

- 「かんたん補正」をクリックします。
- 写真補正オプションエリアの任意のオプションを選択し、写真を修整します。

[トップへ戻る](#)

写真の切り抜き

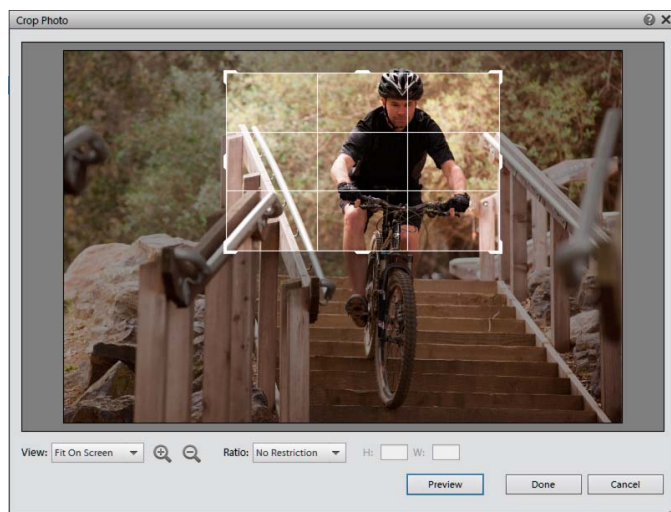
切り抜きツールを使用して、写真をトリミングすることができます。

1. メディアビューで「かんたん補正」タブをクリックし、写真を 1 枚選択します。

2. 「写真補正オプション」タブで、「切り抜き」をクリックします。

写真を切り抜きウィンドウに写真が表示され、次のいずれかの操作を行うことができます。

- 写真を切り抜きダイアログボックスで、クロップする写真の上にクロップ選択範囲を移動します。
- 「プレビュー」をクリックして、切り抜きの選択範囲を表示します。切り抜きが希望どおりの場合は、「完了」をクリックします。前回の写真の切り抜きダイアログボックスに戻るには、「リセット」をクリックします。
- ダイアログボックスでは、縦横比を指定できます。比率ドロップダウンリストから縦横比を選択します。切り抜きの幅と高さを入力するには、「カスタム比率」を選択します。




写真を切り抜きダイアログボックス

- 選択範囲をダブルクリックして、イメージを切り抜きます。
切り抜かれたイメージが、メディアビューのグリッドに表示されます。

[トップへ戻る](#)

コントラストでのコントラストの補正

コントラストでは、写真を自動的に分析し、一般的なコントラストの問題を補正します。例えば、暗い領域と明るい領域の区別がはっきりしない問題を補正できます。


1. 「かんたん補正」をクリックします。
2. メディアビューで、写真を選択します。（複数の写真を選択するには、Ctrl キー（Mac OS では Cmd キー）を押しながら写真をクリックします）。
3. 「写真補正オプション」タブで、コントラスト  をクリックします。

コントラストを使用すると、選択した写真のコピーが作成され、そのコピーでコントラストが調整され、元の写真のバージョンセットとしてそのコピーが保存されます。

[トップへ戻る](#)

赤目修正での赤目の除去

赤目修正では、被写体の赤目を自動的に検出し、自然な黒目に変更します。


1. 「かんたん補正」をクリックします。
2. メディアビューで、被写体の目が赤くなっている写真を選択します（複数の写真を選択するには、Ctrl キー（Mac OS では Cmd キー）を押しながら写真をクリックします）。
3. 「写真補正オプション」タブで、 赤目修正をクリックします。

自動赤目修正を使用すると、選択した写真のコピーが作成され、そのコピーで赤目が黒目に変更され、元の写真のバージョンセットとしてそのコピーが保存されます。

[トップへ戻る](#)

カラー補正でのカラーの補正

カラーでは、写真を自動的に分析し、カラーバランスにおける一般的な問題を補正します。例えば、蛍光灯の光で写真を撮影したときに全体が緑がかったり、室内光のカメラ設定のまま屋外で写真を撮影したときに青っぽくなる現象などを補正できます。


1. 「かんたん補正」をクリックします。
2. メディアビューで、写真を選択します。（複数の写真を選択するには、Ctrl キー（Mac OS では Cmd キー）を押しながら写真をクリックします）。
3. 「写真補正オプション」タブで、カラー  をクリックします。

カラーを使用すると、選択した写真のコピーが作成され、そのコピーでカラーが補正され、元の写真のバージョンセットとしてそのコピーが保存されます。

[トップへ戻る](#)

シャープでの写真のシャープ補正

シャープでは、写真を自動的に分析し、一般的な焦点の問題を補正します。例えば、カメラ焦点のずれによるぼけを補正できます。


1. 「かんたん補正」をクリックします。
2. メディアビューで、写真を選択します。（複数の写真を選択するには、Ctrl キー（Mac OS では Cmd キー）を押しながら写真をクリックします）。
3. 「写真補正オプション」タブで、 シャープをクリックします。

シャープを使用すると、選択した写真のコピーが作成され、そのコピーで焦点が補正され、元の写真のバージョンセットとしてそのコピーが保存されます。

[トップへ戻る](#)

レベル補正でのレベルの設定

レベル補正では、写真を自動的に分析し、輝度における一般的な問題を補正します。例えば、露出アンダーまたは露出オーバーで撮影したときのディテールの低下などを補正できます。


1. 「かんたん補正」をクリックします。
2. メディアビューで、写真を選択します。（複数の写真を選択するには、Ctrl キー（Mac OS では Cmd キー）を押しながら写真をクリックします）。
3. 「写真補正オプション」タブで、レベル補正  をクリックします。

レベル補正を使用すると、選択した写真のコピーが作成され、そのコピーで輝度レベルが調整され、元の写真のバージョンセットとしてそのコピーが保存されます。

[トップへ戻る](#)

スマート補正を使用したクイック補正



スマート補正では、写真を自動的に分析し、露出不足、コントラスト、カラーバランス、カラー彩度などによる一般的な問題を補正します。

1. 「かんたん補正」をクリックします。
2. メディアビューで、写真を選択します。（複数の写真を選択するには、Ctrl キー（Mac OS では Cmd キー）を押しながら写真をクリックします）。
3. 「写真補正オプション」タブで、スマート補正  をクリックします。

スマート補正を使用すると、選択した写真のコピーが作成され、そのコピーで必要な調整が行われ、元の写真のバージョンセットとしてそのコピーが保存されます。

写真の回転

[トップへ戻る](#) ⁴

1. メディアビューで、1 枚以上の写真を選択します。隣接する写真を選択する場合は Shift キーを押しながらクリックし、隣接していない写真を選択する場合は Ctrl キー（Mac OS では Cmd キー）を押しながらクリックします。
2. タスクエリアで、次のいずれかの操作を行います。
 - 反時計回りに写真を 90°回転するには、左に回転ボタン  をクリックします。
 - 時計回りに写真を 90°回転するには、右に回転ボタン  をクリックします。



[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

その他のアプリケーションを使用した写真とビデオの補正

選択したメディアを修正するためのエディターを指定するには
[Adobe Photoshop](#) での写真の編集

[ページの先頭へ](#)

選択したメディアを修正するためのエディターを指定するには

- 次のいずれかの操作を行います。
 - Windows では、[編集](#) / [環境設定](#) / [編集](#) を選択します。
 - Mac OS では、[Adobe Elements Organizer](#) / [環境設定](#) / [編集](#) を選択します。
- Photoshop Elements のみで写真を編集するには、「[Photoshop Elements Editor のオプションのみを表示](#)」を選択します。Elements Organizer で写真を右クリックまたは Ctrl キーを押しながらクリックすると、Photoshop Elements を使って編集するオプションのみが表示されます。
- Premiere Elements のみでビデオを編集するには、「[Premiere Elements のオプションのみを表示](#)」を選択します。Elements Organizer でクリップを右クリックまたは Ctrl キーを押しながらクリックすると、Premiere Elements を使って編集するオプションのみが表示されます。
- Premiere Elements と Photoshop Elements の両方でメディアファイルを編集できるようにするには、「[両エディターのオプションを表示](#)」を選択します。
- 写真の編集を別のアプリケーションでできるようにすることも可能です。「[追加の編集アプリケーションを使用](#)」を選択し、「[参照](#)」をクリックしてそのアプリケーションを選択します。

[ページの先頭へ](#)


Adobe Photoshop での写真の編集

写真を選択して、Adobe Photoshop を使って編集できます。

- 写真を選択します。

注意： 編集する写真を選択し、4つのビューのいずれかで起動することができます。
- アクションバーの「[編集](#)」の横にある三角形をクリックします。編集オプションから「[Photoshop](#)」を選択します。
- Adobe Photoshop がインストールされ、有効化されている場合、写真は最新バージョンの Adobe Photoshop で編集できるように起動されます。

注意： *Adobe Photoshop* を外部エディターとして追加することはできません。ただし、アクションバーだけでなく編集メニューにも編集アプリケーションとして表示されます。

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

バージョンセット内の写真のグループ化

バージョンセット

バージョンセットの手動保存

バージョンセット内のすべての写真の表示

バージョンセット内の先頭の写真の指定


写真をオリジナルのバージョンに戻す

バージョンセットからの写真の除去または削除

バージョンセット内の写真の編集

バージョンセット

[トップへ戻る](#)

バージョンセット  とは、オリジナルの写真とその編集したバージョンを含むスタックのことです。バージョンセットでは、オリジナルの写真と編集した写真が 1 つに重なった状態で表示されるので、写真を見つけやすくなります。

かんたん補正を選択して写真を編集すると、写真整理モードでは、写真とその編集した写真の両方が自動的に 1 つのバージョンセットに入ります。Elements Editor で写真を編集し、ファイル/別名で保存を選択して、「オリジナルと一緒にバージョンセットで保存」オプションを選択することで、写真と編集した写真の両方を 1 つのバージョンセットに入れることができます。

スタック内の写真を編集すると、オリジナルの写真と編集後の写真が、スタック内にバージョンセットとして整理されます。バージョンセット内の写真を編集すると、編集した写真が既存のバージョンセットの先頭に置かれます。Elements Organizer では、バージョンセットは、バージョンセット内にバージョンセットを格納するようなネスト（入れ子）の構造をとることができません。バージョンセットの内部に置くことができるのは、オリジナルの写真とその編集したバージョンだけです。

注意：通常は、バージョンセットにスタックできるのは写真だけです。

バージョンセットを使用する際のヒント

バージョンセットを使用する場合は、次の点に注意してください。

- Elements Organizer で画像を編集します。画像を Elements Organizer から開かずに外部の編集ソフトウェアを使用すると、データベースとのリンクが失われるので、Elements Organizer で画像ファイルの編集履歴を把握したり、バージョンセットを更新することができなくなります。バージョンセットに手動でファイルを追加することはできませんが、「スタック」コマンドを使用してこれらのタイプのバージョンをスタックすることはできます。
- 折りたたまれたバージョンセットにキーワードタグを適用する場合、キーワードタグはセット内のすべてのアイテムに適用されます。バージョンセットを展開して 1 つの写真にキーワードタグを適用すると、キーワードタグはその写真だけに適用されます。キーワードタグで検索すると、そのキーワードタグを含むバージョンセットに含まれる写真が、個別の写真として検索結果に表示されます。
- 複数のバージョンセットを 1 つのスタックとしてまとめることができます。複数のバージョンセットが 1 つのスタックとして表示されます。先頭には最新の写真が表示されます。スタック内の写真でさらにスタックを作成すると、結合して 1 つのスタックになりますが、スタック内で複数のバージョンセットを作成しても、バージョンセットは保持されます。
- オリジナルの写真と編集した写真の 2 枚だけが含まれるバージョンセットで、そのうちの 1 枚の写真を削除すると、残った写真は（バージョンセットの一部ではなくなり）スタック解除された状態でメディアビューに表示されます。スタック内に 2 枚のうちの 1 枚を削除したバージョンセットが格納されていた場合には、スタックを展開すると、写真はバージョンセットアイコンなしで表示されます。
- すべてのバージョンセットを検索するには、検索/すべてのバージョンセットを選択します。
- バージョンセットから写真を個別に取り除いたり、削除したりすることができ、また、バージョンセット内の各写真がカタログ内で別個に表示されるようにバージョンセットを個別の写真に変換することができます。
- 右クリックまたは編集メニューを使用すると、ほとんどのバージョンセットコマンドにアクセスできます。
- プロパティパネルの「履歴」タブでは、バージョンセット内の写真の編集履歴を確認できます。

バージョンセットの手動保存

[トップへ戻る](#)

Elements Organizer で写真を編集すると、バージョンセットが自動的に作成されます。Elements Editor でファイルを編集した場合は、編集をバージョンセットに手動で保存する必要があります。

Elements Editor で、次のいずれかの操作を行います。

- Elements Organizer でファイルを編集し、ファイル／保存（写真を編集して初めて保存するときは、別名で保存ダイアログボックスが自動的に表示されます）または、ファイル／名前を付けて保存を選択します。「オリジナルと一緒にバージョンセットで保存」オプションを選択し、ファイルの名前を指定して「保存」をクリックします。
 - 以前に編集した写真を再び編集し、ファイル／別名で保存を選択して、編集した写真の個別のコピーを作成します。「オリジナルと一緒にバージョンセットで保存」オプションを選択し、ファイルの名前を指定して「保存」をクリックします。
- メディアビューで表示すると、新しく編集した写真がバージョンセットの先頭に配置されます。

バージョンセット内のすべての写真の表示

[トップへ戻る](#)

バージョンセット内のすべての写真を表示した状態で、バージョンセット内の写真の編集や削除、先頭の写真の置き換え、または写真へのキーワードタグの追加（セット内の1つの写真にキーワードタグを追加すると、すべての写真にそのタグが適用されます）を行うことができます。

1. メディアビューで、バージョンセットの写真を選択し、次のいずれかの操作を行います。
 - バージョンセットのサムネールの隣にある展開ボタンをクリックします。
 - 編集／バージョンセット／バージョンセットのアイテムを展開を選択します。
2. 展開されたバージョンセットを表示した状態で、次のいずれかまたは複数の操作を行います。
 - 写真の並べ替えや削除、キーワードタグの追加を行います。
 - かんたん補正を使用するか、Photoshop Elements Editor でスタンダード編集を使用して写真を変更します（次にファイルを保存します）。
3. 完了したら、次のいずれかの操作を行って、バージョンセット内の写真を折りたたみます。
 - バージョンセットのサムネールの隣にある折りたたみボタンをクリックします。
 - 編集／バージョンセット／バージョンセットのアイテムを折りたたむを選択します。

バージョンセット内の先頭の写真の指定

[トップへ戻る](#)

Elements Organizer でバージョンセットを作成すると、最新の写真が先頭に置かれます。この先頭の写真を他の写真に置き換えることができます。バージョンセットを展開すると、先頭の写真はメディアビューの一番左に表示されます。

注意：スタックに属すバージョンセットを表示するには、まずスタックを展開する必要があります。

1. メディアビューでバージョンセットを右クリックし、バージョンセット／バージョンセットのアイテムを展開を選択します。
2. 先頭に置く写真を右クリックして、バージョンセット／先頭アイテムとして設定を選択します。
3. 新たに先頭に置かれた写真を右クリックし、バージョンセット／バージョンセットのアイテムを折りたたむを選択します。

写真をオリジナルのバージョンに戻す

[トップへ戻る](#)

❖ メディアビューで1つまたは複数のバージョンセットを選択し、編集／バージョンセット／オリジナルに戻すを選択します（あるいは、選択したアイテムを右クリック（Mac OS では control キーを押しながらクリック）して表示されるコンテキストメニューから、このコマンドを選択します）。

注意：標準編集ワークスペースでは、ヒストリーパネルを使用して、写真を元の状態に戻すことができます。

バージョンセットからの写真の除去または削除

[トップへ戻る](#)

バージョンセットから写真を取り除くと、写真はバージョンセットからは除去されますが、カタログには残されます。これによって、メディアビューで個別の写真として表示されます。バージョンセットから写真を削除すると、その写真はカタログから取り除かれますが、「ハードディスクからもアイテムを削除」を選択しない限り、コンピューター上から削除されることはありません。

❖ バージョンセットを選択し、次のいずれかの操作を行います。

- バージョンセットから特定の写真を取り除くには、バージョンセットを展開して削除する写真を選択し、編集／バージョンセット／バージョンセットからアイテムを削除を選択します。
- バージョンセット内の写真すべてを取り除いてメディアビューで個別の写真として表示されるようにするには、バージョンセットを選択して、編集／バージョンセット／バージョンセットを個別アイテムに変換を選択します。
- バージョンセットから特定の写真を削除するには、編集／バージョンセット／バージョンセットのアイテムを展開を選択します。削除する写真を選択し、Delete キーを押します。
- 先頭を除くすべての写真をバージョンセットから削除するには、編集／バージョンセット／先頭の写真以外は削除を選択します。
- バージョンセットから先頭の写真だけを削除するには、メディアビューでバージョンセットを選択し、編集／カタログから削除

を選択します。カタログからの削除確認ダイアログボックスで、「折りたたまれたスタック内のすべてのアイテムを削除」オプションを選択しません。先頭の写真ハードディスクから削除する場合は、「ハードディスクからも選択したアイテムを削除」を選択します。

- オリジナルの写真を除くすべての写真をバージョンセットから削除するには、編集／バージョンセット／オリジナルに戻すを選択します。
- オリジナルの写真を含むすべての写真をバージョンセットから削除するには、編集／カタログから削除を選択します。カタログからの削除確認ダイアログボックスで、「折りたたまれたスタック内のすべての写真を削除」オプションを選択します。
- オリジナルの写真をバージョンセットから削除するには、編集／バージョンセット／バージョンセットのアイテムを展開を選択します。バージョンセットでオリジナルの写真を選択し、Delete キーを押します。バージョンセット内に、オリジナルの写真を直接編集したコピーが1つと、さらにそのコピーを編集したコピーがある場合、オリジナルの写真を削除すると、オリジナルの写真を編集したコピーがこのバージョンセットの新しい「オリジナルの写真」になります。オリジナルの写真に対して複数の子写真（編集したコピー）が存在する場合、オリジナルの写真を削除しても、バージョンセットから子写真は削除されません。

注意：一般に、オリジナルの写真を保持しておき、その写真を原版として様々な画像を作成するのが最適な方法です。原版はオリジナルの情報をすべて含み、圧縮されたり、データが失われたりしていません。オリジナルの写真を削除するのは、そのオリジナル写真を今後使用しないことが明らかな場合だけにしてください。カタログやコンピューター上からオリジナルの写真を削除すると、復元することはできません。

[トップへ戻る](#)

バージョンセット内の写真の編集

バージョンセット内の写真を編集し、それを別名で保存ダイアログボックスの「オリジナルと一緒にバージョンセットで保存」オプションを使用して保存すると、編集したコピーはオリジナルのバージョンセットに追加され、追加のバージョンセット内にはネストされません。

1. メディアビューで、次のいずれかの操作を行います。
 - 先頭の写真編集するには、バージョンセットを選択します。
 - 先頭以外の写真を編集するには、バージョンセットを選択し、編集／バージョンセット／バージョンセットのアイテムを展開を選択します。次に、編集する写真を選択します。
2. 写真を選択し、Elements Editor で補正／写真を編集を選択して写真を開きます。
3. 写真を編集し、ファイル／別名で保存を選択します。別名で保存ダイアログボックスの「オリジナルと一緒にバージョンセットで保存」オプションを選択し、コピーとオリジナルをバージョンセットに入れます。

新しく編集した写真がバージョンセットの先頭に置かれます。



法律上の注意 | [プライバシーポリシー](#)

メタデータの追加

写真内の顔のマークと人物ビューの整理



Sharon (11)



Chris (7)



Emille (10)



Peter (10)



Julyana (6)



Tina (8)

Elements Organizer は、似た顔を識別してグループ化します。名前を追加すると、人物ビューでその人物のすべての写真に簡単にアクセスできるようになります。

注意：この記事では、*Elements Organizer 14* で顔に名前を指定する手順について説明します。*Elements Organizer 13* の対応する記事にはこのリンクからアクセスできます。

この記事の内容

写真内の顔のマークについて

「名前なし」タブで顔にタグ付けする

スタック内の写真の表示

小さいスタックの表示と非表示

名前の追加

スタックからの顔の削除

以前のバージョンの **Elements Organizer** から **Elements Organizer 14** へのカタログの移行

Facebook の友達リストをダウンロードして写真内の友達の顔をマーク

「名前付き」タブでの人物スタックの表示と整理

スタック内の顔と写真の表示

顔の確認

人物スタックからの顔の削除

顔の名前の変更

見つかった新しい顔の確認

スタックの結合

写真内の名前のない顔

写真またはビデオに 1 つまたは複数の名前を追加する

人物グループを作成して表示

ドラッグ&ドロップによるグループへの人物の追加

顔の分析のオフまたはリセット

顔の分析のオフ

顔の分析のリセット

Elements Organizer の高度な顔認識技術を使用すると、写真に写っている人物に名前を指定して整理できます。人物に名前を指定し、名前付きの人物別に整理して写真を表示するには、人物ビューに切り替えます。



人物ビューには、「名前付き」と「名前なし」という2つのタブがあります。「名前付き」タブには、名前が既に指定されているすべての人物の写真が表示されます。「名前なし」タブには、名前がまだ指定されていない人物の写真が表示されます。

[ページの先頭へ](#)

写真内の顔のマークについて

写真に写っている顔に名前を指定しておくことで、写っている人物に基づいて写真を整理したり特定したりできます。例えば、友人のデヴィが何枚かの写真に写っている場合、デヴィという名前を指定し、デヴィが写っている写真の並べ替えや表示を行うことができます。

人物ビューでは、様々な顔が人物スタック別に整理されます。人物スタックとは、Elements Organizer で名前が指定されたある人物の写真すべてという1セットを指します。例えば、ある人物がすべてのメディアファイルで合わせて30回出現している場合は、30枚の写真が1セットとして表示されます。下の図には、ジョンのスタックとシャロンのサンプルスタックが示されています。



スタックの一番上に表示されている顔の画像は、プロフィール写真と呼ばれます。

[ページの先頭へ](#)

「名前なし」タブで顔にタグ付けする

Elements Organizer でメディアファイルを読み込むと、カタログに含まれる写真が分析され、似た顔の写真がグループ化されます。分析にかかる時間は、ファイル形式やカタログの種類によって異なります。例えば、Raw ファイルの分析は JPEG ファイルの分析より長くかかります。

「名前なし」タブでは、まだ名前が指定されていないすべての人物の写真が表示されます。「名前なし」タブでは名前が指定されていない人物の名前を指定することができます。また、顔のスタックからの除外、Elements Organizer での顔の非表示、スタックの結合もできます。

注意： 顔に名前を指定すると、その顔は、その顔が出現する写真と共に「名前付き」タブに表示されます。「名前なし」タブにはいつでも戻って、名前が指定されていない他の顔に名前を指定できます。

スタック内の写真の表示

スタックをシングルクリックすると、そのスタックに含まれている顔が表示されます。



「写真」をクリックすると、顔ではなく写真が表示されます。



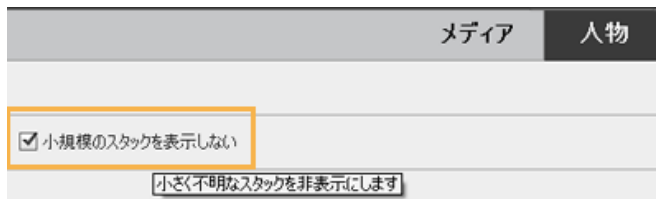
顔の表示に戻るには、「顔」ボタンをクリックします。

顔にマウスポインターを合わせると、その顔に関連付けられている写真が表示されます。



小さいスタックの表示と非表示

初期設定では、含まれているメディアファイルの数が少ないスタックや、含まれている顔がすべて不明のスタックは、表示されません。このようなスタックも表示するには、「小規模のスタックを表示しない」チェックボックスをオフにします。



名前の追加

スタックをクリックすると、スタック内のすべての写真が表示されます。スタック内のすべての写真に名前を指定するには、「名前を追加」をクリックします。



スタックからの顔の削除

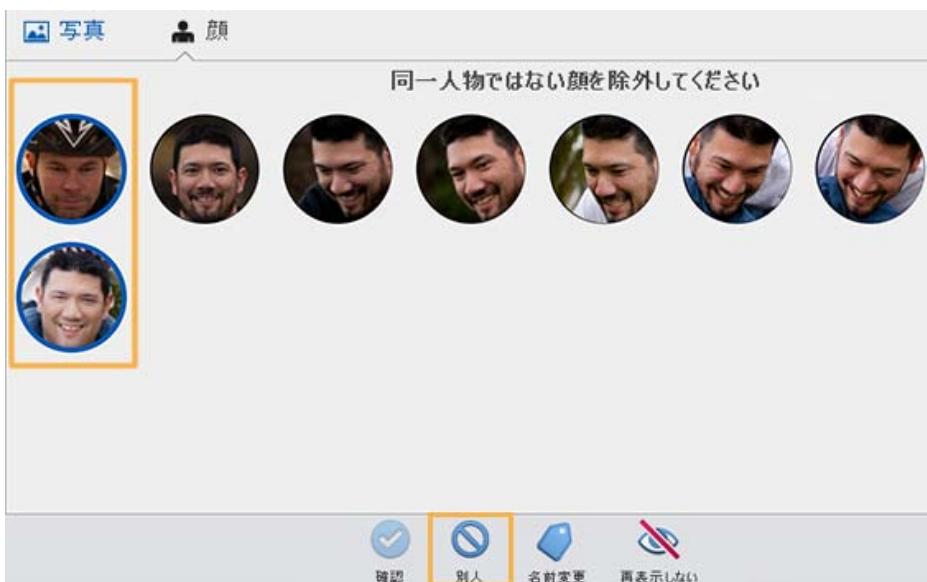
スタックに含まれているすべての顔に一度に名前を指定することができます。ただし、すべての顔に名前を指定する前に、スタックに含まれている個々の顔を見て、それが意図する人物の顔かどうかを確認することをお勧めします。その人物ではない顔があった場合は、削除できます。スタックから特定の顔を削除する場合は、次の方法のどれかを使用します。

- 「別人」を使用する
- 「再表示しない」を使用する

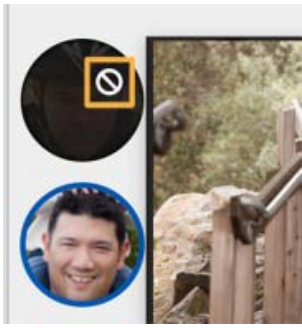
注意： *Command* キー（Mac OS）や *Ctrl* キー（Windows）または *Shift* キーを押し続けることで、複数の顔を選択することができます。

別人

別の人物の顔だった場合は、「別人」をクリックします。その顔がスタックから削除され、「名前なし」タブに別のスタックの一部として表示されます。そこで、その顔に別の人物の名前を指定できます。



また、顔にマウスポインターを合わせ、表示される白いアイコンをクリックすることでも、同じ操作ができます。その顔がそのスタックから削除されます。



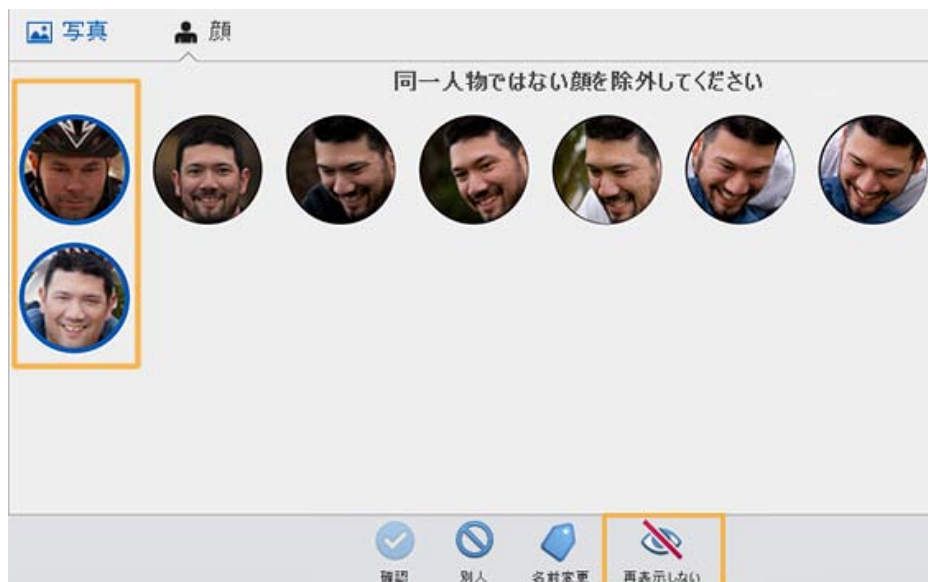
「再表示しない」

その顔が Elements Organizer に再び表示されないようにするには、「再表示しない」をクリックします。これで、その顔が Elements Organizer での名前の指定で再び表示されることはなくなります。

このオプションは、その顔に名前を指定するつもりがまったくしない場合に使用します。

「再表示しない」を使用して名前が指定されないようにした場合は、以下の方法でのみその顔に名前を指定し直せます。

- 新しいカタログを作成し、その顔が含まれている写真を読み込みます。
- その顔が含まれている写真を開き、[写真内の不明な顔をマーク](#)の説明に従って顔に名前を指定します。



注意：「別人」を使用すると、顔はスタックから削除されますが、別のスタックに属するものとして「名前なし」タブに表示されます。よって、その顔を別の人物に割り当てることができます。

それに対し、「再表示しない」を使用すると、顔は Elements Organizer に表示されなくなります。

その人物ではない顔を削除するには、(スタックのすぐ下の)「名前を追加」をクリックします。

スタックに含まれるすべての顔が指定した名前の人物のものであることが確認され、「名前付き」タブに移動されます。

へのカタログの移行

以前のバージョンで作成されたカタログを開くと、次の処理が行われます。

- 以前のバージョンで人物名としてとしてタグ付けされている顔はすべて、「名前付き」タブにスタックとして移動されます。
- タグ付けされていないすべての顔を分析し、「名前なし」タブにスタックとして移動します。顔への名前の指定は、「名前なし」タブで顔に名前を指定するの説明に従って簡単にできます。
- 人物タグはすべて、Elements Organizer 14 の人物タグのカテゴリにも追加されます。

[ページの先頭へ](#)

Facebook の友達リストをダウンロードして写真内の友達の顔をマーク

Elements Organizer は Facebook とやり取りを行い、連絡先リストをダウンロードすることができます。人物の名前を指定しているときに、Facebook の友達リストをダウンロードし、（友達リストにある）友達の顔を識別することができます。

1. 「名前なし」ビューで「名前を追加」をクリックします。



2. 人物名の入力を始めます。Elements Organizer に、Facebook の友達リストに追加するためのオプションが表示されます。



「FB の友達リストを追加」をクリックします。

3. Facebook アカウントへのアクセスを許可するように求められます。



「認証」をクリックします。

4. 表示される画面で、Facebook ログイン認証情報を入力し、「ログイン」をクリックしま

す。認証に成功したら、Facebook ウィンドウを閉じます。

友達リストが Elements Organizer にダウンロードされます。これで、Elements Organizer で Facebook の連絡先の写真に対する名前の指定を始められます。

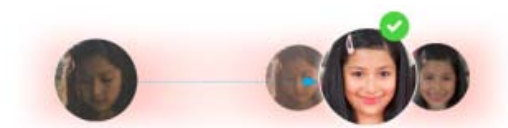
[ページの先頭へ](#)

「名前付き」タブでの人物スタックの表示と整理

写真に写っている顔を識別し、その人物にタグ付けしたら、「名前付き」タブに切り替えて、写真をさらに整理できます。



同一人物の写真が複数ある場合は、プロフィール写真に使用する最適な画像が自動選択されます。



プロフィール画像を手動で選択することもできます。

1. プロフィールに使用する写真が見つかるまで、カーソルをスタックの上に置きます。
2. コンテンツメニューから「プロフィール写真として割り当て」を選択します。

初期設定ビューに表示できるよりも写真が多い場合は、最後の写真上の「>」アイコンをクリックするか、顔のスタックをダブルクリックして、その顔が出現するすべての写真が表示されるドリルダウンビューに移動します。そこから、それらの写真を使用して作成メニューからコラージュやフォトブックなどを作成できます。

スタック内の顔と写真の表示

ある人物に関連付けられているすべての顔または写真を表示するには、「名前付き」タブでその人物のスタックをシングルクリックします。



初期設定では、顔が表示されます。顔ではなく写真を表示するには、「写真」をクリックします。

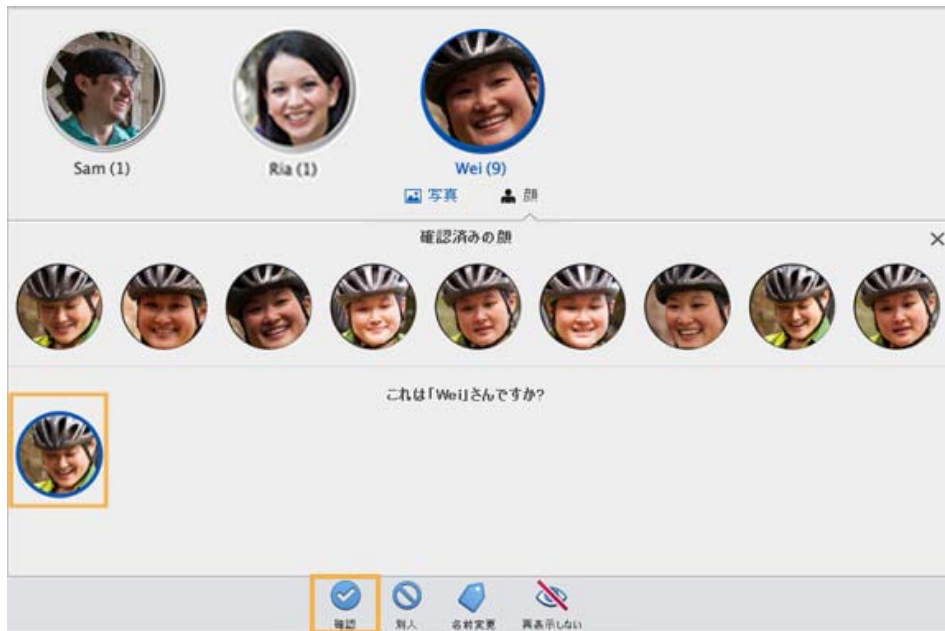


顔の表示に戻るには、「顔」ボタンをクリックします。

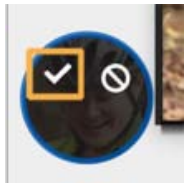
顔の確認

「名前なし」タブで名前を指定した顔はすべて、「確認済みの顔」セクションに表示されます。同じ人物のものかもしれないがまだマークされていない顔は、「これは「<人物名>」さんですか」セクションに表示されます。<人物名> は、その人物かどうかの確認が必要な名前です。

顔が特定された人物のものだと確定させるには、顔を選択し、「確認」をクリックします。クリック中に Command キー (Mac OS) や Ctrl キー (Windows) または Shift キーを押し続けることで、複数の顔を選択することができます。



また、1つまたは複数の顔を個別に選択し、チェックマーク記号をクリックして確認することもできます。



人物スタックからの顔の削除

顔がその人物に属していない場合は、2つの方法のどちらかで削除できます。

- 「別人」を使用する
- 「再表示しない」を使用する

これらのオプションの使用手順は、この文書で前述されている[名前の追加](#)セクションでの説明内容と同じです。

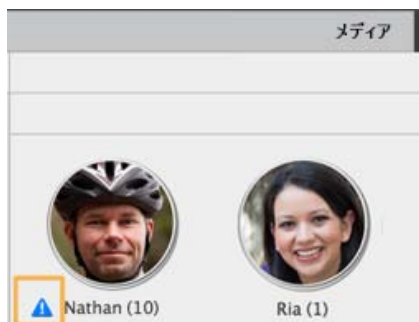
顔の名前の変更

1つ以上の顔が別の人物のものである場合は、「名前を変更」をクリックして顔の名前を変更できます。入力する名前は既存の名前でも新しい名前でもかまいません。



見つかった新しい顔の確認

Elements Organizer では、メディアファイルを読み込みながら顔を分析します。この分析で、名前を指定済みの人物の顔が、新たに読み込まれたメディアファイルの中から見つかることがあります。その場合は、「名前付き」タブのその人物のスタックの横に青いアイコンが表示され、その人物のものである可能性がある新しい顔が追加されたことを示します。該当するスタックをクリックしてすべての顔を表示し、[顔の確認](#)セクションの説明に従って顔を確認します。



[ページの先頭へ](#)

スタックの結合

場合によっては、複数のスタックを結合することが考えられます（同じ人物のものなのに異なると識別された、などの理由で）。スタックを結合するには、次のいずれかの操作を行います。

- スタックを別のスタックにドラッグします。
- スタックを選択し、コンテキストメニューから「人物を結合」をクリックします。



- スタックを選択し、アクションパネルで「人物を結合」を選択します。



注意： スタックの結合は「名前なし」タブでも「名前付き」タブでもできます。

[ページの先頭へ](#)

写真内の名前のない顔

写真には、Elements Organizer が最初のワークフローで誰の顔を特定できなかった人物が写っている場合があります。例えば、写真に顔が写っていても、遠くから撮影されていたり、振り向いていたりして、人物の顔として認識されないことがあります。

そうした名前のない顔にマークを付け、名前を指定することができます。

1. メディアビューで、マークする必要のある不明な顔が写っている写真をダブルクリックします。これにより、単一画像（展開）ビューで写真が開きます。



2. アクションパネルで「顔をマーク」ボタンをクリックします。



顔をマークしやすいように、画面に長方形が表示されます。マークしたい顔に長方形を移動し、長方形の横に表示されるチェックマークをクリックします。



長方形が円に変わり、顔がマークされたことが示されます。



「名前を追加」をクリックします。

3. 名前を入力し、Enter キーまたは Return キーを押します。



注意：自動顔認識は写真でのみサポートされています。ビデオやオーディオのファイルでは、「人物を追加」ボタンを使用して人物に手動でラベルを付ける必要があります。ビデオまたはオーディオのコンテキストメニューから「人物を追加」をクリックし、その人物の名前を入力します。詳細については、次のセクションを参照してください。

[ページの先頭へ](#)

写真またはビデオに 1 つまたは複数の名前を追加する

写真内の顔に名前を指定するほかに、写真またはビデオに 1 つまたは複数の名前を追加することもできます。追加するには、次のいずれかの方法を使用します。

- 写真またはビデオのコンテキストメニューから「人物を追加」をクリックし、その人物の名前を入力します。写真やビデオに人物の名前を他にも追加するには、この手順を繰り返します。
- タグパネルで、タグ（人物）の名前を写真またはビデオにドラッグします。

このようにして 1 つまたは複数の名前を写真またはビデオに追加すると、その名前は人物ビューの「名前付き」タブの汎用顔アイコンとして表示されます。例えば、Nita と Walter という名前を写真に追加するのに、「人物を追加」をクリックしたり、タグを写真にドラッグしたりすると、「名前付き」タブでこれらの名前に汎用顔アイコンが表示されます。



汎用顔アイコンが表示されるのは、この方法で名前を追加すると、1つの写真またはビデオは複数の顔に関連付けることができるからです。そのため、タグはメディアファイルそのものに適用され、特定の顔には適用されません。

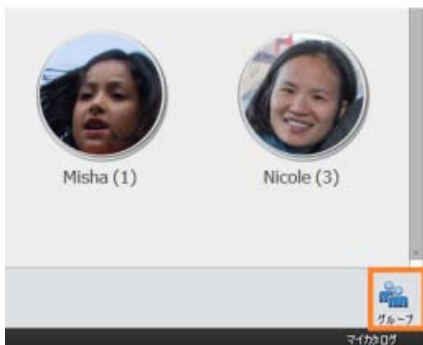
[ページの先頭へ](#)

人物グループを作成して表示

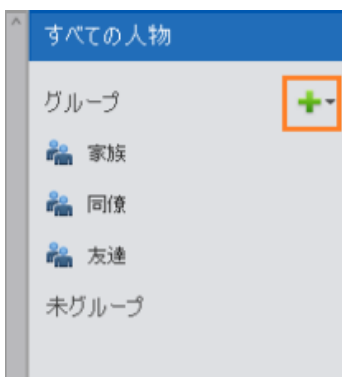
写真をグループ別に整理することで、写真に写っている顔の認識をさらに向上させることができます。グループには、そのグループのタグが付けられた人物の写真スタックが表示されます。

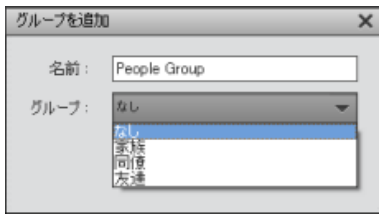
例えば、「仕事」という名前のグループを作成し、仕事上のつきあいのある人物の写真にタグを付けることができます。

1. 画面右下隅のグループアイコンをクリックします。



2. グループエリアでは、グループを追加して整理することができます。追加ボタン (+) をクリックして、新しい人物グループを追加します。初期設定では、同僚、家族、友達という3つのグループが用意されています。





3. グループの名前を入力します。
4. 「グループ」ドロップダウンリストからグループを選択して、このグループを子グループまたはサブグループとして追加します。新しいグループを作成する場合は、「グループ」リストから何も選択しないでください。グループの名前を入力します。
5. 「OK」をクリックします。

ドラッグ&ドロップによるグループへの人物の追加

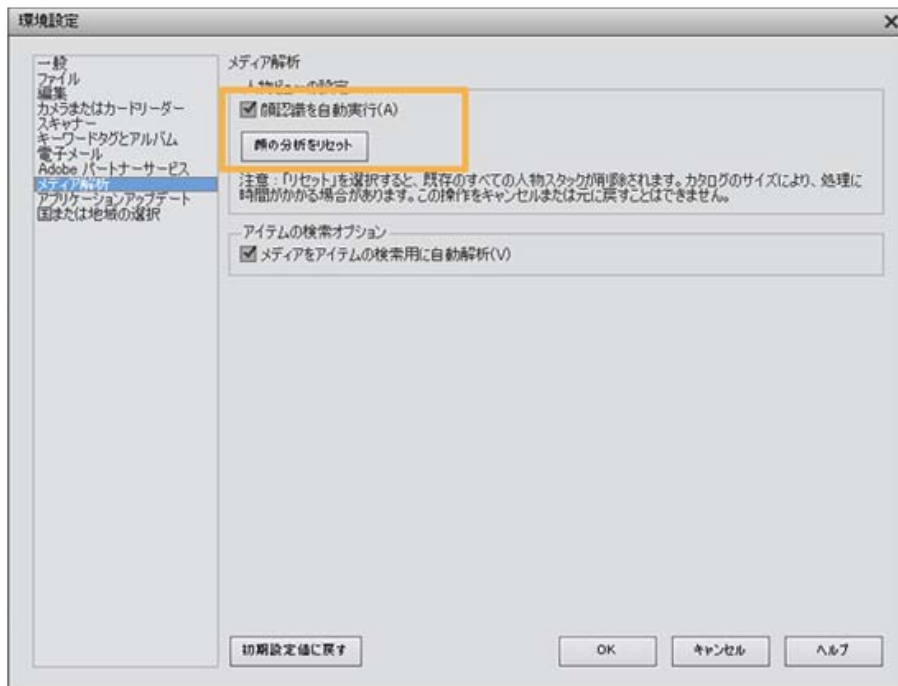
次のいずれかの方法を使用して、グループに顔を追加できます。

- 1 つまたは複数のスタックを選択し、右パネルのどれかのグループ名にドラッグします。
- 1 つまたは複数のスタックを選択し、グループ名をスタックのどれかにドラッグします。

[ページの先頭へ](#)

顔の分析のオフまたはリセット

Element Organizer での顔の分析をオフにするかリセットするには、編集/環境設定/メディア解析 (Windows) または Elements Organizer/環境設定/メディア解析 (Mac OS) を選択します。




顔の分析のオフ

Elements Organizer は、自動で似ている顔を認識してスタックとしてグループ分けします。
自動顔認識をオフにするには、「顔認識を自動実行」チェックボックスをオフにします。

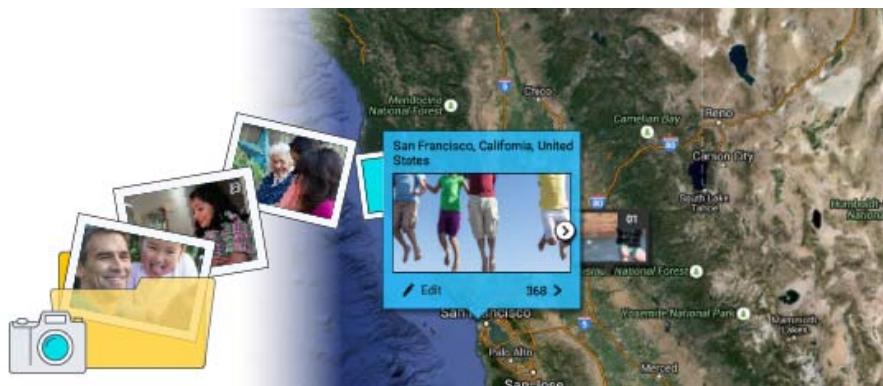
顔の分析のリセット

顔の分析をリセットすると、カタログ内のすべての顔が分析し直されます。顔の分析をリセットすると、「名前付き」タブに含まれるすべての既存の人物スタックが削除されます。現在のカatalogに含まれる顔がもう一度分析され、似ている顔がスタックとして「名前なし」タブに表示されるので、そこで名前を指定できます。顔の分析をリセットするには、「顔の分析をリセット」をクリックします。

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

場所（位置）データの追加と管理



写真やビデオを撮影した場所に関連付けるには、Elements Organizer の強力なマップ統合機能を使用します。場所に基づいて、写真とビデオを整理して表示できます。

注意：この記事では、Elements Organizer 14 で場所に名前を指定する手順について説明します。Elements Organizer 13 の対応する記事にはこのリンクからアクセスできます。

この記事の内容

- 「ピン留め済み」タブと「ピン留め解除済み」タブ
- 場所情報の追加前にメディアファイルを表示する
- 場所情報をメディアファイルに追加する
- 場所に関連付けられているメディアの表示
- GPS 情報のある写真の場所名の取得
- マップでの場所の検索
- 場所にカスタム名を指定する

撮影した場所に写真やビデオを関連付けることができます。Elements Organizer では、場所情報が維持され、これらの写真やビデオの検索や整理に役立ちます。

Elements Organizer には Google Maps が統合されているので、ドラッグ&ドロップしたり場所を検索したりすることで、マップ上の場所に写真やビデオを関連付けることができます。Elements Organizer では、ピンが追加され、場所に関連付けられているメディアファイルの数が表示されます。

写真やビデオに GPS 情報がある場合は、マップ上の適切な場所に自動配置されます。

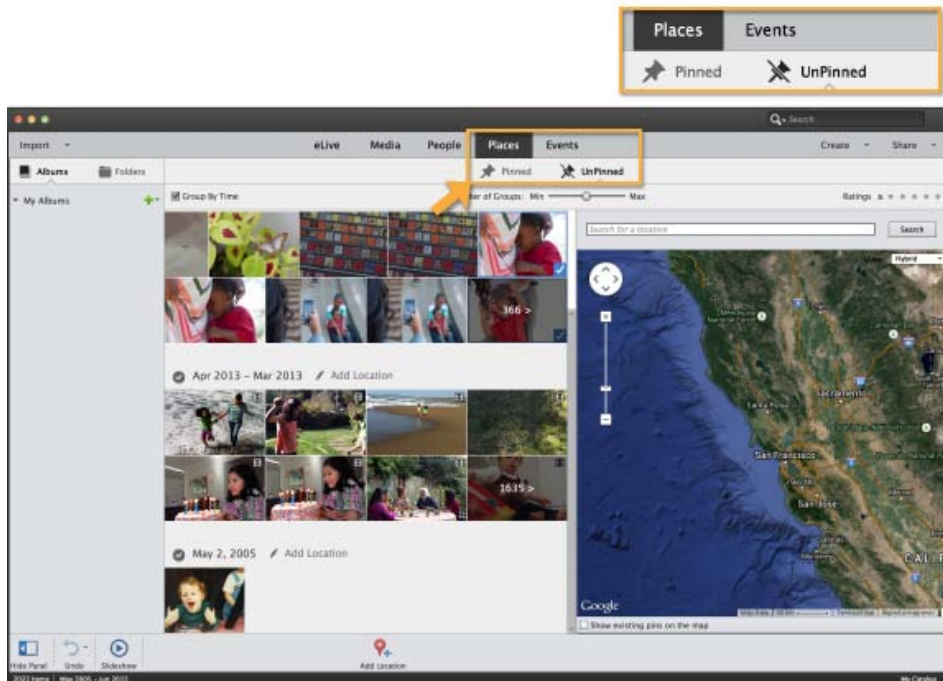
場所ビューでは、位置情報に基づいて、メディアファイルを表示および整理できます。

注意： マップ機能が正確に機能するには、インターネットに接続している必要があります。

[ページの先頭へ](#)

「ピン留め済み」タブと「ピン留め解除済み」タブ

場所データのないメディアファイルは、場所ビューの「ピン留め解除済み」タブに表示されます。場所データのあるメディアファイル（手動でタグ付けした写真、GPS 対応デバイスで撮影された写真など）は、場所ビューの「ピン留め済み」タブに表示されます。



[ページの先頭へ](#)

場所情報の追加前にメディアファイルを表示する

メディアファイルを読み込んだら、「ピン留め解除済み」タブに移動します。場所情報のないメディアファイルはすべてここに表示されます。

初期設定では、「時間別グループ化」オプションが選択されています。このオプションが選択されていると写真が日時に基づいて整理され、ある期間内に作成されたメディアファイルに対する場所情報の追加がやりやすくなります。例えば、ハワイで誕生日を祝ったときに撮影されたと思われる写真の整理が簡単になります。誕生日に撮影されたすべての写真に場所としてハワイをタグ付けできるからです。

「グループ数」スライダーを動かすと、表示されるトラックの数を変更できます。スライダーを左（「最小」）のほうへ動かすほど、グループ化されるファイル作成期間に属するメディアファイルが増えます。そのため、スライダーを左へ動かすにつれ、表示されるトラックの数が減っていきます。同様に、スライダーを右（「最大」）のほうへ動かすほど、表示されるトラックの数が増えます。



[ページの先頭へ](#)

場所情報をメディアファイルに追加する

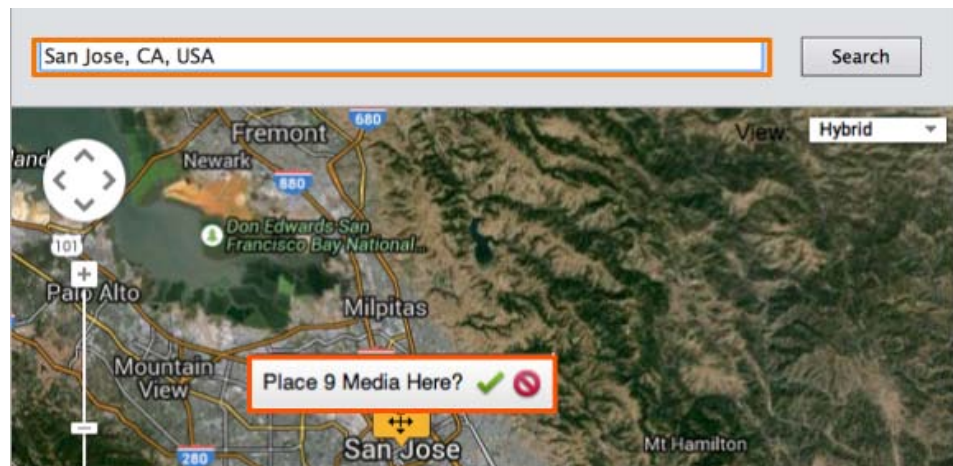
Elements Organizer には、メディアファイルに場所を簡単にタグ付けできる方法がいくつか用意されています。

場所を割り当てるメディアファイルを選択し、次のいずれかの方法を選びます。

- 場所を検索して割り当てる
- 「場所を追加」ボタンを使用する
- メディアファイルをマップにドラッグ&ドロップする

場所を検索して割り当てる

どこかの場所に割り当てたいメディアファイルを選択します。次に、選択したメディアファイルを配置する場所をマップで検索します。



注意：この方法は、「ピン留め解除済み」タブでのみ使用できます。「ピン留め済み」タブの場合、場所を検索してもその場所のマップ表示がズームされるだけです。

「場所を追加」ボタンを使用する

「場所を追加」ボタンを使用すると、次の方法で場所を検索して割り当てることができます。

トラック内のすべての写真に場所を追加する

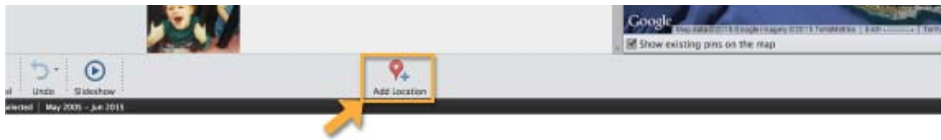
「ピン留め解除済み」タブが表示されており、「時間別にグループ化」オプションが選択されていることを確認します。「グループ数」スライダーを調整して、目的のトラックを表示します。次に、目的のトラックの「場所を追加」ボタンをクリックして、そのトラックのすべての写真をマップ上に配置します。



「ピン留め解除済み」タブから選択した写真を場所に追加する

選択した複数のメディアファイルに場所をまとめて追加できます。対象となるファイルは、同じトラックにあっても異なるトラックにあってもかまいません。

「ピン留め解除済み」タブで写真を選択し、アクションパネルの「場所を追加」ボタンをクリックします。



メディアビューから選択した写真に場所を追加する

- メディアビューで写真を選択し、アクションパネルの「場所を追加」ボタンをクリックします。



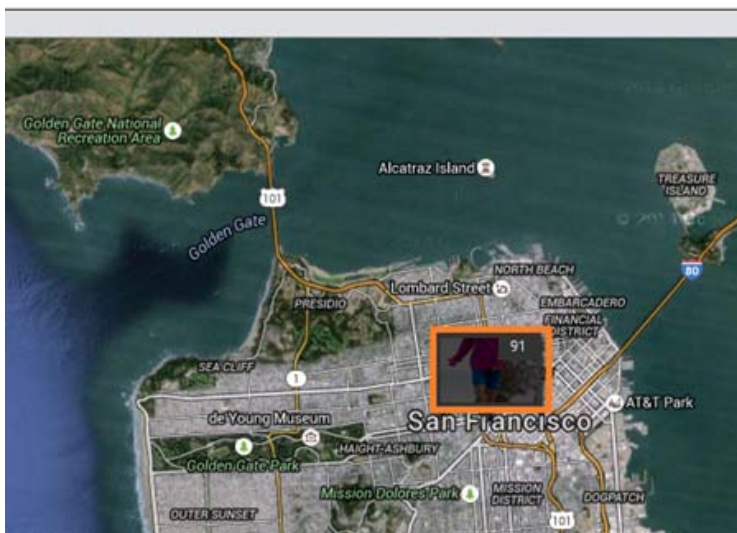
メディアファイルをマップにドラッグ&ドロップする

マップの関連付けたい場所にメディアファイルをドラッグします。

[ページの先頭へ](#)

場所に関連付けられているメディアの表示

「ピン留め済み」タブをクリックして、場所情報が含まれているメディアファイル（手作業でタグ付けしたファイルまたは GPS 情報が含まれているファイル）を表示します。



「ピン留め済み」タブの表示で、写真は前の図に示されているようにスタック表示されます。
写真の大きめのビューを表示するには、スタック上にマウスポインターを合わせます。



A. 写真またはスタックの上にカーソルを合わせると、詳細ビューが表示されます。 B. スタックの前または次の写真を表示するには、「<」または「>」記号をクリックします。 C. 写真に関連付けられている場所を微調整するには、「編集」をクリックします D. その場所に関連付けられている写真をすべて表示するには、数と「>」記号が示されているボタンをクリックします。

右下に表示される数は、同じ場所に指定されているメディアファイルの数です。メディアファイルをすべて表示するには、数と「>」記号が示されているボタンをクリックします。

場所の調整

メディアファイルに関連付けられている場所を微調整するには、「編集」ボタンをクリックします。

例えば、写真を当初「サンフランシスコ」とタグを付けたとします。後日「編集」ボタンを使用することで、その場所を「サウスリート」や「ゴールデンゲートブリッジ」などに微調整できます。

ズームレベルに応じたスタック表示

「ピン留め済み」ビューでズームアウトすると、比較的近い場所に関連付けられている複数のスタックが結合され、単一のスタックになります。例えば、ベルモント、ストーンハム、ブルックリンに個別に関連付けられているスタックがあると、ボストンという単一スタックで表示されます。個々のスタックを表示するには、マップでズームインします。

[ページの先頭へ](#)

GPS 情報のある写真の場所名の取得

GPS 情報が含まれているメディアファイルはマップ上に表示されますが、関連付けられている場所名はありません。

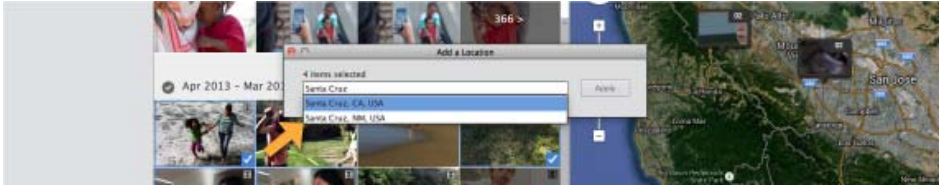
これらのファイルを場所名と関連付けるには、目的のスタックにマウスポインターを合わせ、「場所名を取得」ボタンをクリックします。

[ページの先頭へ](#)

マップでの場所の検索

マップで場所を検索することもできます。該当する場所やその周辺に指定されているメディアファイルが地図

上に表示されます。



[ページの先頭へ](#)

場所にカスタム名を指定する

メディアファイルの場所タグをカスタム名に置き換えて、場所をわかりやすくしたり、自分だけの場所タグを作ったりできます。例えば、場所タグを「マイオフィス」や「自宅」に変えることができます。

カスタム名を作成するには、次の操作を行います。

1. 「ピン留め済み」タブで、メディアファイルにマウスポインターを合わせると、拡張ビューが表示されます。次に、コンテキストメニューから「カスタム名を追加します」を選択します。



または、アクションパネルの「カスタム名」ボタンをクリックします。



2. 表示されるダイアログボックスで、任意の名前をメディアファイルに指定します。



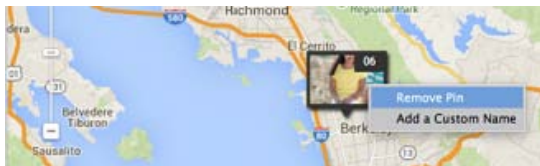
作成されたカスタムタグは、メディアビューの場所の一覧に表示されます。これで、そのタグを使用してメディアファイルにフィルターを適用したり、同じ場所で作成された他のメディアファイルにそのタグを適用したりなどできるようになります。

注意： カスタム名の作成は、表示されているマップに対するエイリアスの作成です。ズームインまたはズームアウトすると、カスタム名の追加対象となる目的の名前に到達できません。

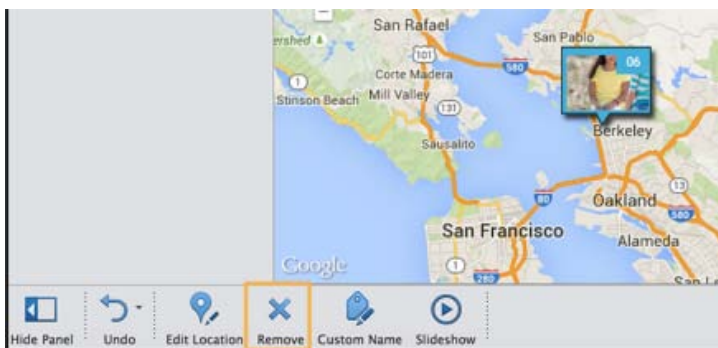
メディアからのピンの削除


メディアファイルまたはスタックに関連付けられているピン（場所）を削除するには、それを選択し、次のいずれかの操作を行います。

- ファイルまたはスタックを右クリックし、「ピンを削除」を選択します。



- 「ピン留め済み」ビューでメディアファイルまたはスタックをクリックし、アクションパネルの「削除」を選択します。



 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

イベントデータの追加と管理



写真やビデオなどのメディアファイルにイベント情報を追加しましょう。イベント別に整理されて、簡単に表示できるようになり、イベントの思い出が生き生きとよみがえります。

この記事の内容

- [メディアファイルを選択してイベントを作成する](#)
- [自動提案に基づいてイベントを作成する](#)
- [メディアファイルに関連付けられているイベントを表示する](#)
- [トラックの数を増やす／減らす](#)
- [イベント別に整理されたメディアファイルを表示する](#)
- [メディアビューで表示する](#)
- [追加情報](#)

注意： この記事では、*Elements Organizer 14* のイベントデータを追加および管理する手順について説明します。*Elements Organizer 13* の対応する記事にはこのリンクからアクセスできます。

結婚式や誕生日など、関連するイベントごとに、写真やビデオファイルをひとまとめに整理したいことがよくあるのではないのでしょうか。Elements Organizer には、イベント別にメディアファイルを整理する 2 つの方法があります。

- [メディアビュー](#)
からメディアファイルを選択してイベントを作成する
- イベントビューの「イベント候補」タブで自動提案に基づいてイベントを作成する

イベントを作成すると、そのイベントに関連付けられているファイルを簡単に表示できるようになります。

[ページの先頭へ](#)

メディアファイルを選択してイベントを作成する

1. メディアビューで、イベントに関連付けるメディアファイルを選択します。
2. タスクバーで、「イベントを追加」をクリックします。



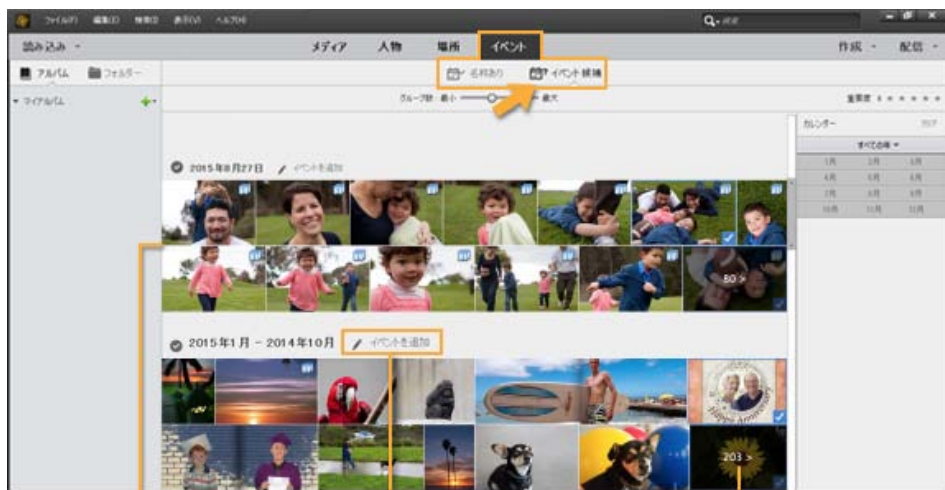
3. イベント名とイベントの説明（オプション）を指定し、「完了」をクリックします。



[ページの先頭へ](#)

自動提案に基づいてイベントを作成する

イベントビューの「イベント候補」タブに、トラック形式で古い順にグループ化されたメディアファイルが一覧表示されます。トラック内のすべてのメディアファイルをイベントに関連付けたり、各トラックから選択したファイルをイベントに関連付けたりできます。



メディアファイルは、トラックにグリッド内の個別要素として表示されます。

トラックにあるすべてのメディアファイルを一度にタグ付けするには、「イベントを追加」ボタンをクリックします。

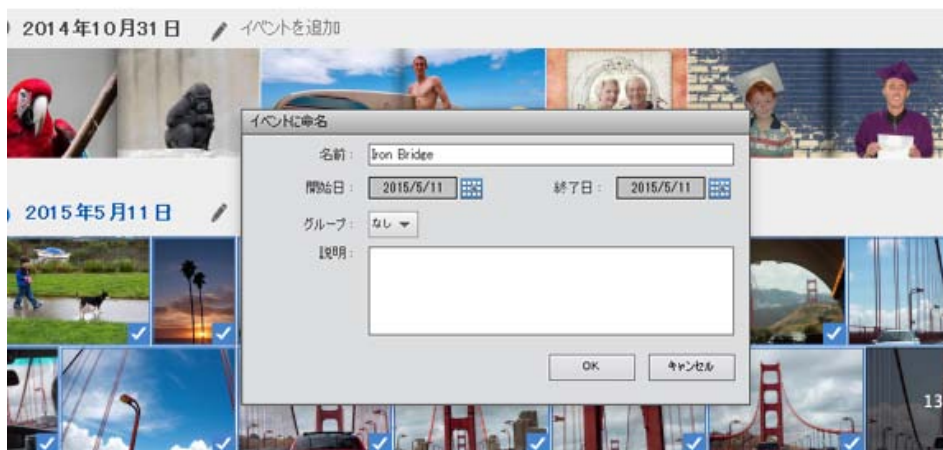
すべてのメディアファイルをドリルダウン表示するには、トラックに含まれるメディアファイルの縮図が併せて表示されている、グリッド右下隅のアセットをクリックします。

トラック内のすべてのメディアファイルをイベントに関連付ける

1. 追加するトラックの最上部にある「イベントを追加」ボタンをクリックします。



2. 表示されたイベントに命名ダイアログボックスで、イベントの名前を指定し、「OK」をクリックします。



トラックから選択したメディアファイルをイベントに関連付ける

トラック内の特定のメディアファイルだけをイベントに関連付けるには、メディアファイルを選択し、ワークスペースの下にある「イベントを追加」ボタンをクリックします。



[ページの先頭へ](#)

メディアファイルに関連付けられているイベントを表示する

メディアファイルに関連付けられているイベントの一覧を表示するには、イベントビューのアセットに表示されているアイコンにマウスカースルを合わせます。



[ページの先頭へ](#)

トラックの数を増やす／減らす

イベントビューの「イベント候補」タブの「グループ数」スライダーを使用して、表示されるトラックの数を微調整できます。



[ページの先頭へ](#)

イベント別に整理されたメディアファイルを表示する

メディアファイルを1つまたは複数のイベントに関連付けると、イベント別に整理されたメディアファイルを簡単に表示できるようになります。整理されたファイルは、イベントビューやメディアビューで表示できます。

イベントビューで表示する

イベントビューで、「イベントあり」タブをクリックします。「イベントあり」タブには、ファイルがイベント別に整理されて表示されます。Elements Organizer では、前のセクションで選択した写真のイベントスタックが作成されます。



スタックの画像をスクロールするには、スタックの上にカーソルを移動します。

スタック内のすべての画像を表示するには、スタックをダブルクリックします。スタック内のすべての画像が表示されます。



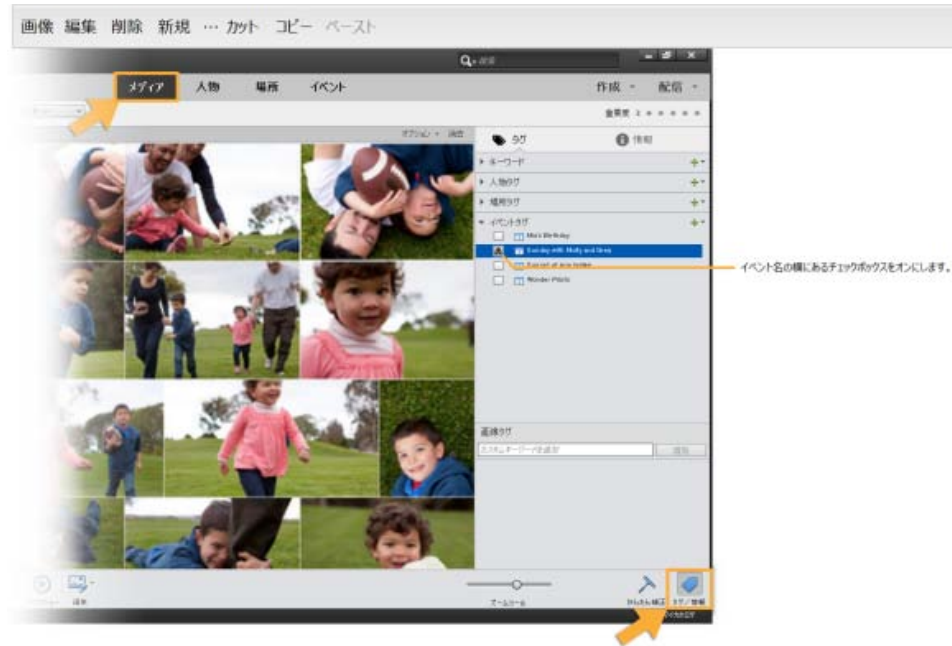
イベントビューでスタックをダブルクリックすると、そのスタックにあるすべての写真が表示されます。

[↑](#)

メディアビューで表示する

1. メディアビューで、タグが表示されていることを確認します。必要に応じて、下にある「キーワード／情報」ボタンをクリックします。
2. 関連付けられているメディアファイルを表示するイベントの名前の横にあるチェックボックスをオンにします。

そのイベントに関連付けられているメディアファイルのみグリッドに表示されます。



追加情報

各メディアファイルは、1つまたは複数のイベントに関連付けることができます（それに対し、場所は1つしか関連付けることができません）。イベントにメディアファイルに関連付けても、メディアファイルは引き続きイベントビューの「イベント候補」タブに表示されます。メディアファイルには他のイベントを追加で関連付けることができます。

Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

メディアのタグ付け

キーワードタグの操作

- キーワードタグ
 - キーワードタグパネルの使用
 - キーワードタグの作成
 - メディアファイルにキーワードタグを追加
 - スマートタグについて
 - キーワードタグによるメディアファイルの検索
 - タグのすばやい作成と適用
 - 新しいキーワードタグカテゴリまたはサブカテゴリの作成
 - キーワードタグ、カテゴリおよびサブカテゴリの編集
- ## 人物、場所、イベントタグの操作 | Elements 12
- 人物タグの作成
 - 場所タグの作成
 - イベントタグの作成

メディアをタグ付けすると、管理が簡単に、検索されやすくなります。キーワードで写真やビデオを識別して、メディアファイルやアルバムを取得するために、キーワードタグを使用できます。また、人物、場所、イベントのタグを使用して、メディアを簡単に整理できます。

[ページの先頭へ](#)

キーワードタグの操作

キーワードタグ

キーワードタグとは、「父親」や「フロリダ」のようにカスタマイズされたキーワードで、メディアビュー内で写真、ビデオファイル、オーディオクリップ、PDF およびプロジェクトに追加されます。キーワードタグを使用すると、タグ付けされたファイルを簡単に整理して検索できるようになります。キーワードタグを使用すると、カテゴリ固有のフォルダー内でメディアファイルを手動で整理したり、メディアファイルの名前をコンテンツに沿った名前に変更したりする必要がなくなります。代わりに、単に各メディアファイルに1つまたは複数のキーワードタグを追加できます。次に、キーワードタグパネルで、1つまたは複数のキーワードタグを選択することで、希望のメディアファイルを取得できます。検索テキストボックスにキーワードを入力して、特定のキーワードタグの付いたメディアファイルも検索できます。

例えば、「Anna」というキーワードタグを作成し、妹の Anna が写っているすべてのメディアファイルに適用します。次に、コンピューターに保存されている Anna のすべてのメディアファイルを即時に検索するには、キーワードタグパネルで「Anna」のタグを選択します。

任意のキーワードを使用してキーワードタグを作成することができます。メディアファイルに複数のキーワードタグが付いている場合、キーワードタグの組み合わせを選択して、特定の場所やイベントに関係した特定の人が写っているメディアを検索することもできます。例えば、「Anna」というキーワードタグと「Marie」というキーワードタグをすべて検索することによって、Anna と彼女の娘の Marie が一緒に写っている写真をすべて見つけることができます。また、「Anna」というキーワードタグと「岬」というキーワードタグをすべて検索することによって、サンルカス岬で休暇中の Anna の写真をすべて見つけることができます。

キーワードタグパネルの使用

キーワードタグは、「整理」タブのキーワードタグパネルで作成および操作します。


Elements Organizer のキーワードタグパネルには、旅行のカテゴリがデフォルトで含まれます。さらに、キーワードタグが付いているメディアファイルを読み込むと、それらのタグは読み込んだキーワードタグカテゴリの下に表示されます。これらのカテゴリでタグを整理する以外に、独

自のカテゴリやサブカテゴリを作成することもできます。

キーワードタグパネルでは、次の操作を行うことができます。


- すべてのキーワードタグ、タグのカテゴリおよびタグのサブカテゴリを表示します。カテゴリまたはサブカテゴリの横にある三角形をクリックして、キーワードタグを展開するか、折りたたみます。
- キーワードタグの作成、編集および削除を行います。
- カテゴリとサブカテゴリ内のキーワードタグを整理します。
- キーワードタグのリストを上下にスクロールします。

キーワードタグの作成

任意のカテゴリまたはサブカテゴリの下に新しいキーワードタグを作成して、カタログに新たに追加したメディアファイルを整理できます。新しいキーワードタグには、疑問符のアイコン  が付いています。



キーワードタグを作成ダイアログボックスで、キーワードタグを作成できます。 .

1. キーワードタグパネルで、新規ボタン（文末のプラス記号）をクリックして、新しいキーワードタグを選択します： 
 2. キーワードタグを作成ダイアログボックスで、カテゴリポップアップメニューからキーワードタグの配置先のカテゴリまたはサブカテゴリを選択します。
 3. 「名前」ボックスに、キーワードタグの名前を入力します。
- 注意： キーワードタグの名前のふりがなを変更するには、「名前（ふりがな）」ボックスに新しいふりがなを入力します。
4. 「メモ」ボックスにキーワードタグに関する情報を入力します（例えば、「休暇の写真」などの説明を記述しておきます）。
 5. 「OK」をクリックします。

選択したカテゴリまたはサブカテゴリに属した形で、キーワードタグがキーワードタグパネルに表示されます。

注意： キーワードタグを最初に適用したメディアファイルが、キーワードタグのアイコンとして使用されます。アイコンを変更するには、[キーワードタグアイコンの変更](#)を参照してください。

メディアファイルにキーワードタグを追加

作成したキーワードタグは、タグに関連するメディアファイルに適用できます。1つのメディアファイルに複数のキーワードタグを適用することもできます。キーワードタグを最初に適用したメディアファイルが、キーワードタグのアイコンとして使用されます。複数のメディアファイルをキーワードタグへドラッグした場合は、先頭にあるメディアファイルがキーワードタグのアイコンとして使用されます。

1. メディアビューで、キーワードタグを適用するメディアファイルを選択します（1枚以上の写真を選択するには、Ctrl キー / Cmd キーを押しながらメディアファイルをクリックします）。
2. 1つのキーワードタグを1枚のメディアファイルに適用するには、次のいずれかの操作を行います。

- キーワードタグパネルで1つのキーワードタグを選択し、選択したメディアファイルに重なるようにドラッグします。
- キーワードタグパネルのキーワードタグに重なるように、メディアファイルをドラッグします。

3. キーワードタグを複数のメディアファイルに適用するには、次のいずれかの操作を行います。

- キーワードタグパネルから、選択されたメディアファイルのいずれかにキーワードタグをドラッグします。
- 1つまたは複数のキーワードタグを選択し、選択したメディアファイルのいずれかに重なるようにキーワードタグをドラッグします。
- 1つまたは複数のキーワードタグを選択してから、キーワードタグパネルで選択したタグのいずれかに重なるように写真をドラッグします。

アルバム内のすべてのメディアファイルにタグを適用するには、アルバムパネルでアルバムをクリックします。メディアビューで、すべてのメディアファイルを選択します。キーワードタグパネルでキーワードタグを選択し、それらにタグを適用します。

スマートタグについて

注意： Elements 13 では、スマートタグを利用できなくなりました。

スマートタグを使用すると、品質や内容に応じてメディアファイル（写真やビデオ）を簡単に検索できます。自動解析は、自動的にスマートタグをメディアファイルに割り当てます。自動解析は次の項目を有効にします。

- メディアファイルを解析します。
- 手ぶれ、暗い、明るいなどの品質に基づいて写真や風景を識別します。

最高のメディアファイルを見つけて、粗悪なメディアファイルを排除することができます。これらのタグを使用すると、品質に基づいてアセットを並べ替えることができます。自動解析されたメディアファイルを表示するには、Elements Organizer インターフェイスで「スマートタグ」オプションを選択します。

注意： スマートタグを作成、編集、または削除することはできません。ただし、個別のクリップからスマートタグを削除または適用することはできます。

自動解析のコンテンツ解析は手動または自動で行えます。手動モードでは、スマートタグを選択したアセットに割り当てることができます。自動モードでは、解析とスマートタグのアセットへの割り当てがバックグラウンドプロセスで実行されます。

キーワードタグによるメディアファイルの検索

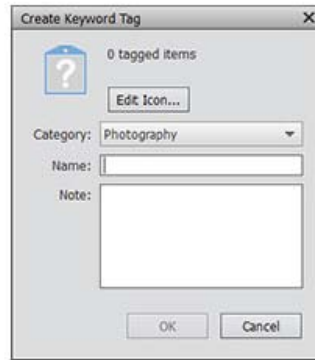
1. 検索バー内のボックスにタグの名前を入力すると、入力された文字に一致するタグのリストが表示されます。例えば、「D」を入力すると、「D」の文字で始まるすべてのタグが表示されます。必要なタグのみを選択できます。

検索条件として指定したキーワードタグが付いている、すべてのメディアファイルが検索されます。キーワードタグが含まれているサブカテゴリまたはカテゴリを選択すると、その階層下にある写真も含めてすべて表示します。例えば、「新郎」と「新婦」のキーワードタグを含む「結婚」サブカテゴリが存在するとします。「結婚」サブカテゴリを選択すると、Elements Organizer には、「新郎」と「新婦」のタグが付いたすべてのメディアファイルが表示されます。

2. タグをクリックして、タグに関連付けられているメディアを検索できます。タグをクリックすると、詳細な検索メニューが表示されます。検索内容を変更するか、他のキーワードタグを選択して、関連付けられているメディアを検索できます。

タグのすばやい作成と適用

Elements Organizer インターフェイス内の「キーワードタグ」テキストボックスを使用すると、迅速にタグを作成および適用することができます。このテキストボックスには、入力した文字に応じて、既存のタグのリストの一部が表示されます。例えば、「S」を入力すると、「S」の文字で始まるタグのリストが表示されます。このリストの一部を表示できます。このリストから既存のタグを選択して、選択されたアセットに適用するか、タグを作成してアセットに適用することができます。



タグの作成と適用

タグの作成


1. メディアファイルを選択します。
2. 「画像タグ」フィールドで、タグの名前を入力します。
3. 「追加」をクリックします。

タグの適用

1. タグ付けするアセットを選択して、次のいずれかの操作を行います。
 - 「キーワードタグ」テキストボックスで、タグの名前を入力します。
 - 例えば、「A」を入力すると、「A」の文字で始まるタグのリストが表示されます。使用するタグを選択します。
2. 「追加」をクリックします。

選択されたアセットにタグが適用されます。

新しいキーワードタグカテゴリまたはサブカテゴリの作成

1. 「整理」タブのキーワードタグパネルで、新規ボタン（文末のプラス記号）をクリックし、「新規カテゴリ」または「新規サブカテゴリ」のいずれかを選択します：
2. 次のいずれかの操作を行います。
 - 新規カテゴリを作成するには、「カテゴリ名」ボックスに名前を入力します。「カラーを選択」をクリックして、そのカテゴリ内のキーワードタグに付けるカラーを指定します。次に、カテゴリアイコンリストからアイコンをクリックして選択します。
 - 新規サブカテゴリを作成するには、「サブカテゴリ名」ボックスに名前を入力します。次に、「1つ上のカテゴリまたはサブカテゴリ」ポップアップメニューで、新規サブカテゴリの配置先を選択します。
3. 「OK」をクリックします。

新しいカテゴリまたはサブカテゴリがキーワードタグパネルに表示されます。

注意： サブカテゴリは編集または削除することができますが、サブカテゴリのアイコンは常に単色のタグとして表示され、アイコンに写真を使用することはできません。

キーワードタグ、カテゴリおよびサブカテゴリの編集

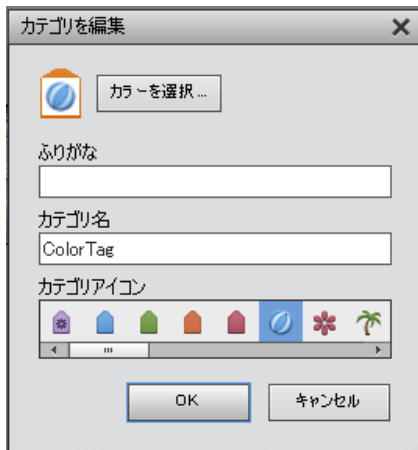
キーワードタグアイコンの変更

初期設定では、キーワードタグのアイコンには、そのタグが最初に付けられた写真が使用されます。タグの内容をわかりやすくするために、このアイコンを変更することができます。

1. キーワードタグパネルのタグを選択します。

注意： この機能は、顔／人物認識によって生成されたタグでは利用できません。

2. 新規ボタン（文末のプラス記号）をクリックし、メニューから「編集」を選択します：+
3. キーワードタグの編集ダイアログボックスで、「アイコンの編集」ボタンをクリックします。
4. アイコンの次のプロパティを編集できます。
 - ・ カラー：「カラーを選択」をクリックして、カラーを選択してアイコンのカラーを変更します。
 - ・ 名前：「カテゴリ名」でキーワードカテゴリの名前を編集します。
 - ・ カテゴリアイコン：カテゴリアイコンで利用できるオプションからアイコンを選択します。アイコンのその他のオプションを表示するには、横にスライドします。



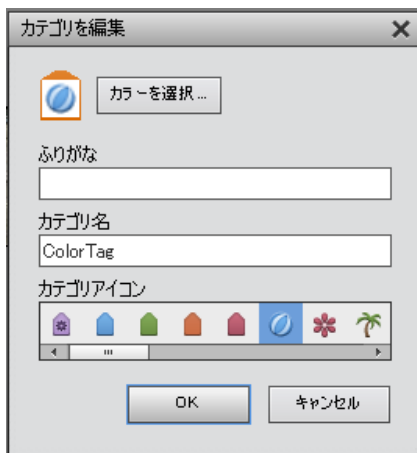
キーワードカテゴリの編集

5. 「OK」をクリックします。

キーワードタグのカテゴリまたはサブカテゴリの編集

カテゴリやサブカテゴリの名前または場所を変更することができます。

1. キーワードタグパネルのカテゴリまたはサブカテゴリを選択します。新規ボタン（文末のプラス記号）をクリックし、メニューから「編集」を選択し、カテゴリを右クリック／Ctrl キーを押しながらクリックして、「編集」を選択します。+
2. アイコンの次のプロパティを編集できます。
 - ・ カラー：「カラーを選択」をクリックして、カラーを選択してアイコンのカラーを変更します。
 - ・ 名前：「カテゴリ名」でキーワードカテゴリの名前を編集します。
 - ・ カテゴリアイコン：カテゴリアイコンで利用できるオプションからアイコンを選択します。アイコンのその他のオプションを表示するには、横にスライドします。



キーワードカテゴリの編集

3. 「OK」をクリックします。

ドラッグによるキーワードタグ、カテゴリ、サブカテゴリの整理

初期設定では、キーワードタグとサブカテゴリは五十音順で表示されますが、ドラッグして、これらの順序を変更することができます。

1. 編集／環境設定／キーワードタグとアルバム (Windows) 、または、Adobe Elements Organizer 11／環境設定／キーワードタグとアルバム (Mac OS) を選択します。
2. 「カテゴリ」、「サブカテゴリ」、および「キーワードタグ」の並べ替えオプションを「手動」に設定し、「OK」をクリックします。
3. キーワードタグパネルで、1 つまたは複数のキーワードタグ、カテゴリ、またはサブカテゴリを選択します。
4. 次のいずれかの操作を行い、選択したアイテムを新しい場所に移動します。
 - カテゴリまたはサブカテゴリ内でキーワードタグを並べ替えるには、タグをドラッグし、グレーのラインが表示されたらマウスボタンを放します。ドラッグしたタグは、グレーのラインのすぐ下に表示されます。
 - キーワードタグを新しいカテゴリに移動するには、移動先のカテゴリに重なるようにタグをドラッグし、カテゴリがハイライトされたらマウスボタンを放します。
 - カテゴリまたはサブカテゴリを並べ替えるには、グレーのラインが表示されるまでカテゴリまたはサブカテゴリをドラッグします。マウスボタンを放すと、カテゴリまたはサブカテゴリがグレーのラインのすぐ下に表示されます。カテゴリまたはサブカテゴリを移動すると、それに含まれるキーワードタグも一緒に移動します。
 - カテゴリまたはサブカテゴリを別のカテゴリの下位に配置するには、それらを目的のカテゴリまたはサブカテゴリまでドラッグします。移動先のカテゴリまたはサブカテゴリがハイライトされたら、マウスを放します。

注意： カテゴリまたはサブカテゴリを間違えて移動し、意図していないカテゴリまたはサブカテゴリのサブカテゴリにしてしまった場合、移動先のサブカテゴリを選択して新規ボタン（文末のプラス記号）をクリックし、キーワードタグパネルのメニューの編集をクリックします。次に、「1つ上のカテゴリまたはサブカテゴリ」メニューを使用して、正しい場所を指定します。

キーワードタグからサブカテゴリへの、またはサブカテゴリからキーワードタグへの変更

- 「整理」タブで次のいずれかの操作を行います。
 - キーワードタグのキーワードタグを右クリック／Control キーを押しながらクリックし、「新規サブカテゴリ」を選択します。
 - キーワードタグのサブカテゴリを右クリック／Control キーを押しながらクリックし、「新規サブカテゴリ」を選択します。下位にキーワードタグまたはサブカテゴリを持つサブカテゴリを変更することはできません。

カテゴリまたはサブカテゴリの削除

1. キーワードタグパネルで、1 つ以上のカテゴリまたはサブカテゴリを選択します。
2. 「削除」を右クリックして選択し、「OK」をクリックして削除を確定します。

写真からのキーワードタグの削除

- メディアビューでの表示方法に応じて、次のいずれかの操作を行います。
 - サムネール表示で 1 枚の写真からキーワードタグを削除するには、メディアファイルを右クリック／Control キーを押しながらクリックし、アイテムからキーワードタグを削除／[タグ名]を選択します。
 - サムネールを拡大表示しているときに 1 枚の写真からキーワードタグを削除するには、メディアファイルの下にあるカテゴリのアイコンを右クリックするか、Control キーを押しながらクリックし、「キーワードタグを削除」を選択します。
- 表示によっては、ポインターをカテゴリのアイコンの上に置くと、メディアファイルに適用されているキーワードタグのリストが表示されます。
- 任意のビューで複数のメディアファイルからキーワードタグを削除するには、Ctrl キーまたは Cmd キーを押しながらクリックしてメディアファイルを選択します。次に、選択したメディアファイルのいずれかを右クリック／Control キーを押しながらクリックし、選択アイテムからキーワードタグを削除／[タグ名]を選択します。
 - 写真からキーワードタグを削除する方法には、メディアビューで写真を選択する方法があります。キーワードタグは、画像タグパネルに表示されます。タグを右クリックして、「削除」を選択します。

キーワードタグ情報のファイルへの書き出し

タグ付きの JPEG、TIFF または PSD ファイルを Elements Organizer から電子メールで送信したり書き出したりする場合、タグの情報は自動的に IPTC (International-Press-Telecommunications-Council: 国際新聞電気通信評議会) キーワードとして出力ファイルに含まれます。受信者がメディアファイルを取り込み、関連付けられているタグを取り込むように要求されると、そのタグを作成したバージョンの Elements Organizer でタグが適用されます。

Elements Organizer の電子メールまたは書き出し機能を使用せずにメディアファイルを電子メールで送信したり、配信したりする場合は、タグの情報をファイルのヘッダーの IPTC キーワードセクションに手動で書き込むことができます。

- メディアビューで、ファイルを 1 つ以上選択し、ファイル／メタデータをファイルに保存を選択します。

注意： キーワードタグの他に、人物／場所／イベントタグもファイルに書き込みます。


キーワードタグの取り込みと書き出し

キーワードタグの取り込みと書き出しは、共通する趣味を持つ友人とメディアファイルを共有する場合などに役立ちます。例えば、自分の趣味に関連したメディアファイルに対して、一連のキーワードタグを作成したとします。これらのタグセットを保存すると、同じ趣味を持った友人が、キーワードタグパネルにこれらのタグを取り込み、メディアファイルにこれらのタグを適用できます。逆に、友人のキーワードタグを取り込み、自分のメディアファイルにこれらのタグを適用することもできます。共通するキーワードを友人と一緒に使用し、共有する趣味に関連したメディアファイルを検索することができます。

キーワードタグの書き出し

キーワードタグパネル内のカテゴリやサブカテゴリの階層全体とキーワードタグアイコンをまとめて保存し、現在のキーワードタグのセットを他の人と共有することができます。書き出されたタグファイルは、Extensible Markup Language (XML) 形式で保存されます。

注意： タグを書き出しても、そのタグに関連付けられた写真は書き出されません。

1. キーワードタグパネルで、新規ボタン (文末のプラス記号) をクリックし、「キーワードタグをファイルに保存」を選択します: 
2. 次のいずれかを選択し、「OK」をクリックします。

すべてのキーワードタグを書き出す すべてのキーワードタグと階層を含むファイルを作成します。

指定したキーワードタグを書き出す リストから選択されたカテゴリまたはサブカテゴリのキーワードタグと階層を含むファイ

ルを作成します。


3. キーワードタグをファイルに保存ダイアログボックスで、ファイル名を入力し、ファイルの保存先を選択してから、「保存」をクリックします。

ファイルからのキーワードタグの取り込み


「キーワードタグをファイルに保存」コマンドを使用して XML 形式で保存されたキーワードタグのセットは、カテゴリとサブカテゴリの階層全体およびアイコンを含めて、すべて取り込むことができます。

また、別のキーワードタグが付けられた画像を取り込むことによって、キーワードタグを取り込むこともできます。例えば、メディアファイルを電子メールで送信、書き出し、および編集した場合、またはキーワードタグの情報が追加された場合、キーワードタグが添付されます。

注意： キーワードタグを取り込んでも、タグに関連付けられた写真は取り込まれません。

1. キーワードタグパネルで、新規ボタン（文末のプラス記号）をクリックし、「ファイルからキーワードタグを取り込む」を選択します： 
2. ファイルからキーワードタグを取り込むダイアログボックスで、キーワードタグ、カテゴリ、およびサブカテゴリを含む XML ファイルを選択し、「開く」をクリックします。

キーワードタグパネルとアルバムパネルの環境設定

1. Elements Organizer で、編集/環境設定/キーワード名札とアルバム (Windows) 、または、Adobe Elements Organizer 11/環境設定/キーワード名札とアルバム (Mac OS) を選択します。
2. キーワードタグ、カテゴリ、サブカテゴリ、アルバム、およびアルバムカテゴリについて、並べ替え順序として「五十音順」または「手動」を指定します。キーワードタグの並べ替え順序として「手動」を選択すると、キーワードタグパネルでタグをドラッグして、任意の順序で並べることができます。
3. キーワードタグの表示方法について、名前のみを表示するか、または名前の他に小さなアイコンまたは大きなアイコンも表示するか「キーワード名札の表示方法」で指定します。「OK」をクリックします。
4. キーワードタグの大きなアイコンを表示するには、キーワードタグパネルの記号をクリックし、「大きなアイコンを表示」を選択します。このフライアウトの環境設定と環境設定ダイアログは同期します。 


人物、場所、イベントタグの操作 | Elements 12

人物、場所、イベントタグを使用して定義すると、メディアを簡単に管理できます。これらのタグは、対応するビュー（場所ビューなど）から、またはメディアビュー（タスクバーの「タグ/情報」をクリックして「場所」をクリック）から作成できます。


メディアビューでタグを操作すると、タグをドラッグ&ドロップして、すばやくタグ付けできます。

人物タグの作成

人物タグをグループに整理することができます。同僚、家族、友達は必要に応じて削除できる定義済みのグループです。

1. タスクバーの「タグ/情報」をクリックします。
2.  メニューを展開し、「新規人物」または「新規グループ」をクリックします。
3. 画面上の指示に従い、人物タグを整理します。

場所タグの作成

1. タスクバーの「タグ/情報」をクリックします。
2.  メニューを展開し、「新規場所」をクリックします。
3. 新しい場所を追加ダイアログで、場所を検索します。

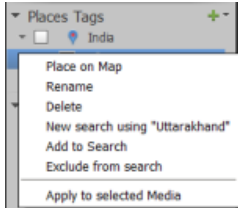
4. メッセージが表示されたら、新しい場所を割り当ててを確認します。
5. 「完了」をクリックします。新しい場所が場所の階層に追加されます。

注意： Elements 12 の場所タグは、GPS 座標が関連付けられます。これらの座標は、これらの場所にタグ付けられているメディアにも関連付けられます。

場所タグの編集

場所タグに様々な GPS 座標を割り当てられます。次の手順に従います。

1. 場所階層の場所を右クリックし、「この場所を編集」をクリックします。



場所の編集

2. マップが表示されたら、場所に対応するピンを新しい場所にドラッグします。
3. メッセージが表示されたら、新しい場所を割り当ててを確認します。
4. 「完了」をクリックします。場所が場所階層に新しい名前で表示されます。

場所タグの名前の変更

場所のデフォルト名を変更できます。例えば、*Lincoln Ave* の名前を *Home* に変更できます。次の手順に従います。

1. 場所の階層で場所を右クリックし、「名前の変更」を選択します。
2. 新しい場所の名前を入力します。
3. 「OK」をクリックします。

場所の階層から場所を削除するには、その場所を右クリックし、「削除」を選択します。場所を削除することを確認します。

従来の場所タグへの GPS 座標の割当て

古いバージョンの Elements から Elements 12 に読み込まれた場所には、GPS 座標が関連付けられていない場合があります。このような場所に GPS 座標を割り当てることができます。

1. 場所階層の場所を右クリックして、地図に配置をクリックします。
2. マップが表示されたら、場所に対応するピンを新しい場所にドラッグします。
3. メッセージが表示されたら、新しい場所を割り当ててを確認します。
4. 「完了」をクリックします。

イベントタグの作成

必要に応じて、イベントタグをグループに整理できます。イベントタグを作成するには、次の手順に従います。


1. タスクバーの「タグ/情報」をクリックします。
2. + メニューを展開し、「新規イベント」をクリックします。
3. 次のイベントの詳細を追加します。

- イベント名
 - イベントの開始日と終了日
 - (オプション) イベントグループ。まだイベントグループを定義していない場合は、このオプションではデフォルトの「なし」が選択されます。
 - (オプション) イベントの説明
4. イベントに関連付けられているメディアを、メディアエリアにドラッグ&ドロップします。
- 注意： 同じメディアが複数のイベントに関連付けられている場合があります。
5. 「完了」をクリックします。

注意： *Elements 10* 以前のバージョンからカタログを移行する場合は、カタログ内のイベントカテゴリはイベントグループとしてインポートされます。

アドビは次の機能も推奨します。

- [ファイルメニューの使用](#)

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

檢索

メディアファイルの検索

メディアファイルの検索

検索ボックスを使用したメディアファイルの検索

ディスク上のファイルの検索

[ページの先頭へ](#)

メディアファイルの検索

Elements Organizer では、日付、類似性、重要度、アルバム、フォルダーの保存先、ファイル名、メディアの種類、キーワードタグ、テキスト、またはその他の条件で写真とメディアファイルを検索することができます。また、あらゆるグループ内のファイルを、日付の昇順／降順、またはアルバム別に並べ替えることができます。

Elements Organizer には、メディアファイルを検索する方法がいくつかあります。次に示すいずれかの方法、または組み合わせにより、目的のメディアを検索することができます。

アルバムとフォルダーのパネル

アルバムまたはフォルダーを選択すると、その中にあるメディアファイルが表示されます。アプリケーションウィンドウ下部の制御バーにある「パネルを表示/非表示」ボタンを使用して、パネルを表示したり非表示にしたりできます。

検索メニュー

このメニューのコマンドを使用して、日付、キャプションまたはメモ、ファイル名、履歴、バージョン、メディアの種類、メタデータ、または類似性によってメディアファイルを検索します。日付や時刻が不明なアイテム、キーワードタグの付いていないアイテム、またはどのアルバムにも含まれていない写真やメディアファイルを検索するなどの、詳細検索を開始するコマンドもあります。詳しくは、[ファイルメニューの使用](#)を参照してください。

タイムグラフ

月をクリックするか、範囲を設定すると、日付、読み込みバッチにより時系列（並べ替えバー）で、あるいはフォルダーの位置（管理対象ビューとツリービュー）により、写真やメディアファイルを検索することができます。表示／タイムグラフ (Ctrl/Command + L) を選択すると、タイムグラフが表示されます。詳しくは、[タイムグラフを使用したメディアファイルの検索](#)を参照してください。

重要度フィルター

指定した重要度と等しい、より大きい、または小さい重要度が指定されているメディアファイルのみを表示します。詳しくは、[重要度を使用した検索](#)を参照してください。

検索ボックス

テキストを入力すると、それと一致するテキストがファイル名、メタデータ、キャプション、メモ、日付、アルバム名、人物、イベントまたは場所にあるメディアファイルを検索します。

また、画像を選択してから検索ボックスドロップダウンメニューからオプションを選択することもできます。類似性、オブジェクト、重複する写真などの一般的な検索が可能です。保存検索にもすばやくアクセスできます。詳しくは、[検索ボックスを使用したメディアファイルの検索](#)を参照してください。

キーワードタグパネル

キーワードタグを選択して、そのタグが付いているメディアファイルを表示します。詳しくは、[キーワードタグによるメディアファイルの検索](#)を参照してください。

検索バー

写真のキーワードタグ、プロジェクトまたはアルバムを検索バーにドラッグし、検索を絞り込むことができます。検索バーは、初期設定では表示されませんが、検索を実行すると表示されます。

表示メニューにあるコマンドを使用して、写真、ビデオ、オーディオ、プロジェクトおよび PDF などのファイルの種類を表示または非表示を設定できます。表示メニューには、「非表示」とマークされたメディアファイルを表示するためのオプションもあります。

[ページの先頭へ](#)

検索ボックスを使用したメディアファイルの検索

様々な検索条件により、メディアファイルの検索を効率よく簡単に行うことができます。検索ボックスを使用すると、テキストベースの検索を実行することができます。名前または単語を入力すると、Elements Organizer には、様々な条件でテキストが一致するメディアファイルが表示されます。一致させるものには、次のアイテムが含まれます。

- 作成者
- キャプション
- 日付
- ファイル名
- キーワードタグ
- メモ
- アルバム名
- アルバムグループ
- カメラメーカー
- カメラの機種
- 人物
- 場所
- イベント

テキスト検索では、前後にスペースを入れて、演算子 AND、OR、NOT もサポートします。次の表で、テキストベースの検索実行に使用できる検索条件を詳しく説明します。

検索条件	説明	ファイル形式	例
フォルダー	(Elements 12) 指定されたフォルダーからメディアエレメントを表示	フォルダー：<フォルダー名>	フォ
日付	指定した日付と一致するメディア要素を表示します。	<ul style="list-style-type: none">• 日付：dd/mm/yyyy• 日付：mm/dd/yyyy• 日付：yyyy• 日付：今年	

		<ul style="list-style-type: none"> 日付：前年 日付：今日 日付：前週 	
タグ	指定したタグと一致するメディア要素を表示します。	タグ：<タグ名>	タグ
ファイル名	指定したファイル名と一致するメディア要素を表示します。	ファイル名：<ファイル名>	ファイル名
キャプション	指定したキャプションと一致するメディア要素を表示します。	キャプション：<キャプション>	キャプション
デバイスメーカー	指定したカメラメーカーと一致するメディア要素を表示します。	デバイスメーカー：<カメラのメーカー>	デバイスメーカー
デバイスモデル	指定したカメラの機種と一致するメディア要素を表示します。	デバイスモデル：<モデル名>	デバイスモデル
作成者	指定した作成者名と一致するメディア要素を表示します。	作成者：<作成者名>	作成者
メモ	指定したメモと一致するメディア要素を表示します。	メモ：<メモ>	メモ
人物	指定した人物と一致するメディア要素を表示します。	人物：<人物名>	人物
場所	指定した場所と一致するメディア要素を表示します。	場所：<場所名>	場所
イベント	指定したイベントと一致するメディア要素を表示します。	イベント：<イベント名>	イベント

検索ボックスには、入力した文字に基づいて既存のタグのリストが表示されます。例えば、「ディズニーランド」というタグが付いているメディアを検索するには、検索ボックスに「デ」と入力します。検索ボックスには、「デ」で始まるタグのリストが表示されます。さらにテキストを入力していくと、リストは動的に変化し、入力したテキストと一致するタグが表示されます。リストにあるいずれかのアイテムをクリックすると、そのタグの検索が実行され、Elements Organizer に結果が表示されます。


[ページの先頭へ](#)

ディスク上のファイルの検索

サーバーにファイルをアップロードしている場合や、ドキュメントのレイアウトにファイルを埋め込んでいる場合、実際のファイルが必要になります。写真やメディアの実際のファイルを検索するには、次の処理を実行します。

1. ファイルを検索する写真やメディアクリップを選択します。
2. **Alt + Enter** キーを押す (Windows) または **Option + Enter** キーを押す (Mac OS) と、情報パネルが開きます。
3. 「一般」セクションに、ディスク上の実際の場所が表示されます。「保存先」をクリックすると、エクスプローラー (Windows) または Finder (Mac OS) にファイルのあるフォルダーが開きます。

関連リンク

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

ファイルメニューの使用

詳細検索を使用したメディア項目の検索

詳細（メタデータ）によるメディアファイルの検索

メディアの種類によるファイルの検索

履歴によるメディアファイルの検索

キャプションまたはメモによるメディアファイルの検索

ファイル名によるメディアファイルの検索

見つからないファイルの検索

すべてのバージョンセットの検索

すべてのスタックの検索

アイテムの検索を使用した検索

日付または時間が不明なメディアファイルの検索

タグなしアイテムを検索

未解析のコンテンツの検索

アルバムにない項目の検索

プロジェクトで使用する写真の検索（Windows のみ）

[ページの先頭へ](#)

詳細検索を使用したメディア項目の検索

Elements Organizer には、詳細検索が用意されています。この検索を使用して、タグ検索を拡張し、人物、場所およびイベントに加えて、キーワードタグも指定できます。キーワードタグパネルから検索を開始すると、詳細検索はチェック済みの選択されたキーワードタグを使って処理を開始し、グリッドに検索結果が表示されます。詳細検索を使用すると、様々なタグに基づいてメディアをすばやく検索できます。

1. 検索／詳細検索を使用を選択します。詳細検索バーが表示されます。
2. キーワード、人物、場所、イベントについて検索条件を指定します。
 - 項目をクリックすると、検索条件に追加されます。
 - 項目を右クリックまたは Control キーを押したままクリックし、「除外」を選択すると、検索条件から削除されます。

検索条件に合うメディア項目が表示されます。

[ページの先頭へ](#)

詳細（メタデータ）によるメディアファイルの検索

ファイルの詳細情報や利用可能なメタデータによって画像を検索できます。メタデータによる検索は、複数の条件を使用して一度に検索する場合に便利です。例えば、2011 年 12 月 31 日に撮影した、「母」のキーワードタグを含むすべての写真を検索する場合、詳細検索（メタデータ）ダイアログボックスで撮影日付とキーワードタグの両方を検索条件として指定できます。

検索可能なメタデータには、ファイル名、ファイルの種類、キーワードタグ、アルバム、メモ、作成者、撮影日付などの条件、およびカメラの機種、シャッタースピード、F-Stop（絞り値）などが含まれます。

注意： Camera Raw ファイルを検索すると、拡張子 .tif の TIFF ファイルも検索されます。



詳細検索（メタデータ）ダイアログボックスを使用して様々な写真の詳細情報を同時に検索します。

1. Elements Organizer で、検索／詳細（メタデータ）を選択します。

2. 詳細検索（メタデータ）ダイアログボックスで、最初のポップアップメニューからメタデータの種類を選択します。
3. 2 番目のポップアップメニューで、「次で始まる」、「次の数値よりも大きい」、「含む」など、検索の範囲を選択します。この範囲指定によって、3 番目のポップアップメニューに入力するテキストを、検索条件としてどのように使用するかを Elements Organizer に指示します。一部の条件にはこのポップアップメニューは表示されません。
4. 3 番目のポップアップメニューで、検索するメタデータの名前または値を入力または選択します。
5. 検索条件に他のメタデータも指定するには、3 番目のポップアップメニューの右側にあるプラス (+) 記号をクリックし、表示される 2 つまたは 3 つのポップアップメニューで新しい値を指定します。
6. 検索条件からメタデータを削除するには、削除するメタデータの右側にあるマイナス (-) 記号をクリックします。
7. (オプション) 「この検索条件を保存検索として保存」を有効にし、検索の名前を入力します。
8. 「検索」をクリックします。

検索条件を変更するには、検索バーでオプション／検索条件を変更をクリックし、必要に応じて変更を行って、「検索」をクリックします。

メディアの種類によるファイルの検索

[ページの先頭へ](#)

特定の種類のメディアファイルだけを Elements Organizer に表示することができます。メディアの種類を選択すると、写真、オーディオおよび作品など、特定のアイテムの種類を対象に検索を実行できます。他の検索条件と組み合わせてメディアの種類で検索する場合は、検索／詳細（メタデータ）コマンドを使用します。

- Elements Organizer で、検索／メディアの種類を選択し、次のいずれかのオプションを選択します。

写真 写真のみが表示されます。

ビデオ ビデオクリップのサムネール（ビデオクリップの最初のフレーム）のみが表示されます。

オーディオ オーディオクリップのみが表示されます。

プロジェクト 以前のバージョンの Elements Organizer 11 で作成したプロジェクトだけが表示されます。

PDF PDF ファイルが表示されます。

オーディオキャプション付きのアイテム オーディオキャプションが付いている写真やプロジェクトだけが表示されます。

選択したメディアの種類のファイルがメディアビューに表示されます。

履歴によるメディアファイルの検索

[ページの先頭へ](#)

Elements Organizer では、メディアファイルの取り込み元の場所、使用方法、共有または書き出し方法を追跡できます。この履歴を使用して、写真およびメディアファイルを検索することができます。

1. 検索／履歴を選択します。履歴サブメニューに表示されている検索条件項目を使用して検索することができます。

注意： Mac OS では、オプション「書き出したアイテム」と「プリントしたアイテム」は使用できません。
2. 1 つ以上の「取り込んだ、電子メールに添付した、など」アイテムを選択ダイアログボックスで、リスト内のアイテムを選択して、「OK」をクリックします。

注意： リストから特定の履歴を完全に削除するには、1 つ以上の「取り込んだ、電子メールに添付した、など」アイテムを選択ダイアログボックスでリストアイテムを選択し、「削除」ボタンをクリックするか、キーボードの *Delete* キーを押します。「削除」ボタンは、取り込んだアイテムの履歴またはプロジェクトで使用したアイテムの履歴には使用できません

キャプションまたはメモによるメディアファイルの検索

[ページの先頭へ](#)

「キャプションまたはメモ」検索オプションまたは「詳細（メタデータ）」検索オプションのいずれかを使用して、キャプションまたはメモを検索できます。他の検索条件と組み合わせてキャプションやメモを検索する場合は、「詳細（メタデータ）」オプションを使用します。

1. Elements Organizer で、検索／キャプションまたはメモを選択します。
2. キャプションまたはメモで検索ダイアログボックスで、テキストボックスに検索文字列を入力します。
3. 次のいずれかを選択し、「OK」をクリックします。

キャプションまたはメモの最初の部分のみを検索 入力した文字列から始まるキャプションまたはメモが付いているメディア

ファイルやその他のファイルを検索します。

キャプションまたはメモの全体を検索 入力した文字列の一部を含むキャプションまたはメモが付いている写真やその他のファイルを検索します。

ファイル名によるメディアファイルの検索

[ページの先頭へ](#)

「ファイル名」検索オプションまたは「詳細（メタデータ）」検索オプションのいずれかを使用して、ファイル名により検索できます。他の検索条件と組み合わせてファイル名で検索する場合は、「詳細（メタデータ）」オプションを使用します。

1. Elements Organizer で、検索／ファイル名を選択します。
2. ファイル名で検索ダイアログボックスに検索する文字を入力して「OK」をクリックすると、入力した文字がファイル名に含まれる写真が検索されます。

ファイル名で検索ダイアログボックスにファイルの拡張子（JPEG、BMP など）を入力して、ファイル形式でファイルを検索することもできます。

見つからないファイルの検索

[ページの先頭へ](#)

プロジェクトや作品の中で見つからないファイルを検索することができます。Elements Organizer で、検索／すべての見つからないファイルを選択します。

すべてのバージョンセットの検索

[ページの先頭へ](#)

すべてのバージョンセットを検索すると、各セットの先頭の写真が Elements Organizer に表示されます。必要に応じて各セットを展開できます。

1. Elements Organizer で、検索／すべてのバージョンセットを選択します。
2. バージョンセットを展開するには、バージョンセットを右クリックまたは Control キーを押したままクリックし、バージョンセット／バージョンセットのアイテムを展開を選択します。

すべてのスタックの検索

[ページの先頭へ](#)

カタログ内のすべてのスタックを検索することができます。Elements Organizer で、検索／すべてのスタックを選択します。

アイテムの検索を使用した検索

[ページの先頭へ](#)

アイテムの類似性に基づく検索では、Elements Organizer は検索中に被写体のカラーやシェイプといった写真の中の情報を利用します。アイテムの検索を使用して、類似の被写体、カラー、シェイプが含まれている画像をすばやく検索します。また、写真を検索するときに Elements Organizer がカラーやシェイプに対して割り当てる相対的な重要度を指定することも選択できます。

Elements Organizer で、検索／アイテムの検索別を選択します。アイテムの検索別サブメニューに表示されている検索条件項目を使用して検索することができます。詳しくは、アイテムの類似性に基づく検索を参照してください。

日付または時間が不明なメディアファイルの検索

[ページの先頭へ](#)

- Elements Organizer で、検索／日付または時間が不明なアイテムを選択します。日付または時間が不明なメディアファイルがメディアビューに表示されます。

タグなしアイテムを検索

[ページの先頭へ](#)

Elements Organizer で、検索／タグなしアイテムを選択します。

カタログ内のメディアファイルのうち、キーワードタグ、人物、場所またはイベントが割り当てられていないメディアファイルがすべて表示されます。

未解析のコンテンツの検索

[ページの先頭へ](#)

Elements Organizer で検索／未解析のコンテンツを選択します。

カタログ内のメディアファイルのうち、解析されていないメディアファイルがすべて表示されます。

アルバムにないアイテムの検索

[ページの先頭へ](#)

どのアルバムにも含まれていないすべてのメディアアイテムを検索することができます。Elements Organizer で検索／アルバムなしのアイテムを選択します。

プロジェクトで使用する写真の検索 (Windows のみ)


[ページの先頭へ](#)

- 次のいずれかの操作を行います。
 - メディアビューでプロジェクトを右クリックし、「プロジェクトで使用されているアイテムをメディアビューで表示」を選択します。メディアビューに写真が表示されます。このコマンドは、プロジェクトの写真のキャプションを編集するとき、またはまとめて変更を加えるときに便利です。
 - プロジェクトを検索バーにドラッグして、メディアビューに写真を表示します。
 - 検索／履歴／プロジェクトで使用したアイテムを選択します。プロジェクトのリストが表示されます。プロジェクトをダブルクリックするか、1 つまたは複数のプロジェクトを選択して「OK」ボタンをクリックすると、プロジェクトで使用されているメディアが表示されます。

写真がプロジェクトで使用されているかどうかは、プロパティパネルの履歴でも確認できます。

関連トピック

- [タイムグラフを使用したメディアファイルの検索](#)

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

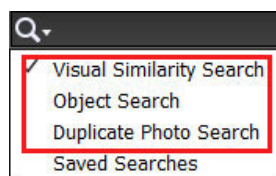
メディアを探すための検索オプション

類似するアイテムの検索

オブジェクト検索

重複する写真の検索

アイテムの類似性に基づく検索では、Elements Organizer は検索中に被写体のカラーやシェイプといった写真の中の情報を利用します。アイテムの検索を使用して、類似の被写体、カラー、シェイプが含まれている画像をすばやく検索します。写真を検索するとき、Elements Organizer がカラーやシェイプに割り当てるべき相対的な重要性を指定することもできます。



類似するアイテムの検索のオプション

アイテムの検索は、類似する写真をすばやく特定して、タグを付けるのに役立ちます。検索結果を使用して、保存検索を作成することもできます。

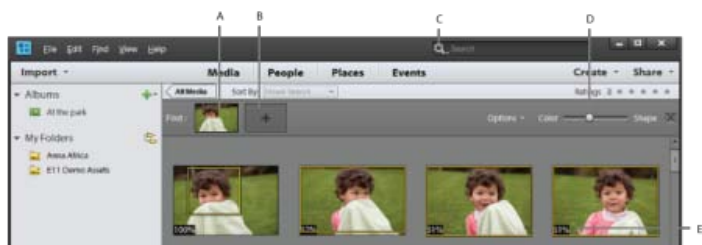
詳しくは、[保存検索の作成と編集](#)を参照してください。

[ページの先頭へ](#)

類似するアイテムの検索

被写体、カラー、一般的な外観が似ている写真を検索するとき、このオプションを使用します。例えば、類似するアイテムの検索を使用して、同じビーチで撮った写真を探すことができます。

類似するアイテムの検索は、プロジェクト、写真およびビデオに対して機能します。類似するアイテムの検索では、スライドショー作品をサポートしていません。



アイテムの類似性に基づく検索

A. 検索用に指定された画像 **B.** 画像をドロップするためのプレースホルダー **C.** 検索メニュー **D.** カラー-シェイプスライダー **E.** アイテムの類似性の割合 (%)

1. 検索メニューから「類似するアイテムの検索」を選択します。
2. 写真を選択します。あるいは、検索バーのプレースホルダーに写真をドラッグ&ドロップします。
3. (オプション) 写真を追加して検索を絞り込むには、検索バーに写真をドラッグします。

例えば、お誕生パーティーでケーキカットしている孫の写真を検索しているとします。孫とケーキの写真を検索バーに追加すると、検索結果の精度が上がります。

アイテムの類似性のパーセンテージが、検索に使用した写真上に表示されます。

4. (オプション) 検索オプションから写真を削除するには、検索バーで写真をダブルクリックします。
5. (オプション) 検索対象の写真内のシェイプやカラーに基づいて検索を絞り込むことができます。カラー-シェイプスライダーを使用すると、写真を検索するときに、Elements Organizer がカラーやシェイプに割り当てるべき相対的な重要性を指定することができます。

例えば、スライダーを「シェイプ」側に動かすと、建造物の検索結果が向上します。同じビーチで撮影した写真を検索する場合、スライダーを「カラー」側に動かすと結果が向上します。

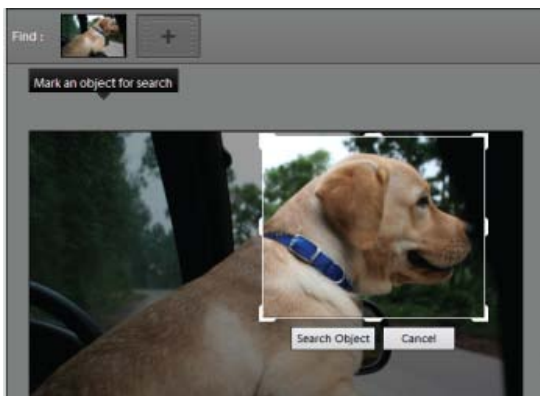
[ページの先頭へ](#)

オブジェクト検索

オブジェクト検索では、まず、写真の中の検索目標として定義する被写体を選択します。Elements Organizer はその検索目標を使用して、写真を検索するときの優先度を割り当てます。

例えば、飼い犬が写っている写真を検索するには、いずれかの写真にある犬の顔を選択します。写真を検索するとき、Elements Organizer はその犬が写っている写真に高い優先度を割り当てます。

1. その被写体が写っている写真を選択します。
2. 検索メニューから、「オブジェクト検索」を選択します。単一画像ビューが選択ツールとともに表示されます。



選択ツールを使用して選択した検索用に定義された被写体

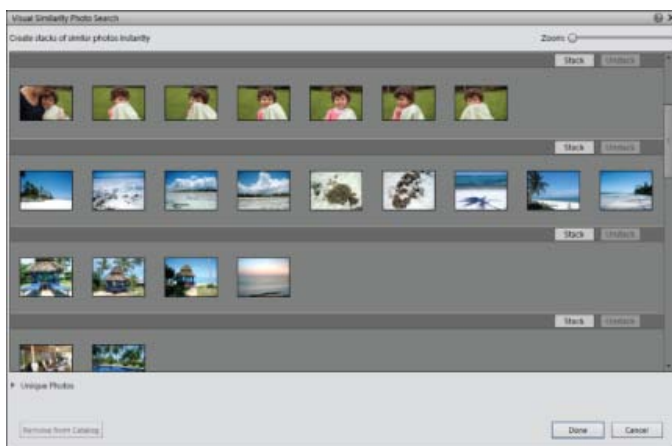
3. 選択ツールをドラッグしてサイズを変更し、被写体を選択します。
4. 「検索オブジェクト」をクリックします。
被写体を含むシーンが表示されます。それぞれのサムネールに類似度が表示されます。
5. (オプション) 写真を追加して検索を絞り込むには、検索バーに写真をドラッグします。
6. (オプション) 検索オプションから写真を削除するには、検索バーで写真をダブルクリックします。
7. (オプション) カラー-シェイプスライダーを使用すると、写真を検索するときに、Elements Organizer がカラーやシェイプに割り当てるべき相対的な重要性を指定することができます。

[ページの先頭へ](#)

重複する写真の検索

重複する写真の検索は、連写モードで撮影した写真を探す場合に特に便利です。Elements Organizer は、アイテムの類似性と撮影した時刻に基づいて写真を検索してスタックします。それからさらに処理を進めて、スタックにある画像を選択したり、画像を再分類したりできます。

1. 重複する写真の管理を行うアルバムを右のペインから選択します。
2. 検索メニューで、「重複する写真の検索」を選択します。検索結果が表示されます。




重複する画像の検索

一致しなかった写真は、重複しない写真スタックにあります。このスタックから他の任意のスタックへ、写真をドラッグ&ドロップすることができます。

3. 各自の要件に基づいて、次のオプションを使用します。

- スタック内にある写真を再分類するには、あるスタックから別のスタックへ写真をドラッグ&ドロップします。
- 関連する写真をスタックするには、写真を選び、「スタック」をクリックします。
- 写真のスタックを解除するには、写真のスタックを選択し、「スタック解除」をクリックします。
- スタックを開くには、スタックを右クリックし、「スタックの写真を展開」を選択します。
- スタックを閉じるには、展開されているスタックにあるいずれかの写真を右クリックし、「スタックの写真を折りたたむ」を選択します。
- スタックから写真を削除するには、写真を右クリックし、「スタックから写真を削除」を選択します。
- 閉じた状態のスタックに表示する必要のある写真を指定するには、写真を右クリックし、「先頭の写真として設定」を選択します。
- 写真を削除するには、写真を選択し、「カタログから削除」をクリックします。
- 単一画像ビューにあるいずれかの画像を表示するには、その画像をダブルクリックします。

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

タイムグラフを使用したメディアファイルの検索

Elements Organizer は、メディアファイルにタグが付いていない場合でも、メディアビューのタイムグラフにすべてのメディアファイルを自動的に整理します。タイムグラフは月と年に分かれています。タイムグラフで月をクリックすると、特定の月および年の画像を表示できます。特定の月や年から画像を表示するには、設定点を使用します。タイムグラフにある任意のバーをクリックすると、タイムグラフの月を表すそのバーに属する最初の画像が緑のバウンディングボックスでハイライトされます。

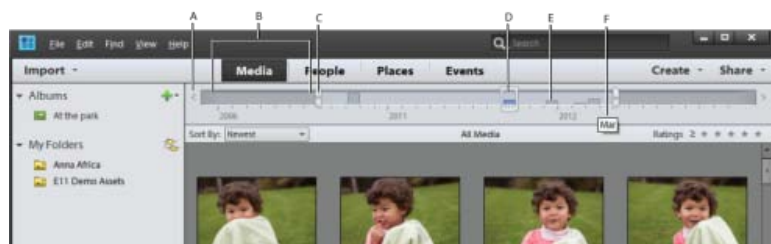
タイムグラフの各バーの高さは、日付順または取り込み順に基づく、月毎のファイルの数に比例します。また、タイムグラフで特定の期間を選択すると、その期間に撮影またはスキャンしたメディアファイルが表示されます。

タイムグラフにあるバー上にポインターを置いたままにすると、ツールヒントが表示されます。マウスをどちらかの設定点上に置くと、ツールヒントには範囲（設定点の現在位置に対応する月および年）が表示されます。

検索を適用すると、タイムグラフにはすべてのバーが表示されますが、グリッドに表示されるメディアに対応するバーのみが有効になります。それ以外のバーはすべて無効になります。

表示／タイムグラフを選択すると、タイムグラフが表示されます。または、Ctrl + L (Windows) または Command + L (Mac OS) を使用します。タイムグラフは、メディアビューにのみ表示されます。他のすべてのビューでは、タイムグラフは表示されず、「表示／タイムグラフ」の選択は無効です。

注意： タイムグラフは、メディアビューにのみ表示されます。他のすべてのビューでは、タイムグラフは表示されず、「表示／タイムグラフ」の選択は無効です。



タイムグラフの使用

A. タイムグラフ矢印 B. セット範囲外の写真を示す暗い領域 C. 設定点 D. 日付マーカ E. タイムグラフバー F. バーの範囲を明確にするツールヒント

タイムグラフとキーワードタグ、アルバムまたはフォルダーを組み合わせ、検索条件を絞り込むことができます。例えば、ある期間にコートニーが撮った写真を検索するには、キーワードタグ「コートニー」を使用して検索します。コートニーのメディアファイルを含むタイムグラフの中の任意の月をクリックし、その設定点をドラッグすると、指定期間に撮影またはスキャンされたメディアが表示されます。

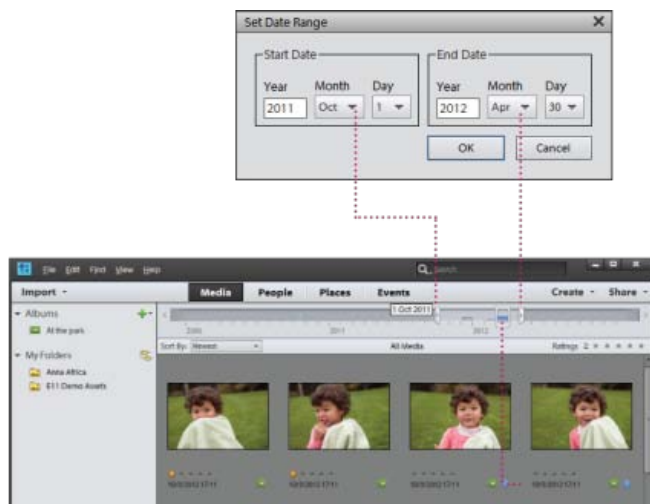
タイムグラフの一部空白バーは、現在の検索結果に含まれていないメディアファイルがあることを示します。

アルバム／タグ／フォルダー／詳細検索／全文検索など、任意の検索を適用すると、タイムグラフにすべてのバーが表示されます。しかし、これらのバーはグリッドに表示されるメディアに応じて有効になります。他のすべてのバーは無効化された状態で表示されます。


タイムグラフを使用したメディアファイルの表示および検索

[ページの先頭へ](#)

1. タイムグラフが表示されていることを確認します。必要に応じて、表示／タイムグラフを選択します。
2. 次のいずれかの操作を行います。
 - タイムグラフの両端にあるスクロールボタンを使用して、タイムグラフ内の検索対象部分に移動します。
 - タイムグラフ内のバーをクリックするか、日付マーカをバーにドラッグすると、そのバーに関連する最初のメディアファイルが表示されます。
 - タイムグラフの設定点を左右にドラッグして表示範囲を指定します。
 - 表示／期間を設定を選択します。開始日と終了日を入力して表示範囲を指定し、「OK」をクリックします。日付範囲を最初の状態に戻すには、表示／期間を削除を選択します。
 - Elements Organizer には、セット範囲内のメディアファイルが表示されます。設定点をドラッグして表示する期間をさらに絞り込むことができます。



表示／期間を設定から、日付範囲を設定します。

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

キーワードタグによるメディアファイルの検索

キーワードタグを使用したメディアファイルの検索

キーワードタグを使用した検索結果のビューの表示

検索バーを使用した絞り込み検索

タグなしメディアファイルの検索

キーワードタグ検索の取り消し

重要度を使用した検索

メディアファイルを検索から除外

[ページの先頭へ](#)

キーワードタグを使用したメディアファイルの検索

キーワードタグにより、写真やその他のファイルをすばやく検索することができます。キーワードタグを使用して写真およびメディアファイルを検索すると、詳細検索バーに選択したキーワードタグが表示されます。キーワードタグパネルでタグを選択すると、選択したタグが適用されている写真が検索されます。



具体的なキーワードタグでメディアファイルを検索

[ページの先頭へ](#)

キーワードタグを使用した検索結果のビューの表示

キーワードタグを使用して検索すると、一致するアイテム、類似するアイテム、一致しないアイテムごとに検索結果がグループ化されます。初期設定では、条件に最も近い結果が表示されます。別のビューも選択できません。

1. 検索バーのオプションをクリックすると、検索条件ポップアップメニューが表示されません。
2. 「条件に最も近いアイテムを非表示」、「条件に近いアイテムを表示/非表示」または

「条件に一致しないアイテムを表示/非表示」のいずれかを選択します。結果は次のようにグループ化されます。

一致するアイテム 検索条件として選択したキーワードタグがすべて適用されているメディアファイルです。検索に使用するキーワードタグを増やして検索条件を絞り込むほど、一致するアイテムは少なくなります。

類似するアイテム 検索条件として指定したキーワードタグのうち、（すべてではなく）いずれかのタグが1つでも適用されているメディアファイルのことを類似するアイテムといいます。類似するメディアファイルには、サムネイルに白いチェックマークが付きます。例えば、複数のキーワードタグで検索すると、1つのキーワードタグだけが付いた写真は類似するアイテムとして表示されます。検索したいいずれかのキーワードタグを含むメディアファイルを表示するには、このグループを選択します。

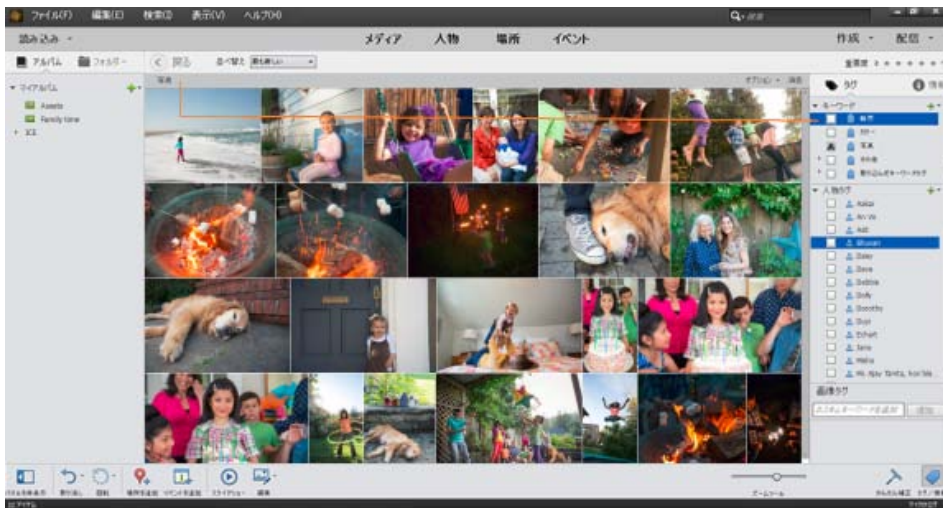
ヒント：検索した後、類似するアイテムを自動的に表示するには、編集/環境設定/一般、または、*Adobe Elements Organizer 11*/環境設定/一般を選択し、「検索で類似するアイテムを表示」を選択して「OK」をクリックします。

一致するアイテムなし 検索条件として選択したキーワードタグが1つも適用されていないメディアファイルです。サムネイルに一致するアイテムなしアイコンが付きます。

[ページの先頭へ](#)

検索バーを使用した絞り込み検索

検索を絞り込むには、検索条件として追加するキーワードタグを検索バーにドラッグします。検索バーで、アルバムまたはプロジェクトで使用されているメディアファイルを検索することもできます。



キーワードタグを検索バーにドラッグ

1. キーワードタグパネルが開いていることを確認します。
2. キーワードタグを検索バーに追加して検索を絞り込みます。一度に複数のキーワードタグを検索バーにドラッグして追加することができます。連続した複数のキーワードタグを選択するには、Shift キーを押しながらキーワードタグパネル上で選択対象の最初と最後のタグをクリックします。連続していない複数のタグを選択するには、Ctrl キーを押しながらタグを1つずつクリックします。
3. 検索バーで、タグ、カテゴリまたはサブカテゴリを右クリックまたは Control キーを押したままクリックし、次のいずれかを選択します。
 - 検索結果から [キーワードタグ、カテゴリまたはサブカテゴリの名前] を削除します。

- [キーワードタグ、カテゴリまたはサブカテゴリの名前]を持つ写真を除外します。

4. 検索を消去し検索バーを閉じるには、「消去」をクリックします。

[ページの先頭へ](#)

タグなしメディアファイルの検索

- Elements Organizer で、検索／タグなしアイテムを選択します。

カタログ内のメディアファイルのうち、キーワードタグ、スマートタグ、人物、場所またはイベントが割り当てられていないメディアファイルがすべて表示されます。

[ページの先頭へ](#)

キーワードタグ検索の取り消し

- カタログ内のすべてのメディアファイルを返すには、「すべてのメディア」をクリックします。

[ページの先頭へ](#)

重要度を使用した検索

重要度フィルターを使用すると、お気に入りの（または気に入らない）写真、ビデオクリップ、オーディオクリップ、プロジェクトを簡単に検索することができます。さらに、重要度とキーワードタグを組み合わせると検索条件に指定することもできます。

1. 星の横にある重要度メニューから、いずれかのオプションを選択します。

- 重要度がこれ以上のアイテム
- 重要度がこれ以下のアイテム
- 同じ重要度のアイテム

2. 重要度フィルターで、星の1つを選択します。



重要度メニューからオプションを選択

[ページの先頭へ](#)

メディアファイルを検索から除外


検索結果から不必要なメディアファイルを除外して、さらに結果を絞り込むことができます。例えば、「友達」サブカテゴリを検索してから、ある友達のタグに「除外」オプションを適用すると、そのようなメディアを検索結果から除外することができます。カテゴリ全体またはサブカテゴリ全体を検索から除外することもできます。

- 次のいずれかの操作を行います。
 - 詳細検索バーで、検索から除外するメディアファイルのタグを右クリックまたは Control キーを押したままクリックし、「除外」を選択します。

検索バーでキーワードタグを右クリックまたは Control キーを押したままクリックし、「[キーワードタグ、カテゴリまたはサブカテゴリの名前]を含む写真を除外」を選択します。または、キーワードタグをダブルクリックして、そのタグを検索バーから削除します。

例えば、サーフィン中に撮った画像すべてを検索するが、ぼやけた写真は除外するという場合です。スマートタグも、詳細検索ウィジェットのキーワードタグパネルに表示されます。*Elements Organizer 11* は、「サーフィン」というキーワードタグのみを持つ写真を検索し、「ぼやけた」というスマートタグが適用されている写真を除外します。

- 検索バーを使用した検索
- 詳細（メタデータ）によるメディアファイルの検索

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

保存検索の作成と編集

保存検索

保存検索の作成

保存検索の編集と類似保存検索の作成

保存検索の削除

[ページの先頭へ](#)

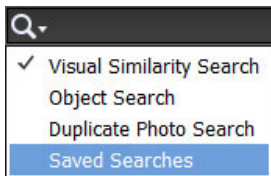
保存検索

保存検索は、指定した条件に合うメディアを集めたアルバムです。保存検索を作成すると、その保存検索の条件に合うメディアがあれば、その保存検索結果に自動的に表示されます。カタログに新しいメディアを追加すると、保存検索の条件に合うメディアがその保存検索結果に自動的に表示されます。保存検索は、自動的に更新されます。

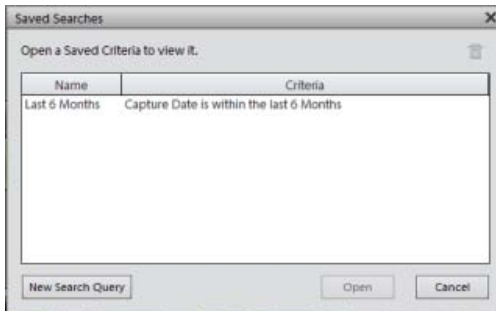
[ページの先頭へ](#)

保存検索の作成

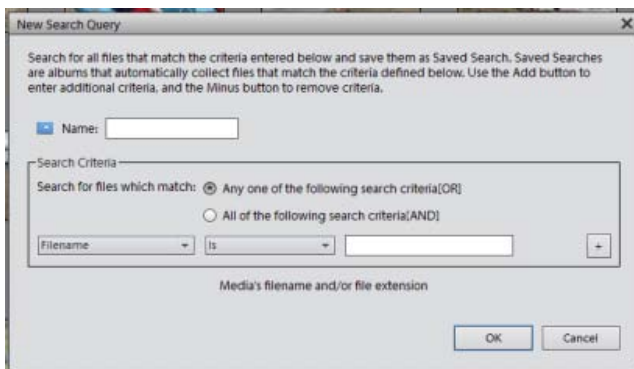
1. 検索アイコンをクリックします。ドロップダウンリストから「保存検索」を選択します。



2. 保存検索ダイアログボックスで、「新規検索クエリー」をクリックします。



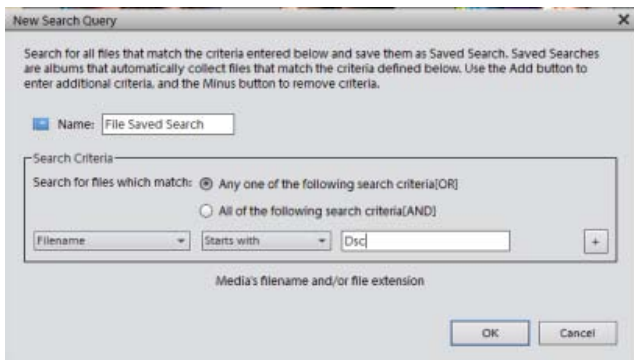
3. 新規検索クエリーダイアログボックスで検索条件を入力し、「OK」をクリックします。



新規検索クエリダイアログボックスでは、次の詳細を指定します。

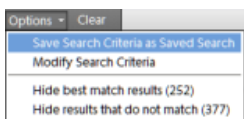
- 名前：保存検索の名前を入力します。
- 検索条件：ドロップダウンリストから検索条件を選択します。テキストボックスに（必要に応じて）値を入力します。
- + をクリックすると、検索クエリを追加できます。
- 「OK」をクリックします。

例えば、ファイル名が「Dsc」で始まるファイルをすべて検索することができます。



注意： 写真の選択条件は、複数指定することができます。

4. 右上のエリアの「オプション」をクリックすると、保存検索のオプションが表示されます。



「消去」をクリックすると、検索結果が消去され、メディアビューに戻ります。

現在の検索結果を新しい保存検索として保存することができます。「保存検索として検索条件を保存」をクリックします。

「検索条件を変更」をクリックすると、目標とする検索結果を得るために、検索条件を変更できます。

「条件に最も近いアイテムを非表示」をクリックすると、それ以外の検索結果が表示されます。

「条件に一致しないアイテムを非表示」をクリックすると、保存検索条件に一致しないアイテムは表示せず、メディアビュー内の検索結果に集中できます。

保存検索の編集と類似保存検索の作成

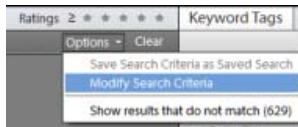
保存検索の検索条件は編集できます。

1. 検索アイコンをクリックします。ドロップダウンリストから「保存検索」を選択します。

2. 保存検索ダイアログボックスで、変更する検索を選択し、「開く」をクリックします。

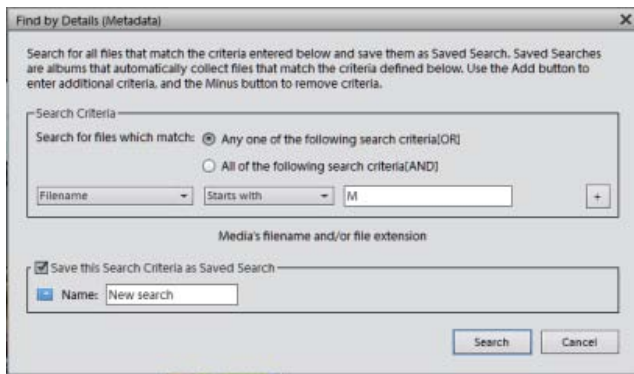
保存検索が実行され、メディアビューに結果が表示されます。

3. 右上のバーからオプションを選択します。「検索条件を変更」をクリックします。



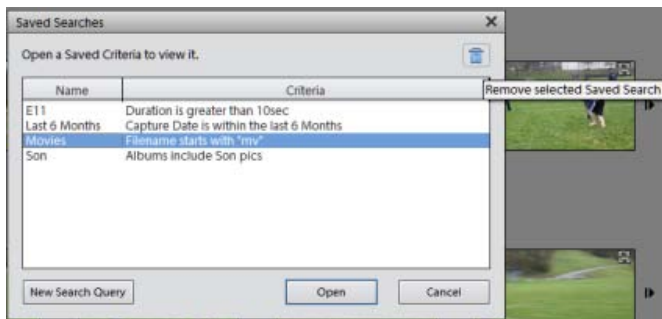
4. 検索条件を編集したり、さらに追加したりします。

「この検索条件を保存検索として保存」オプションをオンにします。検索の名前を入力します。新しい保存検索が作成されます。



保存検索の削除

1. 検索バーで、「保存検索」を選択します。
2. 保存検索ダイアログボックスで、削除する保存検索を選択します。ごみ箱アイコンをクリックします。「OK」をクリックします。



フォトプロジェクト

スライドショーの作成

Elements Organizer 13 の新機能

[スライドショーについて](#)

[スライドショーの素早い作成](#)

[スライドショーのカスタマイズ](#)

[ページの先頭へ](#)

スライドショーについて

スライドショーを使用すると、メディアファイルを楽しく共有することができます。Elements Organizer では、簡単にスライドショーを作成して、テーマ、音楽、テキスト、キャプションなどでスライドショーをカスタマイズできます。

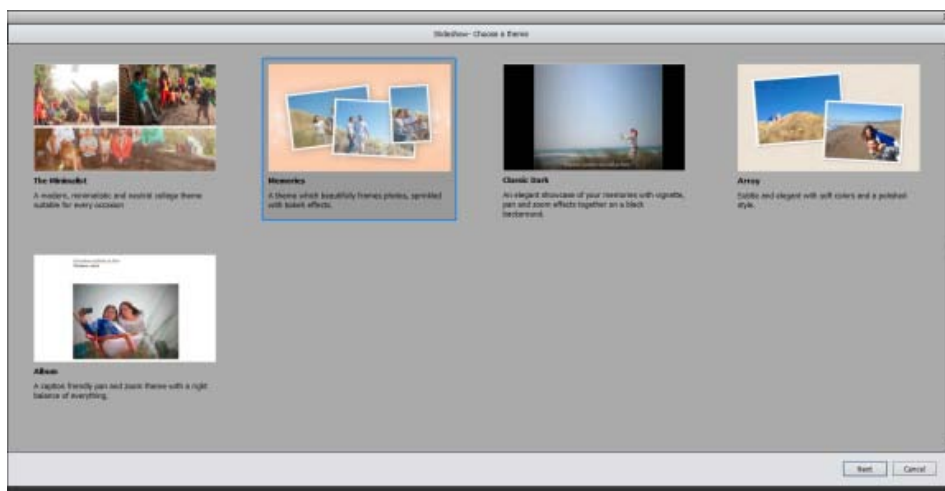
スライドショーの作成が完了したら、MP4 ビデオとして保存するか、配信するか選択できます。

Elements 13 でのスライドショーの作成は、Mac と Windows の両方のサポート対象のプラットフォームで実行できます。以前のバージョンの Elements で作成されたスライドショーを Elements 13 で開くと、スライドショーをアップグレードするようにメッセージが表示されます。

[ページの先頭へ](#)

スライドショーの素早い作成

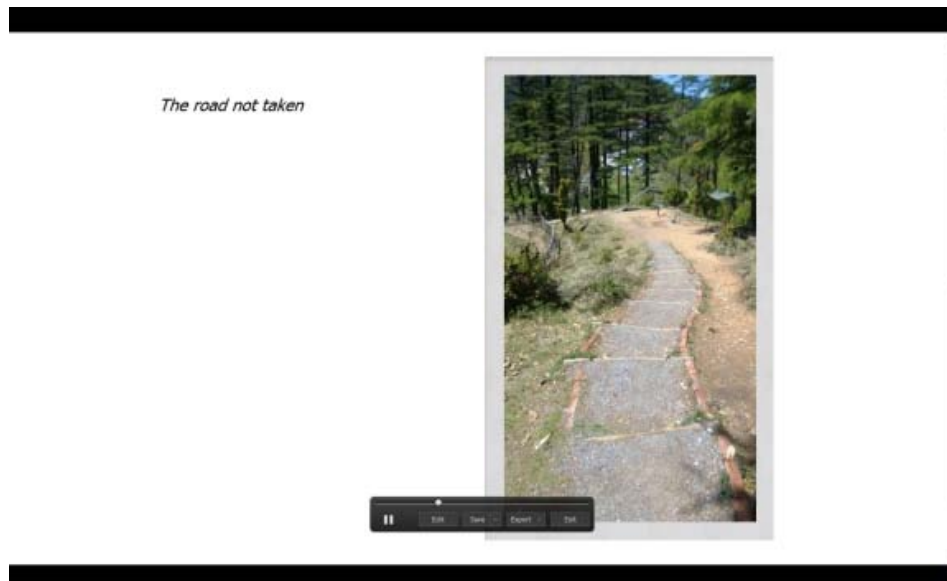
1. メディアビューで、スライドショーに使用するファイルを選択します。
2. 作成／スライドショーを選択します。
3. スライドショーダイアログで、テーマを選択します。例えば、思い出または配列を選択します。「次へ」をクリックします。



テーマを選択します。

選択したテーマに基づいて、効果やBGMを含む、スライドショーのクイックプレビューが Elements に表示されます。スライドに1つの画像しか表示しないテーマもあります

が、スライドに複数の画像を表示するテーマもあります。



スライドショーのプレビュー

4. プレビューコントロールを使用して、スライドショーを保存するか、書き出すことができます。

書き出し ローカルディスクへ書き出しますまたは Facebook を選択します。

ローカルディスクへ書き出し ファイル名と場所を指定し、スライドショーのプリセット品質を選択します。「OK」をクリックします。スライドショーは、MP4 ファイルとしてローカルに保存されます。

Facebook 次のいずれかの操作を行います。

1. Facebook のタイムラインにスライドショーを投稿するように Elements を認証します。必要に応じて、Facebook のログイン情報を入力するように Elements からメッセージが表示されます。

Facebook の友達リストをローカルにダウンロードできるので、メディアの配信が簡単になります。

2. Elements Organizer で、「認証完了」をクリックします。
3. スライドショーのタイトルと説明を入力します。
4. 「アップロード」をクリックします。アップロードプロセスをレビューし、「完了」をクリックします。

別名で保存 スライドショープロジェクトを保存します。

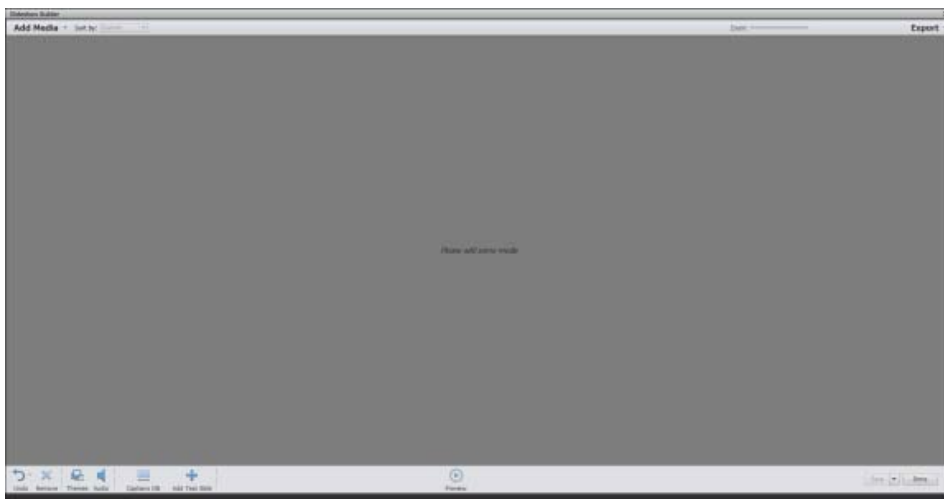
1. スライドショーの名前を入力します。
 2. 「保存」をクリックします。スライドショーは、現在の日付と一緒にメディアブラウザーに保存されるプロジェクトです。
5. スライドショーをカスタマイズして、メディアの追加／削除／並べ替えを実行するか、その他の設定を変更するか選択できます。スライドショーをカスタマイズするには、プレビューコントロールで、「編集」をクリックします。Elements にスライドショービルダーダイアログボックスが表示されます。

スライドショービルダーダイアログボックスでスライドショーをカスタマイズできます。プレビューを終了するか、プレビューコントロールで「編集」をクリックすると、Elements でスライドショービルダーが開きます。

スライドショーをカスタマイズ中に、スライドショービルダーダイアログボックスで「プレビュー」をクリックすると、現在の設定による結果が素早く表示されます。

カタログからスライドショーへのメディアの追加

1. スライドショーエディターダイアログボックスで、「メディアを追加」をクリックし、「Elements Organizer から写真とビデオを追加」を選択します。



スライドショービルダーを使用したスライドショーのカスタマイズ

2. メディアを追加ダイアログボックスで、次の中から 1 つまたは複数のオプションを選択して、目的のメディアファイルを表示します。

すべてのメディア 現在、メディアビューに存在するすべてのメディアファイルを表示します。

グリッドからのメディア 現在、メディアビューのグリッドに存在するすべてのメディアファイルを表示します。

星の数でメディアを表示 星の数でメディアファイルを表示します。

非表示のメディアを表示 非表示のメディアファイルを表示します。

詳細 「詳細」をクリックしてオプションを展開すると、次のオプションに応じてメディアが表示されます。

アルバム

メディアの追加元となるアルバムを選択します。

キーワードタグ

メディアを追加するキーワードを選択します。

人物

人物の名前にタグが付いたメディアや、人物スタックの下に存在するメディアを追加するためのドロップダウンリストから、それらの人物を選択します。例えば、人物スタックの下でタグが付いたすべての人物、John doe などを選択します。

場所

認識されたメディアや、場所スタックにタグが付いたメディアを追加するためのドロップダウンリストから、それらの場所を選択します。

イベント

特定のイベントスタックの下にあるメディアを追加するためのドロップダウンリストから、それらのイベントを選択します。

3. スライドショーに含めるアイテムを選択します。Ctrl+A キーを押すと（または「すべてを選択」ボタンをクリックすると）、表示されているすべてのアイテムを選択できます。Shift+Ctrl+A キーを押すと（または「すべてを選択解除」ボタンをクリックすると）、すべてのアイテムの選択を解除できます。
4. 次のいずれかのオプションを選択します。

選択したメディアを追加 選択した写真をプロジェクトに追加し、チェックボックスをリセットします。選択作業を続けられるように写真を追加ダイアログボックスは開いたままになります。

完了 選択したメディアファイルをプロジェクトに追加し、ダイアログボックスを閉じて、スライドショーダイアログボックスに戻ります。

新しいスライドショーを作成する場合は、最初に、プロジェクトで使用するすべてのメディアファイルを集めたアルバムを作成することもできます。メディアビューにアルバムを表示して、簡単にメディアファイルを並べ替えたり、キャプションを編集したりできます。その後、「メディアを追加」ボタンを使用して、そのアルバムをプロジェクトに追加できます。

フォルダーからスライドショーへのメディアの追加

1. メディアを追加／フォルダーから写真とビデオを追加を選択します。
2. 追加するメディアに移動するには、そのメディアをクリックして、「開く」をクリックします。メディアが Elements Organizer に読み込まれます。

スライドショーへのキャプションの追加

1. スライドショービルダーでキャプションのオプションが有効になっていることを確認します。
2. スライドショービルダーで、メディアの下をクリックします。
3. キャプションを入力します。

注意： テーマの中にはキャプションをサポートしないものがあります。

スライドショーへのテキストスライドの追加

1. スライドショービルダーで、「テキストスライドを追加」をクリックします。Elements によって、スライドショービルダーのメディアエリアに空白のテキストスライドが追加されます。
2. 空白のスライドをクリックして、テキストを入力します。
3. 必要に応じて、スライド配列中でテキストスライドが所定の位置に来るようにスライドを並べ替えます。

スライドショーへの音楽の追加

音楽を追加すると、より本格的なスライドショーを作成できます。Elements Organizer カタログまたはコンピューターの任意の場所から、音楽を読み込むことができます。

1. スライドショービルダーで、「オーディオ」を選択します。
2. 次のいずれかの操作を行います。
 - Elements カタログから、リストされた曲を選択します。
 - 「参照」をクリックし、別の曲を選択します。

スライドショーに曲を追加する前に、「再生」をクリックして選択した曲を聴きます。

1. 「OK」をクリックします。

スライドショーのテーマの選択


次の手順に従い、スライドショーダイアログで選択したスライドショーのテーマを変更します。

1. スライドショービルダーダイアログで、「テーマ」をクリックします。
2. 新しいテーマを選択します。「適用」をクリックします。

スライドショーへの変更の保存

スライドショーのカスタマイズが完了したら、次の手順に従います。

1. スライドショービルダーダイアログで、「保存」をクリックします。
2. スライドショーの名前を入力します。
3. 「保存」をクリックします。Elements によって、スライドショーが正常に保存されたことが確認されます。

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

Elements Organizer のプロジェクトの概要

プロジェクト

保存したプロジェクトの検索

異なるタイプのプロジェクトの識別

保存したプロジェクトを開く

[ページの先頭へ](#)

プロジェクト

Elements Organizer と Photoshop Elements Editor を使用すると、すばやく簡単にメディアファイルを編集できます。Elements Organizer では複数のプロジェクトを作成できます。他のプロジェクトについては、まず Elements Organizer で使用するメディアファイルを選択し、Photoshop Elements Editor でプロジェクトを作成します。

「作成」ガイドの下にあるプロジェクトで、プロ仕様のテンプレートを使用して自分だけのプロジェクトを作成できます。作成したプロジェクトはオンラインで配信したり、自宅のコンピューターまたはプリント専門店ですべて印刷したりすることができます。

プロジェクトは、メディアビューの Elements Organizer ワークスペースに表示されます。プロジェクトファイルと、各プロジェクトのドキュメントまたは Web ページを含んだサブフォルダーがローカルのハードディスクに作成されます。これらのプロジェクトファイル、サブフォルダー、およびページファイル間のリンクを維持するには、Windows エクスプローラーを使用してこれらを移動しないでください。代わりに、Elements Organizer の「移動」コマンドを使用してください。

プロジェクトは、様々な方法で共有できます。例えば、スライドショーを DVD に書き込めます。

注意： スライドショー機能は、Windows でのみサポートされています。

注意： 以前のバージョンの *Photoshop Elements* で作成したプロジェクトは、最新バージョンでは開かないことがあります。その場合は、以前のバージョンを使用してプロジェクトを開く必要があります。

[ページの先頭へ](#)

保存したプロジェクトの検索

- Elements Organizer で、検索／メディアの種類／プロジェクトを選択します。

[ページの先頭へ](#)

異なるタイプのプロジェクトの識別

Elements Organizer は、メディアビューで異なるタイプのプロジェクトを識別します。

- メディアビューに表示されるサムネールの右上隅に、次のアイコンが表示されます。
 - フォトプロジェクト： Elements Organizer で作成され、PSE形式で保存された複数ページで構成されるドキュメント。
 - プロジェクト： 以前のバージョンの Elements Organizer で作成されたドキュメント。
 - (Windowsのみ) スライドショー： Elements Organizer で作成されたスライドショー

プロジェクト。

- PDF ファイル：Adobe Acrobat 形式で保存されているドキュメント。

Premiere Elements のプロジェクトは、アルバムパネルの下にビデオプロジェクトとして作成されます。これに対し、Photoshop Elements のプロジェクトは、.pse ファイルとして作成され、メディアビューの下のグリッドに表示されます。

[ページの先頭へ](#)

保存したプロジェクトを開く

保存されているプロジェクトは、いつでも開いて編集したり、再公開したりできます。デフォルトでは、プロジェクトは他のすべてのメディアファイルと共にメディアビューに表示されます。




メディアビューに保存されたプロジェクト

メディアビューでプロジェクトを表示するには、メニューバーから表示／メディアの種類／プロジェクトを選択します。

- メディアビューで、次のいずれかの操作を行います。
 - プロジェクトをダブルクリックします。
 - メディアビューでプロジェクトを右クリックまたは Ctrl キーを押しながらクリックし、コンテキストメニューから「編集」を選択します（オンラインアルバムおよび PDF ファイルを除く）。

アドビは次の機能も推奨します。

- オンラインプリントサービスのセットアップ

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

プリントと共有

ビデオの配信

[YouTube へのビデオのアップロード](#)

[Vimeo または Adobe Photoshop Showcase でのビデオの配信](#)

[Web でサポートされる形式へのビデオの書き出し](#)

[携帯電話へのメディアファイルの配信](#)

[DVD/Blu-ray ディスクへのビデオファイルの書き込み](#)

YouTube へのビデオのアップロード

[ページの先頭へ](#)

サイトにビデオをアップロードするには、YouTube のユーザーアカウントが必要です。Gmail アカウントを持っている場合は、その詳細を使用して YouTube にログインできます。

YouTube にビデオをアップロードする前に、ビデオアップロードに関する YouTube のポリシーを確認してください。ビデオはサイズ、期間、形式に関する YouTube の標準を満たす必要があります。

1. Elements Organizer で、ビデオクリップを選択します。
2. 配信/YouTube を選択します。
3. ログイン情報を入力し、「認証」をクリックします。

YouTube アカウントを持っていない場合は、「今すぐサインアップ」をクリックして、YouTube のユーザーアカウントを作成します。

Elements Organizer から YouTube にビデオをアップロードするたびにログイン情報を認証したくない場合は、「ユーザー情報を記憶」を選択します。

4. ビデオを YouTube に配信ダイアログで、次の情報を入力し、終了したら「アップロード」をクリックします。入力する情報は、ユーザーが検索した場合にビデオを見つけやすいものにします。
 - a. ビデオのタイトルと説明を入力します。



Youtube へのアップロードダイアログボックス

- b. ビデオを説明するタグを入力します。例えば、パリでの休暇のムービーの場合は、フランス、パリ、6月、エッフェル塔などのタグを使用します。
 - c. ビデオの内容と一致するカテゴリを選択します。
 - d. 「一般」または「プライベート」を選択して、ビデオの表示権を選択します。ビデオを「プライベート」に設定すると、自分と、最大 50 人の招待されたユーザーのみが表示できるようになります。ビデオは、チャンネル、検索結果、再生リストなどに表示されません。
5. アップロード中であることを示す進行状況ダイアログボックスが表示されます。「YouTube にアクセス」をクリックします。
 - a. ブラウザーに表示される YouTube のサイトで、ログイン情報を入力します。
 - b. ブラウザーウィンドウの上部にある「ユーザー ID」をクリックし、「ビデオ」を選択します。アップロードしたビデオが、「マイ動画と再生リスト」に表示されます。

[ページの先頭へ](#)

Vimeo または Adobe Photoshop Showcase でのビデオの配信

この機能を使用する前に、Vimeo または Adobe Photoshop Showcase オンラインサービスに登録していることを確認してください。Adobe Photoshop Showcase に登録していない場合は、使用しようとする、登録するように求めるメッセージが表示されます。画面上の指示に従い、Adobe Photoshop Showcase に登録します。

Adobe Photoshop Showcase の詳細については、<http://www.photoshopshowcase.com/AboutAps.aspx> を参照してください。

1. 配信するビデオを選択します。
2. 次のいずれかの操作を行います。
 - 配信/Vimeo を選択します。
 - 配信/Photoshop Showcase へのビデオを選択します。
3. ログイン情報を入力します。
4. 画面上の指示に従い、このサイトに写真をアップロードします。

Web でサポートされる形式へのビデオの書き出し

[ページの先頭へ](#)

この機能を使用するには、Adobe Premiere Elements をインストールします。

Elements Organizer は、インターネットでの配信に適したファイル形式でムービーを書き出すことができます。

1. コピーするビデオファイルを選択します。
2. 配信/オンラインビデオ配信を選択します。

Adobe Premiere Elements が起動し、Web に対応する形式にビデオファイルを書き込みます。

携帯電話へのメディアファイルの配信

[ページの先頭へ](#)

この機能を使用するには、Adobe Premiere Elements をインストールします。

対応する携帯電話や PDA およびビデオ iPod、または PSP（プレイステーションポータブル）などのポータブルメディアプレーヤーでの再生用にムービーを書き出すことができます。

1. コピーするメディアファイルを選択します。
2. 配信/携帯電話を選択します。

Adobe Premiere Elements が起動し、特定の携帯電話またはメディアプレーヤーにメディアファイルを書き込みます。


DVD/Blu-ray ディスクへのビデオファイルの書き込み

[ページの先頭へ](#)

Adobe Premiere Elements をインストールしている場合は、メディアファイルを DVD/Blu-ray ディスクに書き込むことができます。

1. コピーするメディアファイルを選択します。
2. 配信/DVD / Blu-ray ビデオに書き込みを選択します。

Adobe Premiere Elements が起動し、DVD / Blu-ray ディスクにメディアファイルを書き込みます。

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

Facebook への写真のアップロード

Facebook で写真を共有

(オプション) Facebook からの友達リストのダウンロード

Elements Organizer では、Facebook から友達リストをダウンロードすることができます。写真にタグを付ける際、Elements Organizer はこの友達リストを使用して、入力と同時に名前の候補を自動表示します。

[ページの先頭へ](#)

Facebook で写真を共有

Elements Organizer を使用して Facebook で写真を配信する場合、写真のタグ情報が維持されません。Facebook で写真を表示しているときにタグが付いている人物の上にマウスカーソルを移動すると、人物の名前が表示されます。

1. 配信 / Facebook を選択します。
2. 「Facebook の友達リストをダウンロード」チェックボックスをオンにして、Elements Organizer で見られる人物を Facebook の友達リストを使用して特定します。
3. 「認証」をクリックします。
4. デフォルトのブラウザーに表示される Facebook ページで、ログイン情報を入力します。

注意: Elements Organizer にログイン情報を記憶させるには、「Photoshop & Adobe Premiere Elements Uploader にログインしたままにする」チェックボックスをオンにします。

5. 「許可する」をクリックします。
6. 「認証完了」をクリックします。
7. Facebook に配信ダイアログで、次の操作を行います。
 1. ダイアログに表示されている写真以外の写真をアップロードするには、「+」アイコンをクリックします。メディアを追加ダイアログで、各種オプションを使用してアップロードする写真を選択します。選択が完了したら、「選択したメディアを追加」をクリックし、「完了」をクリックします。詳しくは、[複数のメディアファイルの選択](#)を参照してください。



Facebook 用のメディアを追加ダイアログ

2. アップロードしない写真を削除するには、ダイアログでそれらの写真を選択し、「-」アイコンをクリックします。
3. Facebook に作成されているアルバムに写真をアップロードするには、「写真を既存のアルバムにアップロード」を選択します。メニューからアルバムを選択します。
4. 写真のアップロード先とするアルバムを Facebook に作成するには、「写真を新しいアルバムにアップロード」を選択します。アルバムの名前を入力します。必要に応じて、写真の撮影場所とアルバムの内容に関する説明を入力します。
5. アップロードした写真を閲覧することができる Facebook ユーザーを限定するには、「この写真を閲覧できるユーザー」メニューでオプションを選択します。
6. 高解像度画像をアップロードしたい場合のみ、写真のアップロード画質として「高」を選択します。解像度が高い画像ほどアップロードに時間がかかります。
7. タグ情報とともに写真をアップロードする場合は、「写真の人物タグをアップロード」が選択されていることを確認します。
8. 「アップロード」をクリックし、Facebook に写真がアップロードされるのを待ちます。
9. アップロードの確認ダイアログボックスで、「Facebook にアクセスする」をクリックします。表示されるブラウザーで Facebook にログインし、アップロードした写真を表示します。

[ページの先頭へ](#)

(オプション) Facebook からの友達リストのダウンロード

Elements Organizer での人物識別用に Facebook の友達リストを簡単にダウンロードできます。詳しくは、[Facebook の友達リストをダウンロードして写真内の友達の顔をマーク](#)を参照してください。

注意： Facebook で友達リストを更新した場合は、リストを再度読み込んで、Elements Organizer に更新内容を適用してください。

電子メールの環境設定

1. 編集／環境設定／配信（Windows）または Adobe Elements Organizer 11／環境設定／配信（Mac OS）をクリックします。
2. メールクライアントメニューから次のいずれかを選択し、「OK」をクリックします。
 - （Windows）Microsoft Outlook®。アプリケーションを初期設定のまま選択する場合。
 - （Windows）Adobe 電子メールサービス。Outlook または Outlook Express を使用せずに、Elements Organizer から宛先に電子メールを直接送信する場合。
 - （Windows XP）Outlook Express®。アプリケーションを初期設定のまま選択する場合。
 - （Windows Vista）Windows Mail。アプリケーションを初期設定のまま選択する場合。
 - （Windows 7）Windows Live Mail。アプリケーションを初期設定のまま選択する場合。
 - （Mac OS）Mail。アプリケーションを初期設定のまま選択する場合。
 - （Mac OS）Microsoft Entourage。アプリケーションを初期設定のまま選択する場合。
 - （Outlook 2011 for Mac OS）Microsoft Outlook®。アプリケーションを初期設定のまま選択する場合。
3. 「配信の設定」で、「電子メールの配信で変更した写真のキャプションをカタログに保存」を選択し、電子メールに書き込まれているキャプションをカタログに書き出します。



[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

電子メールによる写真およびメディアファイルの送信

[デフォルトのデスクトップクライアントの設定](#)
[デフォルトの Web ベースクライアントの設定](#)
[電子メール添付ファイルとして写真を配信](#)
[埋め込み画像として写真を配信 \(Windows のみ\)](#)
[アドレス帳の使用](#)

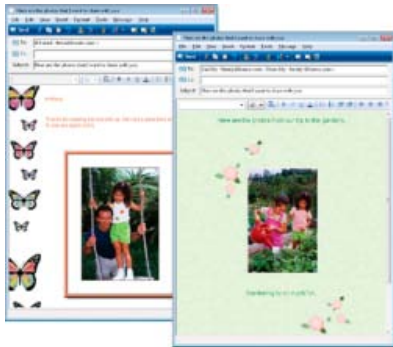
次のような方法で電子メールを使用してファイルを配信できます。

PDF スライドショー 複数の画像を単一の PDF ファイルにまとめます。受信者は、無償配布の *Adobe Reader* を使用して PDF ファイルをスライドショーとして表示できます。

電子メールにファイルを添付 画像またはメディアファイルを個別の添付ファイルとして送信します。写真のサイズを指定できます。

フォトメール (Windows のみ) 写真を添付ファイルではなく電子メールに埋め込む場合は、このオプションを使用します。

注意： すべてのタグとメタデータは、電子メールで送信されるファイルに保存されます。



電子メールメッセージの本文に直接写真を表示

プロジェクトを電子メールで送信する場合は、[プロジェクト](#)を参照してください。

[ページの先頭へ](#)

デフォルトのデスクトップクライアントの設定

写真の配信に使用するデスクトップ電子メールクライアントを選択します。クライアントは、Elements Organizer で写真を配信する場合にデフォルトとして使用されます。

- 編集／環境設定／配信 (Windows) 、または Adobe Elements Organizer 11／環境設定／配信 (Mac OS) を選択します。
- メールクライアントメニューから次のいずれかを選択し、「OK」をクリックします。
 - (Windows) Microsoft Outlook®：アプリケーションを初期設定のまま選択する場合。
 - (Windows) Adobe 電子メールサービス：Outlook または Outlook Express を使用せずに、Elements Organizer から宛先に電子メールを直接送信する場合。
 - (Windows XP) Outlook Express®：アプリケーションを初期設定のまま選択する場合。
 - (Windows Vista) Windows メール：アプリケーションを初期設定のまま選択する場合。


- (Windows 7) Windows Live メール：アプリケーションを初期設定のまま選択する場合。
- (Mac OS) Mail：アプリケーションを初期設定のまま選択する場合。
- (Outlook 2011 for Mac OS) Microsoft Outlook®：アプリケーションを初期設定のまま選択する場合。
- (Mac OS) Microsoft Entourage：アプリケーションを初期設定のまま選択する場合。

デフォルトの Web ベースクライアントの設定

Google や Yahoo Mail などの Web ベースの電子メールサービスの場合は、Adobe 電子メールサービスを使用して、フォトメールを直接受信者に送信できます。

1. 編集／環境設定／配信 (Windows) 、または Adobe Elements Organizer 11／環境設定／配信 (Mac OS) を選択します。
2. 電子メールクライアントメニューから Adobe 電子メールサービスを選択します。
3. 自分の名前と電子メールアドレスを入力します。
4. 「OK」をクリックします。Adobe 電子メールサービスを初めて使用する際には、認証のための電子メールが環境設定ダイアログボックスに入力したアドレスに送信されます。
5. 電子メールの本文には、送信者認証コードが含まれています。コードの入力を求められたら、この認証コードをコピーし、ダイアログボックスに貼り付けて、「OK」をクリックします。
6. 電子メールが認証されたら、「OK」をクリックします。これで、インターネットに接続しているときはいつでも、Elements Organizer から電子メールを直接送信できます。

電子メール添付ファイルとして写真を配信


1. 配信する写真を選択します。
2. 配信／電子メールにファイルを添付を選択します。
3. 画像の形式が JPEG 以外の場合に JPEG 画像として電子メールに添付する場合は、「写真を JPEG に変換する」を選択します。
4. 写真の最大サイズメニューからオプションを選択し、画質スライダーをドラッグして画像の解像度を調整します。値を大きくすると、ファイルのサイズが増えます。
5. 「宛先を選択」リストで名前をクリックして、電子メールの宛先を選択します (表示される名前は、アドレス帳から取得されます)。アドレス帳の宛先を編集する場合は、宛先を編集アイコンをクリックします。 
アドレス帳を設定していない場合は、後で電子メールクライアントで直接宛先の名前を入力できます。
6. 「次へ」をクリックします。選択された添付ファイルと宛先のアドレスを含む電子メールが表示されます。
Elements Organizer がお使いの電子メールアプリケーションをサポートしていない場合は、ファイルを手動で添付します。電子メールにファイルを添付する方法については、お使いの電子メールアプリケーションのヘルプを参照してください。
7. 電子メールの内容を編集して、「送信」をクリックします。

埋め込み画像として写真を配信 (Windows のみ)

写真を電子メールメッセージに直接埋め込む場合は、フォトメールを使用します。ウィザードでは、写真のサイズ、テンプレートの色、テキストの色とエフェクト、およびレイアウトも選択できます。

オプションの選択が完了すると、Elements Organizer はすべての画像を JPEG に変換して、電子メールを生成します。フォトメールは、Microsoft Outlook、Outlook Express、Windows Live Mail、または Adobe 電子メールサービスを通じて送信できます。

1. 電子メールで送信する写真を選択します。
2. 配信／フォトメールを選択します。

3. 写真に関連付けられたキャプションを含めるには、「キャプションを含める」を選択します。
4. 電子メールクライアントを設定している場合は、次の方法のいずれかで電子メールの宛先を選択します。
 - a. 「宛先を選択」リストから名前を選択します（表示される名前は、アドレス帳から取得されます）。
 - b. リストに宛先が見つからない場合は、「アドレス帳で宛先を編集する」  を選択します。
5. 「次へ」をクリックします。
6. テンプレートとレイアウトウィザードで、写真の背景を選択し、「次の手順」をクリックします。
7. 画像のレイアウトとフォントオプションを指定して、「次へ」をクリックします。
デフォルトの電子メールクライアントが埋め込まれた画像とともに開きます。
8. 必要に応じて電子メールと宛先を編集して「送信」をクリックします。

アドレス帳の使用

アドレス帳を使用すると、頻繁に使用する電子メールアドレスのリストを管理できます。Elements Organizer でアドレス帳を設定すると、人物またはグループにすばやく写真を送信できます。



アドレス帳

アドレス帳への連絡先の追加

1. 編集／アドレス帳を選択します。
2. 「新規連絡先」ボタンをクリックします。
3. 連絡先の名前、電子メールアドレス、必要に応じて他の情報を入力し、「OK」をクリックします。

アドレスのアドレス帳への読み込み (Windows のみ)

アドレスを入力する代わりに、Outlook または Outlook Express からアドレスを取り込むことができます。vCard ファイルからアドレスを読み込むこともできます。vCard (VCF) ファイルは、送信者の連絡先情報を含む電子メールの自動署名です。

1. 編集／アドレス帳を選択します。
2. 「読み込み」をクリックします。
3. 連絡先ソースの選択ダイアログボックスで、連絡先の読み込みオプションを選択します。vCard ファイルの場合は、コンピューター上の VCF ファイルを選択します。

アドレス帳の連絡先の削除または編集

1. 編集／アドレス帳を選択します。
2. リストで1つ以上の連絡先を選択し、「削除」、「OK」の順にクリックします。

アドレス帳の連絡先の編集

1. 編集／アドレス帳を選択します。
2. 連絡先を選択し、「編集」ボタンをクリック（または連絡先をダブルクリック）します。エントリを編集し、「OK」をクリックします。


アドレス帳のグループの作成

1. 編集／アドレス帳を選択します。
2. 新規グループボタンをクリックします。
3. 「グループ名」テキストボックスにグループの名前を入力します。
4. 「連絡先」リストで連絡先を選択し、「追加」ボタンをクリックして「メンバー」リストに移動して、グループにメンバーを追加します。隣り合う連絡先を追加する場合は Shift キーを押しながら、離れた連絡先を追加する場合は Ctrl キーを押しながらクリックします。
5. グループから連絡先を削除するには、「メンバー」リストで 1 つ以上の連絡先を選択し、「削除」ボタンをクリックします。
6. 「OK」をクリックして、新規グループダイアログボックスを閉じます。グループがアドレス帳に追加されます。
7. 「OK」をクリックします。

連絡先情報の vCard ファイルへの書き出し（Windows のみ）

1. 編集／アドレス帳を選択します。
2. 連絡先を選択するには、連絡先をクリックします。複数の連絡先を選択する場合は、Ctrl キーを押しながらクリックします。
3. 「vCard を書き出し」をクリックします。
4. コンピューター上の vCard ファイルの場所を選択し、「OK」をクリックします。

アドビは次の機能も推奨します。

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

オンラインプリントサービスを使用してプリント写真を注文

[オンラインプリントサービスについて](#)
[オンラインプリントサービスのセットアップ](#)
[プリントの注文](#)
[フォトカレンダー](#)

[ページの先頭へ](#)

オンラインプリントサービスについて

プリント、フォトブック、およびグリーティングカードを注文するには、オンラインプリントサービスに登録します。このサービスへの参加は無料です。ただし、注文の際はクレジットカード番号が必要です。

利用できるオンラインプリントサービスは、地域によって異なります。例えば、北米とアジアでは、オンライン注文サービスの内容が異なります。オンラインメニューには、その地域で使用できるサービスが反映され、新サービスが導入されると更新されます。

Mac OS の Elements Organizer では、プリントと作成のために Photoshop Elements を使用します。

[ページの先頭へ](#)

オンラインプリントサービスのセットアップ

Elements Organizer の Adobe Photoshop Services を使用して、画像とプロジェクトをオンラインのプリント専門店に送信できます。Adobe Photoshop Services は随時更新されます。環境設定に、新サービスをチェックするオプションがあります。

1. **編集／環境設定／Adobe パートナーサービス**を選択します。Mac OS では、Adobe Elements Organizer 11/**環境設定／Adobe パートナーサービス**を選択します。
2. 「**環境設定**」ダイアログボックスで次のオプションを設定します。

サービスを自動的に確認 オンラインプリントサービスの更新を自動的にチェックします。提供されるサービスは、地域によって異なります。

サービスアップデートの通知を表示 新しいサービスアップデートの通知を受け取りません。

Adobe プロモーションの通知を表示 Adobe プロモーションの通知を受け取ります。

製品サポートの通知を表示 製品サポートの通知を受け取ります。

他社からのサービスの通知を表示 他社からの新しいサービスの通知を表示します。

保存先 Adobe Photoshop Services から地域別のサービスを受け取れるよう、「**選択**」ボタンをクリックして現在の場所を指定します。

更新 新しいプリント、配信、およびダウンロードサービスを Elements Organizer に追加します。新しいサービスが利用可能になると、ダイアログボックスには、専門店で利用できるサービスの種類とオプションが表示されます。

アカウントを初期化 すべてのサービスについて保存されたアカウント情報を初期化できます。

オンラインサービスデータを消去 Adobe からのメッセージを削除します。

3. サービスの環境設定後、使用可能になった通知およびアップデートが表示されます。次のいずれかの操作を行います。

- Elements Organizer ワークスペースの下にあるステータスバーの「通知を表示」ボタンをクリックします。発表、新しいサービス、および更新の完全リストを表示できます。通知ウィンドウで通知を選択し、「表示」ボタンをクリックするか、アップデートまたはサービスを選択して、「実行」ボタンをクリックします。
- 封筒のボタンをクリックし、Elements Organizer のステータスバーに表示された最新の発表、サービスまたは更新にアクセスします。

注意： 更新と通知を表示するには、インターネットに接続します。

[ページの先頭へ](#)

プリントの注文

利用できるオンラインプリントサービスは、地域によって異なります。オプションの一部は、アジア、ヨーロッパ、北米の地域ごとに異なります。オンラインプリントサービスがロケールで利用できない場合、オンラインプリントサービスのオプションは表示されません。

Elements Organizer では、プリント専門店でプリントを注文し、指定した送付先に郵送してもらうことができます。プリントを注文する前に、写真に必要な変更を加えてください。オンラインプリントサービスの Web ページでは写真を補正できません。

1. 注文する写真を選択します。フォトプロジェクト（PSE 形式）はプリントとして注文できます。

フォトブックを注文する前に、プロジェクトを最適化してください。

2. ファイル／注文を選択します。各国のオプションが表示されます。オプションを選択します。

国や地域は、[国または地域の変更](#)で説明している手順で変更できます。

注意： 選択したオンラインプリントサービスの会員であることを確認してください。

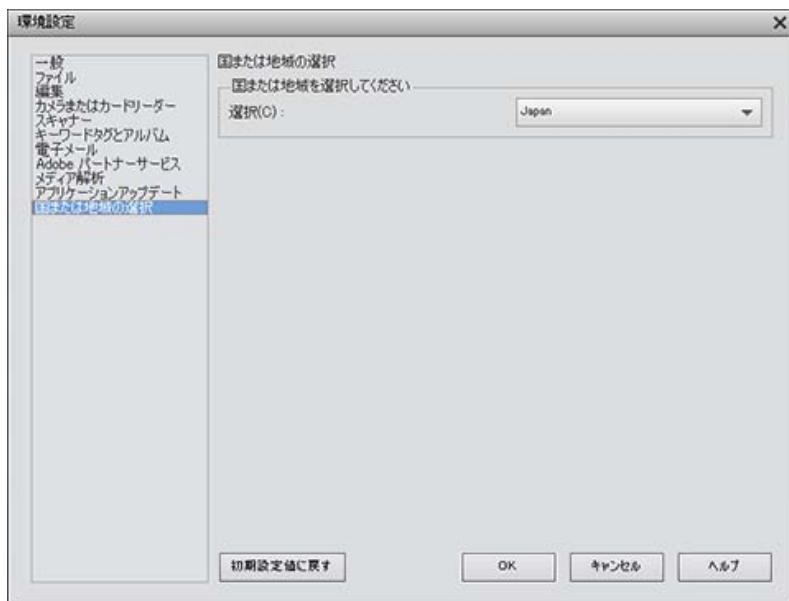
3. 画面の指示に従って、プリントの作成および注文を行います。

国または地域の変更

Adobe Photoshop Elements または Adobe Premiere Elements をインストールするときに、国または地域を指定します。オンラインサービスの一部は、この設定に応じて違ってきます。例えば、プリント注文を受け付けるパートナーが国によって異なることがあります。

国または地域は「環境設定」画面で更新でき、国や地域を変更するためにソフトウェアを再インストールする必要はありません。

1. 編集／環境設定／国または地域を選択（Windows）または Adobe Elements Organizer／環境設定／国または地域を選択（Mac OS）を選択します。



2. 一覧から国または地域を選択します。
3. 「OK」をクリックします。

[ページの先頭へ](#)

フォトカレンダー

フォトカレンダーの場合、プリントされたカレンダーを準備するプロセスがオンラインプリントサービスの Web ページによって段階的に説明されます。各アイテムの数や注文したアイテムの送付先も指定できます。カレンダーをすぐに注文しない場合は、オンラインプリントサービスの Web サーバーに保存して、いつでも注文できます。

フォトカレンダーは、Adobe® Photoshop® Services Web サイトを使用して作成および注文します。有効な電子メールアドレスを使用して、装丁されたカレンダーを注文するには、このサービスに登録します。このサービスへの参加は無料ですが、注文の際はクレジットカード番号が必要です。

フォトカレンダーの作成は、Elements Organizer によって起動される Photoshop Elements を使用して行うことができます。この機能を使用する前に、Photoshop Elements がインストールされていることを確認してください。



フォトカレンダーの例

アドビは次の機能も推奨します。

- カメラ内蔵携帯電話




Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

写真を PDF ファイルとして送信

選択した写真を PDF ファイルとして作成し、電子メールを使用して共有することができます。PDF ファイルを開くと、PDF ファイル内の写真がスライドショーとして再生されます。

1. 配信する写真を選択します。
2. 配信／PDF スライドショーを選択します。
3. 書き出すファイルのサイズと枚数を指定します。大きな値を入力すると、PDF ファイルの値もそれに伴い増加します。
4. PDF ファイルの名前を入力します。
5. 電子メールクライアント用のアドレス帳を作成している場合、連絡先のリストが表示されます。リストから配信先を選択します。
6. 「次へ」をクリックします。
(配信／環境設定で設定した) デフォルトの電子メールクライアントが開きます。生成された PDF ファイルは、添付ファイルとして検索できます。
7. 電子メールの内容を編集して、送信します。


 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

オンラインサービスを利用した写真の配信

この機能を使用する前に、これらのオンラインサービスに登録していることを確認してください。

1. メディアビューで、配信する写真を選択します。
2. 次のいずれかの操作を行います。
 - 配信／Flickr を選択します。
 - (Elements 12) 配信／Twitter を選択します。
 - 配信／SmugMug Gallery を選択します。
3. ログイン情報を入力します。
4. 画面上の指示に従い、サイトに写真をアップロードします。

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

写真のプリント

自宅での写真のプリント

複数のメディアファイルの選択

プリントの指定

カスタムプリントサイズ

カラーマネジメントの設定

プリントの単位の指定 (Windows のみ)

PRINT Image Matching と Exif Print

Elements Organizer には、写真のプリント用に次のオプションが用意されています。

- 自宅のプリンターを使用して、自宅でプリントする。
- プロ品質のプリント写真用 Adobe Photoshop サービスを介して、オンラインプロバイダーを使用する。詳しくは、オンラインプリントサービスを使用してプリント写真を注文を参照してください。

自宅での写真のプリント

[トップへ戻る](#)

1. プリントする写真を選択します。

ビデオファイルをプリントしようとする、ビデオの最初のフレームのみがプリントされます。

注意： (Mac OS) : Elements Organizer は Photoshop Elements を使用してプリントします。操作を続行する前に、Photoshop Elements がインストールされていることを確認してください。

2. ファイル/プリントを選択します。

3. 2 ページ以上の写真をプリントする場合は、ナビゲーションボタン を使用して、ページを進めたり、戻したりします。画像の方向を修正するには、回転アイコン と を使用します。

4. ページのレイアウトとプリンターの設定を変更するには、次の操作を行います。

- a. ページ設定をクリックして、ページ内の写真をプリントするオプションを設定します。ページ設定ダイアログで、用紙のソースやサイズ、方向、およびマージンを指定します。
- b. プリンターを選択メニューからプリンターを選択します。PDF ファイルを印刷するには、Adobe Acrobat がコンピューターにインストールされていることを確認してください。
- c. プリンター設定を変更するには、「設定を変更」をクリックします。用紙の種類、プリント画質、用紙トレイ、および用紙サイズのオプションを指定します。
- d. 用紙サイズを選択メニューから用紙のサイズを選択します。

5. プリントの性質を指定するには、プリントの種類を選択メニューからいずれかのオプションを選択します。必要に応じて、各選択項目に対して追加のオプションを設定します。

個別プリント 選択された各写真に対して、個別のコピーをプリントします。追加のオプションについては、詳細設定オプションをクリックします。これらのオプションの設定に関する情報については、プリントの指定およびカスタムプリントサイズを参照してください。

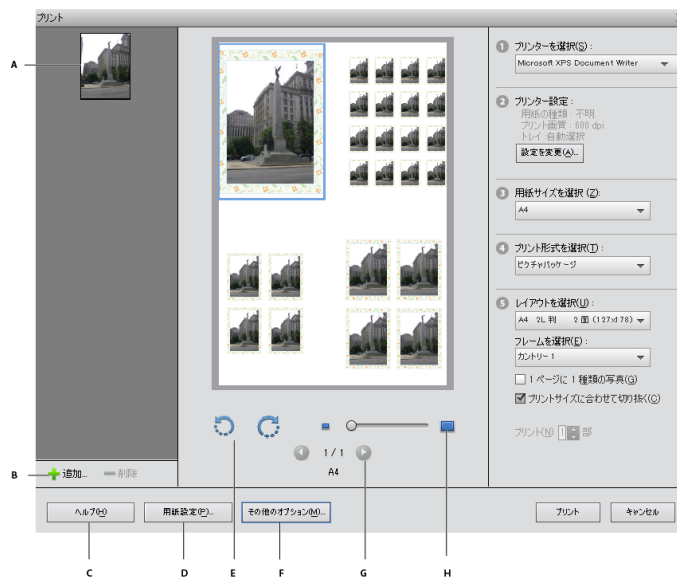
インデックスプリント 選択された写真のサムネイル画像を印刷します。インデックスプリントでは、次の操作を行います。

- 「列数」で、レイアウト内の列の数を指定します。
追加のプリントオプションについては、「プリントオプションを表示」を選択します。
- 写真に関連付けられた日付をプリントするには、「日付」を選択します。
- 写真に関連付けられたキャプションをプリントするには、「キャプション」を選択します。
- 写真に関連付けられたファイル名をプリントするには、「ファイル名」を選択します。
- 複数のインデックスプリントに対してページ番号をプリントするには、「ページ番号」を選択します。

ピクチャパッケージ 従来の写真スタジオのように、1枚のページに1枚以上の写真のコピーを複数枚配置できます。ピクチャパッケージでは、次の操作を行います。

- 複数の画像コピーを配置できるほど大きなレイアウトを選択します。

- フレームを選択メニューから、画像の境界線を選択します。
- 「1 ページに 1 種類の写真」を選択します。
- プリントサイズを選択メニューから、プリントサイズを選択します。同じページにプリントする写真の数を増やすには、選択する写真サイズを小さくします。



ピクチャパッケージのプリント

A. 選択されている写真 B. プリントする写真の数を増やすオプション C. ダイアログボックスでオプションを使用するためのヘルプ D. プリント用のページオプションの設定 E. 画像を回転するオプション F. カラーマネジメントオプション G. 複数の写真をナビゲートするオプション H. ズームスライダー



A

B



C

様々なプリントオプション

A. 個別の写真 B. インデックスプリント C. ピクチャパッケージ

- レイアウトの画像を入れ替えるには、画像を別の画像の上にドラッグします。入れ替えた画像を元の画像に戻すには、画像を右クリックし、コンテキストメニューから「オリジナルに戻す」を選択します。
6. 個別の画像を、指定したプリントレイアウトに収めるには、「プリントサイズに合わせて切り抜く」を選択します。

画像が拡大・縮小され、必要に応じてプリントレイアウトの縦横比と一致するように切り抜かれます。写真が切り抜かれないようにするには、このオプションを選択解除します。

7. 複数のコピーをプリントする場合は、「プリント n 部」に数を入力します。
8. 「プリント」をクリックします。

[トップへ戻る](#)

複数のメディアファイルの選択

1. ファイル／プリントを選択します。
2. プリントダイアログボックスで、追加 **+** をクリックします。
3. メディアを追加ダイアログボックスで、次のいずれかを選択します。
 - 開いているカタログ内ですべてのメディアを選択するには、「すべてのメディア」を選択します。
 - 現在、メディアビューで開いているすべてのメディアを選択するには、「グリッドからのメディア」を選択します。
4. 「詳細」セクションで、要件に応じて次の項目を選択します。
 - 重要度を設定したメディアを選択するには、「重要度が設定されたメディアを表示」を選択します。
 - 非表示のメディアを選択するには、「非表示のメディアを表示」を選択します。

[トップへ戻る](#)

プリントの指定

1. ファイル／プリントを選択します。
2. 「写真の詳細」で、次の操作を行います。
 - 写真に関連付けられた日付をプリントするには、「日付を表示」を選択します。
 - 写真に関連付けられたキャプションをプリントするには、「キャプションを表示」を選択します。
 - 写真に関連付けられたファイル名をプリントするには、「ファイル名を表示」を選択します。
3. プリントされた写真の周囲に境界線を表示するには、次のオプションを設定します。
 - 境界線の太さを指定するには、「太さ」を選択して値を入力します。
 - 境界線のカラーを指定するには、太さに対応するボックスをクリックします。
 - 背景を指定するには、「背景」を選択します。背景色を指定するには、対応するボックスをクリックします。
4. レイアウトで、次の項目を指定します。
 - 1 ページに 1 枚の写真のみを配置する場合は、「1 ページに 1 枚の写真」を選択します。
 - 個別のページに同じ写真のコピーを複数枚配置する場合は、「各写真を (n) 回使用」に値を入力します。
5. T シャツなどの素材に画像をプリントする場合は、「画像を反転」を選択します。
6. 選択された画像に関連付けられた内トンボをプリントするには、「トンボをプリント」を選択します。

[トップへ戻る](#)

カスタムプリントサイズ

詳細設定オプションダイアログにあるオプションを使用して、プリントする画像のサイズをカスタマイズします。

1. プリントダイアログで、詳細設定オプションをクリックします。
2. 「メディアサイズに合わせて拡大・縮小」を選択して、プリントするページまたは素材のサイズに合わせて写真を拡大・縮小します。
3. プリントする画像のカスタムサイズを指定するには、高さと幅に対して希望する値を入力します。
4. 単位メニューで、指定されたサイズの単位を設定します。
5. プリントする画像の解像度を指定します。推奨される解像度に関する情報については、お使いのプリンターのユーザーマニュアルを参照してください。

[トップへ戻る](#)

カラーマネジメントの設定

カラーマネジメントを初めて使用される場合は、次の記事を参照してください。

- [Color management and monitor calibration \(カラーマネジメントとモニターのカリブレーション\)](#)
- [The Psychology of Color Management and Calibration \(カラーマネジメントとカリブレーションの心理学\)](#)
- [Why Don't Printed Colors Match What I See on the Monitor? \(印刷されたカラーが、モニターに表示されるカラーと一致しな](#)

いのはなぜか?)

1. プリンタードライバーのカラーマネジメントの無効化
2. プリントダイアログボックス（ファイル／プリント）で、詳細設定オプションをクリックします。
3. 写真ファイルに埋め込まれているカラースペースは、画像スペースに表示されます。
4. プリントカラースペースメニューからプリンタープロファイルを選択します。

プリントカラースペースメニューでは、画像の色をプリンターのカラースペースに変換するためのカスタムプリンタープロファイルを設定したり、カラー変換をオフにすることができます。お使いのプリンターと用紙の組み合わせ用の ICC プロファイルがある場合は、メニューからそれを選択します。

プリントの単位の指定（Windows のみ）

[トップへ戻る](#)

1. メディアビューまたは日付表示で、編集／環境設定／一般を選択します。
2. プリントサイズメニューから「inch」または「cm/mm」を選択します。

PRINT Image Matching と Exif Print

[トップへ戻る](#)

PRINT Image Matching (PIM) は、PRINT Image Matching 対応のデジタルカメラとプリンターを使用して、最高品質のプリントを出力する技術です。PIM テクノロジーを使用した Epson® プリンターでは、デジタルカメラに保存された各画像のプリント固有情報が識別されます。プリントのカラー、品質、およびディテールを高めることができます。

Exif 2.2 (Exif Print) は、デジタルカメラによって保存された写真情報 (Exif タグ) を使用します。この写真情報は、Epson の Exif 2.2 (Exif Print) にも対応しています。Exif Print をサポートするプリンターであれば、これらの Exif タグを使用して、処理を最適化し、高品質のプリントを出力できます。詳しくは、プリンターのマニュアルを参照してください。

Elements Organizer で PIM および Exif Print オプションを使用する場合は、次のガイドラインに留意してください。

- PIM オプションは、PIM データが含まれる画像のみに適用されます。
- プリントダイアログボックスのレイアウトプレビューでは、PIM または Exif Print データによるカラー品質の向上はプレビューできません。
- 一部のプリンタードライバーでは、PIM または Exif Print と互換性がないため、これらのオプションが無効になっています。
- Epson では、PIM のサブセットである Exif Print がサポートされています。プリンターによっては、PIM と Exif Print 両方のオプションを選択して、プリントの品質をさらに高めることができます。

重要：Photoshop Elements を Windows Vista で実行する場合、一部の Epson プリンターは完全にサポートされません。Windows Vista と一緒にインストールした Epson プリンタードライバーは、完全にはサポートされません。Epson から直接配布されたプリンタードライバーの場合は、プリンターは Photoshop Elements でサポートされます。



[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

ビデオ

ビデオと全画面画像の表示

ビデオファイルの表示

メディアファイルをフルスクリーン表示または並べて比較する


フルスクリーン表示のオプション

属性パネルのオプション

メディアファイルへの切り替え方法の適用

ページの先頭へ

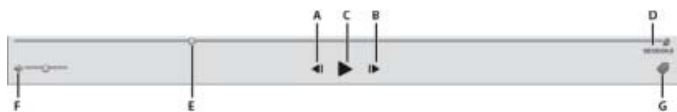
ビデオファイルの表示

メディアビューでは、ビデオクリップの最初のフレームがクリップのサムネールとして表示されます。メディアビューでフィルムストリップアイコン  が付いているアイテムはビデオクリップです。

1. メディアビューでビデオクリップをダブルクリックします。

注意： *Elements Organizer* で *QuickTime* ムービーを表示するには、コンピューターに *Quicktime* プレーヤーをインストールする必要があります。まだインストールされていない場合は、www.apple.co.jp/quicktime/download から *QuickTime* インストーラーをダウンロードし、実行してください。

2. *Elements Organizer* メディアプレーヤーが表示されたら、再生ボタンをクリックしてビデオを開始します。フレーム単位で表示するには、スライダーをドラッグします。ビデオクリップが長い場合は、数フレーム先に移動する場合があります。



Photoshop Elements ビデオウィンドウ

A. 開始点ボタンと終了点ボタン B. 再生ボタン C. 経過時間 D. スライダーをドラッグしてビデオクリップの再生箇所を指定 E. 音量調節 F. キーワードタグの追加

3. 「閉じる」ボタンをクリックして、*Elements Organizer* メディアプレーヤーを終了します。

Elements Organizer で再生できるファイル形式は、次に示すようにインストールされたアプリケーションに依存します。

Photoshop Elements のみがインストールされている場合

この場合、ロイヤルティベースでないフィルターを使用して再生できるファイル形式（ビデオとオーディオ）のみが *Elements Organizer* で再生されます。特定のファイル形式がシステム上でサポートされている他のフィルター（例：QuickTime）を取得した場合、*Elements Organizer* でもそのファイル形式が再生されます。Mac OS では、Photoshop Elements と一緒にインストールされたコーデックを使用してビデオが再生されます。アプリケーションでコーデックを使用できない場合は、QuickTime コーデックが使用されます。

Adobe Premiere Elements のみがインストールされている場合

この場合、すべてのファイル形式（ビデオとオーディオ）が *Elements Organizer* で再生されます。

Photoshop Elements と Adobe Premiere Elements の両方がインストールされている場合

この場合、すべてのファイル形式（ビデオとオーディオ）が Elements Organizer で再生されます。

[ページの先頭へ](#)

メディアファイルをフルスクリーン表示または並べて比較する

フルスクリーンおよび写真を並べて比較ビューでは、ウィンドウやメニューなどのインターフェイスアイテムに邪魔されずにメディアファイルを表示できます。マウススクロールを使用してメディアをズーム／パンできます。

フルスクリーンで表示、編集、整理オプションを使用すれば、一連のメディアファイルがフルスクリーンのスライドショーとして表示されます。例えば、次のようにスライドショーをカスタマイズできます。

- 画像を表示するようにオーディオファイルを再生します。
- 画面の右側に沿って、フィルムストリップで選択したファイルのサムネイルを表示します。
- メディアファイルへのエフェクトの追加

スライドショーに含める写真を決定した後、それらの写真に必要な編集を加えることができます。このビューからスライドショーエディターにこれらの写真を直接送信できます。スライドショーを作成するには、作成／スライドショーオプションを右クリックして選択します。



フルスクリーン表示

フルスクリーン表示でメディアファイルを表示するには、次のいずれかを実行します。

- 表示するメディアファイルを選択して、フルスクリーンプレビューで表示、編集、整理アイコンをクリックします。□

F11／Cmd キー+ F11 を押します。

「写真を並べて比較」コマンドを使用すれば、2つの写真が同時に表示されます。「写真を並べて比較」表示は、写真の細部と相違点に注目したいときに便利です。複数の写真を選択して比較できます。

写真を比較するには、次のいずれかを実行します。

- Organizer の右上で、画面表示／写真を並べて比較を選択します（一部の言語設定ではこのオプションを使用できません）。
- 2つの写真を選択して、F12／Cmd キー+ F12 を押します。

写真を並べて比較ビューでは、現在選択している写真が青色の境界線で囲まれます。「次のメディア」をクリックすると、選択された写真が替わります。➡ 選択範囲内で次の写真が表示されます。「フィルムストリップ」オプションを有効にしている場合、フィルムストリップの画像をクリックして、選択した画像（青い境界線で囲まれている画像）の代わりに表示できます。

フルスクリーン表示または写真を並べて比較表示では、次のアイテムを表示できます。

クイック編集パネル

表示されたメディアファイルの編集を有効にします。

クイック整理パネル

メディアファイルへのタグの作成と適用を有効にします。既存のアルバムへのメディアファイルの追加も有効にします。

コントロールバー

すべてのナビゲーションアイコンとコントロールアイコンが表示されるので、必要なパネルやダイアログにアクセスできるようになります。

「フルスクリーンで整理」ボタンまたは「写真を並べて比較」ボタンをクリックして、表示を交互に切り替えることができます。



構図や細部を分析するには、写真を並べて比較表示を使用します。

クイック編集パネル

フルスクリーンで整理表示または写真を並べて比較表示では、クイック編集パネルを使用して、表示されてい

る写真を編集できます。クイック編集パネルは画面の左側に表示され、初期設定では最小化されます。マウスを数秒間移動しない場合も、クイック編集パネルは最小化されます。最大化するには、パネルの上にマウスを移動するか、フルスクリーンプレビューバーでクイック編集の切り替えパネルをクリックします。「自動的に隠す」ボタンをクリックすれば、常にクイック編集パネルが表示されます。

次の表では、クイック編集パネルに含まれる一部のアイコンとその機能が説明されています。

アイコン	機能
スマート補正、 	劣悪な露光量、コントラスト、カラーバランス、カラーの彩度が原因で生じる画像の問題を補正
カラー、 	自動カラー補正で写真のカラーを補正
レベル、 	自動レベル補正で階調の範囲を補正
コントラスト、 	自動コントラストでコントラストを補正
シャープ、 	写真をシャープにする
赤目修正、 	赤目を除去
写真の編集、 	Photoshop Elements Editor を起動
ビデオの編集、 	Adobe Premiere Elements を起動
プリント用にマーク、 	プリント用にメディアファイルをマーク

注意：表示された写真の重要度を設定するには、星を選択します。写真の重要度を消去したい場合は、一番右にあるゴールドの星をクリックします。

クイック整理パネル

フルスクリーン表示または写真を並べて比較表示では、表示されたメディアファイルへのキーワードタグの作成や追加が簡単になります。クイック整理パネルは画面の左側に表示され、初期設定では最小化されます。マウスを数秒間移動しない場合も、クイック整理パネルは最小化されます。最大化するには、パネルの上にマウスを移動するか、フルスクリーンプレビューバーでクイック整理の切り替えパネルをクリックします。

クイック整理パネルには、次のサブパネルが含まれています。

アルバムパネル

既存のアルバムのリストが表示されます。表示されたメディアファイルに関連のあるアルバムはハイライトされます。

キーワードタグ

タグクラウド表示に、キーワードタグのリストが表示されます。メディアファイルに関連のあるタグがハイライトされます。

クイック整理パネルを使用すれば、次のタスクを実行できるようになります。

- 表示されたメディアファイルを既存のアルバムに追加する。例えば、表示されたメディアファイルを「ディズニーランド」アルバムに追加するには、アルバムサブパネルでディズニーランドをクリックします。
- キーワードタグを作成して、表示されたメディアファイルにタグを適用する。

新しいタグを作成して、表示されたメディアファイルにタグを適用するには：

表示されたメディアファイルに既存のタグを適用するには、キーワードタグサブパネルでタグの名前をクリックします。タグがハイライトされます。

1. キーワードタグサブパネルで、メディアにタグ付けテキストボックスにタグの名前を入力します。例えば、祝日という名前のキーワードタグを作成する場合は、テキストボックスに「祝日」と入力します。
2. 「追加」をクリックします。

作成されたタグは、表示されたメディアに適用されます。

コントロールバー

コントロールバーには、メディアファイル間の移動や、メディアファイルの再生などのアイコンが含まれています。数秒間マウスを移動しないと、ビューからコントロールバーが消えます。（再表示するには、マウスを動かします）。

コントロールバーには、次のアイコンが含まれます。

フィルムストリップアイコン

フィルムストリップで画像の表示と非表示を切り替えることができます。このアイコンをクリックすると、選択したすべての画像が一行のサムネールになり、画面の右側に表示されます。もう一度クリックすると、画像が隠れます。

かんたん補正パネル

かんたん補正パネルの表示と非表示を切り替えることができます。このアイコンをクリックすると、かんたん補正パネルが画面の左側に表示されます。もう一度クリックすると、かんたん補正パネルが隠れます。

クイック整理パネル

クイック整理パネルの表示と非表示を切り替えることができます。このアイコンをクリックすると、クイック整理パネルが画面の左側に表示されます。もう一度クリックすると、クイック整理パネルが隠れます。

前へ

前のメディアファイルが表示されます。

次へ

次のメディアファイルが表示されます。

再生

メディアファイルを再生します。

設定ダイアログを開く

フルスクリーン表示のオプションダイアログボックスが表示されます。

切り替え方法

切り替え方法を選択ダイアログボックスが表示されます。

属性パネルを切り替え

属性パネルの表示と非表示を切り替えることができます。

フルスクリーンで表示、編集、整理

写真を並べて比較表示からフルスクリーン表示に切り替えることができます。

写真を並べて比較

写真を並べて比較表示に切り替えることができます。

「写真を並べて比較」表示の画像倍率を同期します

写真を並べて比較表示に写真を表示するとき、画像倍率を同期します。例えば、このアイコンをクリックし、マウスを使用してズームインする場合、両方の画像が同時にズームインされます。

[ページの先頭へ](#)

フルスクリーン表示のオプション

フルスクリーン表示のオプションダイアログボックス内のオプション

コントロールバーで設定アイコンをクリックします。

BGM スライドショーの実行中に再生するオーディオファイルを指定します。別のファイルを選択するには、「参照」をクリックし、目的のファイルの場所を特定して選択します。

オーディオキャプションを再生 スライドショーの実行中に再生する、選択したファイルのオーディオキャプションを指定します。

スライド間隔 画面上での各画像の表示時間を指定します。この時間が過ぎると、次の画像が表示されるか、フェードインします。

キャプションを含める キャプションを画面の下部に表示します。

写真のサイズ変更を許可 画面に合わせて写真のサイズを変更します。

ビデオのサイズ変更を許可 画面に合わせてビデオのサイズを変更します。

フィルムストリップを表示 選択したすべての画像を一行のサムネールにして、画面の右側に表示します。フルスクリーン表示する画像を選択するには、サムネールをクリックします。

スライドショーを繰り返し再生 停止されるまでスライドショーを繰り返し再生します。

[ページの先頭へ](#)

属性パネルのオプション

属性パネルには、メディアファイルに関連のある属性が表示されます。属性パネルを切り替えアイコンをクリックすると、属性パネルが表示されます。① このパネルには、次のオプションが含まれています。

一般 ファイル名、重要度、キャプション、注釈などのメディアファイルの一般属性が表示されます。

メタデータ ファイルに関連のあるメタデータが表示されます。「すべて」をクリックしてすべての詳細を表示するか、「概要」をクリックしてファイルに関連のあるメタデータの限定セットを表示します。

キーワード メディアファイルに関連のあるキーワードが表示されます。

履歴 変更された日付や、取り込まれた日付など、ファイルの履歴が表示されます。

[ページの先頭へ](#)

メディアファイルへの切り替え方法の適用

1. コントロールバーで、テーマアイコンをクリックします。
2. 次のいずれかのオプションを選択し、「OK」をクリックします。サムネールの上にマウスを移動すると、切り替え方法をプレビューできます。
 - クラシック
 - フェードイン/アウト
 - パン・ズーム
 - 3D ピクセレート

選択された切り替え方法が、表示されたメディアファイルに適用されます。エフェクトを表示できます。

注意： パン・ズームの切り替え方法と 3D ピクセレートの切り替え方法は、写真のみでサポートされます。ビデオでは、最初のフレームのみでこれらの切り替え方法がサポートされます。

切り替え方法と OpenGL について

Open Graphics Library (OpenGL) とは何ですか？ コンピュータープログラムが、ディスプレイドライバーとの通信に使用できるクロスプラットフォームのソフトウェアライブラリです。

パン・ズームおよび 3D ピクセレートの切り替え方法の場合、OpenGL バージョン 1.2 以降をコンピューターにインストールする必要があります。OpenGL のバージョンは、システムにインストールされたディスプレイカードドライバーに依存します。ご使用のシステムに OpenGL をサポートしないという警告が表示される場合、ディスプレイカードに対して最新のドライバーがインストールされていることを確認してください。ディスプレイカードのメーカーは、新しいオペレーティングシステムやプログラム機能に追いつくように頻繁にドライバーを更新しています。ドライバーを更新する前に、現在のディスプレイドライバーのバージョンを確認してください。

Windows XP でのディスプレイドライバーのバージョンの確認

注意： Windows XP は、Elements Organizer 14 リリースからサポートされなくなりました。

1. デスクトップを右クリックし、プロパティを選択します。
2. 設定を選択し、詳細設定を選択します。
3. ご使用のグラフィックスディスプレイカードによっては、異なるタブが表示されます。アダプタ/プロパティを選択して、カード上のメモリ容量などのカードデータを確認します。ドライバーを選択して、ドライバーのバージョンなどの詳細を確認します。

Windows Vista でのディスプレイドライバーのバージョンの確認

注意： Windows Vista は、Elements Organizer 14 リリースからサポートされなくなりました。

1. デスクトップを右クリックし、個人用設定を選択します。

2. ディスプレイの設定／詳細設定を行いますを選択します。「アダプタ」タブには、カード上のメモリ容量などのカードデータが表示されます。
3. プロパティ／ドライバーを選択して、ドライバーのバージョンを取得します。


ディスプレイカードのメーカーの Web サイトにアクセスして、より最新のドライバーがあるか確認します。ドライバーのアップデートにはダウンロードとインストールの手順が含まれるか、ドライバーと一緒に手順がダウンロードされます。

Windows 7 でのディスプレイドライバーのバージョンの確認

1. スタートメニューで、コンピューターを右クリックし、「管理」をクリックします。
2. ここで表示されるパネルの左側で、デバイス マネージャを選択します。
3. ディスプレイ アダプタリストを展開して、ディスプレイドライバーの情報を表示します。
4. (オプション) ディスプレイアダプタを右クリックし、「プロパティ」を選択して、詳細を確認します。

アドビは次の機能も推奨します。

- スライドショーについて (Windows のみ)

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

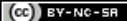
ビデオプロジェクトの表示

Elements Organizer には、Adobe Premiere Elements を使用して作成されたプロジェクトのリストが表示されます。ただし、Elements Organizer にあるプロジェクトに対して名前の変更、編集、またはメディアファイルの追加を行うことはできません。これらのプロジェクトに対して編集やメディアファイルの追加を実行するには、Adobe Premiere Elements を起動します。Adobe Premiere Elements で作成されたビデオプロジェクトを表示するには、次の操作を行います。

1. Elements Organizer で、アルバムを展開します（アルバムの横にある三角形をクリック）。アルバムのリストと「ビデオプロジェクト」オプションが表示されます。
2. 「ビデオプロジェクト」を展開すると（プロジェクトの横にある三角形をクリック）、ビデオプロジェクトのリストが表示されます。ビデオプロジェクトをクリックすると、プロジェクト内に存在するメディアが表示されます。
3. 作業するプロジェクトを選択し、プロジェクトを右クリックするか、Control キーを押しながらプロジェクトをクリックすると、次のオプションを含むコンテキストメニューが開きます。

Premiere Elements Editor で開く このオプションを選択すると、プロジェクトが表示されます。

削除 このオプションを選択すると、カタログからビデオプロジェクトが削除されます。

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

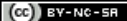
[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

インスタントムービーおよびビデオストーリーの作成

Adobe Premiere Elements がインストールされている場合は、Elements Organizer を使用してインスタントムービーやビデオストーリーを作成できます。

インスタントムービーを作成するには、必要なアセットを選択し、作成／インスタントムービーをクリックします。Adobe Premiere Elements が起動し、インスタントムービーを作成できます。

ビデオストーリーを作成するには、必要なアセットを選択し、作成／ビデオストーリーをクリックします。Adobe Premiere Elements が起動し、ビデオストーリーを作成できます。ビデオストーリーについて詳しくは、[ビデオストーリーの作成](#)を参照してください。

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

その他のアプリケーションを使用した写真とビデオの補正

選択したメディアを修正するためのエディターを指定するには
[Adobe Photoshop](#) での写真の編集

[ページの先頭へ](#)

選択したメディアを修正するためのエディターを指定するには

- 次のいずれかの操作を行います。
 - Windows では、[編集](#) / [環境設定](#) / [編集](#) を選択します。
 - Mac OS では、[Adobe Elements Organizer](#) / [環境設定](#) / [編集](#) を選択します。
- Photoshop Elements のみで写真を編集するには、「[Photoshop Elements Editor のオプションのみを表示](#)」を選択します。Elements Organizer で写真を右クリックまたは Ctrl キーを押しながらクリックすると、Photoshop Elements を使って編集するオプションのみが表示されます。
- Premiere Elements のみでビデオを編集するには、「[Premiere Elements のオプションのみを表示](#)」を選択します。Elements Organizer でクリップを右クリックまたは Ctrl キーを押しながらクリックすると、Premiere Elements を使って編集するオプションのみが表示されます。
- Premiere Elements と Photoshop Elements の両方でメディアファイルを編集できるようにするには、「[両エディターのオプションを表示](#)」を選択します。
- 写真の編集を別のアプリケーションでできるようにすることも可能です。「[追加の編集アプリケーションを使用](#)」を選択し、「[参照](#)」をクリックしてそのアプリケーションを選択します。

[ページの先頭へ](#)


Adobe Photoshop での写真の編集

写真を選択して、Adobe Photoshop を使って編集できます。

- 写真を選択します。

注意： 編集する写真を選択し、4つのビューのいずれかで起動することができます。
- アクションバーの「[編集](#)」の横にある三角形をクリックします。編集オプションから「[Photoshop](#)」を選択します。
- Adobe Photoshop がインストールされ、有効化されている場合、写真は最新バージョンの Adobe Photoshop で編集できるように起動されます。

注意： *Adobe Photoshop* を外部エディターとして追加することはできません。ただし、アクションバーだけでなく編集メニューにも編集アプリケーションとして表示されます。

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

書き出し

写真をフォルダーに書き出します。

1. 書き出すアイテムを選択します。
2. ファイル／新規ファイルとして書き出しを選択します。
3. 次のオプションを必須項目として指定します。

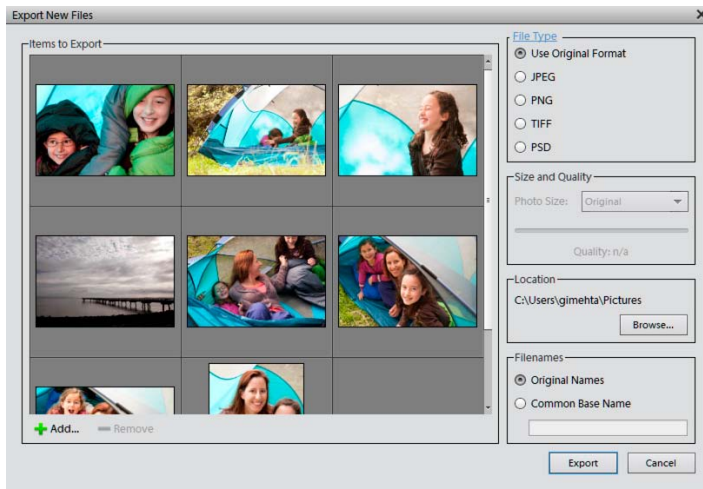
ファイル形式 書き出す写真のファイル形式を指定します。現在のファイル形式を維持する場合は、「オリジナル形式を使用」を選択します。

サイズと画質 ピクセル数、ファイルサイズ、圧縮方式および写真の画質を変更します。オリジナル形式を使用して書き出す場合は、元の画像のサイズを増やすことはできません。

ファイル保存先 書き出すファイルを保存するフォルダーを指定します。別のフォルダーまたはドライブを指定するには、「参照」をクリックします。

ファイル名 書き出すファイルの名前を指定します。写真の現在の名前を使用する場合は、「オリジナルの名前」を選択します。同じ名前にシーケンス番号を追加して書き出すには、「基本名」を選択して名前を入力します。保存先フォルダーにファイル名が存在する場合は、既存のファイルを上書きしないように、書き出すファイルの名前が変更されます。

4. 「書き出し」をクリックします。



新規ファイルとして書き出しダイアログ



ビデオの配信

[YouTube へのビデオのアップロード](#)

[Vimeo または Adobe Photoshop Showcase でのビデオの配信](#)

[Web でサポートされる形式へのビデオの書き出し](#)

[携帯電話へのメディアファイルの配信](#)

[DVD/Blu-ray ディスクへのビデオファイルの書き込み](#)

YouTube へのビデオのアップロード

[ページの先頭へ](#)

サイトにビデオをアップロードするには、YouTube のユーザーアカウントが必要です。Gmail アカウントを持っている場合は、その詳細を使用して YouTube にログインできます。

YouTube にビデオをアップロードする前に、ビデオアップロードに関する YouTube のポリシーを確認してください。ビデオはサイズ、期間、形式に関する YouTube の標準を満たす必要があります。

1. Elements Organizer で、ビデオクリップを選択します。
2. 配信/YouTube を選択します。
3. ログイン情報を入力し、「認証」をクリックします。

YouTube アカウントを持っていない場合は、「今すぐサインアップ」をクリックして、YouTube のユーザーアカウントを作成します。

Elements Organizer から YouTube にビデオをアップロードするたびにログイン情報を認証したくない場合は、「ユーザー情報を記憶」を選択します。

4. ビデオを YouTube に配信ダイアログで、次の情報を入力し、終了したら「アップロード」をクリックします。入力する情報は、ユーザーが検索した場合にビデオを見つけやすいものにします。
 - a. ビデオのタイトルと説明を入力します。



Youtube へのアップロードダイアログボックス

- b. ビデオを説明するタグを入力します。例えば、パリでの休暇のムービーの場合は、フランス、パリ、6月、エッフェル塔などのタグを使用します。
 - c. ビデオの内容と一致するカテゴリを選択します。
 - d. 「一般」または「プライベート」を選択して、ビデオの表示権を選択します。ビデオを「プライベート」に設定すると、自分と、最大 50 人の招待されたユーザーのみが表示できるようになります。ビデオは、チャンネル、検索結果、再生リストなどに表示されません。
5. アップロード中であることを示す進行状況ダイアログボックスが表示されます。「YouTube にアクセス」をクリックします。
 - a. ブラウザーに表示される YouTube のサイトで、ログイン情報を入力します。
 - b. ブラウザーウィンドウの上部にある「ユーザー ID」をクリックし、「ビデオ」を選択します。アップロードしたビデオが、「マイ動画と再生リスト」に表示されます。

[ページの先頭へ](#)

Vimeo または Adobe Photoshop Showcase でのビデオの配信

この機能を使用する前に、Vimeo または Adobe Photoshop Showcase オンラインサービスに登録していることを確認してください。Adobe Photoshop Showcase に登録していない場合は、使用しようとする、登録するように求めるメッセージが表示されます。画面上の指示に従い、Adobe Photoshop Showcase に登録します。

Adobe Photoshop Showcase の詳細については、<http://www.photoshopshowcase.com/AboutAps.aspx> を参照してください。

1. 配信するビデオを選択します。
2. 次のいずれかの操作を行います。
 - 配信/Vimeo を選択します。
 - 配信/Photoshop Showcase へのビデオを選択します。
3. ログイン情報を入力します。
4. 画面上の指示に従い、このサイトに写真をアップロードします。

Web でサポートされる形式へのビデオの書き出し

[ページの先頭へ](#)

この機能を使用するには、Adobe Premiere Elements をインストールします。

Elements Organizer は、インターネットでの配信に適したファイル形式でムービーを書き出すことができます。

1. コピーするビデオファイルを選択します。
2. 配信/オンラインビデオ配信を選択します。

Adobe Premiere Elements が起動し、Web に対応する形式にビデオファイルを書き込みます。

携帯電話へのメディアファイルの配信

[ページの先頭へ](#)

この機能を使用するには、Adobe Premiere Elements をインストールします。

対応する携帯電話や PDA およびビデオ iPod、または PSP（プレイステーションポータブル）などのポータブルメディアプレーヤーでの再生用にムービーを書き出すことができます。

1. コピーするメディアファイルを選択します。
2. 配信/携帯電話を選択します。

Adobe Premiere Elements が起動し、特定の携帯電話またはメディアプレーヤーにメディアファイルを書き込みます。


DVD/Blu-ray ディスクへのビデオファイルの書き込み

[ページの先頭へ](#)

Adobe Premiere Elements をインストールしている場合は、メディアファイルを DVD/Blu-ray ディスクに書き込むことができます。

1. コピーするメディアファイルを選択します。
2. 配信/DVD / Blu-ray ビデオに書き込みを選択します。

Adobe Premiere Elements が起動し、DVD / Blu-ray ディスクにメディアファイルを書き込みます。

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)